はじめに

このたびは、「SoftBank 812SH／813SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 812SH／813SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書は日本国内向けです。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank 812SH／813SHは、3G方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

SoftBank 812SH／813SH　取扱説明書

2008年５月　第８版
ソフトバンクモバイル株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank 812SH
　　　　　　　　813SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

PRINTED WITH SOY INK™

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

本書の見かた

本書はことわりがない限り、SoftBank 812SHをオープンポジション（☞P.1-11）にした状態で、待受画面からの操作を中心に説明しています。また、本書で記載されているイラストや画面は実際のものとは異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

- 名称変更などの理由で、現在のサービス名称と本書内の記載が異なることがあります。サービスについて詳しくは、「http://www.softbank.jp」を参照してください。

SoftBank 813SHにはカメラ機能が無いため、SoftBank 812SHとSoftBank 813SHは形状および操作方法／機能の一部が異なります。SoftBank 813SHをお買い上げのお客様は、「SoftBank 813SH 補足説明書」と一緒にご覧ください。

SoftBank 812SH／813SHの主な違い

■SoftBank 813SHで利用できない機能

SoftBank 813SHにはカメラ機能が無いため、以下の機能が利用できません。

■TVコール　■カメラ　■顔認証　■バーコード読み取り　■QRコード作成　■文字読み取り

■SoftBank 812SH／813SHのメインメニューの違い

SoftBank 812SH
コミュニケーション
Yahoo!ケータイ
メディアプレイヤー
メール
カメラ
データフォルダ
ツール
エンタテイメント
S!アプリ
生活アプリ
電話機能
設定

⟷

SoftBank 813SH
コミュニケーション
Yahoo!ケータイ
メディアプレイヤー
メール
データフォルダ
PIM
ツール
エンタテイメント
S!アプリ
生活アプリ
電話機能
設定

各ボタンの表記

本書では、それぞれのボタンを下のように表記して説明しています。

マルチガイドボタン

メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

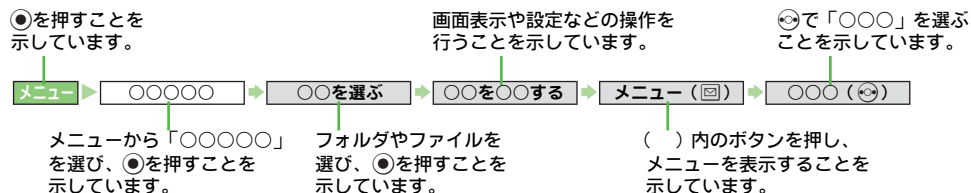
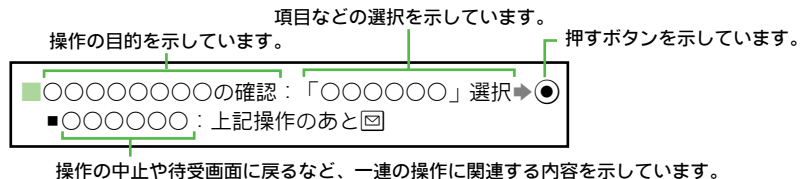
- 使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。
  - ■ やを押すとき ……………………
  - ■ やを押すとき ……………………
  - ■ を押すとき …………………

サイドボタン

音量の調節やマナーモードの切替などでは、本機側面のボタンを使用します。本書では、ボタンでの操作を下のように表記しています。

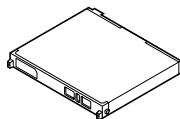
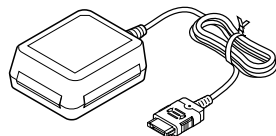
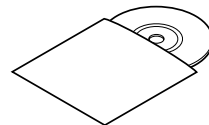
本書の表記

■メニュー操作

目的の操作に至るまでのメニュー操作（◉で始まる操作）は、次のように表記しています。
（白背景の四角はメニューで選択する項目、グレー背景の四角はメニュー選択以外の操作を示しています。）

■補足操作

本書は、本機の文字サイズ設定（☞P.9-4）の「**文字表示全般**」を「**中**」に設定している状態（お買い上げ時の設定）で説明しています。
文字サイズを変更されたときやシンプルメニュー（☞P.2-21）を設定されたときは、本書の表記と一部異なることがございます。あらかじめご了承ください。

この「SoftBank 812SH／813SH **取扱説明書**」の本文中においては、「SoftBank 812SH／813SH」を「**本機**」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

お買い上げ品の確認

電池パック（SHBAY1） （1タイプ　リチウムイオンバッテリー）	■急速充電器（SHCAA1）	■ユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）※★

※ユーティリティーソフトウェアは、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、ユーティリティーソフトウェア最新版のダウンロードについては、ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」よりご確認いただけます。
★試供品です。オプション品としてのお取り扱いはございません。

注意▶ 付属のユーティリティーソフトウェアは、812SH／813SH専用です。他の携帯電話では、ご利用になれません。

補足▶
- その他付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。
- 本機は、microSD™メモリカードを利用することができますが、本製品にはmicroSD™メモリカードは付属していません。市販のmicroSD™メモリカードをお買い求めいただくことにより、microSD™メモリカードに関する機能をご利用いただくことができます。
- 本書では、「**microSD™メモリカード**」を、以降「**メモリカード**」と記載いたします。

目次

Contents

3 文字の入力方法

4 アドレス帳

5 TVコール

6 カメラ

7 メディアプレイヤー

8 データ管理

9 設定

10 通信／外部接続

11 メモリカード

12 ツール

13 オプションサービス

Contents

Contents

14 メール

15 Yahoo!ケータイ

16 S!アプリ

17 S! FeliCa

18 エンタテイメント

19 コミュニケーション

Contents

20 Abridged English Manual

21 付録

Contents

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険 **誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**

 警告 **誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**

 注意 **誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。

記号は
しなければならないこと（指示）を表しています。

記号は
気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

本機、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

本機に使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ソフトバンクが指定したものを使用する
（☞P.iv）

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させない

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。（☞P.iv）
- 電池パックを本機に装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、本機専用です。
  他の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

警告

本機、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

本機や充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

本機や充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや本機、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、本機や充電器、卓上ホルダーを発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- 本機や充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。
- 本機や充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

本機の電源を切って電池パックを取り外したあと、急速充電器はプラグを家庭用ACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

本機、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

引火ガスが発生する場所では、必ず事前に電源をお切りください

ガスに引火する恐れがあり、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では本機の電源も切り、充電もしないでください。また、ガソリンスタンド構内でS! FeliCa対応端末をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合はロックを解除した上で電源をお切りください。）

衝撃を与えない

本機や充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、本機や充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、異臭がするなどの異常な状態に気がついたときは、本機の電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグを家庭用ACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてソフトバンクの故障受付窓口に修理をご依頼ください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本機の取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、本機を絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります。（2004年11月１日改正施行）
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、イヤホンマイクなどを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

ストラップを持って本機を振り回したり、投げない

本人や他人にあたり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、本機の電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- **急速充電器**：AC100V〜240V
  - ■ 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **シガーライター充電器**：DC12／24V

市販の「変圧器」は使用しない

急速充電器を、海外旅行用として市販されている「**変圧器**」などに接続しますと、火災・感電・故障の原因となることがあります。

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。

充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）

直ちに使用を中止し、新しいものをご購入ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、小さなお子様の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、本機から取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は､｢医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針｣（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本機の電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まない。
- 病棟内では本機の電源を切る。
- ロビー等であっても､付近に医用電気機器がある場合は､本機の電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠注意

本機、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間あたる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を本機に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

本機の取り扱いについて

本機の温度（発熱）について

本機を長時間利用すると、本機が熱くなることがあります。
また、本機を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

本機のキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

自動車内でご使用のとき

本機を自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

本機の取り扱いについて

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ医師の診断を受ける

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

■本機の使用材料

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）、ディスプレイ飾り	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：不連続蒸着）
キャビネット（ディスプレイ背面側）、ヒンジカバー（操作ボタン側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装） メタルブルー色とシルバー色は、ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：不連続蒸着）
左右ヒンジキャビネット（ディスプレイ側）	ナイロン系樹脂（ガラス繊維入り）／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル・ウレタン塗装）
サブディスプレイ飾りパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：印刷箔）
キャビネット（操作ボタン側、操作背面側）、 電池カバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓	アクリル樹脂
赤外線ポート	ABS樹脂（赤外線グレード）
マルチガイドボタン（センター部分、カーソルキー部分）	ABS樹脂（クロムメッキ／下地：ニッケルメッキ）
開始ボタン、電源／終了ボタン、メールボタン、Yahoo!ケータイ・ボタン、ショートカット／A/aボタン、クリア／バックボタン、マルチメディア／文字ボタン、サイドボタン、ダイヤルボタン	PC樹脂／塗装
メモリカードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバー、外部機器端子キャップ	ウレタン系樹脂、PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ当たりゴム	シリコンラバー
電池パック	PC樹脂
充電端子	SUS／金メッキ（下地：ニッケルメッキ）
ネジ（全て）	SWCH12A／Niメッキ
ネジカバー	PC樹脂
USIMピン	銅合金／金メッキ（下地：ニッケル）
メインカメラ窓	アクリル樹脂
接写スイッチ	ABS樹脂

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 家庭用ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。

指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。

布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため、急速充電器／シガーライター充電器から本機を取り外し、必ずプラグを家庭用ACコンセント／シガーライターソケットから抜いてください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器は家庭用ACコンセントから、シガーライター充電器はシガーライターソケットからプラグを抜いて行ってください。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

電池パックは小さなお子様の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも小さなお子様が本機から取り外さないようにご注意ください。

- 電池パックの充電は、周囲温度５℃〜35℃の場所で行ってください。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックをはじめてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  そのままにしておくと、電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

●事故や故障などにより本体／メモリカードに登録したデータ（アドレス帳・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なアドレス帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
●本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
●本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
●本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
●一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
●**傍受にご注意ください。**
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
傍受（ぼうじゅ）とは
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

●運転中は、本機を絶対にご使用にならないでください。
●本機をご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
●本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

●航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。
（電源も入れないでください。）
運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 本機を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。
  また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 本機を閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。
  ディスプレイが破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの音が外にもれることがあります。
  周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- **機能制限について**
  本機を機種変更／解約したり、長期間使用しなかったときは、次の機能が利用できなくなります。
  ■カメラ　■メディアプレイヤー　■S!アプリ
- **本機は防水仕様ではありません。**
  水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - ■雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手に持って持ち歩かないでください。
  - ■エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - ■洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
  - ■海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光があたらないように、バッグなどに入れてください。
  - ■汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因となることがあります。
- **本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。**
  - ■本機をズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - ■荷物の詰まったカバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないようにご注意ください。
- 本機のイヤホン端子に指定品以外のものは取り付けないでください。誤動作を起こしたり、本機が破損することがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。
  データの登録やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品（812SH）にはカメラ機能が搭載されていますが、カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.

Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.

本機は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。
RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。
BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

この製品では、株式会社アプリックスがJava™ アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™ が搭載されています。

JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

microSD™、miniSD™はSD Card Associationの商標です。

下記の1件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501
5,506,865	5,109,390	5,511,073	5,228,054	5,535,239
5,267,261	5,544,196	5,267,262	5,568,483	5,337,338
5,600,754	5,414,796	5,657,420	5,416,797	5,659,569
5,710,784	5,778,338			

NetFront®

本製品はインターネットブラウザおよびSMILプレーヤとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront SMIL Playerを搭載しています。

ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。

本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG.Inc.の登録商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.

FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「**他の無線局**」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。
2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンク　お客さまセンター
ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
※ 一般電話からおかけの場合、「**お問い合わせ先**」（☞P.21-28）を参照してください。

- この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

2.4FH1

Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

Microsoft、PowerPoint、Excelは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

本製品は Adobe Systems Incorporated が開発した Macromedia® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。

Macromedia、Flash、Macromedia Flash、Macromedia Flash Lite は Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® is a registered trademark of HI Corporation

ドキュメントビューアは、Picsel Technologiesにより実現しています。

Picsel, Picsel Powered, Picsel Viewer, Picsel File Viewer, Picsel Document Viewer, Picsel PDF ViewerまたはPicselキューブロゴはPicsel Technologiesの商標または登録商標です。

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

BookSurfing は株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。

- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

TVコール、S!アプリ、カスタムスクリーン、スカイメール、ムービー写メール、写メール、デルモジ、インプットメモリ、ちかチャット、マルチジョブ、S!メール、アレンジメール、フィーリングメール、S!キャスト、S!タウン、S!ループ、PCサイトブラウザ、お天気アイコン、ライブモニター、S!アドレスブック、サークルトーク、ホットステータス、生活アプリ、おなじみ操作、安心遠隔ロックはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種【812SH／813SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機【812SH／813SH】のSARは、【812SH】では1.43W/kg、【813SH】では1.50W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、右記のホームページをご参照ください。

総務省 電波利用ホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会 くらしの中の電波ホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第１４条の2)で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SAR　ポリシー」について

＊ボディ (身体) SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

当社では、ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」
米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は【812SH】では0.77W/kg、【813SH】では1.10W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【812SH／813SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ
http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
この携帯電話機【812SH／813SH】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は【812SH】では1.258W/kg*、【813SH】では0.903W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

*身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

ご利用になる前に

代表的な機能

● ▢ の利用には、市販のメモリカードが必要です。
●★の機能は、813SHでは利用できません。

サークルトーク	PCサイトブラウザ	S!タウン	S!ループ
簡単な操作で、複数の相手（お客様を含めて最大11人）と通話できます。	パソコン向けサイトを本機から閲覧できます。	S!タウンはキャラクターを操作して利用できるオンライン・コミュニケーション・アプリです。	コミュニケーションサービスを利用できます。
P.19-13	P.15-18	P.19-2	P.19-3
電子ブック／ドキュメントビューア	**USIMカード対応**	**国際ローミング対応**	**マナーモード**
電子書籍用のデータ（電子ブック）やPDFファイルなどを閲覧できます。	USIMカード内にお客様の電話番号が登録されており、他のUSIMカード対応機でも利用できます。	3G方式とGSM方式に対応しており、日本国内／海外で1つの電話番号を利用できます。	簡単な操作で本機から音が鳴らないようにできます。（マナーモード時の動作も変更できます。）
P.18-5、P.12-18	P.1-4	P.2-16	P.2-18
シンプルメニュー	**アドレス帳**	**S!アドレスブック**	**TVコール★**
初心者向けに機能を絞ったメニューで、基本的な機能が簡単に利用できます。	最大750件（1件のアドレス帳につき電話番号とE-mailアドレス各3件）まで登録できます。	サーバーにアドレス帳を保存したり、本機とサーバーのアドレス帳を同期させることができます。	お客様ご自身と相手の映像を見ながら、通話できます。
P.2-21	P.4-2	P.4-15	P.5-2
カメラ★	**メディアプレイヤー**	**データフォルダ**	**メモリカード（microSD™メモリカード）**
内蔵のカメラで、静止画や動画が撮影できます。撮影後の画像はメールで送信できます。	音楽や動画のダウンロードや、音楽の録音／再生、動画の再生ができます。	静止画や動画、メロディ、アニメーションなど、各種データをまとめて管理できます。	静止画や動画、音楽などの各種データを保存できます。
P.6-2	P.7-2	P.8-2	P.11-2

ディスプレイ設定	Language／言語選択	カスタムスクリーン	顔認証★
待受画面や着信中などにお好みの画像を表示したり、画面の文字のサイズ／太さを変更できます。 P.9-3	メニューや各種メッセージを日本語または英語に切り替えられます。 P.9-9	本機を利用中に表示される各画面を、お好みの形式に一括して変更できます。 P.9-9	お客様の顔画像を登録し、電源を入れたときなどのセキュリティ（本人確認）に利用できます。 P.9-20
Bluetooth®／赤外線通信／高速赤外線通信	**カードリーダモード**	**カレンダー／予定リスト**	**ボイスレコーダー**
Bluetooth®や赤外線通信に対応している他の機器との間で、データをやりとりできます。 P.10-2、P.10-10	本機のメモリカード内のデータを、パソコンから操作（読み書き）できます。 P.11-9	時間や期限の決まった予定や用件を登録して、スケジュールを管理できます。 P.12-2、P.12-8	本機で音声を録音／再生できます。録音した音声をメールで送信したり、着信音として利用できます。 P.12-16
バーコード／文字読み取り★	**S! FeliCa**	**S!キャスト**	**ちかチャット**
バーコードや文字を読み取ったり、アドレス帳などからQRコードを作成できます。 P.12-19、P.12-22、P.12-23	本機に搭載されているICカードを利用して、買い物の支払などができます。 P.17-2	お天気アイコンや、その他いろいろな情報が配信され、自動的に受信できます。 P.18-2	ちかチャット対応端末どうしでメッセージを直接やりとりできます。 P.19-19

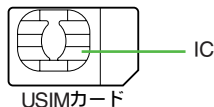
オプションサービス

転送電話サービス	留守番電話サービス	着信お知らせ機能	割込通話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。 P.13-2	電話に出られないとき、相手からのメッセージをお預かりします。 P.13-4	電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話を、記憶してお知らせします。 P.13-5	通話中にかかってきた電話を受けられます。 P.13-5
多者通話サービス	**発着信規制サービス**	**発信者番号通知サービス**	
複数で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。 P.13-6	電話をかけたり受けたりすることを制限できます。 P.13-7	お客様の電話番号を相手に通知するかどうかを設定できます。 P.13-10	

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下「**USIMカード**」と記載）は、電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていないときは、電話の発着信、メール、Yahoo!ケータイなどの機能が利用できません。

- USIMカードにはアドレス帳を保存できます。（☞P.4-3）
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードの取り付け、および取り外し時には、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

注意▶ 解約／機種変更をしたときやUSIMカードを変更したとき、本機を修理したときは、本機やメモリカードに保存した着うた®／着うたフル®／メロディ／ムービー／S!アプリ／生活アプリ／ブック／カスタムスクリーンなどのファイルが利用できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
また、別のUSIMカードを挿入すると、お買い上げ時に登録されている、S!アプリ／ブックサーフィン®／S!タウン／ちかチャットが利用できなくなることがあります。

補足▶ USIMカードについて詳しくは、USIMカードに付属の説明書を参照してください。

■本機を落としたり、強い衝撃を与えたとき

USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。
このときは、画面に「**リフレッシュ**」と表示され、リフレッシュ終了後、待受画面に戻りますが、故障ではありません。
また、画面にUSIMカード未挿入の旨が表示されているときは、電源を切り、USIMカードが正しく装着されているか確認のうえ、電源を入れ直してください。

USIMカードについてのその他ご注意

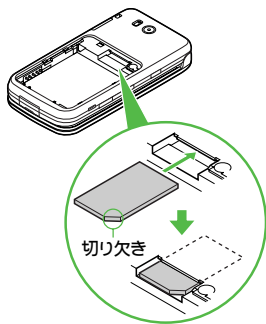
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登録された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- USIMカードや、ソフトバンク携帯電話（USIMカード装着済）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

- 電池パックを取り外した状態（☞P.1-16）で行ってください。
- USIMカードを無理に取り付けたり、取り外すと、USIMカードや本機が破損することがありますので、ご注意ください。
- USIMカードを取り付けたり、取り外すときは、IC部分に不用意に触れたり、傷を付けたりしないでください。IC部分に汚れなどが付着すると、USIMカードを正しく認識しなくなることがあります。（☞P.1-4）
また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

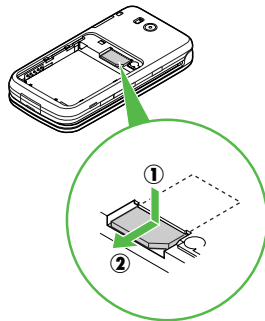
取り付ける

1 **金色のIC部分を下側にして、USIMカードを矢印方向にゆっくりと押し込む。**

2 **電池パックを取り付ける。（☞P.1-16操作3以降）**

取り外す

- 取り外したUSIMカードは紛失しないよう、ご注意ください。

1 **USIMカードを軽く押しながら、②の方向にゆっくりとスライドする。**

2 **電池パックを取り付ける。（☞P.1-16操作3以降）**

PINコード

USIMカードには、「**PIN 1 コード**」と「**PIN2コード**」の2つの暗証番号があります。

PIN 1 コード

第三者による本機の無断使用を防ぐための4～8ケタの暗証番号です。

- PIN1コードは、本機の操作で変更することができます。（☞P.9-25）
- PIN On／Off設定（☞P.9-24）を「**On**」（照合する）にすると、USIMカードを本機に取り付けて電源を入れたとき、PIN1コードを入力しないと本機を使用することができなくなります。
- お買い上げ時には、「**9999**」に設定されています。

PIN2コード

通話料金のリセットや「**通話料金上限設定**」（☞P.2-15）に使用する暗証番号です。

- PIN2コードは、本機の操作で変更することができます。（☞P.9-25）
- お買い上げ時には、「**9999**」に設定されています。

PINロック解除コード（PUKコード）

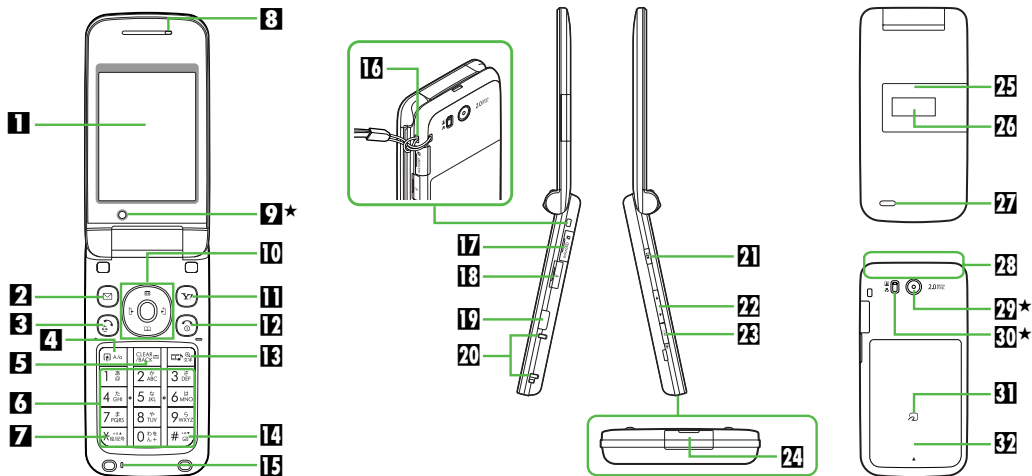
PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、「**PIN 1 ロック**」または「**PIN 2 ロック**」が設定されます。「**PINロック解除コード（PUKコード）**」は、このPINロックを解除（☞P.9-24）するための暗証番号です。

- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。

注意▶
- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされたときは、ロックを解除する方法がなくなります。お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。
- PIN On／Off設定（☞P.9-24）を「**On**」（照合する）にしているときの「**110**」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

各部の名称と機能

★の箇所（9、29、30）は、813SHにはありません。

本体

1 ディスプレイ

2 メールボタン

メールを利用するときや、画面左下のソフトキー（☞P.1-23）を利用するときに使用します。

3 開始ボタン

電話をかけるときや受けるとき、全通話履歴を表示するときに使用します。

4 ショートカット／A/aボタン

ショートカットリストを表示するときや、文字入力時に大文字⇔小文字を切り替えるときなどに使用します。

5 クリア／バックボタン

入力した電話番号､文字などを削除するときや､各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

6 ダイヤルボタン

電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。

7 ⋇ボタン
文字入力画面で、絵文字入力リストや記号リストなどを表示するときに使用します。

8 レシーバー（受話口）
相手の声がここから聞こえます。

9 インカメラ★
TVコール利用時、ここから撮影した画像が相手に送られます。

10 マルチガイド／誤動作防止ボタン
メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。
また、誤動作防止を設定／解除するときに使用します。（◉1秒以上長押し）

11 Yahoo!ケータイ・ボタン
Yahoo!ケータイを利用するときや、画面右下のソフトキー（☞P.1-23）を利用するときに使用します。

12 電源／終了ボタン
電源を入れるときや切るときに使用します。

13 マルチメディア／文字ボタン
メディアプレイヤーを起動したり、文字の入力モードを切り替えるときに使用します。
また、シンプルメニューを設定／解除するときにも使用します。（1秒以上長押し）

14 ♯ボタン

15 マイク（送話口）

16 ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付ける穴です。（金属性のストラップは取り付けないでください。）

17 メモリカードスロット
メモリカードを挿入する場所です。

18 イヤホンマイク端子
オプション品のイヤホンマイクなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

19 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

20 充電端子

21 サークルトークボタン
サークルトーク利用時に使用します。

22 音量／ズームボタン
受話音量などを調節するときや、カメラのズームを利用するときに使用します。

23 マルチジョブ機能／マナーボタン
マルチジョブ機能利用中の画面を切り替えるときに使用します。
また、マナーモードを設定／解除するときにも使用します。（1秒以上長押し）

24 外部機器端子
急速充電器やシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

25 スモールライト
着信時に点滅します。また、充電中に赤色で点灯します。

26 サブディスプレイ

27 スピーカー

28 内蔵アンテナ
この部分に通信用のアンテナが内蔵されています。

29 アウトカメラ（レンズカバー）★

30 接写スイッチ★
接写モード（「🌷」）と通常モード（「👤」）を切り替えるときに使用します。

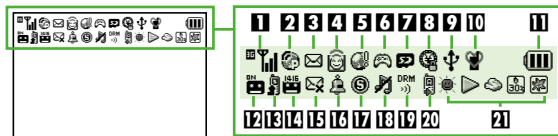
31 マーク
S! FeliCa対応サービスを利用するためのICカードが内蔵されています。
マーク付近をリーダー／ライターにかざしてください。

32 電池カバー

注意▶ **内蔵アンテナについて**
- 本機は内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。
- 内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。
- ご使用中の体の向きや通話している場所によっては、通話品質が変わることがあります。
- 電波の弱い場所では、クローズポジション（☞P.1-11）での待ち受けをおすすめします。

補足▶ P.1-7～P.1-9の操作方法は代表的なものを記載しています。

画面表示

ディスプレイ

1 電波状態表示
3Gサービス圏内： GSMサービス圏内：
※「」の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強 ：中 ：弱 ：微弱 圏外：圏外

2 着信表示／通信中表示／オフライン表示（☞P.2-20）／パケット通信表示／SSL表示（☞P.15-3）
音声電話着信中： 音声電話通話中：
TVコール着信中：※1 TVコール通話中：※1
サークルトーク着信中： オフラインモード中：
SSL対応の情報画面表示中： パケット通信利用中：
パケット通信中／待機中※2： パケットサービス圏内表示：
※1 813SHでは表示されません。
※2 IPサービス設定（☞P.9-26）が「On」で、ホットステータスの「**ネットワーク接続状況**」（☞P.19-9）が「**オンライン**」のときに表示されます。

3 メール表示（☞P.14-3）
未読メールあり： 未読配信レポートあり：
メール容量不足時：（赤色）
メール受信中： メール送信中：

4 ホットステータス表示※
ホットステータス接続中： ホットステータス通知未読あり：
ホットステータス登録要求中：
※IPサービス設定（☞P.9-26）が「On」で、ホットステータスの「**ネットワーク接続状況**」（☞P.19-9）が「**オンライン**」のときに表示されます。

5 インターネット着信表示／キャスト着信表示（☞P.18-2）／ソフトウェア更新表示（☞P.21-8）
インターネット着信あり： キャスト着信あり：
ソフトウェア更新表示：
ソフトウェア更新結果あり：
ライブモニター未読あり：

6 S!アプリ表示（☞P.16-4）／音楽再生中表示（☞P.7-5）
S!アプリ起動中： S!アプリ一時停止中：
音楽再生中：

7 メモリカード状態表示／スピーカーホン表示／マイクミュート表示（☞P.2-11）
取り付け中： 使用中： フォーマット中：
使用不可能／接触不良時：
スピーカーホン通話中： マイクミュート中：
スピーカーホン通話＋マイクミュート中：

8 マルチジョブ機能表示（☞P.1-26）／ICカードロック表示
マルチジョブ機能利用中：
ICカードロック中：

9 外部通信表示／PCサイトブラウザ使用中表示（☞P.15-18）
USB通信可能： USB通信中：
赤外線通信接続中： 赤外線通信データ送受信中：
Bluetooth®通信可能：※ Bluetooth®通信中：
Bluetooth®通話中：
※デバイスの公開を「Off」にしているときは、グレーで表示されます。
PCサイトブラウザ使用中：

10 モード表示（☞P.9-2）
マナーモード： 運転中モード： オリジナルモード：
※上記の各モードを設定しているときに表示されます。

11 電池レベル表示（☞P.1-15）
電池パックの残量（電池レベル）の目安が表示されます。
画面によっては「」で表示されます。

12 簡易留守録表示（☞P.2-9）
簡易留守録設定中：
用件録音時：（簡易留守録解除時：）

13 転送電話サービス／留守番電話サービス設定表示（☞P.13-2）
転送電話サービス／留守番電話サービス設定時：
※音声通話の「**呼出なし**」設定時に表示されます。

14 メッセージお預かり表示（☞P.13-4）
留守番電話センターに伝言メッセージあり：

15 送信失敗表示（☞P.14-9）
送信失敗メールあり：

16 アラーム表示（☞P.12-11）／予定表示（☞P.12-4）
アラーム設定時：
予定アラームON時： 予定アラームOFF時：
※予定が設定されている日に、まだ設定時刻になっていない予定があるときに表示されます。

17 シークレットモード表示（☞P.9-27）／キー操作ロック表示（☞P.9-25）／誤動作防止表示（☞P.1-22）
シークレットモード設定中：
キー操作ロック設定中： 誤動作防止設定中：

18 着信音表示（☞P.9-14）／バイブレータ表示（☞P.9-15）
通常着信音（サイレント）：
通常着信音（ステップトーン）：
バイブレータ設定時：
※サイレントでバイブレータ設定時は「」が表示されます。

19 著作権情報表示／赤外線通信表示
コンテンツ・キー受信時：
※コンテンツ・キーの空容量が少なくなってきたときは、「」（10％未満）や「」（5％未満）が表示されます。
赤外線通信可能時：（グレー）

20 自動応答（イヤホン）設定表示（☞P.9-30）／リモートモニタモード設定表示（☞P.5-8）
自動応答（イヤホン）／リモートモニタモード設定時：

21 お天気アイコン表示（☞P.18-4）

サブディスプレイ

■サブディスプレイの確認について

クローズポジションで［メール］、［◀］、［▶］のいずれかのサイドボタンを押すとバックライトが点灯し、時刻や着信後の表示（☞右記）などを確認できます。また、メール受信時に［メール］を押すと、メールの内容を確認することができます。（☞P.14-19）

- このあと、サブディスプレイの設定（☞P.9-13）に従って、サブディスプレイは消灯します。

■ディスプレイ

- ここでは代表的なものを記載しています。

1 電波状態表示
2 電池レベル表示
3 日付表示
4 時刻表示

サブディスプレイの時計表示形式を切り替える

■クローズポジションでバックライト点灯中に［メール］を押すたびに、一時的に時計表示形式［時計（大）／時計（小）／世界時計／時計＋日付］を切り替えることができます。

- この操作を行っても、時計表示設定（☞P.9-13）の設定は変更されません。
- 音楽再生中や赤外線通信中など、切り替えられないこともあります。

■着信後の表示

着信などがあったときや本機の動作によっては、サブディスプレイに次のマークが表示されます。

表示	マーク	表示	マーク
不在着信あり		配信確認あり	
簡易留守録用件あり		送信失敗メールあり	
着信お知らせあり		コンテンツキー受信あり	
留守番電話サービス伝言あり		S!アプリ開始要求あり	
アラーム動作あり		新着キャストあり	
カレンダーアラーム動作あり		キャストエラー	
予定リストアラーム動作あり		ホットステータス通知未読あり	
受信メールあり		お天気アイコン更新あり	

- マークのあとに動作内容や件数が表示されることもあります。
- 着信などの動作が3種類以上あるときは、［◀］［▶］でマークを切り替えられます。
- フィーリングメールを受信したときは、「　」などが表示されます。

ポジションについて

本書では、本機の状態を「**クローズポジション**」／「**オープンポジション**」と表記しています。

■クローズポジション

本機を2つ折りにした状態です。携帯するときは、この状態にしてください。

■オープンポジション

本機を開いた状態です。ボタン操作や通話などを行うときは、この状態にしてください。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：5℃〜35℃
- 指定品以外の充電器で充電しないでください。指定品以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。また、完全に充電できない、電源が入らないなどの原因となることがあります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。

充電を行うときは

- 充電器を本機の充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が始まるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約150分です。
  - **常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。**
- 充電中、充電器や本機があたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、ご家庭でお使いのテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器を雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックや本機、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - 極端な高温や低温環境
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、補充電を行ってください。そのままにしておくと、電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

補足▶
- 電池パック単体で充電することはできません。本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電したとき、充電中は「▯」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- オープンポジションでも充電することができます。

完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約150分（3Gモード） 約240分（GSMモード）
連続待受時間	約330時間（3Gモード） 約320時間（GSMモード）
連続操作時間	約７時間
連続再生時間	約16.5時間
TVコール連続通話時間	約80分（インカメラ使用時）

※上記の各利用可能時間は、バックライトが「**明るさ：２**」（お買い上げ時）に設定されているときのものです。

- 「**連続通話時間**」とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 「**連続待受時間**」とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機をクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 「**連続操作時間**」とは、通話をしないで連続してボタンを押し続けたときの利用可能時間です。
- 「**連続再生時間**」とは、本機をクローズポジションにして、オンラインモード、サウンド効果「**標準**」で連続して音楽を再生し続けたときの利用可能時間です。（イヤホンマイク使用時）
- 電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、本機の利用可能時間が短くなります。

- **使用環境**
  - ■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（周囲温度５℃～35℃の場所でお使いください。）
  - ■本機や電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
  - ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外で待受状態にしているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）
- **操作**
  - ■S!アプリを起動しているとき
  - ■カメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
  - ■動画を再生したとき
  - ■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
  - ■音楽を再生したり、ボイスレコーダーを録音／再生したとき
  - ■Bluetooth®通信を多く使用したとき
  - ■赤外線通信を多く使用したとき
  - ■本機のポジションを頻繁に変更したとき
- **設定**
  - ■パネル点灯時間やバックライトの点灯時間を長く設定したとき
  - ■パネル照明を明るくなるように調整したとき
  - ■Bluetooth®機能を「**On**」にしているとき
  - ■ボタン確認音が鳴動するように設定したとき

電池パックの消耗を軽減するには

ディスプレイの照明設定（☞P.9-13）を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減できます。

- バックライトの点灯時間を短く、明るさ調整を暗く、パネル点灯時間を短くするなどの設定が有効です。

電池が切れたら

充電のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ**…」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）

電池アラーム音が鳴っているときに☎を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。（マナーモード設定中は、電池アラーム音は鳴りません。）

■音声電話の通話中に電池が切れたとき

- 電池アラーム音「**ピピ**」と、断続音が約５秒間隔で鳴ります。このときは、約20秒後に通話が終了したあと、電源が切れます。電池パックを充電してください。

■TVコール通話中に電池が切れたとき

- 充電のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ…**」と鳴ると同時に通話が終了します。このあと、約20秒後に電源が切れます。

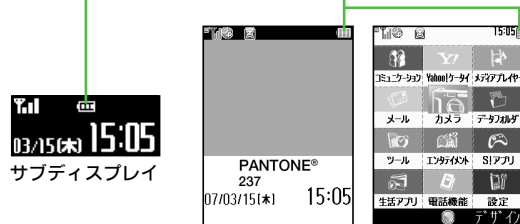
不要になった電池パックは

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

- 端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
- 電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

補足▶ **本機は、リチウムイオン電池を使用しています。**
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

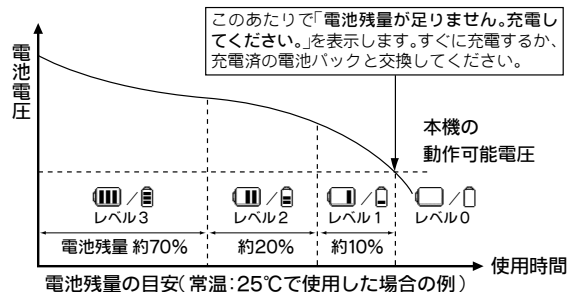
- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  ■ショートさせない。　■分解しない。

電池レベル表示の確認

- 電池残量が不足すると、電池アラーム音が鳴り、充電することをおすすめするメッセージが表示されます。このときは、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。

画面の電池レベル表示とメッセージをご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

電池残量の目安（常温：25℃で使用した場合の例）

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レベル１が早めに表示されます。
高温下では、レベル１が遅めに表示されます。

注意▶
- 上記の電池レベル表示は電池残量の目安です。
- 電池レベル表示がレベル１になると、動画の撮影、音楽の再生、ボイスレコーダーの録音などの機能が利用できません。（☞P.6-8、P.7-4、P.12-16）

スモールライト／電池レベル表示

スモールライトや電池レベル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

スモールライト	電池レベル表示（／）	状態
消灯	点滅	周囲温度が５℃～35℃以外
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了、待受中

■電源が切れているとき

スモールライト	電池レベル表示（／）	状態
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 **電池カバーの①を押しながら、②の方向にスライドする。**

2 **電池カバーを矢印の方向に持ち上げ、取り外す。**

3 **電池パックを取り付ける。**

- 印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 **電池カバーを取り付ける。**

- 電池カバーをキャビネットの両端に沿わせながら、ゆっくりとスライドさせてください。

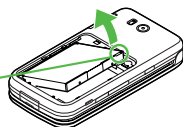
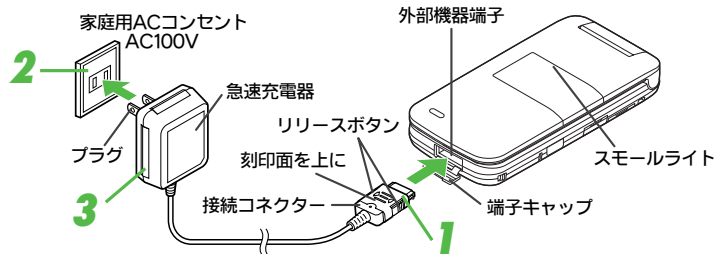
取り外す

- 必ず、本機の電源を切った状態で行ってください。
- 本機を操作したすぐあとは、電池パックを取り外さないでください。

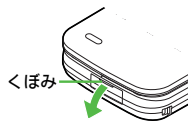
1 **電池カバーの①を押しながら、②の方向にスライドする。**

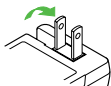
2 **電池カバーを矢印の方向に持ち上げ、取り外す。**

3 **電池パックを持ち上げ、取り外す。**

- この部分から電池パックを持ち上げます。

急速充電器を利用して充電する

必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、急速充電器の接続コネクターを本機に差し込む。

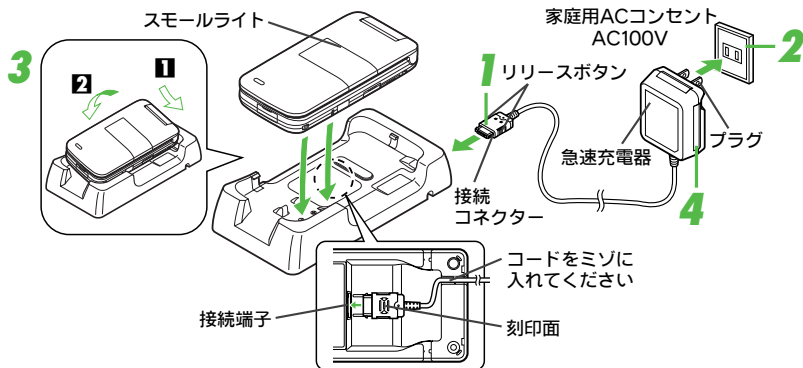
- 接続コネクターを水平になるようにして、「**カチッ**」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 端子キャップを開くときは、くぼみ部分から矢印の方向に開いてください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

- 充電が始まります。［充電時間：約150分］
（スモールライト赤色点灯：☞P.1-15）
- スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。
- 家庭用ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 充電が完了したら…
本機から接続コネクターを外し、プラグを家庭用ACコンセントから抜く。

- 接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- 本機の端子キャップを元に戻してください。

注意▶
- 急速充電器を携帯するときなどは、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。
- 急速充電器は家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

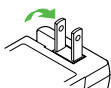
卓上ホルダーを利用して充電する

●卓上ホルダーはオプション品です。

必ず、付属の急速充電器を使用してください。

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

●卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。
●急速充電器の接続コネクターの挿入方向に注意して、「**カチッ**」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

●家庭用ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 本機に電池パックを取り付け、卓上ホルダーに置く。

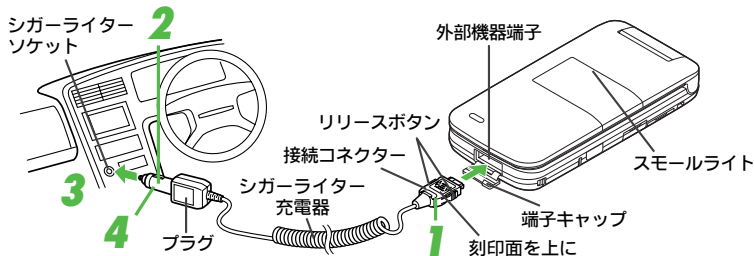
●1のように本機を挿入し、2の矢印の方向に「**カチッ**」と音がするまで押し下げてください。
●充電が始まります。［充電時間：約150分］（スモールライト赤色点灯：☞P.1-15）
●スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。

4 充電が完了したら…

卓上ホルダーから本機を取り外し、プラグを家庭用ACコンセントから抜く。

●急速充電器の接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

シガーライター充電器を利用して充電する

●シガーライター充電器はオプション品です。

1 外部機器端子の端子キャップを開き、シガーライター充電器の接続コネクターを本機に差し込む。

●接続コネクターを水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

●充電が始まります。［充電時間：約150分］
（スモールライト赤色点灯：☞P.1-15）

●スモールライトが消灯すれば、充電は完了です。

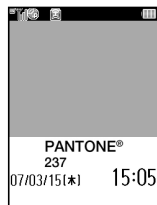
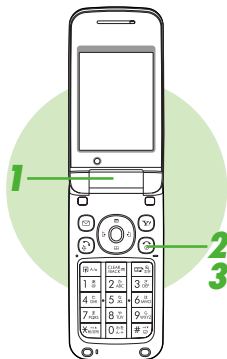
補足▶
●シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
●シガーライター充電器を使って充電するときは、本機を固定させるため、車載ホルダーを利用することをおすすめします。

4 充電が完了したら…
本機から接続コネクターを外し、プラグをシガーライターソケットから抜く。

●接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

●本機の端子キャップを元に戻してください。

注意▶
●オプション品のシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）
プラスアース車では使用しないでください。
●シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しないことがあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
●シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
●炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。
●自動車を運転するときは、本機を絶対にお使いにならないでください。

電源を入れる／切る

待受画面

1 本機をオープンポジションにする。

2 を長く（「しばらくお待ちください」と表示されるまで）押す。

しばらくすると、起動画面が表示されたあと、「**待受画面**」が表示されます。

3 電源を切るときは…

を長く（２秒以上）押す。

終了画面が表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

はじめてお使いになるとき

■起動画面が表示されたあと、オーナー情報設定の確認画面が表示されます。次の操作を行ってください。

「はい」選択➡◉➡**名前（姓）入力**➡◉➡**名前（名）入力**➡◉

■お買い上げ後、はじめて、、◉を押すと、ネットワーク自動調整を行う確認画面が表示されます。次の操作を行ってください。

「はい」選択➡◉

- ネットワーク自動調整を行うと、日付／時刻が設定されます。また、メールやYahoo!ケータイなどネットワークを利用するサービスが利用できるようになります。
- ネットワーク自動調整は、手動で行うこともできます。（☞P.10-15）
- 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

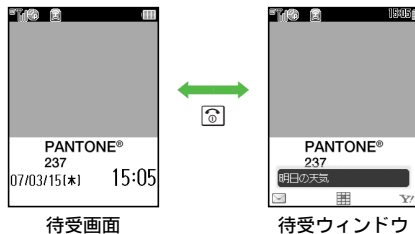
待受画面に戻す

■機能を呼び出したあとやメニューを表示したあとなどに、各画面でを押すと、待受画面に戻ります。

- 確認画面が表示されたときは、「**はい**」を選び◉を押すと待受画面に戻ります。

注意▶
- 電源を入れたときにUSIMカードのデータを読み込むため、電波状態が表示されるまで時間がかかることがあります。また、はじめて電源を入れたときは、通常よりも時間がかかります。
- USIMカードが未装着のときは、画面にUSIMカードが未挿入の旨が表示されます。詳しくは、P.1-4を参照してください。

補足▶ 本機は、通話中や操作をしない状態（クローズポジションを除く）が続くと、電池パックの消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。

待受ウィンドウを表示する

待受画面　待受ウィンドウ

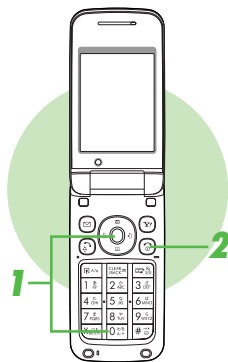
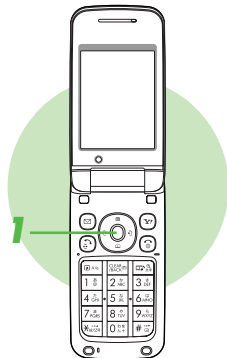
■待受画面で[電源]を押すと、待受ウィンドウ（☞P.9-6）を表示するかどうかを切り替えることができます。

お客様の電話番号を確認する

1 ●[0わをん+]の順に押す。

お客様の電話番号が表示されます。

- このあと、お客様の情報（オーナー情報）の登録／編集も行えます。（☞P.4-19）

2 電話番号の確認を終わるときは、[電源]を押す。

誤ってボタンが押されるのを防ぐ（誤動作防止）

カバンの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。

誤動作防止を設定する

1 ◉を長く（1秒以上）押す。

「🔒」が表示され、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止を解除する

1 誤動作防止が設定されている待受中に、◉を長く（1秒以上）押す。

「🔒」が消え、誤動作防止が解除されます。

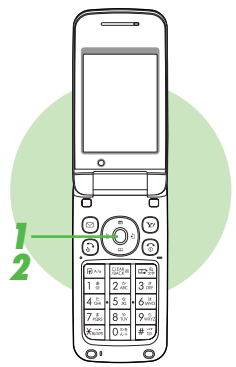
注意▶ 誤動作防止設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

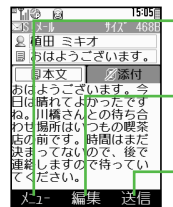
補足▶ **誤動作防止設定中は**

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、[通話]を押して電話に出ることができます。［エニーキーアンサーを「On」にしているとき（☞P.9-17）は、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押しても電話に出られます。］
  通話終了後には、再度誤動作防止が設定されます。
- [終話]を長く（2秒以上）押しても、電源は切れません。

機能の呼び出し方

メインメニュー

カスタムスクリーン（☞P.9-9）を利用できます。

メインメニューから機能を呼び出す

本機のいろいろな操作は、「**メインメニュー**」から行います。

1 **◉を押す。**

メインメニューが表示されます。

2 **でメニューを選び、◉を押す。**

選んだメニュー内のサブメニュー（☞P.21-2～P.21-3）が表示されます。

ソフトキーの使い方

■各メニュー画面や操作画面では、次のように最下行にボタン操作を示す説明が表示されることがあります。

✉を押したときの動作を示します。

◉を押したときの動作を示します。

Y!を押したときの動作を示します。

■メインメニューの項目

コミュニケーション	ホットステータス、サークルトーク、S!タウン、S!ループ、ちかチャットが利用できます。
Yahoo!ケータイ	Yahoo!ケータイやPCサイトブラウザ、ライブモニターが利用できます。
メディアプレイヤー	動画や音楽を再生するメディアプレイヤーが利用できます。
メール	メールが利用できます。
カメラ	カメラが利用できます。
データフォルダ	データフォルダ内のファイルが利用できます。
ツール	カレンダー、アラームなど便利な機能が利用できます。
エンタテイメント	ブックサーフィン®、電子ブック、S!キャストが利用できます。
S!アプリ	S!アプリが利用できます。
生活アプリ	買い物の支払などに使用するICカードの各種設定が行えます。
電話機能	アドレス帳が利用できます。
設定	各種設定が行えます。

簡単な操作で機能を呼び出す

ショートカットを利用する

よく使う機能を1～9のボタン１つで呼び出せます。

● お買い上げ時には、1～9の各ボタンに、次の機能がショートカットとして登録されています。

キー	機能	キー	機能	キー	機能
1	受信ボックス（メール）	4	カレンダー	7	電卓
2	新規作成（S!メール）	5	アドレス帳	8	アラーム
3	ブックマーク	6	データフォルダ	9	Bluetooth®

1 待受画面で1～9のいずれかを長く（１秒以上）押す。

ショートカットリストに登録されている機能が利用できるようになります。

ショートカットリストを編集する

●「**メインメニュー**」、「**電話番号入力**」は編集できません。

機能の変更	ショートカット画面で表示される機能を変更／上書きします。

A/a ➡ 上書きする機能選択 ➡ ✉（メニュー）➡「登録」選択 ➡ ● ➡ 登録する機能選択 ➡ ✉（決定）

機能の移動	ショートカット画面で表示される機能の順番を変更します。

A/a ➡ 移動する機能選択 ➡ ✉（メニュー）➡「移動」選択 ➡ ● ➡ ◎（移動先選択）➡ ●

設定リセット	ショートカットをお買い上げ時の状態に戻します。

A/a ➡ ✉（メニュー）➡「設定リセット」選択 ➡ ● ➡「はい」選択 ➡ ●

クイックオペレーションを利用する

待受画面で数字を入力すると、音声電話などの発信に加え、数字のケタ数に応じて利用できる機能が画面に表示されます。この状態で、機能名の前に表示されるボタンを押すと、その機能を操作できます。

入力した数字のケタ数に応じて、次の機能が利用できます。

機能＼数字のケタ数	1	2	3	4	5～6	7～10	11～12	13～24	25～32
スピードダイヤル（☞P.4-14）	○	×	×	×	×	×	×	×	×
スピードTVコール（☞P.4-14）	○	×	×	×	×	×	×	×	×
電卓（☞P.12-15）	○	○	○	○	○	○	○	×	×
マネー積算メモ（☞P.12-25）	○	○	○	○	○	×	×	×	×
簡単メール（☞P.14-33）	○※1	×	×	×	×	×	×	×	×
カレンダー（☞P.12-2）	×	×	×	○※2	×	×	×	×	×
アラーム（☞P.12-11）	×	×	×	○※3	×	×	×	×	×
サークルトーク発信（☞P.19-14）	×	×	×	×	×	×	○	○	×
国際発信（☞P.2-5）	×	×	×	×	○	○	○	○	○

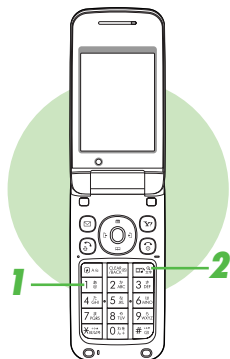
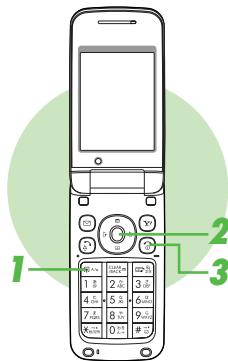
※1 ダイヤル後✉（**メール**）を押してください。また、あらかじめ簡単メール宛先（☞P.14-33）を登録しておく必要があります。

※2 ダイヤル後◎を押してください。当日を含む1年以内で、指定した日を含むカレンダーが表示されます。ただし、存在しない月日［例：「**4月31日**」（0431）］を入力しても、カレンダーは表示されません。

※3 設定する時刻を24時間制の4ケタで入力してください。

■例：「1111」と入力して電卓を呼び出すとき

1 1 1 1 1 **の順に押す。**

2 📺 **を押す。**

操作中に他の機能を呼び出す［マルチジョブ機能（マルチアプリ）］

操作中に他の機能を呼び出して操作することができます。

1 操作中に、[A/a]を押す。

ショートカット画面が表示されます。

- 利用できない機能はグレー表示されています。
- S!アプリ起動中など、マルチジョブ機能が利用できない状態や機能では、[A/a]は働きません。
- 文字入力画面や電話番号入力画面では、[A/a]を長く（1秒以上）押してください。

2 機能を選び、◉を押す。

選んだ機能の画面が表示されます。（「[アイコン]」点灯）

- [キー]を押すと、画面の切り替えができます。

3 マルチジョブ機能を終了するときは、[終話]を押す。

他の機能の画面が表示されます。（「[アイコン]」消灯）

確認画面表示時：「**はい**」選択➡◉

マルチジョブ機能利用中に電話がかかってくると

■◉を押すと、電話を受けることができます。
通話を終えると、通話前に操作していた機能の画面に戻ります。

補足▶ 本書では、「**マルチジョブ機能（マルチアプリ）**」を「**マルチジョブ機能**」と記載しています。

暗証番号

本機のご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」が必要になります。
各暗証番号について詳しくは、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。

操作用暗証番号

本機の各機能を操作するときに使用する4ケタの暗証番号です。（お買い上げ時には、「9999」に設定されています。）
- 入力した操作用暗証番号は「¥」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違えて入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は本機の操作で変更できます。（☞P.9-28）

交換機用暗証番号

ご契約時の4ケタの暗証番号で、「**オプションサービスを一般電話から操作するとき**」や、「**インターネットの有料情報の申し込み**」に必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4ケタの暗証番号で、本機で発着信規制サービス（☞P.13-7）の設定を行うときに使用する番号です。
- 入力を続けて3回間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。
- 発着信規制用暗証番号は本機の操作で変更できます。（☞P.13-10）

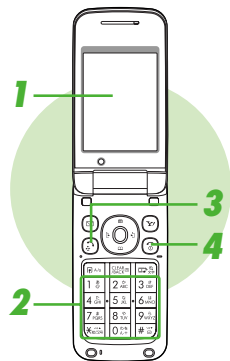
注意▶
- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、お忘れにならないようご注意ください。
- 操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足▶ 本機のご使用にあたっては、上記の他に「PIN1コード」や「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。（☞P.1-6）

基本的な操作のご案内

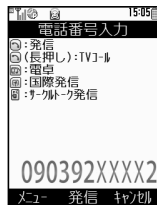
電話をかける

日本国内で音声電話をかける操作を説明します。

●日本国内で国際電話をかける操作はP.2-5、海外で音声電話をかける操作はP.2-17、TVコールをかける操作はP.5-3を参照してください。

1 電源が入っていることを確認する。

●電波状態を確認してください。
（☞P.1-9 1）

●画面に「圏外」、「」、「」、「」が表示されているときは、ご利用になれません。
（☞P.21-4～P.21-6）

2 市外局番からダイヤルする。

●同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたとき

●で、カーソル「＿」を移動したあとを押すと、カーソル位置の番号が消えます。

●を長く（1秒以上）押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。ただし、カーソルを移動しているときは、カーソル位置より後ろの番号がすべて消えます。

●を押したあとで間違いに気付いたら、を押して電話を切り、かけ直してください。

相手がお話し中のとき

●を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話を終了するときは、を押す。

●本機をクローズポジションにしても、通話は切れます。

注意

●通話時にマイクをふさいでいると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。
●内蔵アンテナ部分には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
●体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなることがあります。

補足

●通話時間や通話料金の目安を確認することもできます。（☞P.2-14、P.2-15）
●スピーカーホンやマイクミュート、保留など通話中の操作については、P.2-11を参照してください。
●ダイヤル後に（メニュー）を押して、電話番号の通知／非通知を選ぶこともできます。

緊急電話（「110」、「119」、「118」）発信について

緊急通報位置通知について

「**緊急通報位置通知**」とは、お客様がソフトバンク携帯電話（3G）から緊急電話（「110」、「119」、「118」）を行った場合、お客様が発信した際の位置情報を、緊急通報受理機関（警察など）へ通知するシステムです。

- 本機では、受信している基地局測位情報をもとに算出した位置情報を通知します。
- 申込料金、通信料は一切かかりません。

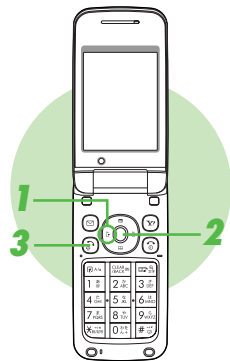
注意▶

- お客様の発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関へ、必ず口頭でお客様の発信場所や目的をお伝えください。
- 「184」（発信者番号非通知）を付けて、緊急電話（「110」、「119」、「118」）を行ったときなどは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。
（ただし、緊急通報受理機関が人命等に差し迫った危険があると判断したときは、同機関がお客様の位置情報を取得することがあります。）
- 国際ローミング（☞P.2-16）を使用しているときは、ご利用になれません。

緊急電話発信時の機能の制限について

本機の各機能を利用して発信の制限などを設定しているとき、緊急電話の利用は次のようになります。

機能	緊急電話
誤動作防止（☞P.1-22）	発信可
通話料金上限設定（☞P.2-15）	発信可
オフラインモード（☞P.2-20）	発信不可
PIN On／Off設定（☞P.9-24）	発信不可
キー操作ロック（☞P.9-25）	発信可
発信規制（☞P.13-8）	発信可

注意▶ 海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

以前かけた電話番号にもう一度かける（発信履歴）

以前かけた電話番号を呼び出して簡単に電話をかけられます。
●最新の30件まで記憶しています。

1 ◎（ ）を押す。

記憶している電話番号と日時の新しいものが上から順に一覧表示されます。
●本機のアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
●◎を押すと、着信履歴や全通話履歴を確認できます。

2 電話番号を選び、◉を押す。

3 を押す。

表示されている電話番号に発信されます。

■マークについて

電話番号や名前の行の左端に表示されるマークの意味は、次のとおりです。

	音声電話発信		TVコール発信
	サークルトーク発信		

補足▶
●同じ電話番号に2回以上発信したときは、最後にかけた日時だけが記憶されます。（サークルトーク発信時は毎回記憶されます。）
●電源を切っても発信履歴の記憶は消えません。
●30件を超えたときは、古いものから削除されます。個別に削除することもできます。（☞P.2-13）

国際電話をかける（日本国内→海外）

日本国内から海外に国際電話をかけることができます。
- 海外で音声電話をかける操作は、P.2-17を参照してください。
- 国際電話の利用には、別途お申し込みが必要です。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。

1 相手の電話番号をダイヤルする。
- 一般電話にかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「国際発信」を選び、◉を押す。
国名リストが表示されます。

4 相手の国を選び、◉を押す。
電話番号の前に「＋」（国際コード）と国番号が表示されます。
■ リスト以外の国にかける：「**国番号入力**」選択 ➡◉➡ 国番号入力➡◉

5 ☎を押す。

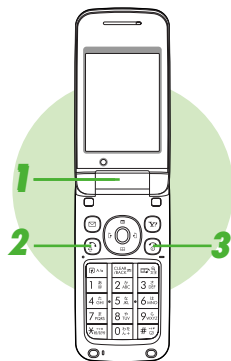
補足▶
- 国際コードは変更することができます。（☞P.9-29）
- よく利用する国番号が国名リストに登録されていないときは、「**国番号リスト**」（☞P.9-29）の操作で追加できます。
- 国際電話の発信を規制することもできます。（☞P.13-7）

クイックオペレーションを利用する

■次の操作を行います。
電話番号入力➡[A/a]➡国選択➡◉➡操作5へ

国番号などを直接ダイヤルする

■次の操作を行います。
[0]（1秒以上）（「＋」表示）➡国番号入力➡電話番号入力（先頭の「0」を除く）➡操作5へ
- イタリア（国番号：39）にかける場合、電話番号の先頭に「0」があるときは、「0」を省かずに入力してください。

電話を受ける

1 着信中に、本機をオープンポジションにする。

■ 着信を拒否する：着信中に✉（**メニュー**）➡「**着信拒否**」選択➡◉
- 電話が切れ、着信履歴に記憶されます。

■ 着信を応答保留にする：着信中に☎
- 着信を受ける：上記操作のあと☎

■ TVコール着信時：☞P.5-3

2 ☎を押す。

エニーキーアンサーを「On」にしているとき（☞P.9-17）
- 次のボタンでも電話が受けられます。
  0〜9、＊、＃、◎、A/a、文字

3 通話を終了するときは、☎を押す。
- 本機をクローズポジションにしても、通話は切れます。

補足▶
- 電話番号を通知してこない相手から着信があったときは、「**非通知設定**」と表示されます。
- 着信内容と日付は30件まで記憶されており、あとで確認できます。（☞P.2-13）
- 簡易留守録に設定していないときに、その着信に限り、簡易留守録で応答することもできます。（☞P.2-10）
- 着信音の音量やパターン、バイブは変更できます。（☞P.9-14〜P.9-16）
- 着信中に次のボタンを押すと、着信音をその着信に限り消すことができます。
  - オープンポジションのとき：CLEAR/BACK／⊡（１秒以上）
  - クローズポジションのとき：⊡（１秒以上）

電話に出られないときに便利な機能

■転送電話サービス：☞P.13-2

あらかじめサービスを開始しておけば、着信中にⓎ（**転送**）を押して、登録した電話番号に電話を転送できます。

■留守番電話サービス：☞P.13-4

あらかじめサービスを開始しておけば、電波の届かない場所にいるときや、通話中のため電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

また、電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話を、インフォメーションでお知らせすることもできます。（着信お知らせ機能：☞P.13-5）

■簡易留守録：☞P.2-9

あらかじめ設定しておけば、相手の用件を本機に録音することができます。

- 設定していないときに、一時的に簡易留守録で応答することもできます。（☞P.2-10）

インフォメーションについて

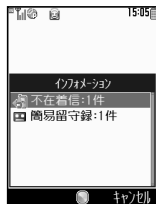
■かかってきた電話に出なかったときや、簡易留守録で応答したときなどは、インフォメーションが表示されます。

- 「**不在着信**」を選び◉を押すと、着信履歴（☞P.2-13）が表示されます。
- 「**簡易留守録**」を選び◉を押すと、用件が再生されます。（☞P.2-10）

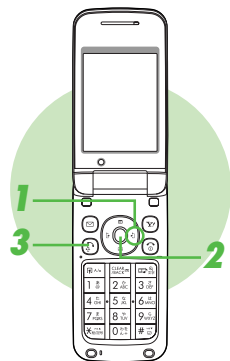
■インフォメーションには、不在着信や簡易留守録以外の情報も表示されます。項目を選び◉を押すと、それぞれの情報や各機能の画面が表示されます。

■次の操作を行うと、インフォメーションの履歴を確認できます。

◉➡「**電話機能**」選択➡◉➡「**インフォメーション**」選択➡◉

■ 履歴を消去する：インフォメーション選択画面で✉（**メニュー**）➡「**インフォメーションリセット**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

マイク付ステレオイヤホンを利用して電話を受ける

■着信中にスイッチを長く（1秒以上）押すと、電話を受けることができます。

- 電話を切るときは、スイッチを「**ピッ**」と音が鳴るまで長く（1秒以上）押します。

かけてきた相手にかけ直す（着信履歴）

相手が番号を通知して電話をかけてきたときは、その番号を表示して電話をかけられます。
●最新の30件まで記憶しています。

1 （ ）を押す。

記憶している電話番号と日時の新しいものが上から順に一覧表示されます。
●本機のアドレス帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
●を押すと、発信履歴や全通話履歴を確認できます。

2 電話番号を選び、を押す。

3 を押す。

表示されている電話番号に発信されます。

■マークについて

電話番号や名前の行の左端に表示されるマークの意味は、次のとおりです。

	音声電話着信		音声電話着信拒否
	TVコール着信		TVコール着信拒否
	サークルトーク着信		着信お知らせ
	音声電話不在着信		簡易留守録着信
	TVコール不在着信		留守番電話サービス転送
	サークルトーク不在着信		

補足▶ ●シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
●電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
●30件を超えたときは、古いものから削除されます。個別に削除することもできます。（☞P.2-13）

簡易留守録

電話を受けられないとき、相手の用件を録音します。

- 簡易留守録は、電源が切れていたり、オフラインモードを設定しているとき、「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービス（☞P.13-4）をご利用ください。
- 簡易留守録で録音できるのは、ボイスメモ（☞P.2-12）と合わせて20件まで、または最長約90秒です。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

簡易留守録を設定／解除する

メニュー ▶ 設定 ▶ 通話／TVコール設定 ▶ 簡易留守録設定

1 「On／Off設定」を選び、◉を押す。

応答文を再生する：「**応答文再生**」選択➡◉

■ 再生の停止：上記操作のあとCLEAR/BACK

2 ***簡易留守録を設定する***

❶「On」を選び、◉を押す。

簡易留守録が設定されます。

- 設定完了後、☎を押すと待受画面に戻り、「」（用件録音時は「」）が表示されます。

簡易留守録を解除する

❶「Off」を選び、◉を押す。

簡易留守録が解除されます。

補足 待受画面でCLEAR/BACKを長く（1秒以上）押しても、簡易留守録を設定／解除できます。

注意
- 録音できる時間が12秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定できません。不要なメッセージを削除してください。
- TVコール着信時に簡易留守録は利用できません。
- 通常モード以外の簡易留守録の設定は、モード設定（☞P.9-2）の各モードの設定内容に従って動作します。

簡易留守録を設定すると

■着信があると、相手に応答文が流れたあと録音が始まります。

- 録音中に本機をクローズポジションにしても、録音は止まりません。
- 録音中に電話に出るときは、☎を押します。（録音内容は残りません。）
- 録音が終わると、「」が表示されます。

■録音後、簡易留守録が設定できない状態になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「」が表示されます。

録音された用件を聞く

メニュー ▶ 電話機能

1 「簡易留守録再生」を選び、◉を押す。

録音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まります。

- 再生中の用件をはじめから再生：再生中に◎
- 再生途中の停止：再生中にCLEAR/BACK
- 次の用件を再生：再生中に◉（次へ）／◎
- 前の用件を再生：再生中に◎（２回連続）
- 再生中の用件を削除：✉（**削除**）➡「**はい**」選択➡◉

注意▶ 再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。電話に出るときは、📞を押してください。

補足▶ 待受画面でCLEAR/BACKを押しても、用件が再生できます。

留守録応答中や録音中の受話音量を変更する

■簡易留守録で応答中や簡易留守録で録音中の、相手の声の音量を変更します。

◉➡「**設定**」選択➡◉➡◎（「**通話／TVコール設定**」選択）➡「**簡易留守設定**」選択➡◉➡「**音量設定**」選択➡◉➡「**受話音量連動**」／「**サイレント**」選択➡◉

- 「**受話音量連動**」を選ぶと、相手の声は、設定済の受話音量と同じ音量に設定されます。

応答時間を変更する

■電話がかかってきてから簡易留守録が応答するまでの時間を、０～30秒の間で設定できます。

◉➡「**設定**」選択➡◉➡◎（「**通話／TVコール設定**」選択）➡「**簡易留守設定**」選択➡◉➡「**応答時間設定**」選択➡◉➡**設定時間入力（00～30秒）**➡◉

■着信音を鳴らさずに簡易留守録で応答：設定時間入力時に「00」入力➡◉

- お買い上げ時には、「９秒」に設定されています。

■簡易留守録をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：簡易留守録の呼出し時間… 9秒
各サービスの呼出し時間…10秒

と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

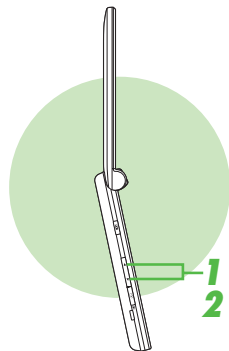
- 簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると転送電話／留守番電話サービスが優先されます。

簡易留守録を設定していないときの操作

■着信中に次の操作を行うと、応答文が流れたあと、録音できます。

✉（**メニュー**）➡「**簡易留守録**」選択➡◉

- その着信に限り留守録音します。（簡易留守録の設定は「Off」のままです。）

通話中の操作

受話音量を調節する

受話口から聞こえる相手の声の大きさを、5段階で調節できます。

- 変更した音量は、電源を切っても保持されます。
- 受話音量をあらかじめ設定しておくこともできます。(☞P.9-17)
- お買い上げ時には、「**音量3**」に設定されています。

1 **通話中に、▶または◀を押す。**

2 **▶(小さくする)または◀(大きくする)を押す。**

音声の出力先や出力方法を設定する

スピーカーホン	スピーカーを使って通話します。

通話中に◉

■ スピーカーホン通話の解除:スピーカー通話中に◉

マイクミュート	こちらの声を相手に聞こえないようにします。相手の声はこちらに聞こえます。

通話中に[Y!](ミュート)

■ マイクミュートの解除:マイクミュート通話中に[Y!](**ミュートオフ**)

保留	双方の声を聞こえないようにします。相手には保留音が流れます。

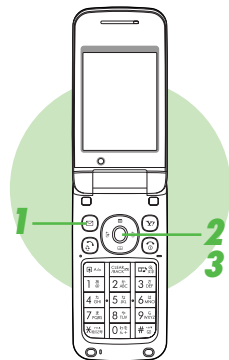
■「**割込通話サービス**」(☞P.13-5)または「**多者通話サービス**」(☞P.13-6)のお申し込みが必要です。

通話中に[✉](メニュー)➡「保留」選択➡◉

■ 保留の解除:保留中に[✉](**メニュー**)➡「**通話再開**」選択➡◉
■ [⤶]を押しても解除できます。

プッシュトーンを送信する

■通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュトーンが送信されます。本機からポケットベルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作できます。

- 送信できるプッシュトーンは「0」~「9」、「*」、「#」です。

通話中に相手の声を録音する（ボイスメモ）

- 録音できる時間は、簡易留守録（☞P.2-9）と合わせて20件まで、または最長約90秒です。

1 通話中に、✉（メニュー）を押す。

2 「ボイスメモ録音」を選び、◉を押す。

録音が始まります。

3 録音を終了するときは、◉を押す。

- 電話を切っても、録音は終了します。（録音内容は消去されません。）

録音内容の再生 通話中に録音したボイスメモを再生します。

メニュー ▶ 電話機能

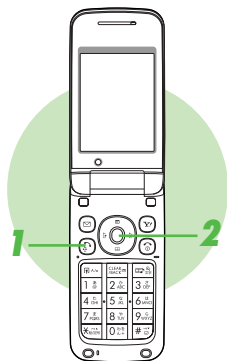
「簡易留守録再生」選択➡◉

■ 再生中の操作：☞P.2-10

その他通話中にできること

アドレス帳確認	本機に登録済のアドレス帳を表示します。
	✉（**メニュー**）➡「**アドレス帳**」選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉
アドレス帳登録	通話中にアドレス帳を登録します。
	✉（**メニュー**）➡「**アドレス帳**」選択➡◉➡✉（**メニュー**）➡「**新規登録**」選択➡◉➡P.4-4操作２以降
メール確認	受信ボックス／送信済みボックス／下書き内のメールが確認できます。
	✉（**メニュー**）➡「**メール**」選択➡◉➡確認項目選択➡◉
メール作成	メールを新規作成します。
	✉（**メニュー**）➡「**メール**」選択➡◉➡「**新規作成**」／「**SMS新規作成**」選択➡◉➡P.14-7操作３以降、P.14-6操作３以降
通話中発信	第三者に電話をかけます。
	✉（**メニュー**）➡「**発信**」選択➡◉➡相手の電話番号入力➡📞
トーン送出On／Off	ダイヤルボタンを押したとき、プッシュトーンを発信するかどうかを設定します。
	✉（**メニュー**）➡「**トーン送出Off**」／「**トーン送出On**」選択➡◉

補足▶ 上記各操作の他、Bluetooth®を利用してハンズフリー機器などを接続しているときに、音声出力先を切り替えることもできます。（☞P.10-8）

発着信履歴の確認

発着信の履歴を確認します。確認できる内容は、次のとおりです。

全通話履歴	すべての発着信履歴です。
発信履歴	こちらから電話をかけた履歴です。
着信履歴	かかってきた電話の履歴です。

1 **[発信キー]を押す。**

全通話履歴が表示されます。

■ 他の履歴の確認：[左右キー]

2 **履歴を選び、●を押す。**

選んだ履歴の詳細が表示されます。

補足▶ 通話中に[発信キー]を押しても全通話履歴を確認できます。

履歴の削除 履歴を１件ずつ削除します。

[発信キー]➡履歴選択➡[メールキー]（メニュー）➡「削除」選択➡●➡「はい」選択➡●

履歴の全件削除 履歴を全件削除します。

[発信キー]➡履歴の種類選択➡[メールキー]（メニュー）➡「全件削除」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡●➡「はい」選択➡●

補足▶ 履歴を利用してアドレス帳へ登録することもできます。（☞P.4-8）

発着信履歴を利用する

発信 履歴を利用して電話をかけます。

[発信キー]➡履歴選択➡[メールキー]（メニュー）➡「発信」／「TVコール」選択➡●

■ 電話番号を編集して発信：履歴選択後[メールキー]（メニュー）➡「編集して発信」選択➡●➡番号編集➡[発信キー]（音声電話）／[発信キー]（１秒以上：TVコール）

メール作成 新規メールを作成します。

[発信キー]➡履歴選択➡[メールキー]（メニュー）➡「メール作成」選択➡●➡「S!メール」／「SMS」選択➡●➡P.14-8操作５以降、P.14-6操作５以降

通話時間／パケット量表示

通話時間を確認する

直前（前回）の通話時間、累積の通話時間の目安を確認します。

- 電話をかけたときの時間（発信履歴）と、かかってきたときの時間（着信履歴）を、個別に確認できます。
- 通話中に、通話時間の目安を表示することもできます。（☞P.9-30）

1 「発信通話時間」または「着信通話時間」を選び、◉を押す。

2 確認を終了するときは、◉を押す。

- ☎を押すと、待受画面に戻ります。

補足▶
- 電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積の通話時間の記憶は消えません。
- 着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。（保留中は計算されます。）

通話時間消去	通話時間の目安を消去します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎） ➡ 通信時間・料金 ➡ 通話時間

「リセット」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「はい」選択➡◉

パケット量を確認する

- パケットの料金は確認できません。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎） ➡ 通信時間・料金 ➡ データ通信

1 「前回パケット」または「累積パケット」を選び、◉を押す。

2 確認を終了するときは、◉を押す。

- ☎を押すと、待受画面に戻ります。

パケット量消去	パケット量の目安を消去します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎） ➡ 通信時間・料金 ➡ データ通信

「リセット」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

通話料金表示

直前（前回）の通話料金の目安や、累積の通話料金の目安を確認します。

●通話後、自動的に通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.9-30）

●通話料金表示機能は、ご契約の内容により利用できないことがあります。また、そのときは通話料金上限設定も利用できません。

1 「前回通話料金」または「累積通話料金」を選び、◉を押す。

2 確認を終了するときは、◉を押す。

●を押すと、待受画面に戻ります。

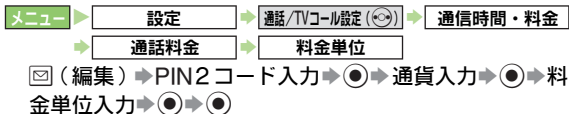
補足▶
●電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積の通話料金の記憶は消えません。
●オプションサービスの多者通話サービスを利用したときは、合算した通話料金を表示します。

通話料金消去	通話料金の目安を消去します。

「リセット」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉➡「はい」選択➡◉

料金単位設定	通話時間と通話料金の換算単位を設定します。

お買い上げ時 1円

✉（編集）➡PIN2コード入力➡◉➡通貨入力➡◉➡料金単位入力➡◉➡◉

通話料金の上限を設定する

通話料金上限設定	通話料金の上限（限度額）を設定します。設定した限度額を超えると、発信できなくなります。

「料金限度額」選択➡◉➡Y!（設定）➡「設定する」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉➡限度額入力➡◉

- 通話料金上限の解除：「**料金限度額**」選択➡◉➡Y!（**設定**）➡「**設定しない**」選択➡◉➡PIN2コード入力➡◉
- 通話料金上限の変更：「**料金限度額**」選択➡◉➡✉（**編集**）➡PIN2コード入力➡◉➡限度額入力➡◉
- 残額の確認：「**残り度数**」選択➡◉

注意▶ 通話料金上限設定中、限度額を超えたときの「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

海外での利用（国際ローミング）

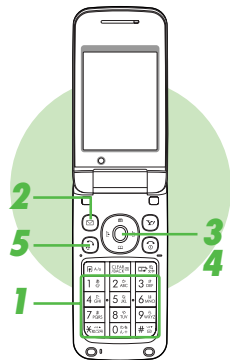
モードを切り替える

本機には、次の4つのモードがあります。
- お買い上げ時には、「**自動**」に設定されています。
- 通常は「**自動**」に設定してお使いいただくことをおすすめします。

自動		電源を入れたときに、お使いの場所（ネットワークの状態）に最適なモードを自動的に設定します。（「**自動**」への設定変更時にも、最適なモードを自動的に設定します。）
	3G／GSMモード	3GとGSMの両サービスエリアで使用するモードです。
	3Gモード	3Gサービスだけ使用するモードです。
	GSMモード	GSMサービスだけ使用するモードです。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（◎） ➡ 3G／GSM設定

1 「自動」、「3G／GSM」、「3G」、「GSM」のいずれかを選び、◉を押す。
切り替えたモードで使用できるようになります。

注意▶
- 国際ローミングの利用には、別途お申し込みが必要です。国際ローミングのしくみ、使用できる国や地域、料金などについて詳しくは、「**国際ローミングガイド**」を参照してください。また、使用できる機能や制限などについては、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。
- 海外にお出かけになるときは、「**国際ローミングガイド**」を携帯してください。

海外で電話をかける

- 日本でお使いのお客様のソフトバンク携帯電話番号をそのまま海外でご利用いただけます。

滞在国から滞在国以外の国にかける

1 相手の電話番号をダイヤルする。
- 一般電話にかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

2 ✉（メニュー）を押す。

3 「国際発信」を選び、◉を押す。
国名リストが表示されます。
■ 日本にかける：「**日本へ発信**」選択➡◉➡操作5へ

4 相手の国を選び、◉を押す。
- 電話番号の前に「＋」と国番号が入力されます。また、電話番号の先頭の「0」は削除されます。

■ リスト以外の国にかける：「**国番号入力**」選択➡◉➡国番号入力➡◉

ソフトバンク携帯電話にかける
- 相手のいる国にかかわらず「**日本（JPN）**」を選んでください。（直接国番号を入力するときは8 1と押します。）

5 発信キーを押す。

クイックオペレーションを利用して日本にかける

■次の操作を行います。
電話番号入力➡A/a➡操作4へ

国番号などを直接ダイヤルする

■次の操作を行います。
0（1秒以上）（「＋」表示）➡**国番号入力➡**
電話番号入力（先頭の「0」を除く）➡操作5へ
- イタリア（国番号：39）にかける場合、電話番号の先頭に「0」があるときは、「0」を省かずに入力してください。

滞在国の一般電話／携帯電話にかける

1 相手の電話番号をダイヤルする。
- 一般電話にかけるときは、必ず市外局番からダイヤルしてください。

2 発信キーを押す。

注意▶ 海外で通話を保留したあと、保留を解除したとき（☞P.2-11）、地域によってはまれに相手の声が聞こえなくなったり、お客様の声が相手に聞こえなくなったりすることがあります。

補足▶ **国番号を追加するとき**
よく利用する国番号がリストに登録されていないときは、「**国番号リスト**」（☞P.9-29）の操作で追加できます。詳しくは、「**国際ローミングエリア一覧**」を参照してください。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の人たちの迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■マナーモード：☞P.2-19
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、簡単な操作で設定できます。また、簡易留守録を同時に設定できます。
電話がかかってくると振動でお知らせします。(マナーモード設定中の動作は変更できます。)

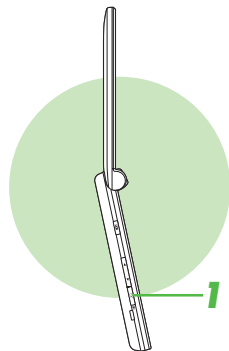
■バイブ設定：☞P.9-15
電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに、振動でお知らせします。

■音量調節：☞P.9-14
「**サイレント**」にすると、電話がかかってきたときの音などを鳴らさないようにできます。また、インターネットの情報画面表示中やS!アプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。

■メール着信音の音量設定：☞P.9-14
「**サイレント**」にすると、メールが届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■オフラインモード：☞P.2-20
電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり、受けたりできないようにします。メールの送受信やインターネットの利用などもできなくなります。

■簡易留守録：☞P.2-9
電話に出られないときに、相手の用件を本機に録音できます。

■運転中モード：☞P.9-2
自動車などを運転中のモードを設定できます。

マナーモードを設定／解除する

●待受画面や情報画面、音声通話などの利用中に操作できます。

マナーモードを設定する

1 [キー]を長く（１秒以上）押す。

「[アイコン]」が表示され、マナーモードが設定されます。

●モード設定（☞P.9-2）の「**マナーモード**」の設定内容に従って、「[アイコン]」（簡易留守録）、「[アイコン]」（サイレント）、「[アイコン]」（サイレント／バイブレータ）も表示されます。

マナーモードを解除する

1 [キー]を長く（１秒以上）押す。

「[アイコン]」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ボタン確認音／エラー音／パワーOn／パワーOffのサウンドや警告音が鳴らなくなります。
ただし、切替通話の警告音（☞P.13-6）は鳴ります。
●イヤホンマイクなどを使用しているとき、イヤホンからは「**音量１**」で着信音が鳴ります。

■マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。

■簡易留守録、着信音量、バイブレータなどは、モード設定（☞P.9-2）の「**マナーモード**」の設定内容に従って動作します。

補足▶
●簡易留守録の録音中は、相手の声が受話口から聞こえます。
●マナーモード設定中の動作は、モード設定（☞P.9-2）の「**マナーモード**」で変更できます。

オフラインモードを設定／解除する

電源を切らずに、電波の送受信を停止できます。

- オフラインモードを設定すると、電話の発着信、メールの送受信、インターネットなど、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。（Bluetooth®機能や赤外線機能は利用できます。）
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

オフラインモードを設定する

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（◎）➡ オフラインモード

1 「On」を選び、◉を押す。

「」が表示され、オフラインモードが設定されます。

オフラインモードを解除する

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（◎）➡ オフラインモード

1 「Off」を選び、◉を押す。

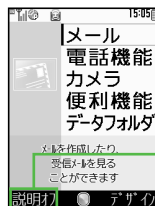
「」が消え、オフラインモードが解除されます。

補足▶

- S!アプリ（☞P.16-2）を一時停止しているときにオフラインモードを設定すると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、「**はい**」を選び◉を押すと、オフラインモードが設定されます。（オフラインモードを解除するまで、ネットワークには接続できません。）
- オフラインモード設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

シンプルメニュー

シンプルメニューに切り替えると、メインメニューに基本的な機能だけが表示されるようになります。
- それぞれの機能内の操作も、基本的なものだけに限定されます。(☞P.2-22)
- 画面に表示される文字サイズが「**大**」に設定されます。

✉を押すと説明を表示するかどうかを設定できます。

標準メニューのメインメニュー画面　　シンプルメニューのメインメニュー画面

シンプルメニューを設定／解除する

シンプルメニューを設定する

1 **[文字]を長く（1秒以上）押す。**

シンプルメニューに切り替わります。
- 電源を切っても、シンプルメニューは解除されません。

シンプルメニューを解除する

1 **[文字]を長く（1秒以上）押す。**

標準メニューに切り替わります。

注意▶ 一部、「**標準メニュー**」と機能名などが異なることがあります。

補足▶
- モード設定（☞P.9-2）が通常モード以外のときは、シンプルメニューに設定できません。また、シンプルメニュー設定中は、運転中モードやオリジナルモードは使用できません。
- 次の機能を利用中、シンプルメニューを設定すると、各機能の終了確認画面が表示されます。
  - ■ 赤外線通信中　■ S!アプリ一時停止中
  - ■ メディアプレイヤー利用中（バックグラウンド再生中）　■ Bluetooth®起動中

シンプルメニュー設定時の操作

メニュー操作

待受画面で◉を押すと、メニューが表示されます。メニューの項目は次のとおりです。

メール	受信ボックス		☞P.14-23
	新規作成		☞P.14-7
	下書き		☞P.14-18
	テンプレート		☞P.14-14
	送信済みボックス		☞P.14-23
	未送信ボックス		☞P.14-23
	SMS新規作成		☞P.14-6
電話機能	アドレス帳		☞P.4-2
	新規登録		☞P.4-4
	簡易留守再生		☞P.2-10
	留守電再生		☞P.13-4
	オーナー情報		☞P.4-19
	スピードダイヤル		☞P.4-13
カメラ	―		☞P.6-2
便利機能（ツール）	カレンダー		☞P.12-2
	アラーム		☞P.12-11
	電卓		☞P.12-15
	壁紙・着信音	壁紙選択	☞P.9-3
		着信音選択	☞P.9-14
		着信音量設定	☞P.9-14
	ホットステータス		☞P.19-4
	サークルトーク		☞P.19-13
	簡易留守設定		☞P.2-9
	シンプルメニュー切替		☞P.2-21
データフォルダ	ピクチャー		☞P.8-2
	デジタルカメラ		☞P.8-2
	マイ絵文字		☞P.8-2
	着うた・メロディ		☞P.8-2
	S!アプリ		☞P.16-2
	ミュージック		☞P.8-2
	ムービー		☞P.8-2
データフォルダ	生活アプリ		☞P.17-3
	ブック		☞P.8-2
	カスタムスクリーン		☞P.9-9
	Flash®		☞P.8-2
	着信音 Flash®		☞P.8-2
	その他ファイル		☞P.8-2
	メモリ確認		☞P.8-2

■メニュー以外の操作

シンプルメニュー設定時、待受画面からはメニュー以外に、次の操作が行えます。

[キー]（長押し）	標準メニューに切替	☞P.2-21
[キー]（長押し）	電源On／Off	☞P.1-20
Y!	Yahoo!ケータイ	☞P.15-2
✉	メール	☞P.14-2
✉（長押し）	メール新規作成	☞P.14-7
[キー]	全通話履歴表示	☞P.2-13
[キー]	発信履歴表示	☞P.2-4
[キー]	着信履歴表示	☞P.2-8
[キー]	アドレス帳表示	☞P.4-8
[キー]（長押し）	アドレス帳新規登録	☞P.4-4
#／[キー]（長押し）	マナーモード設定	☞P.2-18
◉（長押し）	誤動作防止設定	☞P.1-22
CLEAR/BACK	簡易留守録再生	☞P.2-10
CLEAR/BACK（長押し）	簡易留守録設定	☞P.2-9

- シンプルメニュー設定中は、ショートカットや一部のクイックオペレーション（☞P.1-25）は使用できません。

文字の入力方法

文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。
また、文字の入力方法には、かな入力方式とポケベル入力方式があります。

- ここでは、「**ポケベル入力方式で入力する**」（☞P.3-9）を除き、かな入力方式での操作を中心に説明します。
また、ことわりがない限り、文字入力画面での操作を説明しています。

ヘルプを参照する

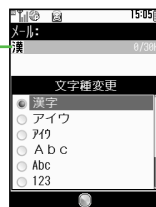
■文字入力画面で、次の操作を行います。
✉（**メニュー**）➡「**ヘルプ**」選択➡◉

文字入力モード

文字入力画面で次の操作を行うと、文字入力モードを切り替えられます。

1 [文字]**を押す。**

2 ⓢ**で文字種を選び、**◉**を押す。**

- 「**絵文字**」または「**記号**」を選んだときは、文字入力モードは変更されずに、絵文字リストまたは記号リストが表示されます。

現在の文字入力モード

- 利用できる文字入力モードは、以下のとおりです。

漢	漢字（ひらがな）	A	半角英数字（大文字）
ア	全角カタカナ	a ※	半角英数字（小文字）
ｱ	半角カタカナ	1	半角数字
Ａ	全角英数字（大文字）	区	区点コード
ａ ※	全角英数字（小文字）		

※「ａ」、「a」は、大文字⇔小文字を切り替えると表示されます。（☞下記）

大文字⇔小文字を切り替える

■かな入力方式で、全角英数字／半角英数字入力モードのときに[A/a]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

補足▶
- 変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。
- アドレス帳のE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

ダイヤルボタンの割り当て

1つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：カタカナ入力モードで[1]を3回押すと、「ウ」が表示されます。

- 文字入力中に[逆順]を押すと、表示される文字を逆順に切り替えられます。（半角数字入力モード、区点コード入力モードを除く）

例：「い」を表示しているときに[逆順]を押すと、「あ」が表示されます。

■ダイヤルボタンの割り当て表

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	区点コード
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@. ／_―1 □（スペース）	1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc2	2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi4	4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9	9
0	わをんー	ワヲンー	0	0 +※1	0
＊	゛ ゜ 履歴／絵文字入力（全角）／記号入力	゛ ゜ -※2 履歴／絵文字入力（全角）／記号入力※3［半角：記号入力／履歴／絵文字入力の順に表示］	履歴／絵文字入力（全角）／記号入力※3［半角：記号入力／履歴／絵文字入力の順に表示］	￥ P（ポーズ）？-※4 記号入力（半角）／履歴／絵文字入力（全角）	―――――
＃	、。↲（改行）？！□（スペース）		,. ↲（改行）?!□（スペース）	#	―――――

※1「+」は電話番号入力時だけ、長く（1秒以上）押すと入力できます。
※2「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※3 入力モードに応じて全角または半角で入力されます。
※4「￥」、「P（ポーズ）」、「?」、「-」は、電話番号入力時だけ入力できます。

■ダイヤルボタンの割り当て表（続き）

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	区点コード
	変換（前候補）※5	カーソル上移動			
	変換（後候補）※6	カーソル下移動（改行）			
	カーソル左移動				
	カーソル右移動				
	文字入力モードの切替				
	小文字／大文字変換（変換できる文字で有効）		小文字／大文字変換、大文字／小文字入力モードの切替	―――――	―――――
短押し	1文字消去／変換中止	1文字消去			入力済コード消去／1文字消去
長押し	カーソル後消去（カーソルが文字の上にあるとき）／カーソル前消去（カーソルが文字の上にない［文末にある］とき）				
	再変換※7 最大64文字まで復元※8	最大64文字まで復元※8			
	決定				
	音訓変換	―――――			―――――
	カナ英数字変換	―――――			―――――

※5 文字変換中以外は、カーソルが上に移動します。

※6 文字変換中以外は、カーソルが下に移動します。

※7 最後に確定した内容を、再度変換できる状態になります。（アレンジメール作成時は、利用できません。）

※8 （短押し）で消去した文字は、直後にを連続して押すと、最大64文字まで復元できます。（アレンジメール作成時は、利用できません。）

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

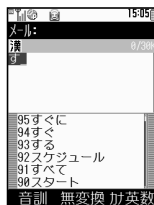
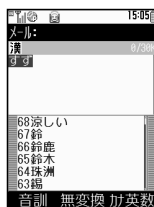
ここでは、漢字（ひらがな）入力モードで「**鈴木**」と入力するときを例に説明します。

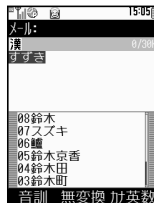
1 漢字（ひらがな）入力モードで、3を2回押す。

ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

2 3を長く（1秒以上）押す。

●ボタンを長く（1秒以上）押すと、入力された文字（そのボタンに現在割り当てられている文字）が確定できます。

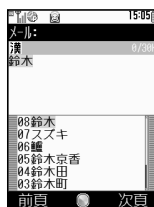
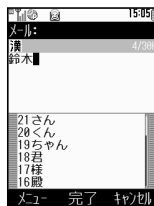
3 3を3回押したあと、＊を押す。

4 2を2回押す。

●ひらがなをそのまま入力するときは、このあと操作6へ進みます。

5 ◎（変換）を押したあと、◎で文字を選ぶ。

●漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。（学習機能）

■ 他の変換候補画面：✉（**前頁**）／Y!（**次頁**）

■ 変換の中止：CLEAR/BACK

■ 目的の漢字に変換できないとき：☞P.3-6

6 ●を押す。

カタカナを入力する

■カタカナ入力モード（全角／半角）で入力します。［入力したあと、◉（**確定**）を押してください。］また、漢字（ひらがな）入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。
■カナ英数字変換（☞P.3-11）でもカタカナを入力できます。

近似予測変換と連携予測変換について

■漢字変換では、次の便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1～5文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補を自動的に表示します。

- お買い上げ時には、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.3-13）
- 予測変換で優先度を下げたい候補の種類（人名や地名など）を設定することもできます。（☞P.3-13）

ユーザー辞書について

■よく使う単語は、ユーザー辞書に登録しておくと、変換候補に表示できるようになります。（☞P.9-19）
- 文字入力中に登録することもできます。

■目的の漢字に変換できないとき

P.3-5操作5のあと、[CLEAR/BACK]を押し、◎で変換する文字（反転している文字）の区切りを変えて変換し直します。

例：「み」と「ち」の区切りを変えて変換し直すとき

■複数の変換の対象を一度に採用するとき

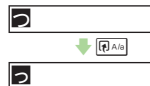
[A/a]を押します。

例：「西山大輔」と変換するとき

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。

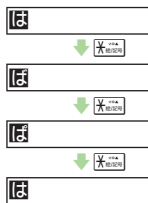
1 文字を入力し、[A/a]を押す。

- 小文字にできない文字では、[A/a]を押しても変わりません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

1 文字を入力し、[＊]を押す。

- 漢字（ひらがな）入力モードや全角カタカナ入力モードでは、「**か行**」、「**さ行**」、「**た行**」は１回押すとだく点が付き、２回押すと元に戻ります。
  また、「**は行**」は１回押すとだく点、２回押すと半だく点が付き、３回押すと元に戻ります。
- だく点や半だく点を付けられない文字では、[＊]を押しても変わりません。

補足▶ **半角カタカナ入力モードのとき**

- １回押すとだく点が、２回押すと半だく点が半角１文字分で入力されます。
- だく点や半だく点を消去するときは、[CLEAR/BACK]を押します。

スペースを入力する

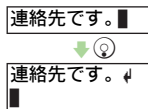
1 [◎]を押す。

漢字（ひらがな）入力モードやカタカナ入力モード、英数字入力モードでは、[＃]を６回押してスペースを入力することもできます。

改行する

- メールやテキストメモ入力時などで有効となります。

1 文末で[◎]を押す。

- 文の途中で改行するときは、改行する位置で[＃]を押して「↲」を表示したあと、◉を押します。

元に戻す

直前に確定した文字を再変換できる状態にしたり、直前に削除した文字を復元できます。

1 文字を入力したあと、[✉]（メニュー）を押す。

2 「元に戻す／逆順」を選び、◉を押す。

英数字を入力する

全角または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で、英数字を入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

- 同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、[◎]でカーソルを移動させてから入力してください。
- 全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[A/a]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
- カナ英数字変換（☞P.3-11）でも英数字を入力できます。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号／絵文字を入力する

●絵文字非対応の携帯電話やE-mailでは、絵文字は表示されません。

1 記号／絵文字の入力が可能なモード(☞P.3-3)で、[*]を押す。

これまで入力した記号／絵文字が、新しいものから順に一覧表示されます。(履歴リスト)

●お買い上げ時または記号／絵文字の履歴を消去したときは、履歴リストは「ー」で表示されます。

■記号リストから入力する：[Y!](押すたびに記号リスト→履歴リスト切替)

■絵文字リストから入力する：[✉](押すたびに絵文字リスト→履歴リスト切替)

■ ◎をくり返し押して、リストを切り替えることもできます。

■他社送信用絵文字の入力：☞P.14-8

2 ◎で記号／絵文字を選び、●を押す。

● 1つの記号／絵文字を入力したあとも、続けて他の記号／絵文字を入力できます。

3 記号／絵文字の入力を解除し、文字を入力するときは、[0]～[9]のいずれかを押す。

押したボタンに割り当てられている文字が、入力されます。

●[CLEAR/BACK]を押しても、記号／絵文字の入力を解除できます。

補足▶

●全角のモードで操作したときは全角記号／半角記号が、半角のモードで操作したときは半角記号が入力されます。(絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。)

●半角記号を入力したときは、履歴リストには残りません。

●漢字(ひらがな)入力モードで、「**きごう**」と入力し◎(**変換**)を押すと、一部の記号を入力できます。

●利用できる絵文字については、「**絵文字一覧**」(☞P.21-16)を参照してください。S!メールのアレンジメール(☞P.14-11)作成時は、インターネットからダウンロードしたマイ絵文字(☞P.8-2)も利用できます。

●漢字(ひらがな)入力モードで、「**はーと**」や「**はな**」などの言葉を入力し◎(**変換**)を押すと、関連する絵文字が変換候補として表示されることがあります。(絵文字変換)

●S!メール作成時(☞P.14-7)、S!メールのアレンジメール作成時(☞P.14-11)には、マイ絵文字(☞P.8-2)履歴リストも利用できます。

記号／絵文字の履歴を消去する

■文字入力画面で、次の操作を行います。

[✉](メニュー)➡「入力／変換設定」選択➡●➡「絵／記号履歴リセット」選択➡●➡「はい」選択➡●

■ 文字入力画面に戻る：上記操作のあと[CLEAR/BACK]➡[CLEAR/BACK]

顔文字を入力する

1 ✉（メニュー）を押す。

2「顔文字」を選び、◉を押す。

- このあと、2ケタの数字（01～50）を入力すると、入力した番号の顔文字が確認できます。

3 顔文字を選び、◉を押す。

補足▶
- 漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し◎（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。
  また、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し◎（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。
- 「**嬉しい**」や「**悲しい**」など、感情を示す言葉を入力／採用すると、関連する顔文字が変換候補として表示されることがあります。（顔文字連携）
  この顔文字連携が働かないように設定することもできます。（☞P.3-13）

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

「.co.jp」や「http://」などが簡単に入力できます。

1 ✉（メニュー）を押す。

2「簡単アドレス入力」を選び、◉を押す。

3 文字を選び、◉を押す。

- 全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

区点コードで入力する

1 区点コードで入力モードで、区点コード（4ケタ：☞P.21-10）を入力する。

ポケベル入力方式で入力する

1 ✉（メニュー）を押す。

2「入力／変換設定」を選び、◉を押す。

3「入力方式」を選び、◉を押す。

4「ポケベル」を選び、◉を押す。

ポケベルコードで入力できる状態に切り替わります。

■ かな入力方式に戻す：「**かな**」選択➡◉

5 ポケベルコード（2ケタ：☞P.3-10）を入力する。

- ポケベル入力方式は、かな入力方式に切り替えるまで継続します。

ポケベル入力方式の文字入力モードを切り替える

■文字入力画面で、次の操作を行います。

[文字]➡「P」／「P」／「**絵文字**」／「**記号**」／「**区点**」選択➡◉

- 「**絵文字**」または「**記号**」を選んだときは、文字入力モードは変更されず、絵文字リストまたは記号リストが表示されます。

■ 大文字／小文字の切替：[文字]➡✉（**大／小**）

補足▶
- ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
- だく点、半だく点の入力は、ポケベルコード一覧（☞P.3-10）を参照してください。

■ポケベルコード一覧

- 空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
- ■部分は、文字入力後[A/a]を押すたびに、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	※1
	8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃	スペース	❤	※2
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

半角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	❤	※2
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

全角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			っ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ゃ		ゅ		ょ					※2
	9										
	0				、	。					

半角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			ｯ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
	9										
	0				,	.					

※1 [7][0]の順に押すと、改行が入力されます。（改行は、メールの本文、テキストメモ入力時などで有効となります。）

※2 [8][0]の順に押すと、大文字モードと小文字モードが切り替わります。

- 「❤」、「☎」は半角2文字分となります。

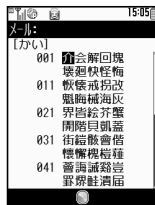
文字の変換機能

音訓変換を利用する

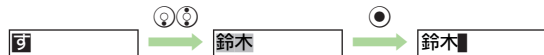
通常の漢字変換で入力する漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して1文字ずつ変換します。

1 漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力する。

2 ✉（音訓）を押す。

3 漢字を選び、◉を押す。

一度入力した文字を利用する（1文字変換）

一度、通常の変換方法で入力した漢字は、次回入力するときに最初の1文字を入力するだけで、漢字に変換できます。

例：以前に「鈴木」を変換したとき

● 1文字変換で記憶される件数は、同じ読み（1文字）に対して、最大20件です。記憶可能な件数を超えると、古い1文字変換の記憶から順に消去されます。

カナ英数字変換を利用する

漢字（ひらがな）入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。

1 ひらがなを入力し、Y!（カナ英数）を押す。

●「AM」と入れるときは、2 6の順に押したあと、Y!（カナ英数）を押します。

2 ◎で文字を選び、◉を押す。

● 英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

あ	@	い	.	う	／	え	＿	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V	―	―	―	―
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）			スペース

● 数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点付きも同様です。）

■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4
■な行…5　■は行…6　■ま行…7　■や行…8
■ら行…9　■わ／を／ん／ー（長音）…0

ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字に変換できます。
目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「微妙」を入力するとき

通常の変換	6 6 ＊（び）7 7（み） 8 8 8 8 8 8（ょ） 1 1 1（う）◎（変換）
ワンタッチ変換	6 ＊（ば）7（ま）8（や）1（あ） ◎（ワンタッチ変換）

1 ひらがなを入力し、◎を押す。

カーソルが緑色に変わります。

- ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）で◎を押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることができます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。

通常変換に戻す：CLEAR/BACK➡◎（通常変換）

2 ◎で文字を選び、◉を押す。

注意▶ ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換は利用できません。

補足▶ ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。（主に名詞に対応しています。）

推測頭出し変換

1文字だけ入力してワンタッチ変換すると、その行の文字（「あ」を入力したときは「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力したとき

5:00〜10:59	11:00〜16:59	17:00〜22:59	23:00〜4:59
朝一番 朝帰り 行ってきます いってらっしゃい ：	あちぃ〜 後でね いただきま〜す♪ 移動中 ：	遊ぼう 明日 急いで行くよ 今どこ？ ：	アウチ！！ ありがとう いえーい！！！ 行こうね ：

- 表示される言葉は、時間帯ごとにあらかじめ登録されています。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00〜16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ1文字学習

以前にワンタッチ変換した文字列の先頭の1文字を入力してワンタッチ変換すると、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」でワンタッチ変換し、「お父さん」を採用していたとき

その他の変換関連機能

変換方法の設定	近似予測変換、連携予測変換、顔文字連携を利用するかどうかを設定します。

お買い上げ時すべてOn（利用する）

（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡◉➡「近似予測」／「連携予測」／「顔文字連携」選択➡◉➡「On」（利用する）／「Off」（利用しない）選択➡◉

予測候補優先度低	予測変換で優先度を下げたい候補の種類を設定します。

（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡◉➡「予測候補優先度低」選択➡◉➡種類選択➡◉➡（OK）

- 複数の種類を選択するときは、（OK）を押す前に、種類を選び◉を押す操作をくり返します。

学習辞書リセット	これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

（メニュー）➡「入力／変換設定」選択➡◉➡「学習辞書リセット」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

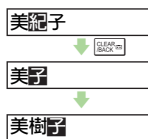
- ユーザー辞書に登録している単語は消去されません。

文字の編集

入力した文字を消去／修正する

1 で消去する文字を選び、CLEAR/BACKを押す。

- カーソル上の1文字が消えます。
- CLEAR/BACKを長く（1秒以上）押すと、カーソルが文字の上にあるときはカーソルから後ろの文字が消えます。カーソルが文字の上にない（文末にある）ときは、カーソルから前の文字が消えます。

美紀子
CLEAR/BACK
美子
美樹子

2 正しい文字を入力する。

コピー／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う

連続した文字列を、コピー／カットして他の場所へペーストします。

- 同じ画面内にも他の画面にもペーストできます。
（「**メニュー**」が表示されない画面へは、ペーストできません。また、マイ絵文字など、アレンジメール作成画面でコピーした内容によっては、他の画面へペーストできないものもあります。）

1 （メニュー）を押す。

2 「コピー」または「カット」を選び、◉を押す。

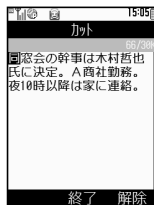
3 ◎で、コピー／カットする文字列の最初の文字を選び、◉を押す。

文字列の開始位置が指定されます。

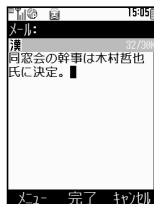
■開始位置の再指定：✉（解除）

切り取り例

4 コピー／カットする文字列の最後の文字を選び、◉を押す。

●カットすると、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 ペースト先を表示する。

6 ✉（メニュー）を押す。

7「ペースト」を選び、◉を押す。

カーソル後の文字をまとめて消去する

1 消去する最初の文字を選ぶ。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「カーソル操作」を選び、◉を押す。

4「カーソル後消去」を選び、◉を押す。

カーソルを先頭／末尾に移動する

■文字入力画面で、次の操作を行います。

✉（メニュー）➡「カーソル操作」選択➡◉➡「末尾へ移動」／「先頭へ移動」選択➡◉

その他の機能

アドレス帳の登録内容を利用して入力する

文字入力中にアドレス帳を呼び出し、登録している電話番号などの文字列を作成中の文章に挿入します。

●利用できる項目は、「名前（姓／名）」、「電話番号１～３」、「Eメールアドレス１～３」、「グループ」、「住所」（郵便番号、国、都道府県、市町村、番地）、「ホームページ」、「メモ」、「誕生日」です。

1 ✉（メニュー）を押す。

●文字を挿入する場所で✉（メニュー）を押してください。

2「その他」を選び、◉を押す。

3「アドレス帳引用」を選び、◉を押す。

4 利用するアドレス帳を呼び出す。

●オーナー情報もここで呼び出せます。

5 ◎で項目を選び、◉を押す。

テキストメモを利用する

- あらかじめ、よく使う文章をテキストメモとして登録しておいてください。(☞P.12-26)
  文字入力中に登録することもできます。(☞下記)

1 ✉(メニュー)を押す。

2「テキストメモ」を選び、◉を押す。

3「テキストメモ読み出し」を選び、◉を押す。

4 テキストメモを選び、◉を押す。

テキストメモの内容が挿入されます。

文字入力中にテキストメモを登録する

■入力済の内容を、新しいテキストメモとして登録できます。
テキストメモを新しく登録するときは、メール/アドレス帳などの文字入力画面で、次の操作を行います。

✉(メニュー)➡「テキストメモ」選択➡◉➡「テキストメモ登録」選択➡◉➡最初の文字選択➡◉➡最後の文字選択➡◉

- 最大1536文字まで入力できます。
- アレンジメール作成時には、利用できません。

文字サイズを変更する

1 ✉(メニュー)を押す。

2「その他」を選び、◉を押す。

3「文字サイズ」を選び、◉を押す。

4 サイズを選び、◉を押す。

補足▶ 文字サイズは、ディスプレイ設定の「**文字サイズ設定**」(☞P.9-4)と連動しています。

アドレス帳

アドレス帳について

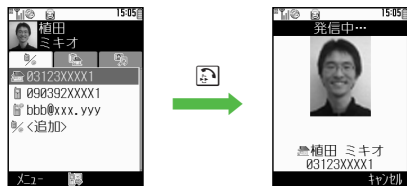
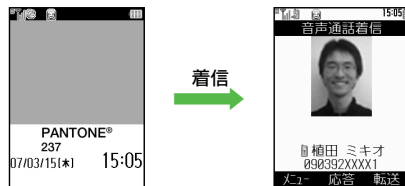
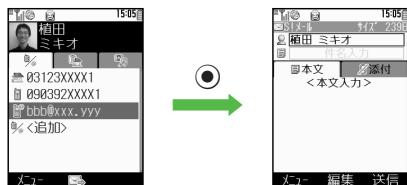
よく電話をかけたり、メールをやりとりする相手の名前や電話番号、E-mailアドレスなどをアドレス帳に登録しておくと、簡単な操作で発信／送信できます。

- アドレス帳に登録している相手から電話があったときには、相手の名前や写真などが表示されます。
- 下記以外にも相手別に着信音を指定したり、グループ別に管理するなどいろいろな項目を登録できます。（☞P.4-3）

■アドレス帳から電話をかける

■アドレス帳からメールを送信する

注意▶ 大切なデータを失わないために

アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは、控えをとっておくことをおすすめします。なお、アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■電話などの着信があると

サービスダイヤルを利用する

■対応しているUSIMカードを取り付けているとき、あらかじめUSIMカードに登録されているサービスダイヤル番号に発信することにより、各種サービスを利用できます。

◉➡「電話機能」選択➡◉➡「サービスダイヤル」選択➡◉➡サービス選択➡◉

- サービスダイヤルについて詳しくは、サービス提供事業者にお問い合わせください。

補足▶ アドレス帳を誤って削除したり、他人が使用できないように設定することができます。
（アドレス帳使用禁止：☞P.9-26）

アドレス帳登録

アドレス帳に登録できる項目

本機のアドレス帳には、本機の「**本体**」のメモリを使用するアドレス帳と、「**USIMカード**」のメモリを使用するアドレス帳の２種類があります。

- 本機（本体）には最大750件のアドレス帳が登録できます。USIMカードに登録できる件数は、USIMカードによって異なります。
- 登録できる項目や内容は、次のとおりです。

項目	内容
名前／姓：	各項目に最大32文字まで入力できます。（USIMカードへの登録は、「**名前：**」となります。）
名前／名：	
ヨミ：	最大64文字まで入力できます。
電話番号：	アドレス帳１件あたりに登録できる電話番号は、本体：最大３件、USIMカード：最大２件です。それぞれ最大32ケタまで入力できます。
Eメールアドレス：	アドレス帳１件あたりに登録できるE-mailアドレスは、本体：最大３件、USIMカード：最大１件です。最大128文字まで入力できます。
グループ：	本体は16グループ、USIMカードは11グループ（USIMカードによっては最大16グループ）に分けて管理でき、グループ名も変更できます。また、本体は、グループごとに着信音やバイブレータを設定できます。
住所：※1	郵便番号（最大20文字）、国（最大32文字）、都道府県（最大64文字）、市町村（最大64文字）、番地（最大64文字）が入力できます。
ホームページ：※1	ホームページのURLを、最大1024バイトまで入力できます。
メモ：※1	相手の個人情報などを、最大256文字まで入力できます。
誕生日：※1	相手の誕生日を登録できます。
フォト：※1、※2	電話がかかってきたときやメールが届いたとき、登録した画像を表示します。
音声着信音：※1	登録した相手から電話がかかってきたときの着信パターンやムービー、バイブを設定できます。
TVコール着信音：※1	
メール着信音：※1	
バイブ（音声/TVコール着信）：※1	
バイブ（メール着信）：※1	
シークレット設定：※1	他人に見られたくないアドレス帳を、秘密のアドレス帳として登録できます。

※1 USIMカードには、登録できません。
※2 S!アプリなど操作中は、アドレス帳詳細画面で設定しているフォトが表示されないことがあります。

注意▶ ご使用のUSIMカードによっては、登録できない項目があったり、文字数やグループ数が制限されることがあります。
また、アドレス帳１件あたりに登録できる電話番号やE-mailアドレスの件数が少なくなるなど、利用項目が制限されることがあります。

アドレス帳の基本的な登録方法

ここでは、新規登録を例に、相手の「姓」、「名」、「電話番号」、「Eメールアドレス」の登録を順に説明します。その他の項目を入力／設定するときは、P.4-5～P.4-7を参照してください。

- お買い上げ時、アドレス帳の登録先は、「本体」に設定されています。

メニュー ▶ 電話機能

1 「アドレス帳新規登録」を選び、◉を押す。

アドレス帳登録の画面が表示されます。

■ 登録先の選択画面表示時：「本体」／「USIM」選択➡◉

新規登録
名前/姓:
名前/名:
ヨミ:
電話番号:
Eメールアドレス:

アドレス帳登録の画面

2 「名前／姓：」を選び、◉を押す。

3 相手の名字を入力し、◉を押す。

4 「名前／名：」を選び、◉を押す。

5 相手の名前を入力し、◉を押す。

ヨミが自動的に入力されます。

- 入力されたヨミを修正するときは、P.4-7を参照してください。

6 「電話番号：」を選び、◉を押す。

7 電話番号を入力し、◉を押す。

- 一般電話は、市外局番も必ず入力してください。

8 マーク（アイコン）を選び、◉を押す。

- 続けて他の電話番号を登録するときは、操作6～8をくり返します。

9 「Eメールアドレス：」を選び、◉を押す。

10 E-mailアドレスを入力し、◉を押す。

11 ◉を押す。

12 マーク（アイコン）を選び、◉を押す。

- 続けて他のE-mailアドレスを登録するときは、操作9～12をくり返します。

13 Y!（保存）を押す。

注意▶ 必ず、「姓」、「名」、「電話番号」、「Eメールアドレス」のいずれかを入力してください。入力しないとアドレス帳を登録できません。

アドレス帳入力中に着信があると

■入力中の内容は一時的に記憶（保護）されています。通話などが終わると、入力を継続できます。

登録先を変更する

■次の操作を行うと、アドレス帳を新規登録するときの登録先をあらかじめ設定できます。

◉➡「電話機能」選択➡◉➡「アドレス帳設定」選択➡◉➡「登録先設定」選択➡◉➡「本体」／「USIM」／「毎回確認」選択➡◉

- お買い上げ時には、「本体」に設定されています。
- 「毎回確認」を選ぶと、新規登録のたびに、登録先の選択画面が表示されるようになります。

通話後の未登録電話番号のアドレス帳登録を設定する

■次の操作を行うと、アドレス帳未登録電話番号の相手との通話後に、アドレス帳登録確認画面を表示するかどうかを設定できます。

◉➡「電話機能」選択➡◉➡「アドレス帳設定」選択➡◉➡「未登録番号追加」選択➡◉➡「着信時」／「発信時」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

● お買い上げ時には、どちらも「On」に設定されています。

個別に着信音などを設定する

アドレス帳に登録した相手から電話がかかってきたときや、メールを受信したとき、個別の着信音を鳴らしたり、動画を流すことができます。

● あらかじめ登録されているパターンの他に、データフォルダ内の次のサウンド／動画が設定できます。
  - ■ 着うた・メロディフォルダ／ミュージックフォルダ／着信音Flash®フォルダ内の、ファイル名が拡張子を含めて55文字以内のサウンド
  - ■ ムービーフォルダ内の、ファイル名が拡張子を含めて55文字以内の動画
● 動画を設定するときは、あらかじめ、データフォルダ（ムービー）内に動画を登録しておいてください。
● 以下の操作は、アドレス帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、アドレス帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

1 **「音声着信音：」～「メール着信音：」のいずれかを選び、◉を押す。**

2 **「着信音選択」を選び、◉を押す。**

設定の解除：「**設定解除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

3 ***着信音を設定する***

1「固定データ」、「着うた・メロディ」、「ミュージック」、「着信音 Flash®」のいずれかを選び、◉を押す。

動画を設定する

1「ムービー」を選び、◉を押す。

4 **着信音または動画（ムービー）を選び、◉を押す。**

固定の着信音選択時：着信音選択➡◉

メール着信時の鳴動時間を設定する

■操作２～４でメール着信音を設定したあと、次の操作を行います。

「**メール着信音：**」選択➡◉➡「**鳴動時間**」選択➡◉➡**時間入力**➡◉

注意▶
● データフォルダ内のサウンドや動画を設定しているときに、設定しているファイルに対して以下の操作を行うと、着信時には、音・バイブ・ライトの「**着信音／ムービー**」（☞P.9-14）で設定されている内容で再生されます。（著作権保護されたファイルの有効期限切れのときも、同様の着信音が再生されます。）
  - ■ ファイルの削除／ファイル名の変更／別のフォルダへ移動／メモリカード・本体間の移動
● 設定したアドレス帳がシークレットデータの場合、シークレットモードを「**表示する**」にしているときだけ、ここでの設定が有効となります。

個別にバイブレータを設定する

アドレス帳に登録した相手から電話がかかってきたときや、メールを受信したときの、バイブレータの動作を設定できます。

- 以下の操作は、アドレス帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、アドレス帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

1 「バイブ（音声／ TV コール着信）:」または「バイブ（メール着信）:」を選び、◉を押す。

2 「On／Off設定」を選び、◉を押す。

3 「On」、「音連動」、「設定なし」のいずれかを選び、◉を押す。

- 「**音連動**」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータ設定に従って動作させるときに選びます。バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効となります。

4 「バイブパターン」を選び、◉を押す。

5 バイブパターンを選び、◉を押す。

6 CLEAR/BACKを押す。

画像を着信時に表示する

アドレス帳に登録した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、設定している画像を表示できます。

- 以下の操作は、アドレス帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、アドレス帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

1 「フォト：」を選び、◉を押す。

■ フォト設定の解除：上記操作のあと「**フォト解除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

2 ***データフォルダの画像を登録する***

1「フォト選択」を選び、◉を押す。

2 画像を選び、◉を押す。

静止画を撮影して登録する

1「撮影」を選び、◉を押す。

2 画像を表示し、◉を押す。

静止画が撮影されます。

3 ◉を押す。

注意▶

- 設定したデータフォルダ内の元の画像に対して以下の操作を行うと、着信時に画像は表示されなくなります。著作権保護されたファイルの有効期限切れのときも、同様に画像が表示されなくなります。
  - ■ ファイルの削除／ファイル名の変更／別のフォルダへ移動／メモリカードへ移動
- 設定したアドレス帳がシークレットデータの場合、シークレットモードを「**表示する**」にしているときだけ、ここでの設定が有効となります。
- S!アプリ一時停止中にメールを利用しているときは、着信時に設定した画像が表示されないことがあります。

シークレットを設定する

他の人に見られたくないアドレス帳をシークレットデータとして設定します。

- 以下の操作は、アドレス帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、アドレス帳登録の画面に戻りますので、他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

1「シークレット設定：」を選び、◉を押す。

2「On」を選び、◉を押す。

> **シークレット設定を一時的に解除する**
>
> ■次の操作を行うと、シークレット設定を一時的に解除できます。
> ◎➡✉（**メニュー**）➡「**シークレット一時解除**」選択➡◉➡**操作用暗証番号（4ケタ）入力**➡◉
> - このあとメインメニューに戻ると、再びシークレット設定になります。

注意▶

- シークレットデータを確認するときは、シークレットモード（☞P.9-27）を「**表示する**」にしてください。
- シークレット設定を解除するときは、シークレットモード（☞P.9-27）を「**表示する**」にしたあと、アドレス帳の修正（☞P.4-10）を行います。（上記操作２の「On」の代わりに「Off」を選びます。）
- シークレットデータを待受ウィンドウやホットステータスに設定しても表示されません。

その他の項目を登録する

- 登録内容や入力できる文字数など詳しくは、「**アドレス帳に登録できる項目**」（☞P.4-3）を参照してください。
- 以下の操作は、アドレス帳登録の画面（☞P.4-4）で行います。操作後、アドレス帳登録の画面に戻りますので、アドレス帳の登録を完了してください。

ヨミ	「**ヨミ**：」選択➡◉➡よみがな入力➡◉➡◉
グループ	「**グループ**：」選択➡◉➡グループ選択➡◉
住所	「**住所**：」選択➡◉➡「**郵便番号**：」選択➡◉➡郵便番号入力➡◉➡「**国**：」選択➡◉➡国名入力➡◉➡「**都道府県**：」選択➡◉➡都道府県名入力➡◉➡「**市町村**：」選択➡◉➡市町村名入力➡◉➡「**番地**：」選択➡◉➡番地入力➡◉➡Y!（OK）
ホームページ	「**ホームページ**：」選択➡◉➡URL入力➡◉➡◉
メモ	「**メモ**：」選択➡◉➡内容入力➡◉
誕生日	「**誕生日**：」選択➡◉➡年／月／日入力➡◉

発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

1 で発信履歴または着信履歴を表示する。

2 で履歴を選び、（メニュー）を押す。

3「アドレス帳登録」を選び、を押す。

4 *新しいアドレス帳に登録する*

1「新規登録」を選び、を押す。

自動的に電話番号が入力され、アドレス帳登録の画面（☞P.4-4）が表示されます。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

登録済のアドレス帳に追加登録する

1 追加登録する相手のアドレス帳を選び、を押す。

自動的に電話番号が入力され、アドレス帳登録の画面（☞P.4-4）が表示されます。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

注意▶ 発信者番号が通知されていないときは、アドレス帳に登録できません。また、追加登録する場合、追加するアドレス帳にすでに電話番号が最大件数（本体：3件、USIM：2件）登録されているときも、アドレス帳に登録できません。

アドレス帳の登録件数を確認する

メニュー ▶ 電話機能 ➡ アドレス帳管理

1「メモリ確認」を選び、を押す。

本体／USIMカードに登録されているアドレス帳の件数が表示されます。

■ 確認の終了：

アドレス帳の利用

アドレス帳から電話をかける

ここでは、お買い上げ時の設定である「**あかさたな別**」検索を利用したアドレス帳の使い方を説明します。

- シークレットデータを利用して電話をかけるときは、あらかじめシークレットモード（☞P.9-27）を「**表示する**」にしておいてください。
- 他の検索方法を利用するときは、P.4-9を参照してください。

1 を押す。

2 で相手のよみがなの行を選ぶ。

- 登録したヨミを入力して、該当するアドレス帳を検索することもできます。

3 でアドレス帳を選び、を押す。

アドレス帳の内容が表示されます。

（アドレス帳詳細画面：☞P.4-9）

■ 電話番号が複数登録されているアドレス帳選択時：（電話番号選択）

4 を押す。

発信されます。

■ 音声通話以外で発信：➡「**発信方法**」選択➡

アドレス帳を切り替える（本体／USIMカード）

■次の操作を行います。

◎➡✉（メニュー）➡「アドレス帳設定」選択➡◉➡「メモリ切替」選択➡◉➡「本体」／「USIM」／「本体とUSIM」選択➡◉

- お買い上げ時には、「本体」に設定されています。
- 「本体とUSIM」にしたときは、本体とUSIMカードのアドレス帳がまとめて表示されます。

アドレス帳の検索方法を切り替える

アドレス帳は、次の３つの方法で検索できます。

ヨミ	登録したよみがなの順でアドレス帳を表示します。
グループ	指定したグループ内のアドレス帳を表示します。
あかさたな別	指定したよみがなの行のアドレス帳を表示します。

- お買い上げ時には、「**あかさたな別**」に設定されています。

メニュー ▶ **電話機能** ➡ **アドレス帳設定** ➡ **検索方法切替**

1 「ヨミ」、「グループ」、「あかさたな別」のいずれかを選び、◉を押す。

- このあと、次の各検索方法の操作を行い、電話をかけます。

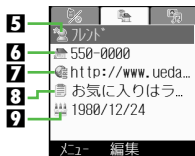
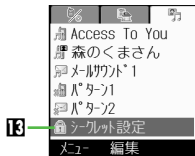
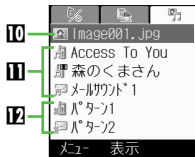
ヨミ	よみがな入力➡アドレス帳選択➡◉➡📞
グループ	グループ選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉➡📞
あかさたな別	⊙でよみがなの行選択➡アドレス帳選択➡◉➡📞

※電話番号が複数登録されているときは、📞を押す前に、電話番号を選びます。

補足▶ 待受画面から各検索方法を利用して電話をかけるときは、◎を押したあと、上記表内の操作を行います。

アドレス帳詳細画面

フレンド
550-0000
http://www.ueda…
お気に入りはラ…
1980/12/24
メニュー　編集

1 相手の名前
2 フォトに設定している画像
3 電話番号
4 E-mailアドレス
5 グループ名
6 住所
7 ホームページ
8 メモ
9 誕生日
10 フォトに設定している画像のファイル名
11 着信音設定
12 着信バイブ設定
13 シークレット

補足▶ 各項目を選び◉を押すと、登録内容が表示されたり、発信などの機能を利用することができます。また、<**追加**>など、< >の付いた項目を選び◉を押すと、内容の追加入力ができます。

4 アドレス帳

アドレス帳の編集

●シークレットデータを編集するときは、あらかじめシークレットモード（☞P.9-27）を「**表示する**」にしておいてください。

アドレス帳を修正する

1 **◎を押したあと、アドレス帳を選ぶ。**

2 **✉（メニュー）を押す。**

3 **「編集」を選び、◉を押す。**

4 **項目を選び、◉を押す。**

選んだ項目が修正できる状態になります。

●このあと、アドレス帳登録時と同様の操作（☞P.4-4～P.4-7）で修正します。

●名前（姓／名）を修正したとき、ヨミは自動的に修正されません。必要に応じて、ヨミも修正してください。

5 **修正が終われば、◉を押す。**

●続けて他の項目を修正するときは、操作4～5をくり返します。

■操作の中止：☎➡「**はい**」選択➡◉

6 **Y!（保存）を押す。**

アドレス帳が上書き保存されます。

アドレス帳をコピーする

本体とUSIMカードの間で、アドレス帳を1件または全件まとめてコピーできます。

●本体とUSIMカードでは、アドレス帳に登録できる項目が異なります。（☞P.4-3）
そのため、本体からUSIMカードにアドレス帳をコピーすると、USIMカードに登録できない項目は削除されます。

1件ずつコピーする

1 **◎を押したあと、アドレス帳を選ぶ。**

2 **✉（メニュー）を押す。**

3 **「アドレス帳管理」を選び、◉を押す。**

4 ***本体からUSIMカードにコピーする***

1「USIMカードにコピー」を選び、◉を押す。

2「はい」を選び、◉を押す。

USIMカードから本体にコピーする

1「本体にコピー」を選び、◉を押す。

全件コピーする

●すべてのアドレス帳をコピーするための空き容量が足りないときは、コピーできる件数までコピーします。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ アドレス帳管理 ➡ 全件コピー

1 **「USIM→本体」または「本体→USIM」を選び、◉を押す。**

2 **「はい」を選び、◉を押す。**

アドレス帳を削除する

1件ずつ削除する

1 ⓖを押したあと、アドレス帳を選ぶ。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「削除」を選び、◉を押す。

4「はい」を選び、◉を押す。

補足▶ 個別に着信音やムービー、フォトが設定されているアドレス帳を削除しても、データフォルダ内のサウンドや画像は削除されません。

全件削除する

メニュー ▶ 電話機能 ➡ アドレス帳管理 ➡ 全件削除

1「本体」、「USIM」、「本体とUSIM」のいずれかを選び、◉を押す。

2「はい」を選び、◉を押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

グループ設定

アドレス帳で使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音や動画、バイブレータを設定します。

グループ名を変更する

メニュー ▶ 電話機能 ➡ グループ設定

1 ◎で「本体」または「USIM」を選ぶ。

2 グループを選び、◉を押す。

- 本体の「**未設定**」は、変更できません。

3「グループ名編集」を選び、◉を押す。

■ マーク（アイコン）の選択：「**アイコン変更**」選択➡◉➡マーク（アイコン）選択➡◉（操作完了）

4 新しいグループ名を入力する。

- 最大16文字まで入力できます。（USIMカードによっては、文字数が異なることがあります。）

5 ◉を押す。

- 続けて他のグループ名を変更するときは、操作1～5をくり返します。

着信時の動作を設定する

グループ別に着信時の動作（着信音、ムービー、バイブ）を設定することができます。
●USIMカードのグループには、着信時の動作は設定できません。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ グループ設定

1 で「本体」を選ぶ。

2 グループを選び、（メニュー）を押す。

3「着信音／ムービー」または「バイブ設定」を選び、を押す。

4 着信の種類を選び、を押す。
●以降の操作は、個別の着信時の動作の設定と同様です。
■着信音／ムービー：P.4-5「個別に着信音などを設定する」操作2以降
■バイブ設定：P.4-6「個別にバイブレータを設定する」操作2以降

注意▶ 個別に着信時の動作を設定しているとき（P.4-5～P.4-6）は、ここでの設定より個別の着信時の動作の設定が優先されます。

メールグループ登録

メールグループを登録すると、同じメールグループに登録した複数の宛先に、同じメールを一括で送信できます。（P.14-7）

メールグループを作成する

● メールグループは、20グループまで作成できます。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ メールグループ登録 ➡ <新規グループ>

1 グループ名を入力し、を押す。

メールグループにメンバーを登録する

● 1グループには、20件まで登録できます。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ メールグループ登録

1 メールグループを選び、を押す。

2「メンバー登録」を選び、を押す。

3 アドレス帳を選び、を押す。
■ 宛先が複数登録されているアドレス帳選択時：（ソフトバンク携帯電話の電話番号／E-mailアドレス選択）➡
●続けて他のソフトバンク携帯電話の電話番号／E-mailアドレスを登録するときは、操作2～3をくり返します。

メールグループを編集する

メールグループの名前を変更する

メニュー ▶ 電話機能 ➡ メールグループ登録

1 メールグループを選び、（メニュー）を押す。

2「グループ名編集」を選び、◉を押す。

3 グループ名を入力し、◉を押す。

●最大16文字まで入力できます。

4「はい」を選び、◉を押す。

メールグループを削除する

メニュー ▶ 電話機能 ➡ メールグループ登録

1 メールグループを選び、✉（メニュー）を押す。

2「削除」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

メールグループのメンバーを編集する

メンバーを変更する

メニュー ▶ 電話機能 ➡ メールグループ登録 ➡ メールグループを選ぶ

1 メンバーを選び、✉（メニュー）を押す。

2「変更」を選び、◉を押す。

3 新しいメンバーのアドレス帳を選び、◉を押す。

■宛先が複数登録されているアドレス帳選択時：◎（ソフトバンク携帯電話の電話番号／E-mailアドレス選択）➡◉

4「はい」を選び、◉を押す。

メンバーを削除する

メニュー ▶ 電話機能 ➡ メールグループ登録 ➡ メールグループを選ぶ

1 メンバーを選び、✉（メニュー）を押す。

2「削除」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

補足▶ メンバーを削除しても、元のアドレス帳は削除されません。

スピードダイヤル設定

スピードダイヤルに設定する

スピードダイヤルに設定しておくと、通常のアドレス帳より簡単な操作で電話がかけられます。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ スピードダイヤル設定

1 0～9のいずれかを選び、◉を押す。

2 アドレス帳を選び、◉を押す。

■電話番号が複数登録されているアドレス帳選択時：上記操作のあと◎（電話番号選択）➡◉

■上書き登録時：上記操作のあと「はい」選択➡◉

アドレス帳からスピードダイヤルに設定する

■相手のアドレス帳の詳細を表示している状態からでも、スピードダイヤルに設定できます。このときは、次の操作を行います。

電話番号選択➡✉(メニュー)➡「スピードダイヤル追加」選択➡◉➡0〜9選択➡◉

■ 上書き登録時：上記操作のあと「**はい**」選択➡◉

注意▶ スピードダイヤルに設定した相手のアドレス帳を削除したり、電話番号を編集したときは、設定した電話番号はスピードダイヤルから削除されます。

補足▶ 0に登録した相手には、スイッチ付イヤホンマイクなどを利用して、電話をかけられます。

スピードダイヤルで電話をかける

1 スピードダイヤルに登録済の0〜9のいずれかを押す。

2 📞を押す。

相手の名前または電話番号が表示されます。

- スピードダイヤルリストから相手を選び、📞を押しても電話をかけられます。
- 📞を長く（1秒以上）押すと、TVコールがかけられます。（スピードTVコール）

1件削除 スピードダイヤルを1件ずつ削除します。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ スピードダイヤル設定

削除する番号選択➡✉(メニュー)➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

補足▶ スピードダイヤルを削除しても、元のアドレス帳は削除されません。

設定リセット すべてのスピードダイヤル設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ スピードダイヤル設定

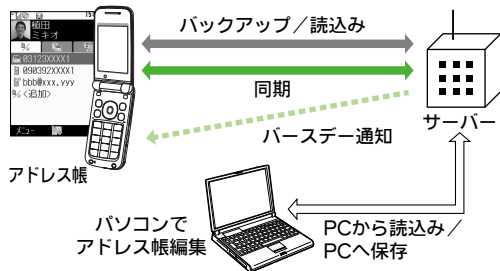
✉(メニュー)➡「設定リセット」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

スイッチ付イヤホンマイクを利用して電話をかける

■待受中にスイッチを「**ピピッ**」と音が鳴るまで長く（1秒以上）押すと、スピードダイヤルの0に登録した相手に電話をかけることができます。

- 電話を切るときは、スイッチを「**ピッ**」と音が鳴るまで長く（1秒以上）押します。

S!アドレスブック

S!アドレスブックとは、本機のアドレス帳をサーバーにバックアップしたり、本機のアドレス帳とサーバー内のアドレス帳の同期をとる（同じ状態にする）ことができるサービスです。本機の破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。

- S!アドレスブックの利用には、別途お申し込みが必要です。（有料）
- 機種変更をしても、他のS!アドレスブック対応機でアドレス帳を引き継ぐことができます。（☞P.4-16）
- パソコンでアドレス帳を編集してサーバーに保存し、本機で読込むこともできます。
- S!アドレスブックについて詳しくは、下記を参照してください。
  - ■ http://www.softbank.jp/SAB
- サーバー内のアドレス帳に誕生日を登録すると、メールでお知らせします。（バースデー通知）
  - ■ この機能は、パソコンから設定できます。

注意▶ S!アドレスブックのご利用時（バックアップ／読込み、同期）には、パケット通信料がかかります。

S!アドレスブックでできること

S!アドレスブックを利用すると、次のことができます。

バックアップ／読込み	サーバーへバックアップ	本機のアドレス帳をサーバーにバックアップします。※1
	サーバーから読込み	サーバー内のアドレス帳を本機に読込みます。※2
同期	通常同期	本機のアドレス帳とサーバー内のアドレス帳を比較し、最新の状態で同じ内容にします。※3
	本体片方向同期	本機のアドレス帳更新情報をバックアップ（サーバーへ反映）します。※4
	サーバー片方向同期	サーバーのアドレス帳更新情報を読込み（本機へ反映）ます。※5
パソコンで編集	PCから読込み	パソコンのアドレス帳をサーバーにアップロードします。
	PCへ保存	サーバー内のアドレス帳をパソコンにダウンロードします。
メール通知	バースデー通知	サーバー内のアドレス帳に誕生日の登録があると、メールでお知らせします。
	Eメールアドレスお知らせ	最新のE-mailアドレスを指定先に一斉にお知らせします。

※1 バックアップ前のサーバー内のアドレス帳はすべて削除されます。
※2 読込み前の本機のアドレス帳はすべて削除されます。
※3 前回の同期後に、本機とサーバー内の同じアドレス帳データ内の同じ項目を両方とも更新していたときは、サーバー内のアドレス帳が優先されます。
※4 前回の同期後にサーバー内のアドレス帳を更新していても、本機のアドレス帳には反映されません。
※5 前回の同期後に本機のアドレス帳を更新していても、サーバー内のアドレス帳には反映されません。

S!アドレスブック利用の流れ

S!アドレスブックのお申し込み
S!アドレスブックは、ソフトバンクショップ店頭、お客様センター（157）、Yahoo!ケータイの「My SoftBank」でお申し込みいただけます。

ユーザーID／パスワードの確認
S!アドレスブックのお申し込みが完了すると、ユーザーIDとパスワードの通知メール（SMS）が送られてきます。
- ユーザーIDは、お客様のソフトバンク携帯電話番号です。

ユーザーID／パスワードの設定
ユーザーIDとパスワードを設定します。（☞P.4-17）

利用開始
S!アドレスブックをご利用ください。
- S!アドレスブックのご利用時（バックアップ／読込み、同期）には、パケット通信料がかかります。

補足▶ ユーザーIDとパスワードの通知メールが届かないときは、お客様センター（157）へお問い合わせください。
また、本機から、次の方法で確認することもできます。
Y!➡「My SoftBank」選択➡◉➡「利用状況の確認」選択➡◉➡「S!アドレスブック編集用パスワード確認」選択➡◉
■ 以降は、画面の指示に従って操作してください。

S!アドレスブック利用時のご注意

■S!アドレスブックで同期できない項目があります

- 次の項目は、同期できません。「**サーバーから読込み**」を行うと、本機のアドレス帳の設定が失われますので、ご注意ください。
  ■ フォト、着信音、バイブ

■バックアップ／読込みのタイミングや同期の方向にご注意ください

- 本機のアドレス帳をすべて削除したあと「**通常同期**」、「**本体片方向同期**」、「**サーバーへバックアップ**」を行うと、サーバー内のアドレス帳もすべて削除されます。
- サーバー内のアドレス帳をすべて削除したあと「**通常同期**」、「**サーバー片方向同期**」、「**サーバーから読込み**」を行うと、本機のアドレス帳もすべて削除されます。

■複数登録できる項目は少ない方の件数に統一されます

- 電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が、本機（または機種変更後の機種）とサーバーとで異なる場合に、同期を行うと、両方とも少ない方の件数に統一されます。

■機種変更時のサービスの継続について

- 3Gシリーズ（S!アドレスブック対応）
  サーバー内のアドレス帳は保持され、そのままお使いいただけます。
- 3Gシリーズ（S!アドレスブック非対応）
  S!アドレスブックの契約は継続され、サーバー内のアドレス帳は保持されます。ただし、携帯電話からの操作はできません。（パソコンからの操作だけになります。）
- V3、V4、V5、V6、V8シリーズ
  S!アドレスブックは自動的に解約され、サーバー内のアドレス帳は削除されます。

■サービスの解約について

●S!アドレスブックを解約すると、サーバー内のアドレス帳は削除されます。

■その他のご注意

●海外からS!アドレスブックを利用することはできません。

ユーザーID／パスワードを設定する

S!アドレスブックのお申し込み後にメールで通知されてきたユーザーIDとパスワードを、本機に設定します。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ S!アドレスブック ➡ 同期設定

1 「ユーザー設定」を選び、◉を押す。

2 *ユーザーIDを登録する*

1「ユーザーID」を選び、◉を押す。

2 ユーザーIDを入力し、◉を押す。

パスワードを登録する

1「パスワード」を選び、◉を押す。

2 パスワードを入力し、◉を押す。

3 Y!（保存）を押す。

アドレス帳をバックアップする

本機のアドレス帳をサーバーにバックアップする

メニュー ▶ 電話機能 ➡ S!アドレスブック

1 「サーバーへバックアップ」を選び、◉を押す。

2 「はい」を選び、◉を押す。

3 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

サーバーに接続され、バックアップが始まります。

●バックアップが終わると、バックアップの詳細が表示されます。

■ バックアップの中止：Y!（キャンセル）➡「はい」選択➡◉

4 確認を終了するときは、◉を押す。

サーバー内のアドレス帳を本機に読込む

メニュー ▶ 電話機能 ➡ S!アドレスブック

1 「サーバーから読込み」を選び、◉を押す。

2 「はい」を選び、◉を押す。

3 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

サーバーに接続され、読込みが始まります。

●読込みが終わると、読込みの詳細が表示されます。

■ 読込みの中止：Y!（キャンセル）➡「はい」選択➡◉

4 確認を終了するときは、◉を押す。

アドレス帳を同期させる

アドレス帳を手動で同期させる

- 同期方法について詳しくは、P.4-15の表を参照してください。
- はじめてS!アドレスブックを利用するときや、機種変更後最初にS!アドレスブックを利用するときは、選んだ同期方法にかかわらず、「**通常同期**」になります。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ S!アドレスブック

1 **「通常同期」、「本体片方向同期」、「サーバー片方向同期」のいずれかを選び、◉を押す。**

2 **「はい」を選び、◉を押す。**

3 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。**
サーバーに接続され、同期が始まります。
- 同期が終わると、同期の詳細が表示されます。

■同期の中止：Y!（**キャンセル**）➡「**はい**」選択➡◉

4 **確認を終了するときは、◉を押す。**

自動的にアドレス帳を同期させる

- あらかじめ、ユーザーIDとパスワードを設定しておいてください。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ S!アドレスブック ➡ 同期設定

1 **「自動同期設定」を選び、◉を押す。**

2 **「On／Off設定」を選び、◉を押す。**

3 **「On」を選び、◉を押す。**

4 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。**

周期設定	自動同期する周期を設定します。

お買い上げ時 毎週／日曜／00：00

メニュー ▶ 電話機能 ➡ S!アドレスブック ➡ 同期設定 ➡ 自動同期設定 ➡ 周期設定

毎月自動同期する
「毎月」選択➡◉➡日付入力➡◉➡時刻入力➡◉

毎週自動同期する
「毎週」選択➡◉➡曜日選択➡◉➡時刻入力➡◉

毎日自動同期する
「毎日」選択➡◉➡時刻入力➡◉

同期モード設定	自動同期時の同期方法を設定します。

お買い上げ時 通常同期

メニュー ▶ 電話機能 ➡ S!アドレスブック ➡ 同期設定 ➡ 自動同期設定 ➡ 同期モード設定
同期方法選択➡◉

S!アドレスブックの履歴を確認する

バックアップ／読込み、同期の履歴を確認することができます。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ S!アドレスブック

1 「同期ログ」を選び、◉を押す。

確認の終了：◉

オーナー情報

オーナー情報を確認する

USIMカードに登録されているオーナー情報（お客様の情報）を確認します。

- オーナー情報（名前、電話番号、E-mailアドレス、住所など）を登録することもできます。

メニュー ▶ 電話機能

1 「オーナー情報」を選び、◉を押す。

オーナー情報が表示されます。

- オーナー情報画面の見かたは、アドレス帳詳細画面（☞P.4-9）と同様です。

2 確認を終わるときは、☎を押す。

補足▶ Bluetooth®（☞P.10-2）や赤外線通信（☞P.10-10）を利用して、他の機器との間で、オーナー情報をやりとりできます。

オーナー情報の登録	オーナー情報を登録します。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ オーナー情報

✉（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡編集項目選択➡◉

- 入力方法は、アドレス帳の登録と同様です。（☞P.4-4）

注意▶「電話番号１」は、変更できません。

オーナー情報の削除	登録したオーナー情報を削除します。

メニュー ▶ 電話機能 ➡ オーナー情報

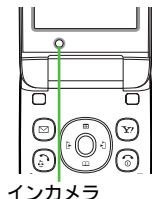
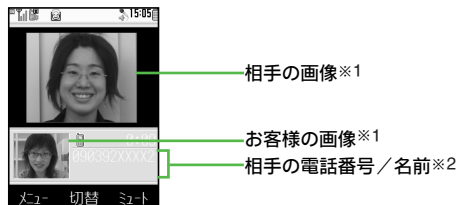
✉（メニュー）➡「オーナー情報リセット」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

注意▶「電話番号１」は、削除できません。

TVコール

TVコール機能は813SHでは利用できません。

TVコールをご利用になる前に

お客様と相手の画像（映像）を見ながら、通話できます。
- TVコールに対応している携帯電話との間で利用できます。
- 相手には、インカメラで撮影したお客様の画像が送信されます。
- アウトカメラを利用することもできます。きれいな画像を送りたいときなどに便利です。

TVコール画面表示

※1 相手の画像とお客様の画像を入れ替えるなど、画面の表示方法を変更できます。（TVコール画面設定：☞P.5-5）
※2 相手の名前は、本機のアドレス帳に登録されているときに表示されます。

TVコール利用時のご注意

- ソフトバンクのTVコールと異なる方式の携帯電話と接続したときは、通話が切れることがあります。このときは、通話が切れるまでの通話料金が課金されます。
- 相手の携帯電話によっては、相手の画像が小さく表示されることがあります。また、相手の設定によっては、相手の画像が送信されないことがあります。
- 背景に動きがあると、相手に送信する画像がコマ送りになったり、画像が乱れることがあります。
- 周囲の騒音がひどい場所では、音声が途切れるなど、正しく通話ができないことがあります。このときは、イヤホンマイクなどを利用して通話することをおすすめします。
- スピーカーホン（☞P.5-5、P.5-7）を利用しているときは、受話音量を上げると会話しづらくなることがあります。このときは、音量を下げて通話するか、イヤホンマイクなどを利用して通話することをおすすめします。
- TVコール通話中は、ボタン操作部や電池カバーおよびモバイルカメラ周辺部の温度が上がりますが、故障ではありません。
- TVコール通話中は、消費電流が多いため、本機に急速充電器を接続しても電池パックは充電されにくくなります。

TVコールをかける

1 電話番号をダイヤルする。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「TVコール」を選び、◉を押す。

相手がTVコールを受けると、相手の画像が表示されます。

- 相手の設定によっては、相手の画像が表示されないことがありますが、TVコール料金はかかります。

■通話中の操作：☞P.5-4

4 通話を終了するときは、☎を押す。

- 本機をクローズポジションにしても通話は切れます。（Bluetooth®機器やイヤホンマイクなどを利用して通話しているときは、クローズポジションにしても通話は切れません。）

補足▶
- 電話番号をダイヤル（発信履歴／着信履歴を選択）したあと、☎を長く（1秒以上）押してもTVコールをかけられます。
- アドレス帳（☞P.4-8）か発着信履歴（☞P.2-13）を利用してTVコールをかけることもできます。

TVコールを受ける

1 TVコール着信中に、本機をオープンポジションにする。

TVコール着信時は、TVコール着信のグラフィックが表示されます。

2 ***お客様の画像を送信する***

1 ◉（応答）を押す。

2「はい」を選び、◉を押す。

インカメラからの画像が相手に送信されます。

■通話中の操作：☞P.5-4

お客様の画像を送信しない

1 ◉（応答）を押す。

2「いいえ」を選び、◉を押す。

- お客様の画像は送信されませんが、相手にTVコール料金はかかります。

■通話中の操作：☞P.5-4

3 通話を終了するときは、☎を押す。

- 本機をクローズポジションにしても通話は切れます。（Bluetooth®機器やイヤホンマイクなどを利用して通話しているときは、クローズポジションにしても通話は切れません。）

補足▶ TVコール着信時に◉（応答）を押したあと約5秒間何も操作しないでおくと、「**いいえ**」を選んだ状態でTVコールが自動的に開始されます。

着信を拒否する

■TVコール着信中に次の操作を行うと、着信を拒否できます。

[メール]（**メニュー**）➡「**着信拒否**」選択➡◉

着信を転送する

■TVコール着信中に次の操作を行うと、着信を転送できます。

[Y!]（**転送**）

着信を応答保留にする

■TVコール着信中に次の操作を行うと、着信を応答保留にできます。

[通話]、[メール]（**メニュー**）➡「**応答保留**」選択➡◉

■TVコール着信を受ける：上記操作のあと◉➡「**はい**」／「**いいえ**」選択➡◉

●応答保留中、相手先の携帯電話には応答保留用の代替画像が表示され、音声はミュートの状態になります。

注意▶ マナーモード設定中にTVコールを受けると、スピーカーホンの設定（☞P.5-5、P.5-7）にかかわらず、スピーカーから音は出ません。音を出すときは、再度スピーカーホンを「**スピーカーホンOn**」にしてください。

TVコール通話中の操作

送信画像切替	相手に送信する画像（インカメラ／アウトカメラ／代替画像）を切り替えます。

お買い上げ時 インカメラ

通話中に[◎]

●[◎]を押すたびに、アウトカメラからの画像送信→代替画像送信→インカメラからの画像送信…の順に切り替わります。

●[◎]を押すと逆順に切り替わります。

●代替画像の設定については、「**送信画像切替**」（☞P.5-6）を参照してください。

受話音量調節	相手の声の大きさを5段階（1～5）で調節します。

お買い上げ時 音量3

通話中に[▶]／[◀]➡[▶]（**小さくする**）／[◀]（**大きくする**）

●押すたびに受話音量が調節できます。

●一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

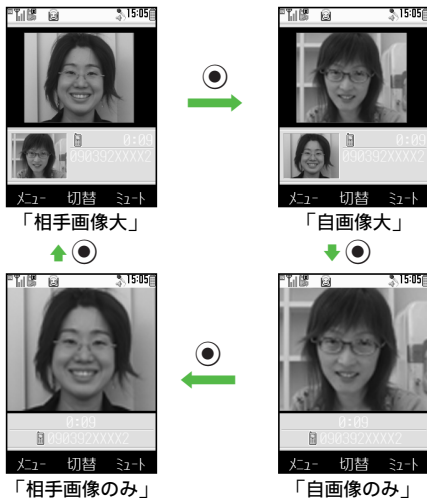
ミュート	相手にこちらの声を送信しないようにします。

通話中に[Y!]（**ミュート**）

■ ミュートの解除：上記操作のあと[Y!]（**ミュートオフ**）

TVコール画面設定	TVコール中の画面表示を切り替えます。

通話中に◉

- TVコールを開始すると、常に「**相手画像大**」となります。
- ◉を押すたびに次のように画面が切り替わります。

注意▶ 「**相手画像のみ**」にしているときでも、お客様の画像は相手に送信されています。

スピーカーホン	スピーカーホンを利用するかどうかを切り替えます。

通話中に✉（メニュー）➡「スピーカーホンOff」（利用しない）／「スピーカーホンOn」（利用する）選択➡◉

- スピーカーホンを「On」に設定していたとき、通話中にマナーモードを有効にすると、スピーカーホンは自動的に「Off」になり、スピーカーからの大きな音を止められます。マナーモードを解除すると、スピーカーホンは「On」に戻ります。

通話の保留	送話（音声／送信画像）と受話（音声）を停止します。（相手には保留画像が送信されます。）

通話中に✉（メニュー）➡「保留」選択➡◉

■ 通話の再開：上記操作のあと✉（**再開**）

アドレス帳	本機に登録済のアドレス帳やオーナー情報を表示します。アドレス帳登録も行えます。

アドレス帳やオーナー情報を表示する

通話中に✉（メニュー）➡「アドレス帳」選択➡◉➡アドレス帳（オーナー情報）選択➡◉

- オーナー情報は、アドレス帳の検索方法が「**ヨミ**」または「**グループ**」のときだけ表示できます。

電話番号をアドレス帳に登録する

通話中に✉（メニュー）➡「アドレス帳」選択➡◉➡✉（メニュー）➡「新規登録」選択➡◉➡P.4-4操作2以降

音声切替	ハンズフリー機器などを利用しているときの音声出力先を切り替えます。

通話中に✉（メニュー）➡「音声切替」選択➡◉➡「本体」／「Bluetooth」選択➡◉

自画像反転	インカメラ利用中のお客様の画像を、左右に反転して表示するかどうかを設定します。

通話中に✉（メニュー）➡「TVコール設定」選択➡●➡「自画像反転」選択➡●➡「On」／「Off」選択➡●

- アウトカメラの画像、代替画像、相手の画像は反転できません。
- TVコールを開始すると、常に「On」となります。

明るさ調整	送信画像の明るさを5段階（-2〜+2）で調整します。

通話中に✉（メニュー）➡「TVコール設定」選択➡●➡「明るさ調整」選択➡●➡◎（明るさ選択）➡●

- 代替画像の明るさは、調整できません。
- TVコールを開始すると、常に「**明るさ0**」となります。

ヘルプ	TVコール利用中の操作方法を表示します。

通話中に✉（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡●

■確認の終了：上記操作のあと●

その他通話中にできること

■ズームの利用
◎（**ズームイン**）／◎（**ズームアウト**）
- 代替画像では利用できません。

■マナーモード切替
☐（**1秒以上**）

■✉（**メニュー**）を押したあと、「**TVコール設定**」を選び●を押すと、TVコール設定（☞右記）の各項目も設定できます。

TVコール設定

- 以下の設定（リモートモニタモードを除く）は、通話中に変更することもできます。

送信画像切替	TVコール開始時にカメラ（インカメラ）からの画像を送信するか、代替画像を送信するかを設定します。

お買い上げ時 インカメラ

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ TVコール設定 ➡ 送信画像切替

「カメラ選択」選択➡●➡「インカメラ」／「代替画像選択」選択➡●

■代替画像の変更：「**代替画像選択**」選択➡●➡「**固定データ**」／「**データフォルダ**」選択➡●➡画像選択➡●➡●

■カスタムスクリーンの利用：「**代替画像選択**」選択➡●➡「**カスタムスクリーン**」選択➡●➡●

- カスタムスクリーン（☞P.9-9）を利用するときは、あらかじめカスタムスクリーンを設定してください。
- 通話中は「**アウトカメラ**」に変更することもできます。

受信画質設定	相手から受信する画像の品質を設定します。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ TVコール設定 ➡ 受信画質設定

「標準」／「画質優先」／「動き優先」選択➡●

- 「**動き優先**」にすると、動きはなめらかになりますが、画質は「**標準**」より悪くなります。
- 「**画質優先**」にすると、画質は向上しますが、動きは「**標準**」より悪くなります。

送信画質設定 相手に送信する画像の品質を設定します。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ TVコール設定 ➡ 送信画質設定

「標準」／「画質優先」／「動き優先」選択➡◉

- 設定内容は、「受信画質設定」（☞P.5-6）と同様です。
- 相手の「受信画質設定」の内容によっては、TVコール通話中に設定内容が自動的に変わることがあります。

保留中ガイダンス表示 TVコールの保留中に送信する画像を設定します。

お買い上げ時 固定データ1

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ TVコール設定 ➡ 保留中ガイダンス表示

固定データを利用する

「固定データ」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

データフォルダ内のデータを利用する

「データフォルダ」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

カスタムスクリーンを利用する

「カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉

- カスタムスクリーン（☞P.9-9）を利用するときは、あらかじめカスタムスクリーンを設定してください。

バックライト TVコール中の画面照明の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 常にOn

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ TVコール設定 ➡ バックライト

「常にOn」／「常にOff」／「通常設定に従う」選択➡◉

- 「通常設定に従う」にすると、バックライト（☞P.9-13）の設定内容に従って動作します。

スピーカーホン TVコール開始時にスピーカーホンを利用するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（スピーカーホンにする）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ TVコール設定 ➡ スピーカーホン

「On」（スピーカーホンにする）／「Off」（スピーカーホンにしない）選択➡◉

- ここでスピーカーホンを「On」に設定していても、マナーモード設定中、TVコール開始時のスピーカーホンは「Off」になります。

マイクミュート TVコール開始時にこちらの音声を消すかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（消さない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ TVコール設定 ➡ マイクミュート

「On」（消す）／「Off」（消さない）選択➡◉

リモートモニタモード	自動応答番号リストに登録した相手からのTVコール着信に自動応答します。

お買い上げ時 リモートモニタモード：Off（応答しない）、応答時間：00秒

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ TVコール設定 ➡ リモートモニタモード ➡ 操作用暗証番号（4ケタ）入力

リモートモニタモードを設定／解除する

「On／Off設定」選択➡◉➡「On」（応答する）／「Off」（応答しない）選択➡◉

自動応答番号リストに登録する

「自動応答番号リスト」選択➡◉➡未登録のリスト選択➡◉➡番号入力➡◉

- アドレス帳や通話履歴の番号を登録：「**自動応答番号リスト**」選択➡◉➡未登録のリスト選択➡✉（**メニュー**）➡「**変更**」選択➡◉➡「**アドレス帳参照**」／「**通話履歴参照**」選択➡◉➡登録する番号選択➡◉
- 自動応答番号変更：「**自動応答番号リスト**」選択➡◉➡変更する番号選択➡◉➡番号入力➡◉
  - アドレス帳や通話履歴の番号を利用：「**自動応答番号リスト**」選択➡◉➡変更する番号選択➡✉（**メニュー**）➡「**変更**」選択➡◉➡「**アドレス帳参照**」／「**通話履歴参照**」選択➡◉➡登録する番号選択➡◉
- 自動応答番号削除：「**自動応答番号リスト**」選択➡◉➡削除する番号選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

● 自動応答番号リストは、10件まで登録できます。

応答時間を設定する

「応答時間」選択➡◉➡応答時間入力➡◉

注意▶
- リモートモニタモードを「On」にしていても、自動応答番号リストに登録されていない番号からのTVコール着信は、自動応答されません。
- クローズポジションで自動応答はできません。
- 自動応答時には、マナーモード中やハンズフリー機器などの利用中もリモートモニタモード専用の効果音が最大音量で鳴ります。（効果音や音量の変更はできません。）

カメラ

カメラ機能は813SHでは利用できません。

カメラについて

本機は内蔵の２メガピクセルカメラを利用して、静止画や動画が撮影できます。
詳しくは「**静止画撮影モード**」（☞P.6-5）／「**動画撮影モード**」（☞P.6-8）を参照してください。

補足▶ 本機では、インカメラでも撮影できます。ここでは、ことわりがない限り、アウトカメラでの操作を中心に説明しています。

カメラ利用時のご注意

- アウトカメラのレンズカバーに指紋や油脂が付くとピントが合わなくなります。柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。本機が動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー（☞P.6-11）で撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますので、ご了承ください。
- 本機を暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を保存したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。

カメラ撮影中の撮影音について

■カメラ撮影時には、一定の音量でシャッター音やセルフタイマー音が鳴ります。
- マナーモードやその他のモード設定にかかわらず、音が鳴ります。音量も変更できません。

■静止画撮影時のシャッター音のパターンは、変更できます。（☞P.6-15）

カメラ利用中に着信／アラーム動作があると

■撮影前に着信やアラーム動作があると、カメラは中断します。通話などを終わると、再度カメラが起動します。
- 通話中に[☞]を押すと、撮影前の画面と通話画面を切り替えることができます。

■動画撮影中にアラームの設定時刻になったとき、アラームは動作せず撮影を継続します。このときは、撮影後にカメラを終了すると、アラームが動作します。

■撮影後（保存前）や動画撮影中に着信があったり、撮影後にアラーム動作があったとき、撮影した静止画／動画は一時的に記憶（保護）されています。通話などを終わると、撮影後の画面に戻ります。

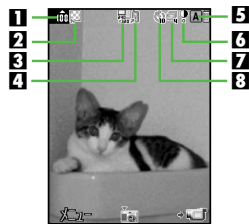
動画撮影のご注意

■電池レベルが不足しているときは撮影できません。また、撮影中に電池残量が不足すると、撮影が中止されます。（途中までの録画内容は保存されています。）

自動終了について

■カメラ起動後、画像を撮影する前に約３分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面へ戻ります。

カメラ利用中の画面表示

静止画撮影モード

1 保存可能件数表示（☞P.6-5）

- 101件以上撮影（保存）可能なときは、「」が表示されます。
- ３件以下になると、背景が赤く表示されます。

2 画質表示※（☞P.6-16）

：ハイクオリティ／：ファイン／：ノーマル

※IPサービス設定（☞P.9-26）が「On」で、ホットステータスの「**ネットワーク接続状況**」（☞P.19-9）が「**オンライン**」のときは表示されません。

3 撮影サイズ表示（☞P.6-16）

4 保存先表示（☞P.6-18）

：本体（本機）／：メモリカード／
：デジタルカメラフォルダ／：毎回確認

5 シーン別撮影表示（☞P.6-16）

：標準／：夜景／：スポーツ／：文字

6 明るさ調整表示（☞P.6-16）

暗い ⇐標準⇒ 明るい

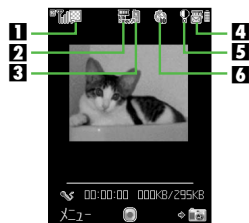
7 連写表示（☞P.6-12）

～：連写枚数（マーク下の数字は「**撮影済または表示中の枚数**」－「**連写枚数**」を表します。）
：４枚連写／：９枚連写／：オーバーラップ連写

- 連写撮影後、分割画像が表示されているときは、「」が表示されます。

8 セルフタイマー表示（☞P.6-11）

：10秒／：５秒／：２秒

動画撮影モード

1 画質表示※（☞P.6-16）

：ハイクオリティ／：ファイン／：ノーマル

※IPサービス設定（☞P.9-26）が「On」で、ホットステータスの「**ネットワーク接続状況**」（☞P.19-9）が「**オンライン**」のときは表示されません。

2 撮影サイズ表示（☞P.6-17）

3 保存先表示（☞P.6-18）

：本体（本機）／：メモリカード／：毎回確認

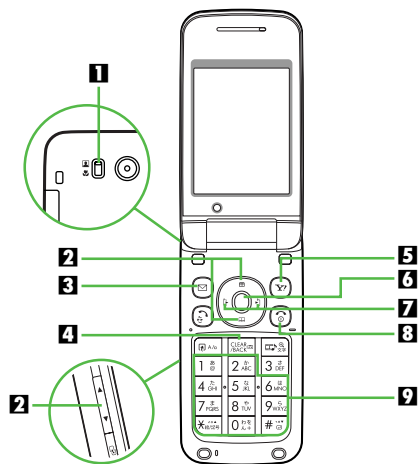
4 撮影時間表示（☞P.6-17）

：メール添付／：長時間撮影／：SD VIDEO

5 明るさ調整表示（☞P.6-16）

暗い ⇐標準⇒ 明るい

6 セルフタイマー表示（☞P.6-11）
10：10秒／05：５秒／02：２秒

カメラで使用するボタン

1 接写スイッチ
スライドさせて切り替えます。[「👤」（通常）⇔「🌷」（接写）]
- 被写体との距離は、接写モードでは10cm程度、通常モードでは約40cm以上を目安にしてください。

2 ズーム
⊙（ズームイン）、⊙（ズームアウト）
- ◀（ズームイン）、▶（ズームアウト）も利用できます。

3 メニュー表示
4 撮影のやり直し
5 撮影モード切替
6 シャッター
7 明るさ調整
⊙（暗くなる）、⊙（明るくなる）
8 カメラ終了
9 機能の簡単切替
撮影画面で次のボタンを押すと、各機能が簡単に利用できます。

1	明るさ調整表示
2	画面表示切替：☞P.6-15（静止画）
	表示サイズ切替：☞P.6-16（動画）
4	保存先変更：☞P.6-18
5	撮影サイズ：☞P.6-16（静止画）、P.6-17（動画）
6	シーン別撮影：☞P.6-16（静止画）
	マイクOn／Off切替：☞P.6-16（動画）
7	画質設定：☞P.6-16
8	セルフタイマー設定切替：☞P.6-11
9	ズーム　最大／等倍切替
0	ヘルプ表示：☞下記
＊	インカメラ／アウトカメラ切替：☞P.6-17

- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各モードで利用できる機能（☞P.6-7、P.6-9）などでご確認のうえ、ご利用ください。

ヘルプ機能について

■撮影画面で次の操作を行うと、静止画／動画撮影時に利用できるボタン操作が表示されます。
0
- ■隠れている部分を表示：上記操作のあと⊙
- ■撮影画面に戻る：上記操作のあと●
- 撮影画面のメニュー操作でも、ヘルプを表示できます。
✉（**メニュー**）➡「**ヘルプ**」**選択**➡●

静止画の撮影

静止画撮影モード

メール添付や壁紙登録など、用途に合わせいろいろなサイズの静止画が撮影できます。また、撮影／画像に関する設定など、目的に応じた設定を選んで撮影できます。

撮影サイズ	2M（横1200×縦1600ドット［UXGA］） 1.2M（横960×縦1280ドット［Quad-VGA］） VGA（横480×縦640ドット［VGA］） メール添付L（横240×縦320ドット［QVGA］） メール添付S（横120×縦160ドット［QQVGA］）
保存形式	JPEG形式（.jpg）※1
保存先	本体またはメモリカードの データフォルダ（ピクチャー）※2
画質	ハイクオリティ／ファイン／ノーマル
ズーム	2M（横1200×縦1600ドット）: なし 1.2M（横960×縦1280ドット）: 1～1.3倍 VGA（横480×縦640ドット）: 1～2.5倍 メール添付L（横240×縦320ドット）: 1～10倍 メール添付S（横120×縦160ドット）: 1～20倍
S!メール添付	可能
保存可能件数（目安）	約4050ファイル※3

※1「Image001.jpg」、「Image002.jpg」…の順にファイル名が付きます。

※2 横480×縦640ドット以上の静止画は、メモリカードのDCIMフォルダ（デジタルカメラフォルダ）にも保存できます。

※3 お買い上げ時の状態（撮影サイズ、画質：☞P.6-16）で撮影し、本機に保存したときの画像数です。

補足▶

- 本体またはメモリカードのどちらに保存するかは、あらかじめ設定できます。撮影のたびに保存先を選ぶようにすることもできます。（保存先設定：☞P.6-18）
- 本体のデータフォルダのメモリは、ムービーや着うた・メロディ、S!アプリライブラリなどと共有しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（保存）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.8-2を参照してください。
- 横480×縦640ドット以上のサイズで撮影した静止画は、横向きの画像として保存されます。（本機で見ると縦向きに表示されます。）
  - ■ データフォルダで詳細情報（プロパティ）を確認すると、「**解像度**」欄には実際の画像サイズが表示されます。（例：横480×縦640ドットで撮影したときは、「W640×H480」と表示されます。）

静止画を撮影する

メニュー ▶ カメラ

1 画像を画面に表示する。

■ 動画撮影画面から静止画撮影画面に切り替える：Y!（➔📷）
■ カメラで使用するボタン：☞P.6-4
■ 便利な撮影方法：☞P.6-11
■ 撮影／画像に関する設定：☞P.6-15

静止画撮影画面

2 ◉を押す。

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。

■ 撮影のやり直し：CLEAR/BACK
■ メール添付：Y!（✉）➡P.14-7操作3以降

3 静止画を保存するときは、◉ を押す。

保存後、撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡◉
■ 撮影した静止画の確認：☞P.6-10

4 カメラを終了するときは、☎を押す。

注意▶ **インカメラで撮影するとき**
撮影前や撮影直後の画面には、鏡で映したように反転した画像が表示されます。（保存した画像の確認時には、反転していない画像が表示されます。）

補足▶ **自動保存設定を「On」にしているとき**
撮影後、自動的に静止画が保存され、続けて撮影できる状態になります。

保存していない静止画があるとき
カメラを終了すると、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「**はい**」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を保存せずに、待受画面に戻ります。
- 「**いいえ**」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に✉（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

明るさ調整		明るさを調整します。（☞P.6-16）
撮影モード※1	**フレーム追加**※2	静止画にフレームを付けて撮影します。（☞P.6-13）
	連写設定※3	静止画を連続して撮影します。（☞P.6-12）
	効果付き撮影※2	画面の装飾効果を確認しながら撮影します。（☞P.6-14）
バーコードリーダー		バーコードを読み取ります。（☞P.12-19）
データフォルダ		本体またはメモリカード内の静止画を確認します。（☞P.6-10）
撮影サイズ		撮影する静止画のサイズを設定します。（☞P.6-16）
シーン別撮影※1		撮影環境を設定します。（☞P.6-16）
画質設定		画質を設定します。（☞P.6-16）
セルフタイマー※1		セルフタイマーを設定します。（☞P.6-11）
設定	**アイコン表示**	画面の表示を切り替えます。（☞P.6-15）
	シャッター音	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-15）
	保存先設定	静止画の保存先（本体／メモリカード）を設定します。（☞P.6-18）
	自動保存設定	撮影後自動的に静止画を保存するかどうかを設定します。（☞P.6-18）

※1 インカメラでは利用できません。
※2 横240×縦320ドット以下の撮影で利用できます。
※3 横480×縦640ドット以下の撮影で利用できます。

インカメラに切替／アウトカメラに切替	インカメラ／アウトカメラでの撮影を切り替えます。（☞P.6-17）
ヘルプ	カメラで利用できるボタン操作を、画面に表示します。（☞P.6-4）

補足▶ メニュー画面表示中にダイヤルボタンを押しても、表の各機能を利用することができます。

撮影直後（静止画保存前）

静止画の撮影直後（保存前）に✉（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

保存先設定	静止画の保存先（本体／メモリカード）を設定します。（☞P.6-18）
データフォルダ	本体またはメモリカード内のデータフォルダが表示されます。静止画を削除してメモリの空き容量を増やすことができます。

動画の撮影

動画撮影モード

長時間（メモリカードの容量による）の動画や、メール添付用の短い動画を、用途に応じて撮影できます。

撮影サイズ		横176×縦144ドット（QCIF） 横128×縦96ドット（SubQCIF）	横320×縦240ドット（QVGA） 横240×縦176ドット（HQVGA）※1	
保存形式		MPEG-4/H.263（.3gp）※2	MPEG-4（.3gp）※2	MPEG-4（.ASF）※3
保存先		本体またはメモリカードのデータフォルダ（ムービー）	メモリカードのデータフォルダ（ムービー）	メモリカードのSDビデオフォルダ
画質		ハイクオリティ／ファイン／ノーマル	ハイクオリティ	
S!メール添付		可能	不可	
最長撮影時間（1回あたり）	メール添付	約60秒（画質：ノーマル） 約50秒（画質：ファイン） 約30秒（画質：ハイクオリティ）	－	
	長時間撮影	30分		－
	SD VIDEO	－		メモリカードの容量により変動

※1 保存形式はMPEG-4（.3gp）だけです。
※2「video001.3gp」、「video002.3gp」…の順にファイル名が付きます。
※3「MOL001.ASF」、「MOL002.ASF」…の順にファイル名が付きます。

補足▶
- 動画は、明るい状態でなるべくカメラから1.5mまでの距離で、撮影することをおすすめします。
- 本体またはメモリカードのどちらに保存するかは、あらかじめ設定できます。撮影のたびに保存先を選ぶようにすることもできます。（保存先設定：☞P.6-18）
- 本体のデータフォルダのメモリは、着うた・メロディ、S!アプリライブラリなどと共有しているため、他のデータの登録状況によって、撮影（保存）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.8-2を参照してください。

動画を撮影する

- ご利用前に電池残量とメモリ容量をご確認ください。電池残量が不足しているときは撮影できません。
また、撮影中に電池残量やメモリ容量が不足すると、撮影が中止されます。

メニュー▶ カメラ

1 **Y!（→）を押す。**

動画撮影画面が表示されます。

- 動画撮影画面が表示されているときは、Y!（→）を押す必要はありません。

2 **画像を画面に表示する。**

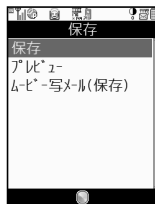
- カメラで使用するボタン：☞P.6-4
- 便利な撮影方法：☞P.6-11
- 撮影／画像に関する設定：☞P.6-15

動画撮影画面

3 ◉を押す。

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。
（撮影開始まで、しばらく時間がかかることがあります。）
■撮影のやり直し：CLEAR/BACK

4 撮影を終了するときは、◉を押す。

撮影終了音が鳴り、撮影が終わります。
■撮影した動画の再生：「**プレビュー**」選択➡◉
■再生中の表示切替：再生中に2（押すたびに切替）
■撮影のやり直し：CLEAR/BACK

5 動画を保存するときは、「保存」を選び、◉を押す。

保存後、撮影前の状態に戻りますので、続けて撮影できます。
■保存先選択画面表示時：保存先選択➡◉

6 カメラを終了するときは、⌂を押す。

補足▶ **自動保存設定を「On」にしているとき**
撮影後、自動的に動画が保存され、続けて撮影できる状態になります。
保存していない動画があるとき
カメラを終了すると、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「**はい**」を選び、◉を押すと、撮影した動画を保存せずに、待受画面に戻ります。
- 「**いいえ**」を選び、◉を押すと、撮影後のメニュー画面に戻ります。

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に✉（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

明るさ調整	明るさを調整します。（☞P.6-16）
表示サイズ※1	撮影時の画像の表示サイズを設定します。（☞P.6-16）
データフォルダ	本体またはメモリカード内の動画を確認します。（☞P.6-10）
撮影時間／サイズ	動画の撮影時間とサイズ（保存形式）を設定します。（☞P.6-17）
マイク設定	撮影時に音声も同時に録音するかどうかを設定します。（☞P.6-16）
画質設定※1	画質を設定します。（☞P.6-16）
セルフタイマー※2	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-11）
設定 **保存先設定**※3	動画の保存先（本体／メモリカード）を設定します。（☞P.6-18）
設定 **自動保存設定**	撮影後自動的に動画を保存するかどうかを設定します。（☞P.6-18）
設定 **エンコード形式**※1	ファイルの圧縮形式を設定します。（☞P.6-17）
インカメラに切替※1／**アウトカメラに切替**※1	インカメラ／アウトカメラでの撮影を切り替えます。（☞P.6-17）
ヘルプ	カメラで利用できるボタン操作を、画面に表示します。（☞P.6-4）

※1 横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。
※2 インカメラでは利用できません。
※3 撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ利用できます。

補足▶ メニュー画面表示中にダイヤルボタンを押しても、表の各機能を利用することができます。

撮影直後（動画保存前）

動画の撮影直後（保存前）には、メニュー画面が自動的に表示され、次の機能が利用できます。

保存	撮影した動画を本体またはメモリカードに保存します。（☞P.6-9）
プレビュー	撮影した動画を再生します。（☞P.6-9）
ムービー写メール（保存）※	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.6-15）

※撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ利用できます。また、添付ファイル送信時設定（☞P.14-38）を「**保存しないで送信**」にしているときは、「**ムービー写メール**」と表示されます。

撮影した画像の確認

撮影（保存）した静止画／動画を確認します。
- データフォルダの操作でも確認できます。（☞P.8-5）

静止画の確認

メニュー ▶ カメラ ➡ 静止画撮影画面を表示する

1 静止画撮影画面で、✉（メニュー）を押す。

2 「データフォルダ」を選び、●を押す。

- メモリの空き容量も表示されます。
- メモリカード取付時：「**ピクチャー**」／「**デジタルカメラ**」選択➡●
  - ■本体／メモリカードの切替（「**ピクチャー**」選択時）：✉（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡●
- 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡●

3 静止画を選び、●を押す。

- 別の静止画の確認：CLEAR/BACK➡静止画選択➡●

動画の確認

メニュー ▶ カメラ ➡ 動画撮影画面を表示する

1 動画撮影画面で、✉（メニュー）を押す。

2 「データフォルダ」を選び、●を押す。

- メモリの空き容量も表示されます。
- 本体／メモリカードの切替：✉（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡●
- 新しく作成したフォルダ選択時：フォルダ選択➡●

3 動画を選び、◉を押す。

再生が始まります。◉を押すたびに、一時停止⇔再生します。

■別の動画の確認：CLEAR/BACK➡動画選択➡◉

SDビデオ内の動画の確認	撮影時間／サイズを「SD VIDEO」にして撮影したASF形式の動画を確認します。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ SDビデオ

動画選択➡◉

■別の動画の確認：CLEAR/BACK➡動画選択➡◉

便利な撮影方法

セルフタイマーで撮影する（静止画／動画）

セルフタイマーを利用して静止画／動画を撮影できます。

- インカメラでは利用できません。
- 以下の操作は、P.6-6操作１の静止画撮影前、またはP.6-8操作２の動画撮影前の状態で行います。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

1 ✉（メニュー）を押す。

2「セルフタイマー」を選び、◉を押す。

3 時間を選び、◉を押す。

「⏲」などが表示され、選択した時間でセルフタイマーが設定されます。

■セルフタイマーの解除：「Off」選択➡◉

4 画像を画面に表示し、◉を押す。

セルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。

- 設定した時間を過ぎると、静止画撮影モードでは撮影後の画像が表示され、動画撮影モードでは撮影が始まります。

■撮影のやり直し：セルフタイマー動作中に✉（**キャンセル**）

▪セルフタイマーが設定されたまま、撮影をやり直せる状態に戻ります。

5 *静止画を保存する*

1 静止画を保存するときは、◉を押す。

セルフタイマーは解除され、通常の撮影画面に戻ります。

■保存先選択画面表示時：保存先選択➡◉

動画を保存する

1 撮影を終了するときは、◉を押す。

2 動画を保存するときは、「保存」を選び、◉を押す。

セルフタイマーは解除され、通常の撮影画面に戻ります。

■保存先選択画面表示時：保存先選択➡◉

6 カメラを終了するときは、⏻を押す。

■保存していない静止画／動画があるとき：☞P.6-6、P.6-9

注意▶ 連写スピード（☞P.6-12）を「**マニュアル**」にしているときは、セルフタイマーは利用できません。

補足▶ 静止画／動画撮影画面で8を押しても、次の順にセルフタイマーを設定できます。

「10秒」→「５秒」→「２秒」→「Off」…

セルフタイマー撮影時のご注意

■セルフタイマー動作中に◉を押すと、その時点で撮影され、セルフタイマーは解除されます。
■セルフタイマー動作中に着信やアラーム動作があると、撮影は中止されます。（セルフタイマーは解除されません。）
■セルフタイマー動作中は、ズーム、明るさ調整以外の機能は利用できません。

連写撮影する（静止画）

静止画を連続して撮影できます。設定できる連写の種類は、次のとおりです。

4枚連写※1	4枚の静止画を連続して撮影し、4枚の静止画と分割画像※2を作成します。
9枚連写※3	9枚の静止画を連続して撮影し、9枚の静止画と分割画像※2を作成します。
オーバーラップ連写※3	連続して5枚の静止画を撮影し、5枚の静止画と合成画像を作成します。

※1 横480×縦640ドット以下で利用できます。（横480×縦640ドットでは、分割画像は作成されません。）
※2 分割画像とは、連続撮影したすべての静止画を縮小し、1枚の静止画内に配置したものです。連写画像の内容が一覧で確認できます。
※3 横240×縦320ドット以下で利用できます。

- 設定できる連写撮影の速さ（連写スピード）は、撮影サイズによって異なります。
- 4枚／9枚連写では回数分シャッターを押す、「**マニュアル**」も設定できます。
- インカメラでは利用できません。

- 以下の操作は、P.6-6操作1の静止画撮影前の状態で行います。

1 **✉（メニュー）を押す。**

2 **「撮影モード」を選び、◉を押す。**

3 **「連写設定」を選び、◉を押す。**

4 **「4枚連写」～「オーバーラップ連写」のいずれかを選び、◉を押す。**

■ 連写の解除：「Off」選択➡◉（操作完了）

5 **連写スピードを選び、◉を押す。**

連写マーク（☞P.6-3）が表示され、撮影画面に戻ります。
- セルフタイマー（☞P.6-11）を設定しているときは、「**マニュアル**」は利用できません。

6 **画像を画面に表示し、◉を押す。**

設定したスピードで連写撮影されます。
- 4枚／9枚連写を手動（マニュアル）で撮影するときは、残りの回数分操作6をくり返してください。

■ 連写の中止：連写撮影中に☒（**キャンセル**）
- ■このあと、中止前に撮影した連写画像を保存するときは、操作8へ進みます。
- ■連写の取消：上記操作のあと CLEAR/BACK
（途中まで撮影した画像は消去され、連写撮影をやり直せる状態に戻ります。）

6 カメラ

7 連写撮影が終われば、分割画像または合成画像が表示される。

- 横480×縦640ドットのときは、1枚目に撮影した画像が表示されます。

■ 連写画像内の静止画の確認：◎
- ■ このあと、連写画像内の1枚だけを保存するときは、保存する画像を表示し、操作8へ進みます。

■ メール添付：[Y!]（✉）➡P.14-7操作3以降

4枚連写の分割画像

8 連写画像を保存するときは、◉を押す。

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡◉

9 *すべての連写画像を保存する*

1「全画像」を選び、◉を押す。

連写画像保存後、撮影画面に戻ります。
（連写設定はそのままです。）

1枚だけを保存する

1「表示画像」を選び、◉を押す。

表示画像保存後、連写撮影後の画面に戻ります。
（連写設定はそのままです。）

■ 他の静止画の保存：上記操作のあと◎（静止画選択）➡◉➡「表示画像」選択➡◉
- ■ 撮影画面に戻る：上記操作のあと[CLEAR/BACK]

10 カメラを終了するときは、[終話]を押す。

■ 保存していない静止画があるとき：☞P.6-6

注意▶ 暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。

補足▶ 表示画像だけを保存したとき
カメラを終了すると、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「はい」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を保存せずに、待受画面に戻ります。
- 「いいえ」を選び、◉を押すと、連写撮影後の画面に戻ります。

フレームを付けて撮影する（静止画）

- インターネットなどで入手したフレーム［透過PNG形式の画像（40Kバイト以下）］も利用できます。
- 横240×縦320ドット以下の静止画撮影で利用できます。
- インカメラでは利用できません。
- 以下の操作は、P.6-6操作1の静止画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、撮影を行ってください。

1 [✉]（メニュー）を押す。

2「撮影モード」を選び、◉を押す。

3「フレーム追加」を選び、◉を押す。

4 *あらかじめ登録されているフレームを利用する*

1「固定データ」を選び、◉を押す。

2 フレームを選び、◉を押す。

■ フレームの表示：フレーム選択➡[✉]（表示）
- ■ フレーム選択に戻る：上記操作のあと[CLEAR/BACK]

データフォルダ内のフレームを利用する

1「データフォルダ」を選び、◉を押す。

●選択できないフレームは、利用できません。

2 フレームを選び、◉を押す。

■ フレームの表示：フレーム選択➡Y!（表示）

■フレーム選択に戻る：上記操作のあとCLEAR/BACK

3 ◉を押す。

フレームを解除する

1「Off」を選び、◉を押す。

補足▶ 連写撮影では、すべての静止画にフレームが付きます。

画面の装飾効果を確認しながら撮影する（静止画）

画面に表示される装飾効果を確認しながら、静止画を撮影できます。（効果付き撮影）

●横240×縦320ドット以下の静止画撮影で利用できます。

●インカメラでは利用できません。

●以下の操作は、P.6-6操作1の静止画撮影前の状態で行います。操作後、撮影画面に戻りますので、撮影を行ってください。

1 ✉（メニュー）を押す。

2「撮影モード」を選び、◉を押す。

3「効果付き撮影」を選び、◉を押す。

4 装飾の種類を選び、◉を押す。

選んだ装飾効果で撮影できる状態になります。

■ 効果の表示：✉（表示）

■効果の変更：上記操作のあとCLEAR/BACK

■ 効果付き撮影の解除：「Off」選択➡◉

静止画／動画のメール添付

撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接S!メールに添付して送信します。

●撮影した静止画を保存したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.8-11）

1 静止画を撮影する。

■ 静止画の撮影方法：☞P.6-6操作1～操作2

■ 連写画像の添付：P.6-13操作7のあと◎（添付する静止画選択）

2 Y!（✉）を押す。

静止画が保存されたあと、S!メール作成画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●静止画を保存せずに送信するよう、設定しておくこともできます。（添付ファイル送信時設定：☞P.14-38）

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡◉

3 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.14-7操作3以降）

補足▶ 送信先が添付した静止画を受信できるかなど、あらかじめご確認ください。相手機種のサービス対応状況については、「サービスガイド 3G」を参照してください。

撮影した動画を添付する

撮影した動画を、撮影直後の画面から直接S!メールに添付して送信します。

- S! メールに添付できる動画のサイズ/形式などについては、P.6-8を参照してください。
- 撮影した動画を保存したあとは、データフォルダの操作で送信します。(☞P.8-11)

1 動画を撮影する。(☞P.6-8操作1～P.6-9操作4)

2 「ムービー写メール(保存)」を選び、◉を押す。

動画が保存されたあと、S! メール作成画面が表示されます。(動画はあらかじめ添付されています。)

- 動画を保存せずに送信するよう、設定しておくこともできます。(添付ファイル送信時設定:☞P.14-38)
  - ■ 添付ファイル送信時設定(☞P.14-38)を「**保存しないで送信**」にしているときは、「**ムービー写メール(保存)**」ではなく「**ムービー写メール**」と表示されます。

■ 保存先選択画面表示時:保存先選択➡◉

3 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。(☞P.14-7操作3以降)

注意▶
- S! メール、VGSメール非対応のソフトバンク携帯電話には動画は送信できません。
- 撮影した動画は、MPEG-4 対応機以外のソフトバンク携帯電話には送信できません。

補足▶ 相手機種のサービス対応状況については、「**サービスガイド 3G**」を参照してください。

撮影/画像に関する設定

撮影方法や画像など、静止画や動画を目的に応じて撮影できます。

- 利用できる機能は、撮影モードによって異なります。各機能の説明内にある表でご確認のうえ、ご利用ください。
- ボタンを押して、簡単に切り替えられる機能もあります。(☞P.6-4)
- 各設定の操作は、P.6-6操作1の静止画撮影前、またはP.6-8操作2の動画撮影前の状態で行います。
  操作後、撮影画面に戻りますので、撮影を行ってください。

撮影方法の設定

撮影時の状態に合わせて撮影方法を設定できます。

表示切替 静止画撮影時の画面表示を切り替えます。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 通常画面表示

✉(メニュー)➡「**設定**」選択➡◉➡「**アイコン表示**」選択➡◉➡「**通常画面表示**」/「**アイコン非表示**」選択➡◉

シャッター音 静止画撮影時のシャッター音を設定します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 パターン1

✉(メニュー)➡「**設定**」選択➡◉➡「**シャッター音**」選択➡◉➡**パターン選択**➡◉

■ シャッター音の再生:パターン選択➡✉(**再生**)

- シャッター音の音量は変更できません。
- 連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

表示サイズ 動画撮影時の画像の表示サイズを設定します。

静止画撮影モード	×	動画撮影モード	○※

※横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。

お買い上げ時 等倍

✉（メニュー）➡「表示サイズ」選択➡◉➡「等倍」／「拡大」選択➡◉

画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。

明るさ調整 静止画や動画の明るさを調整します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 0（標準）

✉（メニュー）➡「明るさ調整」選択➡◉➡◎（明るさ選択）

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。「**インカメラ／アウトカメラ切替**」（☞P.6-17）を行ったときも、お買い上げ時の設定に戻ります。

撮影サイズ 静止画の撮影サイズを変更します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	×

お買い上げ時 メール添付L（240×320）

✉（メニュー）➡「撮影サイズ」選択➡◉➡サイズ（☞P.6-5）選択➡◉

- インカメラで利用できる静止画の撮影サイズは、メール添付L（240×320）／メール添付S（120×160）です。
- 動画の撮影サイズは、「**撮影時間／サイズ**」（☞P.6-17）で変更できます。

画質設定 静止画や動画の画質を設定します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○※

※横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。

お買い上げ時 静止画：ノーマル、動画：ファイン

✉（メニュー）➡「画質設定」選択➡◉➡画質選択➡◉

- 「**ノーマル**」→「**ファイン**」→「**ハイクオリティ**」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、保存可能画像数や撮影可能時間は減ります。

シーン別撮影 静止画の撮影環境を設定します。

静止画撮影モード	○※	動画撮影モード	×

※インカメラでは利用できません。

お買い上げ時 標準

✉（メニュー）➡「シーン別撮影」選択➡◉➡撮影環境選択➡◉

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。「**インカメラ／アウトカメラ切替**」（☞P.6-17）を行ったときも、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 設定できる撮影環境は、次のとおりです。

標準	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
スポーツ	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
文字	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体の撮影に適しています。

マイク設定 動画の撮影時に、音声も同時に録音するかどうかを設定します。

静止画撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時 On（録音する）

✉（メニュー）➡「マイク設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

撮影時間／サイズ	動画の撮影時間とサイズ（保存形式）を設定します。

静止画撮影モード	×	動画撮影モード	○

お買い上げ時メール添付、QCIF（176×144）

（メニュー）➡「撮影時間／サイズ」選択➡◉➡「メール添付」／「長時間撮影」／「SD VIDEO」選択➡◉➡サイズ（保存形式）選択➡◉

- 「**メール添付**」にすると、撮影できるサイズが最大295Kバイトに制限されます。
- 設定できるサイズ（保存形式）は、次のとおりです。

■ **メール添付**

QCIF（176×144）	MPEG-4形式／H.263形式（.3gp）の横176×縦144ドットの動画を撮影します。
SubQCIF（128×96）	MPEG-4形式／H.263形式（.3gp）の横128×縦96ドットの動画を撮影します。

■ **長時間撮影**

QVGA（320×240）	MPEG-4形式（.3gp）の横320×縦240ドットの動画を撮影します。
HQVGA（240×176）	MPEG-4形式（.3gp）の横240×縦176ドットの動画を撮影します。
QCIF（176×144）	MPEG-4形式／H.263形式（.3gp）の横176×縦144ドットの動画を撮影します。
SubQCIF（128×96）	MPEG-4形式／H.263形式（.3gp）の横128×縦96ドットの動画を撮影します。

■ SD VIDEO

QVGA（320×240）	MPEG-4形式（.ASF）の横320×縦240ドットの動画を撮影します。

エンコード形式	動画のファイルの圧縮形式を設定します。

静止画撮影モード	×	動画撮影モード	○※

※横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。

お買い上げ時MPEG4

（メニュー）➡「設定」選択➡◉➡「エンコード形式」選択➡◉➡「H.263」／「MPEG４」選択➡◉

その他の設定

撮影した画像の保存先を変更したり、撮影後、自動的に画像を保存できるようにするなど、いろいろな機能を利用できます。

インカメラ／アウトカメラ切替	アウトカメラとインカメラを切り替えます。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○※

※横128×縦96ドット／横176×縦144ドットの撮影で利用できます。

お買い上げ時アウトカメラ

（メニュー）➡「アウトカメラに切替」／「インカメラに切替」選択➡◉

- カメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。
- アウトカメラ利用時は「**インカメラに切替**」、インカメラ利用時は「**アウトカメラに切替**」だけ選択できます。

保存先設定 静止画や動画の保存先を設定します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○※

※撮影時間／サイズを「**メール添付**」にしているときだけ利用できます。

お買い上げ時 本体

✉（メニュー）➡「設定」選択➡◉➡「保存先設定」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」／「デジタルカメラフォルダ」／「毎回確認」選択➡◉

- 「**毎回確認**」を選ぶと、保存のたびに保存先の選択画面が表示されるようになります。（動画撮影モードで、撮影時間／サイズを「**長時間撮影**」、「**SD VIDEO**」にしているときは利用できません。）
- 「**デジタルカメラフォルダ**」は、横480×縦640ドット以上の静止画で利用できます。

注意
- 自動保存設定（☞下記）を「On」にしているときは、「**毎回確認**」は利用できません。
- メモリカードに保存するときや、「**毎回確認**」を利用するときは、メモリカードを取り付けておいてください。

自動保存設定 撮影後、静止画や動画を自動的に保存するかどうかを設定します。

静止画撮影モード	○	動画撮影モード	○

お買い上げ時 Off（保存しない）

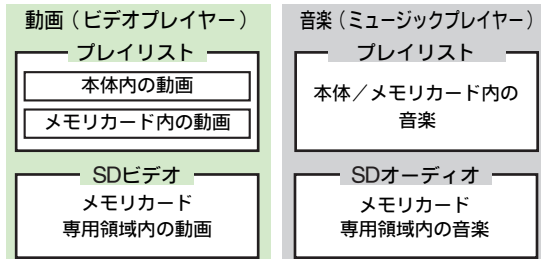
✉（メニュー）➡「設定」選択➡◉➡「自動保存設定」選択➡◉➡「On」（保存する）／「Off」（保存しない）選択➡◉

注意 保存先設定（☞上記）を「**毎回確認**」にしているときは、利用できません。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーについて

メディアプレイヤーには、音楽を再生するミュージックプレイヤーと、動画を再生するビデオプレイヤーがあります。動画／音楽は、入手する方法によって保存場所が異なり、それぞれの保存場所ごとに管理されています。再生は、保存場所を指定して行います。

動画（ビデオプレイヤー）	音楽（ミュージックプレイヤー）
プレイリスト：本体内の動画／メモリカード内の動画	プレイリスト：本体／メモリカード内の音楽
SDビデオ：メモリカード専用領域内の動画	SDオーディオ：メモリカード専用領域内の音楽

- プレイリストについて詳しくは、P.7-15を参照してください。
- 再生中に本機の電池残量が不足するなどして、再生が停止したときは、続きから再生できます。
（続き再生：☞P.7-6、P.7-8）
- 動画や音楽をダウンロードしながら同時に再生することもできます。（ストリーミング：☞P.15-12）

再生中に電話／メールなどの着信があると

■電話着信があったときや、アラームの設定時刻になったときは、再生は停止します。
- ストリーミング中に停止したとき、履歴（☞P.15-13）は残ります。

■メール着信があったときは、再生は継続したまま、メールが届いたことをお知らせします。

音楽（着うた®）／動画のダウンロードについて

メディアプレイヤーからの操作でインターネットに接続し、音楽（着うた®）／動画をダウンロードすることができます。

- ご利用にあたっては、音楽や動画の提供サイトの情報（料金や有効期限などの詳細）を必ずご確認ください。
- 曲名やアーティスト名で音楽を検索し、ダウンロードすることもできます。（ミュージックサーチ：☞P.7-3）

メニュー▶メディアプレイヤー

1 「ミュージック」または「ムービー」を選び、◉を押す。

2 「ミュージックダウンロード」または「ムービーダウンロード」を選び、◉を押す。

インターネットに接続され、ダウンロードの画面が表示されます。
- このあと、ジャンルやサイトなどを選び、ダウンロードしてください。

ミュージックサーチで音楽を検索する

■P.7-2 操作 1 で次の操作を行うと、Yahoo! ケータイのミュージックサーチのページが表示され、音楽の検索／ダウンロードができます。

「ミュージック」選択➡◉➡「ミュージックサーチ」選択➡◉

- このあと、画面の指示に従って音楽を検索し、ダウンロードしてください。

動画／音楽のコンテンツ･キーをダウンロードする

ダウンロードした動画／音楽には、著作権保護のためのコンテンツ・キーが必要なデータがあります。

- 「 」が表示されている動画／音楽は、再生するためにコンテンツ・キーの取得が必要です。
- P.7-6操作 2 またはP.7-9操作 3の全ミュージック／全ムービー／プレイリストのリスト画面で次の操作を行うと、音楽／動画を再生するために必要なコンテンツ・キーをダウンロードできます。

1 動画または音楽を選び、◉を押す。

- 「 」が表示されている動画／音楽を選んでください。

2 「はい」を選び、◉を押す。

インターネットに接続され、ダウンロードの画面が表示されます。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

パソコンでの音楽データ保存について

お客様が購入されたCDなどの音楽データを、パソコンを利用してメモリカードに保存すると、本機で再生することができます。

パソコンでの音楽データ保存時のご注意

■著作権などにご注意ください

- ご利用にあたっては、著作権などの第三者知的財産権その他の権利を侵害しないようご注意ください。
- メモリカード内に保存した音楽は、個人使用の範囲だけでご使用ください。
- CDから変換した音楽データは、メールに添付して送信できないことがあります。

■SD-Audio規格に準拠した音楽データなどが再生できます（着信音としては利用できません）

- 本機では、SD-Audio規格に準拠した「**セキュアAACデータ**」および「**AACデータ**」を再生できます。
  ■「AACデータ」をご利用になるときは、P.7-4「**AACデータご利用時のご注意**」を参照してください。

■音楽データは指定のフォルダに保存してください

- カードリーダモード（☞P.11-9）や市販のメモリカードリーダー／ライターなどを使用して、メモリカード内の次のいずれかのフォルダへ保存してください。
  - ■PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Music
  - ■PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Sounds & Ringtones

パソコンでの音楽データ保存の詳細

■パソコンでの音楽データ保存について詳しくは、付属のユーティリティーソフトウェア（CD-ROM）内の「**ユーティリティーソフトウェアスターターガイド**」を参照してください。

AACデータご利用時のご注意

■AACデータ変換に対応したソフトウェアが必要です

- 「iTunes」など、音楽をAACデータに変換できるソフトウェアが必要です。
- 「iTunes」はソフトウェアの一例として、記載しています。当社では、特定のソフトウェアの動作保証はしておりません。
- ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

■対応するビットレート／サンプリング周波数は次のとおりです

ビットレート（kbps）	16※1、24※1、32、48、64、96※2、128※2
サンプリング周波数（Hz）	16000、22050、24000、32000、44100、48000

※1 モノラルだけ対応します。
※2 ステレオだけ対応します。

注意▶「iTunes」などで作成されたAACデータのタイトル、アーティスト名は、本機では表示されません。

音楽の再生

ダウンロードした音楽や、パソコンなどで保存した音楽データを、本機で再生できます。

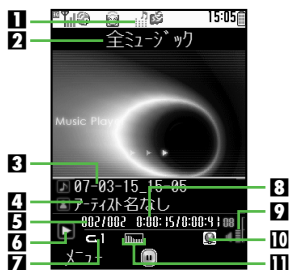
- 再生音は、イヤホンマイクなどを利用して聴くこともできます。

再生時のご注意（動画／音楽共通）

- 再生するデータの形式やメモリカードの状態、保存方法などによっては、本機で再生できないことがあります。
- イヤホンマイクなどを取り付けたり、取り外すときは、接続プラグを持って行ってください。接続プラグ以外を持って行うと、本機のイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
- イヤホンマイクなど、指定品以外は使用しないでください。指定品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、本機のイヤホンマイク端子が破損する恐れがあります。
- 電池残量が不足しているときは再生できません。また、再生中に電池残量が不足すると、再生が中止されます。

補足▶

- 再生中でも、マナーモードを切り替えることができます。（[キー]1秒以上長押し）
- マナーモード中でも、イヤホンマイクなどを取り付けると、再生中の音を聴くことができます。
- イヤホンマイクなどを取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、イヤホンマイクなどのスイッチを長く（1秒以上）押します。
- 再生するデータや再生音量によっては、スピーカーでの再生時に、ひずんだように聴こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。
- 再生するデータの数が多いときは、プレイリストや画面の表示（更新）に時間がかかることがあります。

音楽再生画面

1 再生中表示

2 プレイリスト名

3 タイトル

- 再生中は、サブディスプレイにもタイトルが表示されます。

4 アーティスト名

- アーティスト名がないときは、「**アーティスト名なし**」と表示されます。
- 再生中は、サブディスプレイにもアーティスト名が表示されます。

5 再生中のトラック番号

6 動作状態表示

[▶]：再生中／[■]：一時停止中／[▶▶]：早送り中／[◀◀]：早戻し中

7 再生モード表示（☞P.7-7）

[⊂1]：1トラックリピート／[⊂]：全トラックリピート／[⇄]：ランダム

- 何も表示されないときは、「**通常再生**」です。

8 現在の再生経過時間

9 音量

10 WEBリンク情報

[🌐]：WEBリンク情報あり

- 何も表示されないときは、WEBリンク接続（☞P.7-7）は利用できません。

11 サウンド効果表示（☞P.7-7）

[BASS]：BASS／[((🔊))]：サラウンド／[((🔊))]：サラウンドBASS

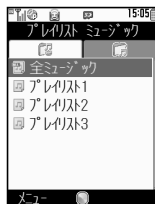
- 何も表示されないときは、「**標準**」です。

再生する

メニュー ▶ メディアプレイヤー ▶ ミュージック

1 「プレイリスト」または「SDオーディオ」を選び、◉を押す。

■「プレイリスト」選択時：◎（「プレイリストミュージック」／「プレイリスト着うた」選択）

■ 前回再生した音楽の続きを再生：「**続き再生**」選択➡◉

プレイリスト一覧

2 プレイリストを選び、◉を押す。

■ 音楽の検索：✉（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡◉➡検索文字入力➡◉

- 該当する音楽がなかったときは、検索文字の入力画面に戻ります。検索文字を入力し直してください。

■ リストの並べ替え：✉（**メニュー**）➡「**並べ替え**」選択➡◉➡並べ替え方法選択➡◉

- 「**全ミュージック**」のリストで利用できます。

3 音楽を選び、◉を押す。

音楽再生画面が表示され、再生が始まります。

- 最後の音楽まで再生すると、自動的に止まります。（再生モード「**通常再生**」時：☞P.7-7）

補足▶ メディアプレイヤーの「**ミュージック**」から音楽を再生したときは、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンで操作することができます。

再生中にできること（動画／音楽共通）

再生中の動画や音楽を最初から再生する	◎ くり返し押すと、前の動画や音楽を再生します。※1
次の動画や音楽を再生する	◎※2
早送りする	◎（押し続ける） 手を離すと、その時点から再生します。
早戻しする	◎（押し続ける） 手を離すと、その時点から再生します。
一時停止する	◉ もう一度押すと、再生が再開します。
音量の調節※3	◎／◀（上げる）、◎／▶（下げる）
音を消す	◎（1秒以上） ◎を押すと、音が出ます。
ヘルプの表示	0、✉（**メニュー**）➡「**ヘルプ**」選択➡◉

※1 再生モードを「**ランダム**」にしているときは、◎をくり返し押しても再生中の動画や音楽を最初から再生します。

※2 再生モードを「**通常再生**」にしているときは、最後の動画や音楽の再生中に押しても無効となります。

※3 変更した音量は、次回メディアプレイヤーを起動するときも保持されます。

動画や音楽の情報表示

■再生中または一時停止中に次の操作を行うと、動画や音楽の情報を表示することができます。

(メニュー)➡「プロパティ」選択➡◉

●ⓠを押すと、隠れている内容を表示できます。

■動画/音楽再生画面に戻る:上記操作のあと◉

インターネットに接続する(WEBリンク接続)

■再生中または一時停止中に次の操作を行うと、WEBリンク情報をもとにインターネットに接続できます。

(メニュー)➡「WEBリンク接続」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

●WEBリンク情報「」表示中のときだけ接続することができます。

●インターネットに接続すると、パケット通信料が発生する可能性がありますので、十分ご注意ください。(通信中は「」が表示されます。)

●通信を中止するときはCLEAR/BACKを押してください。

注意▶ 再生中にアラームが動作したとき、再生は一時停止します。アラームの終了後、再生は継続されます。

補足▶
●再生中にA/aを押すと、動画や音楽を再生しながらアドレス帳やメール作成など、他の機能を操作できます。ただし、機能によっては、同時に操作できないことがあります。
●待受画面のバックグラウンドでメディアプレイヤーを再生しているとき、再生中の待受画面でⓞを押すと、再生を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
画面に従って操作してください。

音楽再生に関する設定

サウンド効果 サウンドの音質を設定できます。

■イヤホンマイクなどの使用時だけサウンド効果を得ることができます。

お買い上げ時 標準

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ 設定

「サウンド効果」選択➡◉➡効果選択➡◉

●設定できる効果は、次のとおりです。

標準	音楽をそのまま再生します。
BASS	低音を強調します。
サラウンド	サラウンド効果が得られます。
サラウンドBASS	サラウンド+BASSの効果が得られます。

再生モード プレイリスト内の音楽の再生方法を設定します。

お買い上げ時 通常再生

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ 設定

「再生モード」選択➡◉➡再生モード選択➡◉

●設定できる再生モードは、次のとおりです。

通常再生	並び順に再生し、最後の音楽まで再生したあとは、自動的に止まります。
1トラックリピート	選んだ1曲をくり返し再生します。
全トラックリピート	すべての音楽をくり返し再生します。
ランダム	すべての音楽を無作為に選び再生します。

動画の再生

カメラで撮影した動画、インターネットで入手した動画などが再生できます。
●再生音は、イヤホンマイクなどを利用して聴くこともできます。
●再生時のご注意については、P.7-4を参照してください。

動画再生画面

1 動画再生領域／テロップ表示領域
2 再生中のクリップ（動画）番号
3 動作状態表示
　▶：再生中／■：一時停止中／▶：コマ送り中／
　▶▶：早送り中／◀◀：早戻し中
4 再生モード表示（☞P.7-10）
　●表示されるマークの意味は、音楽再生画面と同様です。（☞P.7-5）
5 現在の再生経過時間
　●指定した再生経過時間から動画を再生することもできます。（タイムサーチ：☞P.7-9）
6 音量
7 WEBリンク情報
　🌐：WEBリンク情報あり
　●何も表示されないときは、WEBリンク接続（☞P.7-7）は利用できません。
　●表示しないように設定することもできます。（WEBリンク情報表示設定：☞P.7-10）

補足▶ 再生画面で2を押すと、表示サイズを切り替えることができます。（☞P.7-10）

再生する

ビデオプレイヤーで動画を再生します。
●動画の再生方法や、再生中の画面の点灯方法／表示サイズは変更できます。（☞P.7-10）
●動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を流すこともできます。（☞P.7-12）

1 「プレイリスト」または「SDビデオ」を選び、◉を押す。
　●「SDビデオ」を選んだときは、このあとP.7-9操作4へ進みます。
　■ 前回再生した動画の続きを再生：「続き再生」選択➡◉

2 「本体」または「メモリカード」を選び、◉を押す。

3 プレイリストを選び、◉を押す。

全ムービーの動画一覧

- 動画の検索：✉（**メニュー**）➡「**検索**」選択➡◉➡検索文字入力➡◉
  - ■ 該当する動画がなかったときは、検索文字の入力画面に戻ります。検索文字を入力し直してください。
- リストの並べ替え：✉（**メニュー**）➡「**並べ替え**」選択➡◉➡並べ替え方法選択➡◉
  - ■「**全ムービー**」のリストで利用できます。

4 動画を選び、◉を押す。

動画再生画面が表示され、再生が始まります。

- ●最後の動画まで再生すると、自動的に止まります。（再生モード「**通常再生**」時：☞P.7-10）
- 動画再生中にインターネットに接続する：☞P.7-7

再生中にできること（動画専用）

音楽と共通の操作も利用できます。（☞P.7-6）

動画再生に関する設定	✉（**メニュー**）➡「**設定**」選択➡◉➡P.7-10
動画の編集	☞P.7-11
コマ送り	一時停止中に◎（１秒以上）
表示切替	2/✉（☞P.7-10）

WEBリンク情報を持つ動画を最後まで再生すると

■WEBリンク情報「🌐」表示中の動画を最後まで再生すると、WEBリンク接続の確認画面が表示されます。確認画面で次の操作を行うと、インターネットに接続できます。

「はい」選択➡◉

- ● WEBリンク情報表示設定（☞P.7-10）を「Off」にしているときは、WEBリンク接続は利用できません。

指定した再生経過時間から動画を再生する（タイムサーチ）

■再生中／一時停止中に次の操作を行うと、入力した再生経過時間から動画を再生することができます。

✉（メニュー）➡「タイムサーチ」選択➡◉➡時間入力➡◉

補足▶
- ●他の機器で録画した動画を再生すると、画面の向きが変わることがあります。
- ●動画再生画面以外で約５分間何も操作しないでおくと、メディアプレイヤーは終了します。

動画再生に関する設定

●SDビデオ内の動画は、設定できません。

再生モード プレイリスト内の動画の再生方法を設定します。

お買い上げ時 通常再生

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定

「再生モード」選択➡◉➡再生モード選択➡◉

●設定できる再生モードは、次のとおりです。

通常再生	並び順に再生し、最後の動画まで再生したあとは、自動的に止まります。
1クリップリピート	選んだ1つの動画をくり返し再生します。
全クリップリピート	すべての動画をくり返し再生します。
ランダム	すべての動画を無作為に選び再生します。

バックライト 動画再生時の画面の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 常にOn

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定

「バックライト」選択➡◉➡点灯方法選択➡◉

●設定できる点灯方法は、次のとおりです。

常にOn	再生中は、常に点灯します。
常にOff	再生中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定に従う	ディスプレイ設定のバックライト（☞P.9-13）の設定内容に従って動作します。

表示サイズ 動画を再生するときの表示サイズを設定します。

お買い上げ時 拡大

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定

「表示サイズ」選択➡◉➡「標準」／「拡大」／「全画面」選択➡◉

●動画のサイズによっては、表示サイズの一部が選択できないことがあります。

●再生中に 2 または ⎘ を押しても、次の順に切り替えられます。
「全画面（マークなし）」→「全画面（マークあり）」→「標準」→「拡大」…

■表示サイズの設定を変更すると、次回は設定したものの次の表示サイズから順に切り替わります。

■全画面表示で一時停止中は、押すたびに「全画面（マークなし）」⇔「全画面（マークあり）」の切替だけとなります。

WEBリンク情報表示設定 WEBリンク情報を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（表示する）

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ 設定

「WEBリンク情報表示設定」選択➡◉➡「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

動画の編集

●横240×縦176ドット（HQVGAサイズ）以上の動画は、編集できません。

動画切り取り	部分切り取り	指定した2点間の動画を切り取ります。
	前部分削除	指定した位置より前の部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。
	後部分削除	指定した位置より後ろの部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。
テロップ編集		画像の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。

注意▶
●動画のサイズやデータ内容によっては、編集できないことがあります。
●メモリカードに保存されている動画を編集する場合に、本機以外でフォーマットしたメモリカードを使用しているときは、編集した動画が正しく再生されないことがあります。
●メモリカードに保存するときは、ファイルの容量以外に最大で約1.2Mバイトの空き容量が必要です。

指定した2点間の動画を切り取る

●以下の操作は、P.7-9操作4のあとで行います。

1 一時停止中または再生中に、✉（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

●編集中は着信できません。

4「動画切り取り」を選び、◉を押す。

5「部分切り取り」を選び、◉を押す。

動画が再生されます。

●このあと◉を押して「**一時停止**」⇔「**再生**」するなどして、切り取りの開始／終了位置を指定してください。

6 切り取りの開始位置で、✉（開始）を押す。

切り取りの開始点が指定され、再生が再開されます。

7 切り取りの終了位置で、✉（終了）を押す。

切り取った動画が保存されたあと、再生されます。

注意▶ 再生時間が30分を超えると、保存できないことがあります。

動画の一部を削除する

指定した位置から、前または後ろの部分を削除して、残った部分を新しい動画として保存します。

- 以下の操作は、P.7-9操作4のあとで行います。

1 一時停止中または再生中に、✉(メニュー)を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

- 編集中は着信できません。

4「動画切り取り」を選び、◉を押す。

5「前部分削除」または「後部分削除」を選び、◉を押す。

動画が再生されます。

- このあと◉を押して「**一時停止**」⇔「**再生**」するなどして、削除の開始位置を指定してください。
- 「**前部分削除**」を選んだときは、削除の開始位置から前の部分をすべて削除します。「**後部分削除**」を選んだときは、削除の開始位置から後の部分をすべて削除します。

■削除の取消：CLEAR/BACK

6 削除の開始位置で、✉(切取)を押す。

残った動画が保存されたあと、再生されます。

注意▶ 再生時間が30分を超えると、保存できないことがあります。

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字(テロップ)を流します。

- 表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。

テロップを入力する

テロップ用の文字を入力し、動画のどの位置に表示するか(表示間隔/表示位置)を指定することで、テロップを設定できます。

- テロップは最大10件まで、1件あたり最大全角24文字(半角48文字)まで登録できます。
- 以下の操作は、P.7-9操作4のあとで行います。

1 一時停止中または再生中に、✉(メニュー)を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

- 編集中は着信できません。

4「テロップ編集」を選び、◉を押す。

5 番号を選び、◉を押す。

6 文字を入力し、◉を押す。

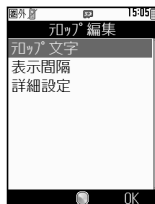
- このあと◉を押して「**一時停止**」⇔「**再生**」するなどして、テロップを流す位置を指定してください。

7 テロップを表示する最初の位置で、✉(開始)を押す。

8 テロップを表示する最後の位置で、✉（終了）を押す。

テロップの編集画面が表示されます。

- ✉（終了）を押す前に動画の再生が終わったときは、操作7からやり直してください。

■ テロップ文字の変更：「テロップ文字」選択➡◉➡文字修正➡◉

テロップの編集画面

9 テロップの表示設定／文字の装飾を行う。（☞右記〜P.7-15）

- テロップの表示設定／文字装飾せずにテロップの作成を終了するときは、操作10へ進みます。

10 テロップの設定が終われば、Y!（OK）を押す。

- テロップを追加するときは、操作5〜10をくり返します。

■ 入力済のテロップの編集：番号選択➡◉➡「テロップ文字」選択➡◉➡文字編集➡◉➡操作9からやり直す

■ 入力済のテロップの削除：番号選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

11 Y!（保存）を押す。

12「上書き」または「新規作成」を選び、◉を押す。

- 表示サイズを「標準」にしているときは、テロップの付いた動画が再生されます。

テロップの表示を設定する

入力したテロップは、文字サイズや背景色、テロップが流れる方向を変更することで、いろいろな装飾効果を楽しめます。

- 文字色を変えたり、文字を点滅させることもできます。（☞P.7-14）
- 1件のテロップに複数の機能を組み合わせて設定できます。
- 以下の操作は、左記操作9で行います。操作後、操作10以降を行い、テロップの作成を完了してください。

表示間隔 テロップをどの場面で表示するかを設定します。

「表示間隔」選択➡◉➡開始位置で✉（開始）➡終了位置で✉（終了）

■ 設定の終了：上記操作のあと左記操作10以降

表示位置 テロップを表示する位置を設定します。

「詳細設定」選択➡◉➡「表示位置」選択➡◉➡🔘（表示位置選択）➡◉

■ 設定の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡左記操作10以降

文字サイズ テロップの文字サイズを設定します。

お買い上げ時 標準

「詳細設定」選択➡◉➡「文字サイズ」選択➡◉➡「標準」／「小さい」選択➡◉

■ 設定の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡左記操作10以降

スクロール	テロップの流れる方向や、表示効果などを設定します。

お買い上げ時 方向：停止、効果：フレームイン

スクロールの方向を設定する

「詳細設定」選択➡◉➡「スクロール」選択➡◉➡「方向」選択➡◉➡「停止」／「左から右へ」／「右から左へ」選択➡◉

■設定の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡CLEAR/BACK➡P.7-13操作10以降

スクロールの効果を設定する

「詳細設定」選択➡◉➡「スクロール」選択➡◉➡「効果」選択➡◉➡効果選択➡◉

- 設定できる効果は、次のとおりです。

フレームイン	画面の外から中へテロップが流れます。
フレームアウト	画面の中から外へテロップが流れます。
ローリング	画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

■設定の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡CLEAR/BACK➡P.7-13操作10以降

スクロールの停止時間を設定する

「詳細設定」選択➡◉➡「スクロール」選択➡◉➡「停止時間」選択➡◉➡時間（秒）入力➡◉

■設定の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡CLEAR/BACK➡P.7-13操作10以降

背景色	文字の背景色を設定します。

お買い上げ時 ブラック

「詳細設定」選択➡◉➡「背景色」選択➡◉➡色選択➡◉

■設定の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡P.7-13操作10以降

文字を装飾する

入力したテロップの文字全体、または一部分を指定して文字色を変更できます。また、文字を強調したり、点滅させることもできます。

- 文字サイズや背景色、テロップが流れる方向を変更することもできます。（☞P.7-13）
- 1件のテロップに複数の機能を組み合わせて設定できます。ただし、2つを超える文字装飾は設定できません。
- 以下の操作は、P.7-13操作9で行います。操作後、操作10以降を行い、テロップの作成を完了してください。

文字色	文字全体や文字の一部の色を変えます。

お買い上げ時 ホワイト

すべての文字色を変更する

「詳細設定」選択➡◉➡「文字色」選択➡◉➡「全テロップ文字」選択➡◉➡色選択➡◉

■設定の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡P.7-13操作10以降

一部分の文字色を変更する

「詳細設定」選択➡◉➡「文字色」選択➡◉➡「文字部分指定」選択➡◉➡◎（開始文字選択）➡◉➡◎（終了文字選択）➡◉➡色選択➡◉

■設定の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡P.7-13操作10以降

ハイライト	文字の一部や全部を強調します。

お買い上げ時 ホワイト

「詳細設定」選択➡◉➡「ハイライト」選択➡◉➡◈（開始文字選択）➡◉➡◈（終了文字選択）➡◉➡色選択➡◉

■設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡P.7-13操作10以降

点滅	文字を点滅させます。

「詳細設定」選択➡◉➡「点滅」選択➡◉➡◈（開始文字選択）➡◉➡◈（終了文字選択）➡◉

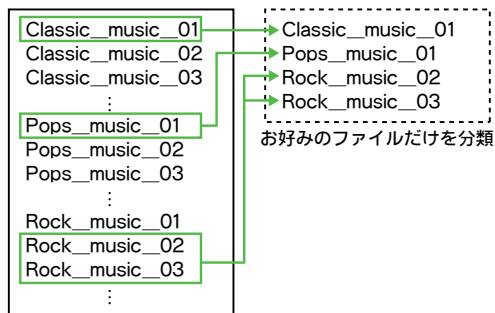
■設定の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK ➡P.7-13操作10以降

詳細設定の初期化	テロップの表示や文字装飾を初期化します。

「詳細設定」選択➡◉➡✉（初期化）➡「はい」選択➡◉

- 詳細設定を行っていないときは、操作できません。
- 「表示間隔」は初期化されません。

動画／音楽の管理

本機内の動画や音楽はプレイリストで管理されています。各プレイリスト内には、すべての動画を管理する「**全ムービー**」と、すべての音楽を管理する「**全ミュージック**」および、お好みでファイルを選び分類できる「**プレイリスト**」があります。

- プレイリストには、動画／音楽の保存場所情報が記憶されます。実際の動画や音楽は保存されません。
- お買い上げ時には、3つのプレイリストがそれぞれに登録されています。新しく作成することもできます。（☞P.7-16）
- 付属のユーティリティーソフトウェア内の「Music Manager」でも、プレイリストの新規作成や音楽のプレイリストへの追加など、音楽を管理することができます。

注意▶ メモリカードに動画を保存するときは、ファイルの容量以外に最大で約1.2Mバイトの空き容量が必要です。

新しいプレイリストを作成する

「**プレイリスト**」または「**SDオーディオ**」内に、新しいプレイリストを作成します。（最大99件）

- 「SDビデオ」内には、作成できません。
- お買い上げ時プレイリストには、「**プレイリスト１**」～「**プレイリスト３**」が登録されています。

メニュー ▶ メディアプレイヤー

1 *動画のプレイリストを作成する*

1「ムービー」を選び、◉を押す。
2「プレイリスト」を選び、◉を押す。
3「本体」または「メモリカード」を選ぶ。

音楽のプレイリストを作成する

1「ミュージック」を選び、◉を押す。
2「プレイリスト」または「SDオーディオ」を選ぶ。

2 ◉を押す。

■ プレイリストの削除：プレイリスト選択➡✉（**メニュー**）➡「**プレイリスト削除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉
■ プレイリスト名の変更：プレイリスト選択➡✉（**メニュー**）➡「**リスト名編集**」選択➡◉➡リスト名入力➡◉

プレイリストの一覧画面

3 ✉（メニュー）を押す。

4「リスト作成」を選び、◉を押す。

5 リスト名を入力し、◉を押す。

プレイリストに動画／音楽を追加する

「**全ムービー**」／「**全ミュージック**」内の動画／音楽を、作成したプレイリストに追加します。

- プレイリストに追加されるのは、動画／音楽の保存場所情報だけです。実際の動画／音楽はコピーされません。
- 「SDビデオ」内の動画は、追加できません。

メニュー ▶ メディアプレイヤー

1 *プレイリストに動画を追加する*

1「ムービー」を選び、◉を押す。
2「プレイリスト」を選び、◉を押す。
3「本体」または「メモリカード」を選ぶ。

プレイリストに音楽を追加する

1「ミュージック」を選び、◉を押す。
2「プレイリスト」または「SDオーディオ」を選ぶ。

2 ◉を押す。

3「全ムービー」または「全ミュージック」を選び、◉を押す。

4 動画または音楽を選び、✉（メニュー）を押す。

5「リストに追加」を選び、◉を押す。

6 追加先のプレイリストを選び、◉を押す。

指定したプレイリストの最下部に、動画／音楽が追加されます。

- 追加済の動画／音楽の削除：CLEAR/BACK ➡ プレイリスト選択 ➡ ◉ ➡ 動画／音楽選択 ➡ ✉（**メニュー**）➡「**リストから削除**」選択 ➡ ◉ ➡「**はい**」選択 ➡ ◉
- リスト内の動画／音楽の位置移動：CLEAR/BACK ➡ プレイリスト選択 ➡ ◉ ➡ 動画／音楽選択 ➡ ✉（**メニュー**）➡「**リスト内移動**」選択 ➡ ◉ ➡ ◎（位置選択）➡ ◉

プレイリストの情報を確認する

■動画／音楽のプレイリスト選択画面（☞P.7-6 操作2、P.7-9 操作3、P.7-16操作2）で次の操作を行うと、プレイリストの情報を確認することができます。

プレイリスト選択 ➡ ✉（メニュー）➡「プロパティ」選択 ➡ ◉

動画／音楽を削除する

「**SDビデオ**」内の動画、「**SDオーディオ**」の「**全ミュージック**」内の音楽を削除します。

- ファイルそのものが削除されますので、削除してもよいかどうかを十分ご確認のうえ、操作してください。

動画を削除する

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ムービー ➡ SDビデオ

1 動画を選び、✉（メニュー）を押す。

2「クリップ削除」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

音楽を削除する

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ミュージック ➡ SDオーディオ ➡ 全ミュージック

1 音楽を選び、✉（メニュー）を押す。

2「1トラック削除」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

「プレイリスト」の動画／音楽を削除する

■「**全ムービー**」内の動画はデータフォルダのムービーフォルダから、「**全ミュージック**」内の音楽はデータフォルダの着うた・メロディフォルダまたはミュージックフォルダから削除します。（☞P.8-8）

データ管理

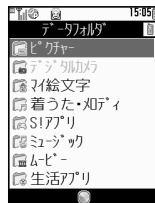
データフォルダについて

データフォルダには、いくつかのフォルダがあらかじめ登録されており、各機能でデータを作成したり、メールやインターネットなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

補足▶
- 「ピクチャー」、「マイ絵文字」、「着うた・メロディ」、「S!アプリ」、「ミュージック」、「ムービー」、「生活アプリ」、「ブック」、「カスタムスクリーン」のフォルダからは、インターネットへ直接接続し、データをダウンロードできます。
- Bluetooth®（☞P.10-2）や赤外線通信（☞P.10-10）を利用して、他の機器との間で、データフォルダ内のデータをやりとりできます。

データフォルダを表示する

データフォルダ画面は、待受画面で次の操作を行うと、表示されます。

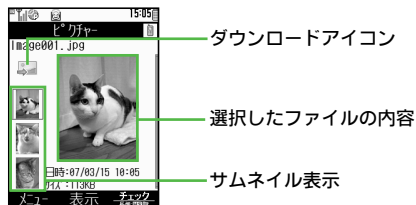
◉➡「データフォルダ」選択➡◉

メモリ使用状況を確認する

■データフォルダ画面で、次の操作を行います。

「メモリ確認」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉

- メモリの空き容量が不足すると、本機の動作が不安定になることがあります。空き容量が不足する前に、不要なメールやファイルは削除してください。

ファイルリスト画面

データフォルダ画面で、フォルダを選び◉を押すと、ファイルリスト画面が表示されます。

ピクチャーフォルダ選択時

各種マークについて

■おもな静止画やアニメーションファイル

マーク	ファイル形式（拡張子）	内容
JPEG	JPEGファイル（.jpg）	JPEG形式の静止画
PNG	PNGファイル（.png）	PNG形式の静止画
NVA	E-アニメータファイル（NEVAファイル）（.nva）	アニメーション（サウンド付きもあり）
SVG	SVGファイル（.svgz）	SVG-Tファイル

■おもな動画ファイル

マーク	ファイル形式（拡張子）	内容
3GP	MPEG-4ファイル（.3gp）	3gpp形式の動画
MP4	MPEG-4／H.263ファイル（.3gp／.mp4）	3gpp形式の動画

■おもなサウンドファイル

マーク	ファイル形式（拡張子）	内容
SMAF	SMAFファイル（.mmf）	インターネットで入手したメロディ（画像付きもあり）
MP4	オーディオファイル（.mp4）	ダウンロードした着うた®
AMR	音声ファイル（.amr）	ボイスレコーダーで録音した音声

補足▶

- 鍵マークのあるファイル（🔑／🔑）は、著作権保護されたファイルです。「🔑」マークは、権利の切れた状態です。
- 壁紙や画面ピクチャー、着信音／ムービーなどに設定されているファイルには、「🔖」マークが表示されます。
- コピー／転送不可のファイルには、「🚫」マークが表示されます。

データフォルダの表示方法を設定する

ファイルリスト画面の表示方法を変更する

●設定できる表示方法は、次のとおりです。

インライン表示

グリッド表示

プレビュー表示

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

2 ✉（メニュー）を押す。

●マイ絵文字フォルダ、着うた・メロディフォルダ、S!アプリフォルダ、ミュージックフォルダ、生活アプリフォルダ、Flash®フォルダ、着信音Flash®フォルダでは操作できません。

3「データ管理」を選び、◉を押す。

4「リスト表示切替」を選び、◉を押す。

5「インライン表示」、「グリッド表示」、「プレビュー表示」のいずれかを選び、◉を押す。

●ブックフォルダ、ムービーフォルダ、カスタムスクリーンフォルダ、その他ファイルフォルダでは、「**プレビュー表示**」は選択できません。

補足▶ ファイルリスト画面で[表示キー]を押しても切り替わります。

ファイルを並べ替える

選択したフォルダ内のファイルを、ファイル名／タイトル名、日付、サイズ、データ形式、コンテンツ・キーの有無、ソートなしのいずれかの順番に並べ替えます。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時:
フォルダ選択➡◉

2 ✉（メニュー）を押す。

●S!アプリフォルダ、生活アプリフォルダでは操作できません。

●各フォルダのダウンロードアイコンにカーソルがあるときは、操作4へ進みます。

3「データ管理」を選び、◉を押す。

4「並べ替え」を選び、◉を押す。

5 並べ替え方法を選び、◉を押す。

注意▶ フォルダ内のファイル数が多いときに並べ替えると、フォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。

補足▶ 並べ替えた状態で、再度同じ方法で並べ替えを行うと、昇順／降順が切り替わります。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

フォルダ内のファイルリスト画面が表示されます。

- 本体／メモリカードの切替：✉（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡◉
- 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

ファイルリスト画面
（ピクチャーフォルダ）

2 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生または表示されます。

- 画像の拡大表示：◉（押すたびに拡大）
  - ■拡大表示の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK
- サウンド再生時の音量調節：◉（上げる）／◉（下げる）
- サウンドファイルの表示切替：サウンド選択➡✉（**メニュー**）➡「**表示切替**」選択➡◉➡「**ファイル名**」／「**タイトル**」（お買い上げ時）選択➡◉

3 ファイルリスト画面に戻るときは、CLEAR/BACKを押す。

- ●拡大表示状態からファイルリスト画面に戻るときは、CLEAR/BACKを2回押してください。
- ●ファイルリスト画面でCLEAR/BACKを押すと、データフォルダ画面に戻ります。

注意▶ データフォルダからファイルを再生したときは、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンで操作することはできません。

データフォルダからカメラを起動する

■ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダ／ムービーフォルダのファイルリスト画面で次の操作を行うと、カメラが起動できます。

✉（**メニュー**）➡「**カメラ起動**」／「**ビデオカメラ起動**」選択➡◉

- ■ピクチャーフォルダ／デジタルカメラフォルダからは静止画撮影モード、ムービーフォルダからは動画撮影モードが起動できます。
- ■静止画の撮影方法：☞P.6-6
- ■動画の撮影方法：☞P.6-8

ファイルを複数選択する

同じフォルダ内のファイルを複数選択すれば、一括して移動／コピー、削除などができます。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

- 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 ファイルを選び、Y!（チェック）を押す。

「☑」が表示されます。

- ●S!アプリフォルダ、生活アプリフォルダでは操作できません。
- 選択の解除：「☑」が表示されているファイル選択➡Y!（**解除**）

3 操作2をくり返し、必要なファイルを選択する。

- ●このあと、コピー／移動（☞P.8-9）などを行います。

フォルダ内の画像を連続して表示する（スライドショー）

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」または「デジタルカメラ」を選び、◉を押す。

■新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

3 「スライドショー」を選び、◉を押す。

スライドショーが始まります。

- フォルダ内のすべての画像が、順にくり返し表示されます。
- スピード設定を「**手動送り**」にしているときは、◉を押すたびに次の画像が表示されます。✱を押すと、前の画像が表示されます。

4 スライドショーを停止するときは、◉を押す。

スライドショーの速さを設定する

■操作3のあと、次の操作を行います。

✉（**設定**）➡「**スピード設定**」選択➡◉➡「**速い**」／「**普通**」／「**遅い**」／「**手動送り**」選択➡◉

- お買い上げ時には、「**普通**」に設定されています。

くり返し再生を設定する

■操作3のあと、次の操作を行います。

✉（**設定**）➡「**繰り返し**」選択➡◉➡「**On**」（**くり返す**）／「**Off**」（**くり返さない**）選択➡◉

- 「Off」にすると、フォルダ内のすべての画像を表示したあと、ファイルリスト画面に戻ります。
- お買い上げ時には、「On」に設定されています。

ファイルの詳細情報を確認する

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

■新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

- ファイルを複数選択することもできます。

3 「プロパティ」を選び、◉を押す。

- ◎を押すと、隠れている内容が表示できます。
- 確認できる内容は、次のとおりです。
  ファイルのタイトル名、ファイルのタイプ、データサイズ、最新更新日時、販売元、説明、転送／コピー不可情報、その他権利情報（表示可能回数、期間）など
  ■ファイルによって、表示される内容は異なります。

SVGファイルを確認する

■次の操作を行うと、ベクトルグラフィックフォーマット「SVG-T」（Scalable Vector Graphics-Tiny）のファイル（表やグラフ、地図など）を確認できます。

◉➡「**データフォルダ**」選択➡◉➡「**その他ファイル**」選択➡◉➡**SVGファイル選択**➡◉

- ✉（**メニュー**）を押すと、利用できる操作が表示されます。
- ボタンでのおもな操作方法は、次のとおりです。

上下左右移動	✣
画面移動	2（上）／4（左）／6（右）／8（下）
拡大／縮小	1（縮小）／3（拡大）
回転	7（左回転）／9（右回転）
キーアクションモード	0
デフォルト表示	5

- SVGのファイルによっては動作しない機能もあります。
- 付属のユーティリティーソフトウェア内の「**PCドキュメント変換ユーティリティー**」を利用し、パソコンでSVGファイルを作成できます。
- 「SVG-T」について詳しくは、「http://j.sst.ne.jp/svgt/index_pdc.html」でご案内しています。

CCFファイルを確認する

■次の操作を行うと、ブックフォルダに保存している、ブックサーフィン®（☞P.18-9）専用の電子コミックや電子写真集などのCCFファイルを確認できます。

◉➡「**データフォルダ**」選択➡◉➡「**ブック**」選択➡◉➡**CCFファイル選択**➡◉

■ S!アプリ「**ブックサーフィン**」が起動します。

- 以降の操作方法については、ブックサーフィン®のヘルプを参照してください。
- 一時停止中のS!アプリがあるときは、S!アプリを終了するかどうかの確認画面が表示されます。「**はい**」を選び◉を2回押すと、一時停止中のS!アプリは終了し、「**ブックサーフィン**」が起動します。
- 「**ブックサーフィン**」が一時停止中のときは、利用しているCCFファイルのプロパティ表示が制限されることがあります。

Flash®とは

■Flash®とは、インターネットからダウンロードできる動画アニメーション（Flash®ファイル）です。壁紙（☞P.9-3）などに設定できます。

着信音Flash®とは

■着信音Flash®とは、着信音として設定可能な、インターネットからダウンロードできるFlash®ファイル（☞上記）です。

マイ絵文字とは

■マイ絵文字とは、アレンジメール（☞P.14-11）作成時に絵文字として利用できるGIF画像ファイルです。インターネットからダウンロードするなどして、さまざまな絵文字を利用できます。

フォルダ／ファイルの管理

新しいフォルダを作成する

- 同じ階層に、同じフォルダ名では作成できません。
- デジタルカメラフォルダ、S!アプリフォルダ、生活アプリフォルダには、新しいフォルダは作成できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1 **フォルダを選び、◉を押す。**

2 **✉（メニュー）を押す。**

3 **「データ管理」を選び、◉を押す。**

4 **「フォルダ作成」を選び、◉を押す。**

5 **フォルダ名を入力し、◉を押す。**

フォルダ名／ファイル名を変更する

- ファイルの拡張子は変更できません。
- 同じ階層に、同じフォルダ名／ファイル名は使えません。
  また、次の文字は使用できません。
  ■半角の「¥」／「/」／「:」／「;」／「.」／「<」／「>」／「|」／「?」／「*」／「"」
- メモリの空き容量が少ないときは、変更できません。
- デジタルカメラフォルダ、S!アプリフォルダ、生活アプリフォルダのフォルダ名／ファイル名は、変更できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1 **フォルダを選び、◉を押す。**

2 **フォルダまたはファイルを選び、✉（メニュー）を押す。**

3 **「データ管理」を選び、◉を押す。**

4 **「フォルダ名変更」または「ファイル名変更」を選び、◉を押す。**

5 **フォルダ名またはファイル名を修正し、◉を押す。**

フォルダ／ファイルを削除する

新規作成したフォルダや、データフォルダ内に保存されているファイルを削除します。

- S!アプリフォルダ内のファイルの削除は、「**S!アプリを削除する**」（☞P.16-5）を参照してください。

メニュー ▶ データフォルダ

1 **フォルダを選び、◉を押す。**

2 *フォルダを削除する*

1 フォルダを選び、✉（メニュー）を押す。

- S!アプリフォルダ、生活アプリフォルダでは操作できません。

ファイルを1件削除する

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のファイルを削除する

1 ファイルを複数選択し（☞P.8-5操作2以降）、✉（メニュー）を押す。

フォルダ内のファイル／フォルダをすべて削除する

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

2 「データ管理」を選び、◉を押す。

3「削除」または「全件削除」を選び、◉を押す。

■フォルダ削除／フォルダ内全件削除時：操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

4「はい」を選び、◉を押す。

ファイルをコピー／移動する

データフォルダ内のファイルを、新しく作成したフォルダや、メモリカードへコピー／移動します。

- デジタルカメラフォルダ内のファイルは、ピクチャーフォルダ（本体／メモリカード）へコピー／移動できます。
- コピー／転送不可ファイルは、コピーできません。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、コピー／移動できないことがあります。
- S!アプリフォルダ、生活アプリフォルダのファイルは、コピー／移動できません。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

- S!アプリフォルダ、生活アプリフォルダでは操作できません。

■新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 *1件ずつコピー／移動する*

1 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のファイルをコピー／移動する

1 ファイルを複数選択し（☞P.8-5操作2以降）、✉（メニュー）を押す。

3「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

4「本体」または「メモリカード」を選び、◉を押す。

■壁紙などに設定されているファイルの移動時：「はい」選択➡◉

■新しいフォルダへのコピー／移動時：フォルダ選択➡◉

5「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。

注意▶

- 複数のファイルをコピーする場合に、コピー／転送不可ファイルが含まれていたときは、エラーが表示され、コピー／転送不可ファイル以外がコピーされます。
- メモリカードへコピー／移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピー／移動すると、ファイル名が変わることがあります。

ファイルの利用

データフォルダに登録されているファイルを、壁紙やアドレス帳の画像、着信パターンとして利用できます。
- ●「壁紙登録」、「アドレス帳登録」、「着信ビデオ設定」、「音声着信音設定」のメニューが表示されるファイルで利用できます。
- ●ファイルサイズが大きいと登録できないことがあります。

注意▶ 著作権で保護されているファイル(「🔑」、「🔑」表示)は、「壁紙登録」、「アドレス帳登録」、「着信ビデオ設定」、「音声着信音設定」のメニューが表示されていても、利用できないことがあります。

壁紙に登録する

メニュー▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「Flash®」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

■新しく作成したフォルダ/デジタルカメラフォルダ選択時:フォルダ選択➡◉

2 ファイルを選び、✉(メニュー)を押す。

3 「壁紙登録」を選び、◉を押す。

■ディスプレイサイズ以外の画像選択時:「センタリング」/「全画面表示」/「画像全体表示」選択➡◉
- ■ディスプレイサイズの画像選択時/「センタリング」選択時は、画像を、◎で拡大/縮小、✉で回転できます。

4 ◉を押す。

選んだファイルが壁紙に設定されます。

アドレス帳に登録する

メニュー▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「着うた・メロディ」、「ミュージック」、「ムービー」、「着信音 Flash®」のいずれかを選び、◉を押す。

2 ファイルを選び、✉(メニュー)を押す。

3 「アドレス帳登録」を選び、◉を押す。

■以降の操作:☞P.4-8「発信履歴/着信履歴の電話番号を登録する」操作4

着信パターンに設定する

音声着信の着信パターンに、動画(ムービー)/サウンド(着信音)を設定します。
- ●TVコール着信、メール着信には、設定できません。

動画を設定する

メニュー▶ データフォルダ ➡ ムービー

1 ファイルを選び、✉(メニュー)を押す。

2 「着信ビデオ設定」を選び、◉を押す。

サウンドを設定する

メニュー ▶ データフォルダ

1 「着うた・メロディ」、「ミュージック」、「着信音Flash®」のいずれかを選び、◉を押す。

2 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

3 「音声着信音設定」を選び、◉を押す。

ファイルをメールに添付する

データフォルダから、各種ファイルを直接メールに添付して送信します。

メニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選び、◉を押す。

2 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

3 「送信」を選び、◉を押す。

4 「メール添付」を選び、◉を押す。

■ データサイズの大きいJPEG画像選択時：圧縮サイズ選択➡◉

5 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.14-7操作３以降）

プリンタを利用して静止画をプリントする

本機とプリンタをBluetooth®で接続し、JPEG画像／PNG画像をプリントします。

- Bluetooth®に対応したプリンタでプリントできます。
- あらかじめ、プリンタをBluetooth®受信できる状態にしておいてください。

メニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」、「デジタルカメラ」、「その他ファイル」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 新しく作成したフォルダ／デジタルカメラフォルダ選択時：フォルダ選択➡◉

2 静止画を選び、✉（メニュー）を押す。

3 「プリント」を選び、◉を押す。

4 「Bluetooth」を選び、◉を押す。

自動的に機器検索が行われます。

5 機器を選び、◉を押す。

■ 受信側より認証要求時：認証コード入力➡◉
■ 他の機器と接続時：「**はい**」選択➡◉

6 「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定され、プリントが始まります。

- プリントが終わると、プリンタは自動的に停止します。

■ プリントの中止：Y!（**キャンセル**）

注意▶ 送信する静止画データによっては、送信先のBasic Imaging Profileに対応したプリンタの画像制限で、送信（印刷）できないことがあります。

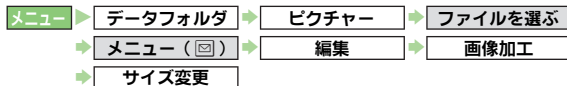
静止画の編集

サイズを変更する

ファイルを、壁紙用やアラーム用などのサイズに変更します。

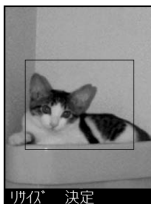
- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出したり、拡大／縮小できます。（サイズを変更すると、データサイズも変更されます。）
- 「画像加工」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

固定サイズに変更する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉） ➡ 編集 ➡ 画像加工 ➡ サイズ変更

1 「壁紙」～「アラーム」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（「壁紙」、「電源On／Off」を選んだときを除く）

- 変更後のサイズは、次のとおりです。

壁紙	横240×縦320ドット
電源On／Off	横240×縦320ドット
着信画像	横176×縦144ドット
アラーム	横240×縦104ドット

着信画像のとき

2 ◈で表示範囲を指定する。

- 画像サイズによっては、表示範囲は変更できません。

■ 画像の拡大／縮小：✉（リサイズ）➡◈（拡大）／◈（縮小）
■ 画像サイズ選択のやり直し：CLEAR/BACK

3 ◉を押す。

4 Y!（保存）を押す。

5 「新規保存」を選び、◉を押す。

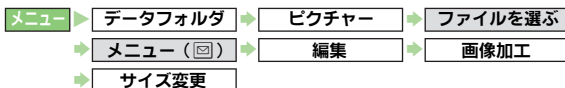
■ 上書保存：「上書き保存」選択➡◉

6 ファイル名を入力し、◉を押す。

7 保存場所を選び、◉を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

サイズを自由に変更する

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉） ➡ 編集 ➡ 画像加工 ➡ サイズ変更

1 「自由切出」を選び、◉を押す。

2 ◈で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、◉を押す。

3 ◈で「＋」を切り出す部分の右下に移動し、◉を押す。

■ サイズ選択のやり直し：CLEAR/BACK➡操作1からやり直す

4 ◈で表示範囲を指定する。

- 画像サイズによっては、表示範囲は変更できません。

■ 画像の拡大／縮小：✉（リサイズ）➡◈（拡大）／◈（縮小）
■ 画像サイズ選択のやり直し：CLEAR/BACK➡操作1からやり直す

5 ◉を押す。

6 Y!（保存）を押す。

7「新規保存」を選び、◉を押す。

上書保存：「**上書き保存**」選択➡◉

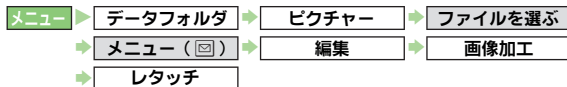
8 ファイル名を入力し、◉を押す。

9 保存場所を選び、◉を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

静止画を装飾する（レタッチ）

画像の色あいやタッチを変更できます。

- 横52×縦52ドット以上のJPEG画像／PNG画像で、利用できます。連写画像も装飾できます。
- 「**画像加工**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

1 装飾の種類を選び、◉を押す。

- 設定できる装飾の種類は、次のとおりです。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
波紋	輪の形に広がる波の効果を表現
タイル	周りにタイル調の効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
油絵タッチ	ルノワール風油絵タッチ
クリアフレーム	周りに透明なふちを描くフレーム調
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

装飾のやり直し：CLEAR/BACK

2 ◉を押す。

3 Y!（保存）を押す。

4「新規保存」を選び、◉を押す。

上書保存：「**上書き保存**」選択➡◉

5 ファイル名を入力し、◉を押す。

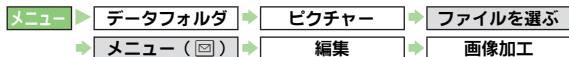
6 保存場所を選び、◉を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

注意▶ 画像を装飾すると、画像データサイズが変わるため、装飾した画像の登録や、メールの送信ができないことがあります。

画像と文字／スタンプを組み合わせる

●「**画像加工**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 編集 ➡ 画像加工

1 *文字を組み合わせる*

1「テキスト貼付」を選び、◉を押す。

2「フリーワード」を選び、◉を押す。

■ 日付の入力：「**日付**」選択➡◉➡操作2へ

3 文字を入力し、◉を押す。

● 最大16文字まで入力できます。

スタンプを組み合わせる

1「スタンプ」を選び、◉を押す。

2 スタンプを選び、◉を押す。

■ スタンプ選択のやり直し：CLEAR/BACK

2 ◎で文字やスタンプの位置を選び、◉を押す。

■ 文字色／縁どり色の設定：✉（**文字色**）➡ 文字色／縁どり色選択➡◉➡Y!（**完了**）

3 Y!（保存）を押す。

4「新規保存」を選び、◉を押す。

■ 上書保存：「**上書き保存**」選択➡◉

5 ファイル名を入力し、◉を押す。

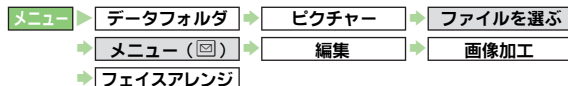
6 保存場所を選び、◉を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

顔写真を加工する（フェイスアレンジ）

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。

- JPEG画像／PNG画像で、利用できます。
- フェイスアレンジは、顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工します。顔が正面を向き、大きく中央に写っているファイルを利用してください。また、次のようなときは、うまく加工できないことがあります。
- ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など
- 顔パーツの位置や大きさを指定し直して加工することもできます。（☞P.8-15）
- 「**画像加工**」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ ピクチャー ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 編集 ➡ 画像加工 ➡ フェイスアレンジ

1 アレンジの種類を選び、◉を押す。

● 設定できるアレンジの種類は、次のとおりです。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔
怒る	目、口が怒っている顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔
パッチリ目	パッチリ目を合成
炎	炎の目を合成
なみだ	なみだを合成
伯爵	メガネとヒゲを合成
カチン	怒りマークを合成

■ 顔パーツの位置や大きさの確認：✉（**顔抽出**）

■ 確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK

■ アレンジのやり直し：CLEAR/BACK

2 ◉を押す。

3 [Y!]（保存）を押す。

4「新規保存」を選び、◉を押す。

■ 上書保存：「上書き保存」選択➡◉

5 ファイル名を入力し、◉を押す。

6 保存場所を選び、◉を押す。

編集後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

注意▶ フェイスアレンジを行った画像をS! メールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジを行うと、認識した顔パーツの位置が、加工する顔の位置とずれていることがあります。

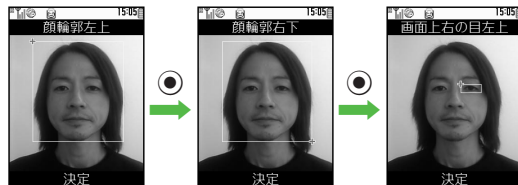
このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。

●顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 P.8-14「顔写真を加工する（フェイスアレンジ）」操作1で、✉（顔抽出）を押す。

2 ✉（修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

◈で顔の輪郭の左上に「＋」を移動 → ◈で顔の輪郭の右下に「＋」を移動 → 顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：[CLEAR/BACK]

4 画面上右の目→画面上左の目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。

●画面上部のガイドに従って、上記操作3と同様に操作します。

●口の位置を指定したあと◉を押すと、指定した顔パーツがすべて表示されます。

●顔パーツの指定をやり直すときは、操作2以降をくり返してください。

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：[CLEAR/BACK]

▪口の位置を指定し◉を押したあとは、操作できません。

5 ◉を押す。

6「はい」を選び、◉を押す。

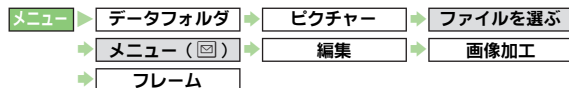
7 保存場所を選び、◉を押す。

指定した顔パーツを付加した画像が新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジ画面に戻ります。

●このあと、この画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工できます。

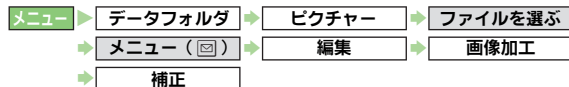
その他の画像加工

●「画像加工」のメニューが表示されるファイルで、利用できます。

フレーム	JPEG画像／PNG画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

フレーム選択→◉→◉→Y!（保存）→「新規保存」選択→◉→ファイル名入力→◉→保存場所選択→◉

■フレーム選択のやり直し：フレーム表示中にCLEAR/BACK

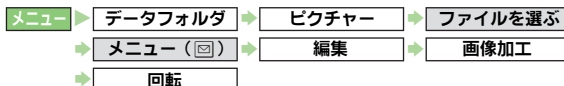
■上書保存：「新規保存」選択時に「上書き保存」選択→◉

補正	画像を補正します。

「シャープネス」～「暗く」選択→◉→◉→Y!（保存）→「新規保存」選択→◉→ファイル名入力→◉→保存場所選択→◉

■補正のやり直し：補正表示中にCLEAR/BACK

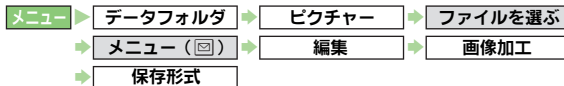
■上書保存：「新規保存」選択時に「上書き保存」選択→◉

●横52×縦52ドット以上のJPEG画像／PNG画像で利用できます。

回転	画像の向きを回転させることができます。

回転方法選択→◉→◉→Y!（保存）→「新規保存」選択→◉→ファイル名入力→◉→保存場所選択→◉

■回転のやり直し：回転方法選択時にCLEAR/BACK

■上書保存：「新規保存」選択時に「上書き保存」選択→◉

ファイル形式／ファイルサイズ	画像のファイル形式やファイルサイズを変更することができます。

ファイル形式を変更する

「ファイル形式」選択→◉→ファイル形式選択→◉→CLEAR/BACK→Y!（保存）→ファイル名入力→◉→保存場所選択→◉

●ファイル形式を変更すると、データサイズや画質が変わることがあります。

ファイルサイズを変更する

「ファイルサイズ」選択→◉→ファイルサイズ選択→◉→CLEAR/BACK→Y!（保存）→「新規保存」選択→◉→ファイル名入力→◉→保存場所選択→◉

■上書保存：「新規保存」選択時に「上書き保存」選択→◉

●ファイルサイズを変更すると、画質が変わることがあります。

ファイルを元に戻す

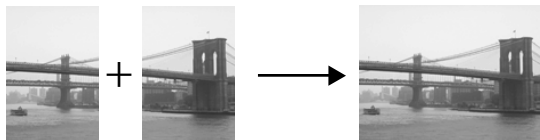
■画像加工で編集した画像を編集前の状態に戻せます。

画像を加工したあと「元に戻す」選択➡◉

■ 編集した状態に戻す：上記操作のあと「**やり直し**」選択➡◉

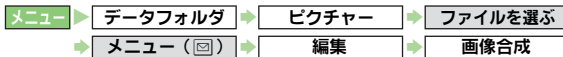
- 一度保存した画像は元に戻せません。保存する前だけ元に戻せます。

2枚の静止画をパノラマ合成する

2枚のファイル（静止画）を横に並べて、1枚の画像にします。

2枚の静止画を選択　　パノラマ合成

パノラマ合成で選べる効果は、次のとおりです。

標準	近距離で撮影した静止画、遠距離で撮影した静止画のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。近距離で撮影した静止画の合成に適しています。
ドキュメント	説明板など文字のある静止画の合成に適しています。

- 横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像で、利用できます。
- 2枚のファイルサイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成します。
- 色あいが異なる2枚の静止画をパノラマ合成すると、うまく合成できないことがあります。

1 「パノラマ合成」を選び、◉を押す。

選んだファイルが1枚目の画像として指定（左側に配置）されます。

- 選択できない画像は、利用できません。

2 「2」を選び、◉を押す。

3 もう1枚のファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルが2枚目の画像として指定されます。

- 利用できない画像のときは、エラーメッセージが表示されます。ファイルを選び直してください。

4 「EFFECT」を選び、◉を押す。

5 「標準」～「ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。

パノラマ合成画面

■ 画像の確認：画像選択➡◉

■ 確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK

■ 画像の変更：画像選択➡◉➡✉（**変更**）➡画像選択➡◉

■ 画像の左右入れ替え：✉（**入替**）

6 Y!（保存）を押す。

7 ◉を押す。

8 ファイル名を入力し、◉を押す。

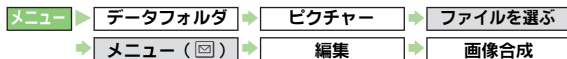
9 保存場所を選び、◉を押す。

合成後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

分割画像を作成する

最大４枚の静止画を縮小し、１枚の画像内に配置して分割画像を作成できます。

- JPEG画像／PNG画像で、利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
- １～４枚目の順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

1 「分割画像240×320」または「分割画像120×160」を選び、◉を押す。

選んだファイルが１枚目の画像として指定（左上に配置）されます。

2 「2」を選び、◉を押す。

3 ファイルを選び、◉を押す。

- 利用できない画像のときは、エラーメッセージが表示されます。ファイルを選び直してください。

4 操作２～３をくり返し、すべての画像を指定する。

分割画像作成画面

- 操作２では、「3」または「4」を選んでください。

■ 分割画像の確認：✉（**メニュー**）➡「**合成画像表示**」選択➡◉
 ■ 確認の終了：上記操作のあと◉

■ 画像の変更：画像選択➡◉➡✉（**変更**）➡画像選択➡◉

■ 画像の削除：画像選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

5 Y!（保存）を押す。

6 ファイル名を入力し、◉を押す。

7 保存場所を選び、◉を押す。

合成後の画像が新しい画像としてデータフォルダに保存されます。

設定

モード設定

お使いになる状況に応じて、着信時の動作などを設定します。

- あらかじめ登録されている次のモードごとに設定できます。
  - ■通常モード　■マナーモード
  - ■運転中モード　■オリジナルモード

モードを選択する

モード選択	利用するモードを選びます。

お買い上げ時 通常モード

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ モード設定

モード選択 ➡ ◉

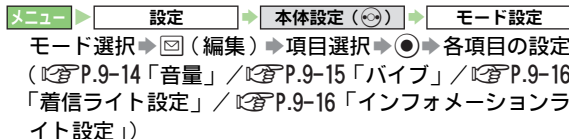
モードの設定を変更する

- 通常モードの設定内容の変更は、P.9-14「**音・バイブ・ライト**」、P.9-17「**エニーキーアンサー**」、P.2-9「**簡易留守録**」で行います。ここでは、「**マナーモード**」、「**運転中モード**」、「**オリジナルモード**」の設定内容の変更について説明します。

補足▶ マナーモードでは「**音量**」が、運転中モードでは「**音量**」／「**バイブ**」／「**簡易留守録設定**」が設定できません。

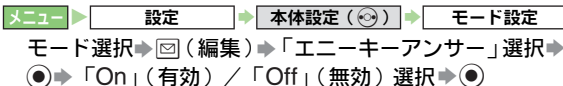
設定変更（着信時の動作）	音量、バイブ、着信ライト設定、インフォメーションライト設定を変更します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ モード設定

モード選択 ➡ ✉（編集）➡ 項目選択 ➡ ◉ ➡ 各項目の設定（☞P.9-14「音量」／☞P.9-15「バイブ」／☞P.9-16「着信ライト設定」／☞P.9-16「インフォメーションライト設定」）

エニーキーアンサー	エニーキーアンサー（☞P.2-6）を有効にするかどうかを設定します。

お買い上げ時 運転中モード：On（有効）、マナーモード／オリジナルモード：Off（無効）

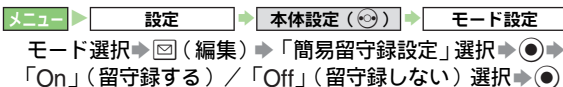
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ モード設定

モード選択 ➡ ✉（編集）➡「エニーキーアンサー」選択 ➡ ◉ ➡「On」（有効）／「Off」（無効）選択 ➡ ◉

簡易留守録設定	各モード中の着信に対して簡易留守録するかどうかを設定します。

■運転中モードでは変更できません。

お買い上げ時 マナーモード／運転中モード：On（留守録する）
オリジナルモード：Off（留守録しない）

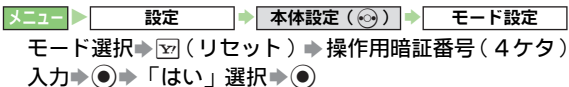
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ モード設定

モード選択 ➡ ✉（編集）➡「簡易留守録設定」選択 ➡ ◉ ➡「On」（留守録する）／「Off」（留守録しない）選択 ➡ ◉

各モードの設定をお買い上げ時の状態に戻す

設定リセット	各モードの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

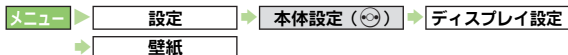
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ モード設定

モード選択 ➡ Y!（リセット）➡ 操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉ ➡「はい」選択 ➡ ◉

9 設定

ディスプレイ設定

ディスプレイ表示を設定する

壁紙	お好みの画像を待受画面の壁紙として設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ 壁紙

固定データを利用する

「固定データ」選択➡◉➡画像選択➡◉

データフォルダ内のデータを利用する

「ピクチャー」／「デジタルカメラ」／「Flash®」／「その他ファイル」選択➡◉➡画像選択➡◉

- 「デジタルカメラ」選択時：「デジタルカメラ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡「センタリング」／「全画面表示」／「画面全体表示」選択➡◉➡◉
- ディスプレイサイズ以外の画像選択時：画像選択後「センタリング」／「全画面表示」／「画像全体表示」選択➡◉➡◉
  - ■ディスプレイサイズの画像選択時または「センタリング」選択時は、画像を◎で拡大／縮小、✉で回転できます。

壁紙を指定しない（白画像を表示）

「Off」選択➡◉

カスタムスクリーン設定時に壁紙を設定すると

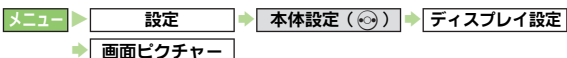
■設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
壁紙をカスタムスクリーンに戻すときは、「固定データ」などの選択時に次の操作を行います。
「カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉

注意▶
- 画像によっては、うまく表示されなかったり、壁紙に設定できないことがあります。
- S!アプリ待受を設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- データフォルダのマイ絵文字フォルダに保存されているデータは、壁紙に設定できません。

補足▶ 壁紙を設定すると、「Off」にしているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

画面ピクチャー	お好みの画像を、各表示場面（電源On／電源Off時、着信時、アラーム動作時）で表示します。

お買い上げ時 電源On／電源Off：固定データ、音声着信／TVコール着信／サークルトーク着信／アラーム：パターン1

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ 画面ピクチャー

電源On／電源Off時の画像を設定する

「電源On」／「電源Off」選択➡◉➡「固定データ」／「ピクチャー」／「デジタルカメラ」／「Flash®」／「その他ファイル」選択➡◉

- 「ピクチャー」／「Flash®」／「その他ファイル」選択時：上記操作のあと画像選択➡◉➡◉
- 「デジタルカメラ」選択時：上記操作のあとフォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

9 設定

着信時／アラーム動作時の画像を設定する

「音声着信」～「アラーム」選択➡◉➡「パターン１」～「パターン３」／「ピクチャー」／「デジタルカメラ」／「Flash®」／「その他ファイル」／「カスタムスクリーン」選択➡◉

■「ピクチャー」／「Flash®」／「その他ファイル」選択時：上記操作のあと、画像選択➡◉➡◉

■「デジタルカメラ」選択時：上記操作のあとフォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

- 「ピクチャー」／「デジタルカメラ」／「その他ファイル」を選ぶと、画像によっては、表示範囲指定画面が表示されます。◈で表示範囲を示す枠内に画像を移動したあと、◉を押してください。
- 設定しているカスタムスクリーンによっては、着信時／アラーム動作時の画像に「カスタムスクリーン」を選択できないことがあります。

注意▶ S!アプリ一時停止中にメールを利用しているときは、着信時やアラーム動作時に設定した画像が表示されないことがあります。

カスタムスクリーン設定時に画面ピクチャーを設定すると

■設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）

表示場面が「音声着信」、「TVコール着信」、「サークルトーク着信」、「アラーム」の場合、画面ピクチャーをカスタムスクリーンに戻すときは、「パターン１」などの選択時に次の操作を行います。

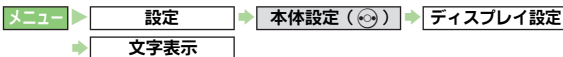
「カスタムスクリーン」選択➡◉➡◉

注意▶
- 「音・バイブ・ライト」で設定した着信音／ムービーによっては、画面ピクチャーの設定が無効となることがあります。
- アドレス帳の着信音／ムービーまたはフォトを登録している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、ここでの設定にかかわらず、アドレス帳に登録されている画像が表示されます。

文字サイズ設定／文字太さ設定

メニューや文字入力中、メール／インターネット画面に表示される文字サイズ／太さを設定します。

お買い上げ時 文字表示全般：中、文字入力中：中、メール本文表示中：中、ウェブ閲覧中：中、文字太さ設定：普通

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ 文字表示

サイズを設定する

「文字サイズ設定」選択➡◉➡項目選択➡◉➡文字サイズ選択➡◉

太さを設定する

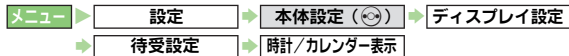
「文字太さ設定」選択➡◉➡太さ選択➡◉

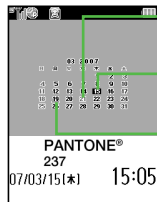
- 文字の太さは、各画面で共通です。

注意▶ 文字サイズを変更すると、一部の機能名などの表示が異なることがあります。

補足▶ 画面によっては、ここで設定した文字サイズや文字太さにならないことがあります。

時計／カレンダー表示	待受画面での時計やカレンダーの表示形式を設定します。

お買い上げ時 時計（中）

表示形式選択➡◉

■カレンダーの見かた

祝日
- 祝日は、赤色で表示されます。

現在の日付
- 現在の日付は、反転表示されています。

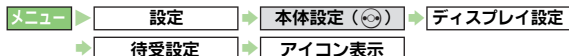
予定が登録されている日付
- 予定（☞P.12-4）が登録されている日付には、アンダーラインが表示されます。

時計（中）＋1ヵ月

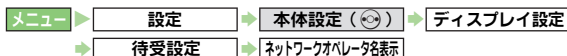
注意▶
- 壁紙を設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。
- お買い上げ時には、2007年1月現在の祝日が登録されています。（春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日に官報で発表されるため、異なることがあります。）

補足▶ S!アプリ待受を設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

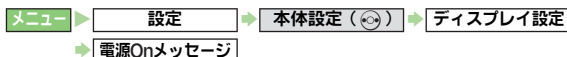
アイコン表示	待受画面上部のマーク（アイコン）やソフトキーを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ステータス行：On（表示する）、ソフトキー：Off（表示しない）

「ステータス行」／「ソフトキー」選択➡◉➡「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

ネットワークオペレータ名表示	待受画面に、ご利用の通信会社の情報（「SoftBank」など）を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（表示しない）

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

電源Onメッセージ	電源を入れたときに、画面にメッセージを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（表示しない）

表示内容を設定する

「メッセージ編集」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉

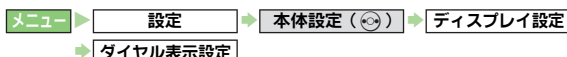
- 最大10文字まで入力できます。

On／Offを設定する

「On／Off設定」選択➡◉➡「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

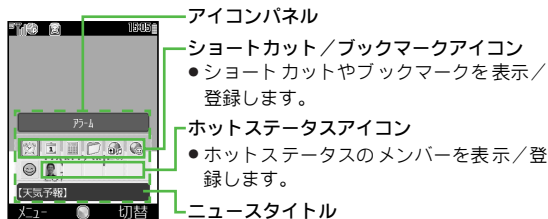
ダイヤル表示設定	電話番号入力時の数字の表示形式を設定します。

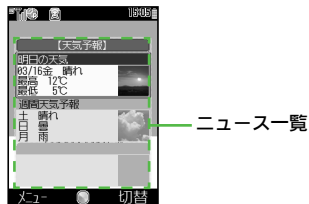
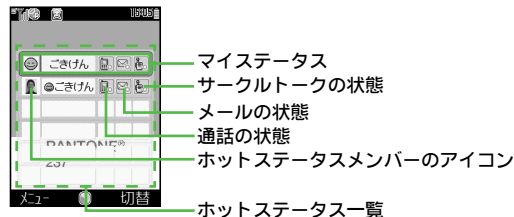
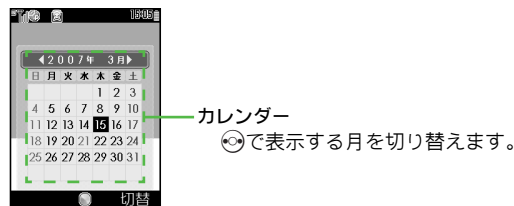
お買い上げ時 パターン1

メニュー▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ ディスプレイ設定 ➡ ダイヤル表示設定

「パターン1」／「パターン2」／「パターン3」選択➡◉

待受ウィンドウを利用する

各機能のショートカットアイコンやライブモニター（☞P.15-14）で受信したニュース、ホットステータスリスト（☞P.19-4）などを表示します。
表示方法は、次の４つのモードから設定できます。

■ショートカットモードの待受ウィンドウ

- 上記の画面はアイコンパネルのテンプレートが「**テンプレート１**」のときに表示されます。
- お買い上げ時には、アイコンパネルのテンプレートは「**テンプレート７**」に設定されています。
  アイコンパネルのテンプレートの変更：☞P.9-8

■ニュースヘッドラインモードの待受ウィンドウ

■コミュニケーションモードの待受ウィンドウ

■カレンダーモードの待受ウィンドウ

- ライブモニター（☞P.15-14）やホットステータス（☞P.19-4）を利用するには、あらかじめ登録や設定が必要です。
- お買い上げ時には、ショートカットモード（☞左記）が設定されています。

1 **を押す。**
設定したモードの待受ウィンドウが表示されます。

2 **でアイコンやニュースを選び、を押す。**
選んだアイコンの機能などの利用や、ニュースが閲覧できます。
- カレンダーモード選択時は、を押すとカレンダー機能を利用できます。

待受画面に戻る：

補足▶ ニュースヘッドラインモード／コミュニケーションモードの待受ウィンドウの情報やアイコンの見かたについて詳しくは、P.15-14、P.19-4を参照してください。

モードを切り替える

■各モードの画面で[Y!]を押すたびにモードが切り替わります。

ショートカットモードの画面を設定／編集する

●以下の操作は、P.9-6「ショートカットモード」の画面で行います。

ショートカット登録 ショートカットを登録／上書きします。

登録／上書きするアイコン選択➡[メール]（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「ショートカット登録」選択➡◉➡[十字キー]（メニュー選択）➡◉➡機能選択➡[メール]（決定）

ブックマーク登録 ブックマークを登録／上書きします。

登録／上書きするアイコン選択➡[メール]（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「ブックマーク登録」選択➡◉➡[十字キー]（ブックマーク選択）➡◉➡表示アイコン選択➡◉➡「はい」選択➡◉

アイコンの移動 アイコンを並べ替えます。

アイコン選択➡[メール]（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「アイコンの移動」選択➡◉➡アイコン選択➡[メール]（上へ）／[Y!]（下へ）で移動➡◉

アイコン設定解除 アイコンに設定されているショートカットやブックマークを解除します。

設定解除するアイコン選択➡[メール]（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「アイコン設定の解除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

メンバー表示登録 ホットステータスアイコンにメンバーを登録します。

■あらかじめ、ホットステータスメンバーリスト登録（☞P.19-5）またはアドレス帳登録（☞P.4-3）を行ってください。

メンバー表示登録するアイコン選択➡[メール]（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「メンバー表示登録」選択➡◉➡「ホットステータスメンバーリスト」選択➡◉➡メンバー選択➡◉

■アドレス帳から選択：メンバー表示登録するアイコン選択➡[メール]（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「メンバー表示登録」選択➡◉➡「アドレス帳」選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉

メンバーの移動 ホットステータスのメンバーを並べ替えます。

ホットステータスアイコン選択➡[メール]（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「メンバーの移動」選択➡◉➡移動するメンバー選択➡[メール]（上へ）／[Y!]（下へ）で移動➡◉

メンバー表示登録の解除 ホットステータスアイコンに登録したメンバーを解除します。

表示登録解除するメンバーのホットステータスアイコン選択➡[メール]（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「メンバー表示登録の解除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

●お客様のホットステータスアイコンは削除できません。

アイコン変更	ホットステータスのアイコンを変更します。

登録済のホットステータスアイコン選択➡✉（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「アイコン変更」選択➡◉➡アイコン選択➡◉

ニュースコンテンツ登録	ニュースタイトルに表示されるニュースコンテンツを登録します。

✉（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「ニュースコンテンツ登録」選択➡◉➡P.15-15「ライブモニターリストに登録する」操作1以降／P.15-16「S!ループリストに登録する」操作1以降

テンプレート変更	アイコンパネルのテンプレートを変更します。

✉（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「テンプレート変更」選択➡◉➡テンプレート選択➡◉

ニュース表示速度変更	ニュースタイトルの表示速度を変更します。

✉（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「ニュース表示設定」選択➡◉➡「ニュース表示速度」選択➡◉➡速度選択➡◉

ニュース表示対象	ニュースの表示対象（未読・既読すべて表示／未読のみ表示）を設定します。

✉（メニュー）➡「アイコンパネルの設定」選択➡◉➡「ニュース表示設定」選択➡◉➡「ニュース表示対象」選択➡◉➡項目選択➡◉

補足▶ ニュースの自動更新の方法については、P.15-17を参照してください。

ニュースヘッドラインモードの画面を設定／編集する

- 以下の操作は、P.9-6「ニュースヘッドラインモード」の画面で行います。

ニュースコンテンツ登録	ニュース一覧に表示されるニュースコンテンツを登録します。

✉（メニュー）➡「ニュースパネルの設定」選択➡◉➡「ニュースコンテンツ登録」選択➡◉

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

補足▶ ニュースの自動更新の方法については、P.15-17を参照してください。

コミュニケーションモードの画面を設定／編集する

- 以下の操作は、P.9-6「コミュニケーションモード」の画面で行います。

メンバー表示登録	メンバーを登録します。

■あらかじめ、ホットステータスメンバーリスト登録（☞P.19-5）またはアドレス帳登録（☞P.4-3）を行ってください。

メンバー表示登録する行選択➡✉（メニュー）➡「メンバーパネルの設定」選択➡◉➡「メンバー表示登録」選択➡◉➡「ホットステータスメンバーリスト」選択➡◉➡メンバー選択➡◉

■ アドレス帳から選択：メンバー表示登録する行のアイコン選択➡✉（メニュー）➡「**メンバーパネルの設定**」選択➡◉➡「**メンバー表示登録**」選択➡◉➡「**アドレス帳**」選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉

メンバーの移動	ホットステータスのメンバーを並べ替えます。

ホットステータスのメンバー選択➡✉(メニュー)➡「メンバーパネルの設定」選択➡◉➡「メンバーの移動」選択➡◉➡移動するメンバー選択➡✉(上へ)/Y!(下へ)で移動➡◉

メンバー表示登録の解除	登録したメンバーを解除します。

メンバー表示登録を解除するメンバー選択➡✉(メニュー)➡「メンバーパネルの設定」選択➡◉➡「メンバー表示登録の解除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

アイコン変更	ホットステータスのメンバーのアイコンを変更します。

登録済のホットステータスのメンバー選択➡✉(メニュー)➡「メンバーパネルの設定」選択➡◉➡「アイコン変更」選択➡◉➡アイコン選択➡◉

表示言語（日本語／英語）を切り替える

日本語／英語切替（Language）	画面の表示を日本語または英語に設定します。

お買い上げ時 自動

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ Language

「自動」／「English」／「日本語」選択➡◉

●「**自動**」にすると、取り付けているUSIMカードの言語情報に従って表示が切り替わります。

カスタムスクリーンを利用する

本機の各画面表示や着信音を、キャラクターなどの統一イメージに一括して変更することができます。

- あらかじめ登録されている固定データ（「**パターン1**」、「**パターン2**」、「**パターン3**」）を利用したり、インターネットからダウンロードして利用することができます。
- 本機のデータフォルダのカスタムスクリーンフォルダには、「**カスタモご紹介**」が保存されています。
  - ■「**カスタモご紹介**」は、本機で利用できるキャラクターなどをダウンロードする専用サイト「**カスタモ**」を紹介するデータです。
    カスタムスクリーンには設定できません。
- お買い上げ時には、「**パターン1**」に設定されています。

カスタムスクリーンをダウンロードする

カスタムスクリーンは、本機のデータフォルダのカスタムスクリーンフォルダからダウンロードします。

- カスタムスクリーンには、有料のものがあります。
- 有料のカスタムスクリーンは、カスタムスクリーンキーを購入（ダウンロード）することで、利用できるようになります。（☞P.9-10）
- カスタムスクリーンおよびカスタムスクリーンキーのダウンロードはインターネットを利用します。電波状態のよい所で操作してください。
- パソコンを使って「**カスタモ**」（http://www.custamo.com/）からダウンロードすることもできます。

注意▶ ご利用にあたっては、カスタムスクリーンの提供サイトの情報（カスタムスクリーンの料金などの詳細）を必ずご確認ください。

9 設定

メニュー ▶ データフォルダ ➡ カスタムスクリーン

1「カスタムスクリーンダウンロード」を選び、◉を押す。

インターネットに接続され、カスタムスクリーン提供サイトの画面が表示されます。

■「カスタモご紹介」を利用してダウンロードする:「**カスタモご紹介**」選択➡◉➡◉➡「**はい**」選択➡◉

2 カスタムスクリーンの提供サイトから、カスタムスクリーンをダウンロードする。

- 必ず、提供サイトの情報をご確認ください。
- パソコンでダウンロードしたときは、メモリカードの次のフォルダに保存してください。また、ファイル名などは変更しないでください。
  - PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Custom Screens

■カスタムスクリーンキーを購入する

メニュー ▶ データフォルダ

1「カスタムスクリーン」を選び、◉を押す。

利用できるカスタムスクリーンが表示されます。

- 有料のカスタムスクリーンには、カスタムスクリーンキーの有無により、次のマークが表示されます。

キーあり	🔑	キーなし	(キーなしマーク)

- 設定中のカスタムスクリーンには、「(設定中マーク)」が表示されます。

■本体/メモリカードの切替:✉(**メニュー**)➡「**本体へ切替**」/「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

2 カスタムスクリーンキーをダウンロードするカスタムスクリーンを選び、✉(メニュー)を押す。

- 「(キーなしマーク)」が表示されているカスタムスクリーンを選んでください。

3「コンテンツ・キー取得」を選び、◉を押す。

- すでにコンテンツ・キーを100件取得しているときは、不要なコンテンツ・キーを削除したあと、コンテンツ・キーを取得してください。

4 ✉(取得)を押す。

インターネットに接続され、カスタムスクリーンキーダウンロードの画面が表示されます。

- カスタムスクリーンキーダウンロードの画面では、次の内容などが確認できます。
  - カスタムスクリーンキーの料金
  - お支払方法
  - 利用規約
  - カスタムスクリーンキーに関するお問い合わせ先

■ 操作の中止:Y!(**キャンセル**)

5 利用規約などの内容を十分確認したうえで、画面の内容に従い、カスタムスクリーンキーをダウンロードする。

6 ダウンロード完了後、✉(OK)を押す。

データフォルダのカスタムスクリーンフォルダ画面に戻ります。

カスタムスクリーンの削除	カスタムスクリーンとカスタムスクリーンキーを削除します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ カスタムスクリーン

カスタムスクリーン選択 ➡ ✉（メニュー）➡「削除」選択 ➡ ◉ ➡「はい」選択 ➡ ◉

■ カスタムスクリーンキーも同時に削除：上記操作のあと「はい」選択 ➡ ◉

■ カスタムスクリーンキー削除の中止（カスタムスクリーンだけを削除）：上記操作のあと「いいえ」選択 ➡ ◉

- カスタムスクリーンキーだけを削除することはできません。
- あらかじめ登録されている「**カスタモご紹介**」も消去できます。

Webアクセス	カスタムスクリーン提供元のサイトに接続します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ カスタムスクリーン

カスタムスクリーン選択 ➡ ✉（メニュー）➡「Webアクセス」選択 ➡ ◉

カスタムスクリーンを設定する

- カスタムスクリーンによっては、設定完了までに時間がかかることがあります。設定中は ⓞ を押しても中止できません。

■あらかじめ登録されているカスタムスクリーンを設定する

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ カスタムスクリーン ➡ 固定データ

1 **「パターン１」、「パターン２」、「パターン３」のいずれかを選び、◉を押す。**

2 **「グリッドメニュー」、「横メニュー」、「縦メニュー」のいずれかを選び、◉を押す。**

■データフォルダ内のカスタムスクリーンを設定する

メニュー ▶ データフォルダ

1 **「カスタムスクリーン」を選び、◉を押す。**

利用できるカスタムスクリーンが表示されます。

（マークの意味：☞P.9-10）

■ 本体／メモリカードの切替：✉（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択 ➡ ◉

2 **カスタムスクリーンを選び、◉を押す。**

- 「✎」が表示されていないカスタムスクリーンを選んでください。
- カスタムスクリーンを選び✉（**メニュー**）を押すと、カスタムスクリーンの詳細情報確認、ファイル名変更、コピー／移動が行えます。（☞P.8-6、P.8-8、P.8-9）

3 **◉を押す。**

カスタムスクリーンが設定されたあと、データフォルダのカスタムスクリーンフォルダ画面に戻ります。

注意 ▶
- カスタムスクリーンによっては、壁紙、画面ピクチャー、着信音などのデータが準備されていないことがあります。このときは、お買い上げ時の設定になります。
- 電池残量が不足しているときやファイルの内容によっては、カスタムスクリーンが設定できないことがあります。

補足 ▶ メモリカード内のカスタムスクリーンを設定したあと、メモリカードを取り外したり、他のメモリカードを取り付けても、カスタムスクリーンは解除されません。

おなじみ操作を利用する

本機を発売済のソフトバンク携帯電話またはその他の携帯電話の操作イメージに変更できます。

- 以前お使いの機種と近い操作感覚で本機を利用できます。

注意▶ おなじみ操作は、既存機種と完全に同様の操作、画面表示に変更するわけではありません。

おなじみ操作をダウンロードする

利用する機種のコンテンツをおなじみ操作提供サイトからダウンロードします。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ カスタムスクリーン

1 「おなじみ操作ダウンロード」を選び、◉を押す。

インターネットに接続され、おなじみ操作提供サイトの画面が表示されます。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

おなじみ操作を設定する

あらかじめ、利用する機種のおなじみ操作のコンテンツをダウンロードしてください。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ カスタムスクリーン

1 おなじみ操作を選び、◉を押す。

おなじみ操作を解除する

■次の操作で、設定済のおなじみ操作を解除します。

◉➡Y!（メニュー）➡「おなじみ操作解除」選択➡◉

おなじみ操作を一時的に解除する

■次の操作で、設定済のおなじみ操作を一時的に解除します。

◉➡Y!（メニュー）➡「通常メニュー」選択➡◉

注意▶
- おなじみ操作を設定すると、壁紙や画面ピクチャー、着信音などの設定およびシンプルメニューは解除され、お買い上げ時に戻ります。また、おなじみ操作の解除後も設定はお買い上げ時に戻ります。
- おなじみ操作を設定時の画面では、文字サイズ設定／文字太さ設定（☞P.9-4）で設定した内容は反映されません。また、英語表示（☞P.9-9）の設定は反映されません。

ディスプレイ／ボタンの照明を設定する

バックライト	照明の点灯時間（自動的に消えるまでの時間）の設定や、ディスプレイ照明の明るさを調整します。

お買い上げ時 点灯時間：15秒、明るさ調整：明るさ２

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ バックライト

ディスプレイ／ボタン照明の点灯時間を設定する

「点灯時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

■ 点灯しないようにする：時間選択画面で「Off」選択➡◉

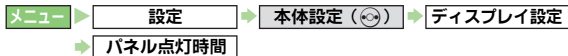
ディスプレイ照明の明るさを調整する

「明るさ調整」選択➡◉➡◎（明るさ選択）➡◉

補足▶ ボタン照明の明るさは調整できません。

パネル点灯時間	ディスプレイ表示の点灯時間（自動的に消えるまでの時間）を設定します。

お買い上げ時 2分

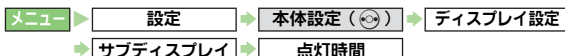
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ パネル点灯時間

時間選択➡◉

補足▶ パネル点灯時間を「**常に点灯**」に設定していても通話中は５分で消灯します。照明や表示を復帰させるときは[終話]以外のボタンを押してください。（[終話]を押すと通話が終了しますのでご注意ください。）

サブディスプレイを設定する

点灯時間	サブディスプレイ照明の点灯時間（自動的に消えるまでの時間）を設定します。

お買い上げ時 5秒

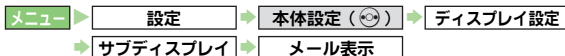
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイ ➡ 点灯時間

時間選択➡◉

■ 点灯しないようにする：「Off」選択➡◉

メール表示	サブディスプレイにメールの本文を表示するかどうかを設定します。

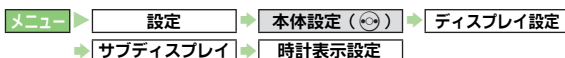
■あらかじめ、P.9-14「着信相手表示」を「On」に設定してください。

お買い上げ時 On（表示する）

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイ ➡ メール表示

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

時計表示設定	サブディスプレイの時計表示形式を設定します。

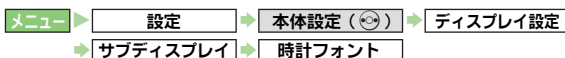
お買い上げ時 時計＋日付

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイ ➡ 時計表示設定

表示形式選択➡◉

- クローズポジションで[ボタン]を押すと、一時的に表示形式を切り替えることができます。（時計表示設定の設定は変更されません。）

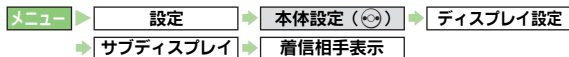
時計フォント	サブディスプレイの時計フォントを設定します。

お買い上げ時 パターン１

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ ディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイ ➡ 時計フォント

「パターン１」／「パターン２」／「パターン３」選択➡◉

着信相手表示	着信時に相手の電話番号(名前)を表示するかどうかを設定します。

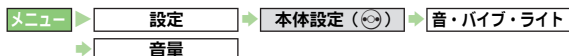
お買い上げ時 On(表示する)

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定(◎) ➡ ディスプレイ設定 ➡ サブディスプレイ ➡ 着信相手表示

「On」(表示する)/「Off」(表示しない)選択➡◉

音・バイブ・ライト

着信時の動作を設定する

音量	着信音量やメール着信音量などを設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定(◎) ➡ 音・バイブ・ライト ➡ 音量

着信の種類選択➡◉➡◎(音量調節)➡◉

●「音量5」が最大です。「ステップトーン」にすると、約4秒ごとに、「音量1」〜「音量5」の順に音が大きくなります。(「効果音/サウンド再生」には「ステップトーン」は設定できません。)

着信音/ムービー	着信音/ムービーを着信の種類別に設定できます。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定(◎) ➡ 音・バイブ・ライト ➡ 着信音/ムービー

着信音を設定する(固定データを利用)

「音声着信」/「TVコール着信」/「サークルトーク着信」選択➡◉➡「固定データ」選択➡◉➡着信音選択➡◉

■「音声着信」/「TVコール着信」/「サークルトーク着信」以外選択時:上記操作のあと「着信音選択」選択➡◉➡「固定データ」選択➡◉➡着信音選択➡◉

■ 再生:着信音選択後✉(再生)

▪再生の停止:上記操作のあと✉(停止)

着信音を設定する(固定データ以外を利用)

「音声着信」/「TVコール着信」/「サークルトーク着信」選択➡◉➡「着うた・メロディ」/「ミュージック」選択➡◉➡着信音選択➡◉

■ 上記以外の着信の種類選択時:上記操作のあと「着信音選択」選択➡◉➡「着うた・メロディ」/「ミュージック」選択➡◉➡着信音選択➡◉

■ 再生:着信音選択後Y!(再生)

▪再生の停止:上記操作のあとCLEAR/BACK

ムービー/着信音Flash®を設定する

「音声着信」/「TVコール着信」選択➡◉➡「ムービー」/「着信音Flash®」選択➡◉➡ムービー/着信音Flash®ファイル選択➡◉

■「メール着信」/「配信確認」選択時:上記操作のあと「着信音選択」選択➡◉➡「ムービー」/「着信音Flash®」選択➡◉➡ムービー/着信音Flash®ファイル選択➡◉

■ 再生:ムービー/着信音Flash®ファイル選択後Y!(再生)

▪再生の停止:上記操作のあとCLEAR/BACK

9 設定

着信音の鳴動時間を設定する（音声着信／TVコール着信／サークルトーク着信以外）

「音声着信」／「TVコール着信」／「サークルトーク着信」以外選択➡◉➡「鳴動時間」選択➡◉➡着信鳴動時間入力（01～99秒）➡◉

> **カスタムスクリーン設定時に着信音／ムービーを設定すると**
>
> ■設定した内容が優先されます。（カスタムスクリーンは解除されません。）
> 着信音／ムービーをカスタムスクリーンに戻すときは、固定データなどの選択時に次の操作を行います。
> 「カスタムスクリーン」選択➡◉

注意▶
- 音声やCDなどから取り込んだ音楽データ、サウンドのデータ内容などによっては、着信音に設定できないことがあります。
- メモリカード内の音楽やサウンドなどのデータを着信音または効果音に設定しているときに、メモリカードを抜くと、お買い上げ時の設定に戻ります。（「電源On音」を除く）
  同じメモリカードを再び取り付けると、本体の設定を変えない限り、以前同じメモリカードで設定していた着信音または効果音に設定されます。（メモリカード内の音楽やサウンドなどのデータを編集すると設定されません。）
- インターネットでファイルをダウンロードしているときや、ストリーミングしているとき、静止画を編集しているときなどに音声着信があると、お買い上げ時の着信音が鳴ることがあります。
- 着信と連動するタイプのS!アプリをS!アプリ待受に設定しているときは、ここで設定した着信音／ムービーが動作しないことがあります。
- ３Ｍバイト以上のvideo/3gpp形式などの動画ファイルは着信音に設定できません。

バイブ	着信時のバイブレータを設定します。SMAFファイルに連動するように設定することもできます。

お買い上げ時 Off

On／Offを設定する

着信の種類選択➡◉➡「On／Off設定」選択➡◉➡「On」／「音連動」／「Off」選択➡◉

- 「音連動」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータ設定に従って動作させるときに選びます。バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効となります。

バイブパターンを設定する

着信の種類選択➡◉➡「バイブパターン」選択➡◉➡「パターン１」～「パターン５」選択➡◉

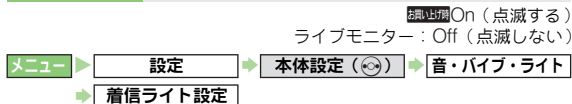
■ バイブパターンの確認：パターン選択後✉（**確認**）
■ 確認の終了：上記操作のあと✉（**停止**）

注意▶ バイブレータを設定中、本機を机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにも「Off」にすることをおすすめします。

9 設定

着信ライト設定	着信時にスモールライトを点滅させるかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（点滅する）
ライブモニター：Off（点滅しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 音・バイブ・ライト
➡ 着信ライト設定

On／Offを設定する

着信の種類選択➡◉➡「On」（点滅する）／「音連動」／「Off」（点滅しない）選択➡◉

- 「音連動」は、着信音に設定したメロディ（SMAFファイル）にライトが設定されている場合、メロディ内のライト設定に従って動作させるときに選びます。ライトが設定されていないメロディ（SMAFファイル）のときは、ライトが主旋律で点滅します。

インフォメーションライト設定	不在着信時などに、スモールライトを点滅してお知らせするかどうかを設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 音・バイブ・ライト
➡ インフォメーションライト設定

On／Offを設定する

インフォメーションの種類選択➡◉➡「On」（点滅する）／「Off」（点滅しない）選択➡◉

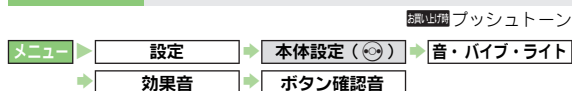
- お買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	インフォメーションライトOn／Off
不在着信	On
メール着信	On
ホットステータス通知	Off
簡易留守録	Off
着信お知らせ機能	On
S!アプリ開始要求	Off
配信確認	Off

効果音を設定する

ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。

お買い上げ時 プッシュトーン

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 音・バイブ・ライト
➡ 効果音 ➡ ボタン確認音

プッシュトーンに設定する

「プッシュトーン」選択➡◉

パターンに設定する

「パターン1」／「パターン2」／「パターン3」選択➡◉

■ パターンの確認：パターン選択後✉（再生）
■ 確認の終了：上記操作のあと✉（停止）

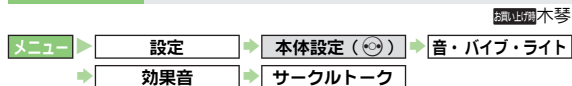
音を消す

「Off」選択➡◉

サークルトーク	サークルトーク利用時の効果音を設定します。

お買い上げ時 木琴

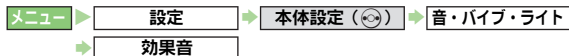
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 音・バイブ・ライト
➡ 効果音 ➡ サークルトーク

音選択➡◉

■ 再生：音選択後✉（再生）
■ 停止：上記操作のあと✉（停止）

- サークルトークの効果音は、受話音量と連動しています。（サークルトーク着信音は、P.9-14「音量」の設定に連動します。）

その他各種効果音	エラー時、電源On／Off時、本体オープン／クローズ時、充電完了時の音と鳴動時間を設定します。

お買い上げ時 エラー音：エフェクト１／鳴動時間0.5秒、電源On音／電源Off音：Off／鳴動時間５秒、本体オープン音：エフェクト４／鳴動時間２秒、本体クローズ音：エフェクト５／鳴動時間２秒、充電完了音：Off／鳴動時間２秒

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ 音・バイブ・ライト ➡ 効果音

各種効果音を設定する（固定データを利用）

音の種類選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「固定データ」選択➡◉➡音選択➡◉

■ 再生：音選択後✉（再生）

■ 停止：上記操作のあと✉（停止）

各種効果音を設定する（固定データ以外を利用）

音の種類選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「着うた・メロディ」選択➡◉➡音選択➡◉

■ 再生：音選択後Y!（再生）

■ 停止：上記操作のあとCLEAR/BACK

鳴動時間を設定する

音の種類選択➡◉➡「鳴動時間」選択➡◉➡時間選択／時間入力➡◉

- 鳴動時間を設定した音よりも長くしても、設定した音の長さで鳴動は終了します。

音を消す

音の種類選択➡◉➡「音選択」選択➡◉➡「Off」選択➡◉

その他の項目を設定する

着信音出力切替	イヤホンマイクなどの接続時に、着信音を鳴らす場所を設定します。

お買い上げ時 イヤホン＋スピーカー

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ 着信音出力切替

「イヤホンのみ」／「イヤホン＋スピーカー」選択➡◉

- イヤホンマイク端子にイヤホンマイクなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」にしていても、スピーカーから着信音が鳴ります。

受話音量調節	通話開始時の受話音量を設定します。

お買い上げ時 音量３

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ 受話音量調節

◎（音量調節）➡◉

エニーキーアンサー	エニーキーアンサー（☞P.2-6）を有効にするかどうかを設定します。

☞P.2-6

お買い上げ時 Off（無効）

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ 音・バイブ・ライト ➡ エニーキーアンサー

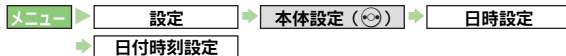
「On」（有効）／「Off」（無効）選択➡◉

日時設定

●下記の項目は、それぞれのページを参照してください。

世界時計	☞P.12-14	アラーム	☞P.12-11

日付時刻設定 本機の日付／時刻を設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 日時設定 ➡ 日付時刻設定

時刻フォーマットが「24時間」のとき

西暦入力（４ケタ）➡月入力（２ケタ）➡日入力（２ケタ）➡時入力（２ケタ）➡分入力（２ケタ）➡◉

時刻フォーマットが「12時間」のとき

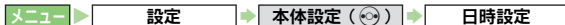
西暦入力（４ケタ）➡月入力（２ケタ）➡日入力（２ケタ）➡時入力（２ケタ）➡分入力（２ケタ）➡◎（am／pm選択）➡◉

注意▶
- 日付フォーマット（☞右記）の設定内容によっては、入力する項目の順番が変わります。画面の指示に従って入力してください。
- 設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約３日間程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。このときは、日付／時刻を再設定してください。

補足▶
- 曜日は自動的に設定されます。
- 日付／時刻を設定していないとき、着信履歴や発信履歴などの日時は「--/--/-- --:--」と表示されます。
- ボタンを押し間違えたときは、◎でカーソルを移動したあと、正しい数字を入力してください。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.9-5）

タイムゾーン／サマータイム設定 お使いの地域（タイムゾーン）を設定します。また、サマータイムも設定できます。

お買い上げ時 タイムゾーン：東京、サマータイム：Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 日時設定

地域（都市）を設定する

「タイムゾーン設定」選択➡◉➡◎（地域選択）➡◉

■ お使いの地域が登録されていないとき：✉（オリジナル）➡都市名入力（最大16文字）➡◉➡◎（＋／－）➡◎➡時差入力➡◉

サマータイムを設定する

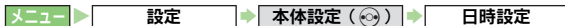
「サマータイム設定」選択➡◉➡「On」選択➡◉

■ サマータイム設定の解除：「サマータイム設定」選択➡◉➡「Off」選択➡◉

- サマータイムを設定すると、設定した都市の時刻が、１時間進んだ状態で表示されます。

日付／時刻フォーマット 時刻の時間制（24時間制／12時間制）や日付の表示形式を設定します。

お買い上げ時 時刻フォーマット：24時間、日付フォーマット：年／月／日

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 日時設定

時刻フォーマットを設定する

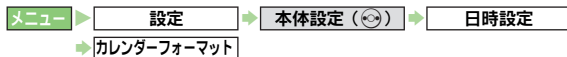
「時刻フォーマット」選択➡◉➡「24時間」／「12時間」選択➡◉

日付フォーマットを設定する

「日付フォーマット」選択➡◉➡「日.月.年」／「月-日-年」／「年／月／日」選択➡◉

カレンダーフォーマット	一週間の始まりを日曜日にするか、月曜日にするかを設定します。

お買い上げ時 日曜日-土曜日

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ 日時設定 ➡ カレンダーフォーマット

「日曜日-土曜日」／「月曜日-日曜日」選択➡◉

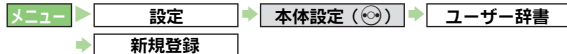
ユーザー辞書

よく使う言葉を登録する

よく使う言葉（単語）に読みを付けて、登録できます。
登録した単語は、読みを入力して漢字変換すると、変換候補に表示され入力できます。

- ユーザー辞書は、最大100件まで登録できます。
- 同じ読みは5件まで登録できます。

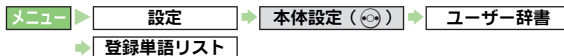
ユーザー辞書の新規登録	新しくユーザー辞書を登録します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ ユーザー辞書 ➡ 新規登録

単語入力➡◉➡読み入力➡◉

- 単語は最大15文字まで、読みはひらがなで最大8文字まで入力できます。

■ 入力中の文字をユーザー辞書に登録：文字入力中に ✉（メニュー）➡「ユーザー辞書登録」選択➡◉➡開始文字選択➡◉➡終了文字選択➡◉➡◉➡読み入力➡◉➡◉

ユーザー辞書の修正／消去	登録したユーザー辞書を修正／消去します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ ユーザー辞書 ➡ 登録単語リスト

ユーザー辞書を修正する

単語選択➡◉➡単語修正➡◉➡読み修正➡◉➡「はい」選択➡◉

ユーザー辞書を消去する

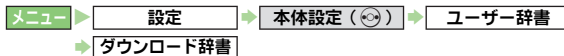
単語選択➡✉（削除）➡「はい」選択➡◉

ダウンロードした辞書を設定する

インターネットなどでダウンロードした日本語変換用の辞書（5件まで）を使用します。
専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。

- 辞書ファイルの入手方法などについては、ブックマークにあらかじめ登録されているシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」（☞P.15-9）でご案内しています。

ダウンロード辞書設定	ダウンロードした辞書を使用します。

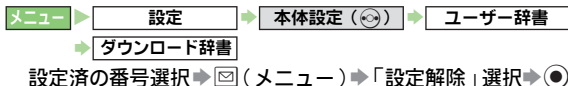
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

番号選択➡◉➡ダウンロード辞書選択➡◉

■ ダウンロード辞書が設定済の番号への登録：◉➡ 設定するダウンロード辞書選択➡◉

注意 ▶ 辞書データによっては、登録できないことがあります。

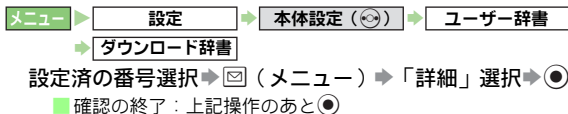
ダウンロード辞書解除	設定したダウンロード辞書を解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

設定済の番号選択➡✉（メニュー）➡「設定解除」選択➡◉

ダウンロード辞書情報	ダウンロード辞書の詳細情報を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎） ➡ ユーザー辞書 ➡ ダウンロード辞書

設定済の番号選択➡✉（メニュー）➡「詳細」選択➡◉

■ 確認の終了：上記操作のあと◉

セキュリティ設定

顔認証を利用する

本機の電源を入れたとき、クローズポジションからオープンポジションにしたときや、画面が自動的に消えた状態から復帰したときなどに、あらかじめ登録していたお客様の顔画像との照合を行い認証に成功しないと、本機を使用できないようにします。（一部の機能の利用中などは、すぐに顔認証が行われないことがあります。このときは、利用中の機能を終了すると、顔認証が行われます。）

- 顔認証は、あらかじめ登録した顔画像と認証時のお客様の画像を照合し、認証を行います。顔画像の撮影時や認証時には、次のことにご注意ください。
  - ■ **目、口、鼻、眉などの顔の特徴がはっきりと見えるようにしてください。**
    目などに髪がかかっていたり、レンズに色の付いているメガネやマスクをかけている、帽子をかぶっているときは、正しく登録／認証できないことがあります。
  - ■ **顔が均一に明るく見える場所で操作してください。**
    暗い場所や逆光の場所、強い光があたる場所では、正しく登録／認証できないことがあります。

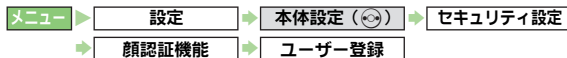
注意▶

- 顔認証機能は完全に本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、または顔認証の誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 顔認証の設定操作や誤認証時の解除操作などには、操作用暗証番号を使用します。よりセキュリティを向上させるため、操作用暗証番号も合わせて変更することをおすすめします。（☞P.9-28）
- 顔認証を設定しても、S! FeliCaは使用できます。ご注意ください。

ユーザー登録を行う

お客様の顔画像や名前、顔認証失敗時に本人確認を行うための質問と答えを登録します。

- ユーザーは5件（1件あたり5画像）まで登録できます。
- 本人認証のための質問と答えを登録しなかったときは、操作用暗証番号を入力して認証を行います。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ セキュリティ設定 ➡ 顔認証機能 ➡ ユーザー登録

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

2「ユーザー1」～「ユーザー5」のいずれかを選び、◉を押す。

■ユーザー情報の編集：編集するユーザー選択➡◉
■ユーザー情報の削除：削除するユーザー選択➡✉（削除）➡「はい」選択➡◉

3「ユーザー名：」を選び、◉を押す。

4 ユーザー名を入力し、◉を押す。

5「質問登録：」を選び、◉を押す。

6 質問を入力し、◉を押す。

7「答え登録：」を選び、◉を押す。

8 答えを入力し、◉を押す。

- このあと、顔画像を撮影して登録します。（☞下記）

9 ユーザーを登録するときは、Y!（保存）を押す。

■顔画像を登録する

1件のユーザーには5つの顔画像が登録できます。顔認証を行う場所（自宅／会社／自動車内／駅など）や状態（顔の方向／メガネなどの装着物の有無／明るさなど）を変えて、複数の顔画像を登録しておくことをおすすめします。

- 複数の画像を登録すると、認証率は高くなりますが、セキュリティレベルは低くなります。
- 複数のユーザーに、同じ人の顔画像を登録することもできます。画像数が増えれば、認証率が高くなる可能性があります。
- 正面を向き、無表情で顔全体が画面に入るようにしてください。顔が小さいと顔認証画像が登録できないことがあります。また、顔を動かさないようにしてください。
- 以下の操作は、上記操作8のあとのユーザー登録画面で行います。

1「顔画像：」を選び、◉を押す。

2「画像1」〜「画像5」のいずれかを選び、✉（撮影）を押す。

- 顔画像の編集時：上記操作のあと「**はい**」選択➡◉
- 顔画像の削除：顔画像選択➡Y!（**削除**）➡「**はい**」選択➡◉
  - ■ 削除後に顔画像が1つも登録されていない状態になると、顔認証On／Off設定が解除されます。

3 顔を画面に表示し、◉を押す。

- 撮影が完了するまで、若干時間がかかります。そのままで、お待ちください。
- 登録できないときは、メッセージが表示されます。撮影条件を変えるなどして、操作2からやり直してください。

4 ✉（はい）を押す。

顔画像が登録されます。

5「はい」を選び、◉を押す。

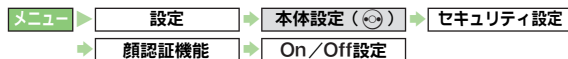
顔認証機能が「**On**」になります。

- 続けて別の画像を登録するときは、操作2〜4をくり返します。
- ユーザー登録を完了するときは、このあとCLEAR/BACKを押したあと、P.9-21操作9へ進みます。

注意▶ セキュリティレベル（☞P.9-24）を「**低（マスク装着可）**」にして利用するときでも、顔画像の撮影時にマスクはかけないようにしてください。

顔認証のOn／Offを設定する

- あらかじめユーザー登録を行ってください。
- お買い上げ時には、「**Off**」に設定されています。

メニュー ▶ **設定** ➡ **本体設定（◎）** ➡ **セキュリティ設定** ➡ **顔認証機能** ➡ **On／Off設定**

1「On」または「Off」を選び、◉を押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

補足▶ 顔認証On／Off設定を「**On**」にすると、本機の電源を入れたときや、クローズポジションにしたときなど、画面が自動的に消えたときに、キー操作ロック状態になります。

顔認証を行う

本機の電源を入れたとき、クローズポジションからオープンポジションにしたときや、画面が自動的に消えた状態から復帰したときなどは、顔認証が行われます。

- 顔認証には、インカメラからの画像が使用されます。カメラが汚れていると誤認証の原因となります。やわらかい布で汚れをふき取ってからご使用ください。
- 他機能の利用中などは、すぐに顔認証が行われないこともあります。このときは、利用中の機能を終了すると、顔認証が行われます。

1 顔を画面に向ける。

- 顔認証ガイド設定（☞P.9-23）を「**認証パンダ君**」にしているときは、顔認証のアドバイスが表示されます。
- 顔が正しく認証されると、本機が使用できるようになります。

顔が正しく認証されなかったとき

■「**キー操作ロック中です**」と表示された状態でセキュリティロックがかかります。このときは、次の操作を行うと、セキュリティロックを解除できます。

◉➡**操作用暗証番号（4ケタ）入力**➡◉

● ✉（**再認証**）を押すと、再度顔認証を行うことができます。

■あらかじめ登録した質問が表示されたときは、◉を押したあと、正しい答えを入力し◉を押すと、セキュリティロックは解除されます。

● 答えを間違えたときは、メッセージが表示されます。このときは、◉を押したあと答えを入力し直してください。答えがわからないときは、次の操作を行うと、本機が使用できるようになります。

☎➡◉➡**操作用暗証番号（4ケタ）入力**➡◉

■セキュリティロック中にY!を押すと、連絡先（☞P.9-24）を表示できます。

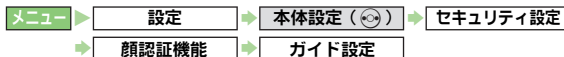
● 連絡先を表示するときは、あらかじめ連絡先を登録（☞P.9-24）しておいてください。

補足▶ あらかじめ、セキュリティレベル（☞P.9-24）を「**低（マスク装着可）**」にしておくと、顔認証時にマスクをかけていても認証できるようになります。ただし、セキュリティレベルは通常よりも低くなりますので、ご注意ください。

顔認証関連の設定を行う

ガイド設定 顔認証時にアドバイスや撮影中の画像を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

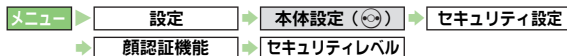
メニュー ▶ **設定** ➡ **本体設定（◎）** ➡ **セキュリティ設定** ➡ **顔認証機能** ➡ **ガイド設定**

「Off」／「**プレビュー**」／「**認証パンダ君**」／「**カスタムスクリーン**」選択➡◉

● 設定できる内容は、次のとおりです。

Off	顔認証時には「**顔認証中です。しばらくお待ちください。**」と表示されます。
プレビュー	顔認証時にお客様の顔（撮影中の画像）が表示されます。
認証パンダ君	顔認証時にパンダが操作方法をアドバイスします。
カスタムスクリーン	カスタムスクリーン（☞P.9-9）を設定します。

セキュリティレベル	顔認証のセキュリティレベル（顔の認証精度）を設定します。

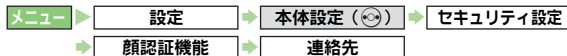
お買い上げ時 中

メニュー▶設定➡本体設定（◎）➡セキュリティ設定
➡顔認証機能➡セキュリティレベル

「高」／「中」／「低」／「低（マスク装着可）」選択➡◉

- 設定できる内容は、次のとおりです。

高	他人を誤って認証する可能性の低い設定です。ただし、お客様も認証されにくくなる可能性があります。
中	「高」と「低」の中間の設定です。
低	お客様が最も認証されやすい設定です。ただし、他人を誤って認証する可能性も高くなります。
低（マスク装着可）	マスクをかけていても認証が可能な設定です。セキュリティレベルは「低」と同等です。

連絡先	顔が正しく認識されなかったとき（☞P.9-23）にお客様の連絡先などのメモを表示できます。

メニュー▶設定➡本体設定（◎）➡セキュリティ設定
➡顔認証機能➡連絡先

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡連絡先入力➡◉

- 最大128文字まで入力できます。

PINコードを設定する

- PINコードについて詳しくは、P.1-6を参照してください。

PIN On／Off設定	電源を入れたとき、PIN1コードを入力して照合を行うかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（照合しない）

メニュー▶設定➡本体設定（◎）➡セキュリティ設定
➡PIN認証➡PIN On／Off設定

「On」（照合する）／「Off」（照合しない）選択➡◉➡PIN1コード入力➡◉

PINロックを解除する

■PIN１コードまたはPIN２コードの入力を3回続けて間違えると、PIN１ロック／PIN２ロックが設定され、本機の使用が制限されます。PIN1ロック／PIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

PIN１／PIN２の入力が必要な機能選択➡PINロック解除コード（PUKコード）入力➡◉➡新しいPIN１コード／PIN2コード入力（４～８ケタ）➡◉➡もう一度新しいPIN1コード／PIN2コード入力（４～８ケタ）➡◉

- PIN1ロックまたはPIN2ロック解除コード（PUKコード）については、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。
- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます。（途中で電源を切っても連続として数えます。）
- USIMカードがロックされたときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。

PINコード変更 PIN１コードまたはPIN２コードを変更します。

■PIN１コードを変更するときは、あらかじめ「PIN On／Off設定」を「On」にしておいてください。

メニュー▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ セキュリティ設定

PIN１コードを変更する

「PIN認証」選択➡◉➡「PIN変更」選択➡◉➡現在のPIN１コード入力➡◉➡新しいPIN１コード入力➡◉➡もう一度新しいPIN１コード入力➡◉

PIN２コードを変更する

「PIN２変更」選択➡◉➡現在のPIN２コード入力➡◉➡新しいPIN２コード入力➡◉➡もう一度新しいPIN２コード入力➡◉

本機の操作を禁止する

キー操作ロック 操作用暗証番号を入力しないと、本機を操作できないようにします。

■キー操作ロックを解除するときは、操作用暗証番号（４ケタ）を入力します。

お買い上げ時 Off

メニュー▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ セキュリティ設定 ➡ キー操作ロック

クローズポジションにするたびにキー操作ロックする

「自動」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

一度だけキー操作ロックする

「即時」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

- 一度暗証番号を入力してキー操作ロックを解除すると、キー操作ロックの設定は「Off」（解除）になります。

次に電源を入れたときにキー操作ロックする

「電源On時」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

キー操作ロックの設定を解除する

「Off」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

補足▶ 電源を切ってもキー操作ロックは解除されません。

キー操作ロック設定中にできること

■待受中

- 長押し（2秒以上：電源のOn／Off）、◉長押し（誤動作防止の設定／解除）、0～9／CLEAR/BACK（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■通話中

- （終話）、✉（メニュー表示）／◉［スピーカーOn／Off切替（TVコール中：画面切替）］、Y!（マイクミュートOn／Off切替）、（オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0～9／CLEAR/BACK（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

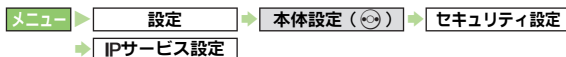
■着信中

- ／◉／✉（メニュー表示）／エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出る（エニーキーアンサー「On」設定時）、（応答保留）、Y!（着信中の着信手動転送：転送電話サービスを「**呼出あり**」に設定時）

注意▶ キー操作ロック設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

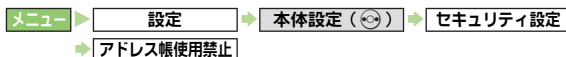
IPサービス設定 ホットステータスやサークルトークを利用するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（利用する）

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ セキュリティ設定 ➡ IPサービス設定

「On」（利用する）／「Off」（利用しない）選択➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

アドレス帳使用禁止 アドレス帳を誤って削除したり、他人が使用できないようにします。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ セキュリティ設定 ➡ アドレス帳使用禁止

「On」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

- アドレス帳使用禁止の解除：「Off」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

- アドレス帳使用禁止設定中にアドレス帳を選択したあと、操作用暗証番号を入力すると、アドレス帳を一時的に確認できます。

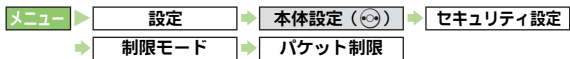
注意▶ アドレス帳使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。

- ■ アドレス帳の検索、登録、修正、発信［スピードダイヤルでの発信（☞P.4-14）も含む］

9 設定

パケット制限	パケット量の使用を制限します。

お買い上げ時Off

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ セキュリティ設定 ➡ 制限モード ➡ パケット制限

「On」選択➡◉➡「はい」選択➡◉➡PIN２コード入力➡◉

■パケット制限の解除：「Off」選択➡◉➡PIN２コード入力➡◉

注意▶ お使いのUSIMカード（☞P.1-4）が「**パケット制限**」機能に対応していないときは、利用できません。

安心遠隔ロックを利用する

本機を紛失したときなど、パソコンや携帯電話からの遠隔操作で本機を操作できないようにします。ロック中は、電源を入れる以外の操作ができなくなり、自動的にICカードロック（☞P.17-4）が設定されます。

●「**安心遠隔ロック**」について詳しくは、「http://www.softbank.jp」（または携帯電話から「My SoftBank」）を参照してください。

携帯電話から「My SoftBank」に接続する

1 Y!を押す。

2「メニューリスト」を選び、●を押す。

3「My SoftBank」を選び、●を押す。

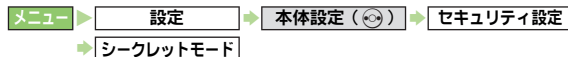
●以降は画面の指示に従って、操作してください。

シークレットデータを利用する

アドレス帳やスケジュールなどのシークレットデータは、シークレットモードでだけ確認や修正などが行えます。

シークレットモード	シークレットモードを設定（表示する）／解除（表示しない）します。

お買い上げ時表示しない

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ セキュリティ設定 ➡ シークレットモード

「表示する」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

■シークレットモードの解除：「**表示しない**」選択➡◉

注意▶ 操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、シークレットデータを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利な機能としてお使いになることをおすすめします。

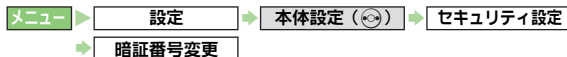
シークレットモードを解除すると

■アドレス帳のシークレットデータに登録されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてきても、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。
（着信音／ムービーの設定も無効となります。）
また、発信履歴や着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。

操作用暗証番号を変更する

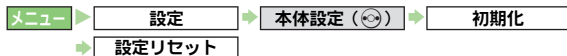
暗証番号変更 現在使用している操作用暗証番号を、新しい操作用暗証番号に変更します。

お買い上げ時 9999

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ セキュリティ設定 ➡ 暗証番号変更

現在の操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉ ➡ 新しい操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉ ➡ もう一度新しい操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉

初期化

設定リセット 設定内容や登録内容をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 初期化 ➡ 設定リセット

操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉ ➡「はい」選択 ➡ ◉ ➡「はい」選択 ➡ ◉

- アドレス帳などの登録内容は消去されません。
- 次の機能などを利用中は、操作用暗証番号（4ケタ）を入力する前に確認画面が表示されますので、「**はい**」を選び◉を押してください。
  - ■ S!アプリ一時停止中　■ ミュージックプレイヤー利用中
  - ■ Bluetooth®利用中　■ 赤外線通信利用中

注意 ▶ 設定内容や登録内容によっては、お買い上げ時の状態に戻らないことがあります。

オールリセット アドレス帳やデータフォルダなどの内容を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（◎）➡ 初期化 ➡ オールリセット

操作用暗証番号（4ケタ）入力 ➡ ◉ ➡「はい」選択 ➡ ◉ ➡「はい」選択 ➡ ◉

- 次の機能などを利用中は、操作用暗証番号を入力する前に確認画面が表示されますので、「**はい**」を選び◉を押してください。
  - ■ S!アプリ一時停止中　■ ミュージックプレイヤー利用中
  - ■ Bluetooth®利用中　■ 赤外線通信利用中

注意 ▶
- 一度、オールリセットされた登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。操作用暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。また、お客様がダウンロードしたS!アプリ、生活アプリも削除されますので、あらかじめご了承ください。
- あらかじめ登録されている「**カスタモご紹介**」やS!アプリを削除していたときは、お買い上げ時の状態に戻ります。
- ICカード内にデータがあるときは、オールリセットは行えません。ICカード内のデータを消去したあと、操作してください。（☞P.17-2）

通話設定

●下記の項目は、それぞれのページを参照してください。

留守番・転送電話	☞P.13-4、P.13-2	発番号通知・表示	☞P.13-10
割込通話	☞P.13-5	発着信規制	☞P.13-7

国際電話に関する設定

国際コード設定 よく利用する国際コードを設定します。

お買い上げ時 0046010

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 国際発信設定 ➡ 国際コード設定

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡国際コード入力➡◉

国番号リスト 国番号リストを変更/追加/削除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 国際発信設定 ➡ 国番号リスト

国番号を変更する

国名選択➡◉➡「変更」選択➡◉➡国名入力➡◉➡国番号入力➡◉

国番号を追加する

国名がないリスト選択➡◉➡国名入力➡◉➡国番号入力➡◉

国番号を削除する

国名選択➡◉➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

国番号自動付加 あらかじめ登録した国番号を、発信時に自動的に付加します。

お買い上げ時 Off／国番号：81（日本）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 国際発信設定 ➡ 国番号自動付加

On／Offを設定する

「On／Off設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

自動的に付加する国番号を登録する

「国番号設定」選択➡◉➡国名選択➡◉

■ 国番号を入力する：国名選択時に「**国番号入力**」選択➡◉➡国番号入力➡◉

注意▶ 国番号自動付加を「On」にすると、「＋」が付いていないすべての電話番号（緊急発信を除く）に、自動的に国番号が付加されます。ご注意ください。

自動応答（イヤホン）を利用する

イヤホンマイクやハンズフリー機器接続中、音声着信に自動で応答できます。

自動応答（イヤホン）を「On」にしたときは、着信音とは別に、自動応答音が鳴ります。

（自動応答音はマナーモード設定中も鳴ります。）

- ご利用後は、自動応答（イヤホン）は「Off」にすることをおすすめします。
- ハンズフリー機器などから鳴動する自動応答音は、ハンズフリー機器の設定に従います。
- 本機、イヤホンマイク、ハンズフリー機器などからの着信音、自動応答音の鳴動の有無については、次のとおりです。

	本体	イヤホンマイク	ハンズフリー機器など
音声着信時の着信音	○※1	○	○
音声着信時の自動応答音	○	○	—※2

※1 マナーモード設定時は鳴動しません。

※2 機器に依存します。

補足▶ TVコール着信時の自動応答については、P.5-8「リモートモニタモード」で設定します。

自動応答（イヤホン）設定 自動応答（イヤホン）するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（応答しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎） ➡ 自動応答（イヤホン）

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡「On／Off設定」選択➡◉➡「On」（応答する）／「Off」（応答しない）選択➡◉

自動応答開始時間 自動応答を開始するまでの時間を設定します。

お買い上げ時 5秒

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎） ➡ 自動応答（イヤホン）

操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡「応答時間」選択➡◉➡応答時間入力➡◉

その他通話に関する設定

通話時間お知らせ 通話中にお知らせ音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（鳴らさない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎） ➡ 通話時間お知らせ

「On」（鳴らす）／「Off」（鳴らさない）選択➡◉

- お知らせ音は、1分間隔で鳴ります。

通話後料金表示 通話後に通話料金を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（表示しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎） ➡ 通話明細表示 ➡ 通話後料金表示

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

通話時間表示 通話中に通話時間を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（表示する）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎） ➡ 通話明細表示 ➡ 通話時間表示

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

通信／外部接続

Bluetooth®

Bluetooth®をご利用になる前に

「Bluetooth®」とは、10m以内にある本機どうしや他のBluetooth®対応機器（パソコンや携帯電話、ハンズフリー機器など）とワイヤレスで接続するための方式です。
本機のBluetooth®の仕様は、次のとおりです。

通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver 2.0
対応Bluetoothプロファイル	Headset Profile、 Hands-Free Profile、 Dial-up Networking Profile、 ObjectPush Profile、 File Transfer Profile、 Basic Imaging Profile
出力	Bluetooth® Power Class2

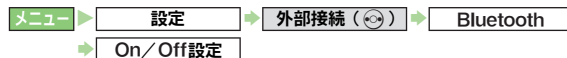
注意▶ **本機は、すべてのBluetooth®機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。**
- 接続するBluetooth®機器は、Bluetooth SIGの定める Bluetooth®標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
- 接続するBluetooth®機器がBluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするとき、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- ヘッドセット機器／ハンズフリー機器の使い方については、各機器の取扱説明書を参照してください。

Bluetooth®利用時のご注意

- Bluetooth®を利用して無線で接続するには、相手機器もBluetooth®対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
- 本機どうしで通信を行うときの通信距離は、最大10mです。機器間の距離や障害物、電波状況、相手機器などによって、通信速度／通信距離は異なります。
- Bluetooth®対応機器の使用する電波帯（2.4GHz帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。

Bluetooth®機能を有効にする

Bluetooth®を利用して、データを受信するときやハンズフリー機器などと接続するときは、Bluetooth®機能を「On」（有効）にする必要があります。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ Bluetooth ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

「✱」が表示されます。

無効にする：「Off」選択➡◉

■ 機器接続時：上記操作のあと「はい」選択➡◉

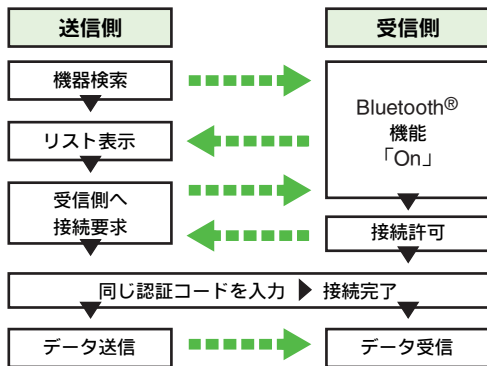
注意▶ 相手機器からの認証要求や受信動作は、待受画面以外では受け付けられません。また、キー操作ロック設定中や誤動作防止設定中、ソフトウェア更新中も、受け付けられません。

10 通信／外部接続

Bluetooth®接続について

２台のBluetooth®対応機器を接続するときは、受信側のBluetooth®機能を「On」にした状態（☞P.10-2）で、送信側からの接続要求を受け、接続します。

- 接続時には、認証コードが必要なことがあります。

■Bluetooth®機器の接続例

> **認証コードについて**
>
> ■「認証コード」は、Bluetooth®対応機器どうしを接続するための専用コード（４～16ケタの数字）です。機器登録を行うときには、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。
>
> - すでに登録してある機器のときは、認証コードの入力は必要ありません。

機器を検索／登録する（周辺デバイス検索）

他のBluetooth®対応機器を検索し、接続します。

- 登録した機器は、次回から認証コードを入力する必要がなくなります。
- 一度に最大16件まで検索できます。
- すでに、Bluetooth®対応機器が32件登録されているときは、検索できません。
- あらかじめ登録する機器のBluetooth®機能を「On」にしておいてください。

メニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続（◎） ▶ Bluetooth

1 「周辺デバイス検索」を選び、◉を押す。

検索が始まり、Bluetooth®対応機器のリストが表示されます。（前回の検索結果が記憶されているときは、記憶されている検索結果のリストが表示されます。）

- 機器名の前には、「📱」などのマークが表示されます。

■ 検索の中止：検索中に[Y!]（キャンセル）

2 機器を選び、◉（登録）を押す。

■ 他の機器と接続時：「はい」選択➡◉

3 送信側と受信側で同じ認証コード（４～16ケタの数字）を入力し、◉を押す。

認証に成功すると、確認メッセージが表示されます。

- 相手がハンズフリー機器などのときは、ハンズフリー機器側で決められている認証コードを入力します。
- 受信側の認証コードは、送信側で認証コードを入力してから30秒以内に入力してください。

4 ◉を押す。

ハンズフリー機器などから機器を登録する

■ハンズフリー機器などを、送信側として本機に登録するときは、次の操作を行います。

送信側から接続要求➡「はい」選択➡◉➡認証コード入力➡◉

- あらかじめ本機の「Bluetooth®」（☞P.10-2）および「**デバイスの公開**」（☞下記）を「On」にしておいてください。

登録済み機器を確認する（登録済みデバイス）

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ Bluetooth

1 「登録済みデバイス」を選び、◉を押す。

登録済み機器のリストが表示されます。

- ハンズフリー機器だけを表示：◎
- 機器名の変更：機器選択➡✉（**メニュー**）➡「**デバイス名変更**」選択➡◉➡名前入力（最大16文字まで）➡◉
- 登録機器の削除：機器選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

本機を公開する（デバイスの公開）

他のBluetooth®対応機器で周辺デバイス検索を行ったときに、本機の機器名（マイデバイス名称）を通知するかどうかを設定します。

- 「Off」にすると、他のBluetooth®対応機器で周辺デバイス検索を行っても、本機は検索されません。
- お買い上げ時には、「On」に設定されています。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ デバイスの公開

1 「On」または「Off」を選び、◉を押す。

Bluetooth®を利用してデータを送受信する

データの送受信方法

Bluetooth®を利用したデータの送受信には、次の方法があります。

1件データ送受信	送信側からデータを1件ずつ送信します。受信側では、該当する機能のデータとして自動的に追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。
フォルダ単位受信	本機のデータフォルダ内へフォルダ単位でデータを受信します。（送信はできません。）

注意
- Bluetooth®でのデータ送受信時は、オフラインモードに設定されます。そのため、着信、通話、インターネット、メディアプレイヤー、メールの送受信やサーバーメール操作中には、Bluetooth®でのデータ送受信は行えません。データの送受信が終わると、自動的に、オフラインモードが解除されます。
- 受信したデータの内容によっては、本機に正しく登録できないことがあります。

送受信できるデータ

機能	1件	一括	備考
アドレス帳	○	○	1件データ送受信では、グループ設定、着信音、バイブ設定、シークレットの設定内容は送受信できません。一括データ送受信では、オーナー情報も送受信されます。また、フォトに設定している画像によっては、設定が無効となることがあります。（画像を別途転送することにより、フォトの設定が行えます。）

機能	1件	一括	備考
カレンダー	○	○※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は送受信できません。本機で設定できない開始日時（2016年1月1日0:00以降）が設定されているデータを受信したときは、登録できません。
予定リスト	○	○※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は送受信できません。本機で設定できない期限日時（2016年1月1日0:00以降）が設定されているデータを受信したときは、期限なしとして設定されます。
テキストメモ	○※2	○	
ブックマーク	○	○※3	
受信ボックス	×※4	○※5	
送信済みボックス	×※4	○	
下書き	×※4	○※6	
テンプレート	○	○※7	コピー／転送不可ファイルは送受信できません。
データフォルダ	○	○※7	コピー／転送不可ファイルは、送受信できません。また、「**デジタルカメラ**」内のファイルは1件データ送信だけ行えます。（受信はできません。）

※1 一括データ送受信時は、「**カレンダー／予定リスト**」として、まとめて送受信されます。
※2 1件データ送信はできません。1件データ受信だけ可能です。
※3 一括送信時、ブックマークのデータは、Yahoo!ケータイ、ストリーミング、PCサイトブラウザ、すべてのブックマークのデータをバックアップしますが、ブックマークのデータ一括受信時は、ストリーミングには保存されません。（Yahoo!ケータイに保存されます。）
※4 1件データ受信はできますが、「**その他ファイル**」に不明ファイルとして保存され、メールとしては利用できません。
※5 一括データ送信を行うと、迷惑メールフォルダ内のメールは、受信側のソフトバンク携帯電話（本機を除く）の迷惑フォルダではなく、通常の受信フォルダに登録されます。また、メール通知は通常のメールとして送信されますので、受信後は続き受信などの操作はできません。
※6 一括データ送信を行うと、宛先が複数あるSMSが受信側の携帯電話（本機を除く）で登録できなかったり、2件目以降のアドレスが欠落することがあります。
※7 本機のデータフォルダ内へフォルダ単位での受信ができます。

注意▶
- 本機には、カレンダーと予定リストを合わせて最大300件まで保存できます。データ受信中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は受信されません。
- メモリカードのデータフォルダ内のデータは、1件データ送受信が行えます。ただし、「**デジタルカメラ**」内のファイルは1件データ送信だけ行えます。
- 未送信ボックス内のメールは送受信できません。
- 本機で扱えないサイズのメールは受信できません。
- 送信したブックマークのサイズが大きいとき、データ形式によっては正しく受信できないことがあります。
- 本機で登録できるメールは、下書き、未送信ボックス、送信済みボックスを合わせて最大500件です。一括受信中に、500件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- 他のソフトバンク携帯電話からメールを一括受信したとき、送信側の機種によっては、本機でスカイメールがS!メールとして読み込まれることがあります。
- メールデータの一括データ送受信時に、送信側でのフォルダのシークレット設定は、受信側では反映されません。また、一括データ受信時は、メール振り分け設定の条件が削除されます。

データを１件ずつ送受信する

■送信側の操作

- Bluetooth®を利用した１件データ送信は、P.10-4～P.10-5「送受信できるデータ」表内の各機能のデータのリスト画面で行います。

1 送信するデータを選び、✉（メニュー）を押す。

2「送信」を選び、◉を押す。

■アドレス帳送信時：「アドレス１件送信」選択➡◉

3「Bluetooth」を選び、◉を押す。

- 登録されている機器がないときは、自動的に機器検索が行われます。

■登録していない機器に送信：「周辺デバイス検索」選択➡◉➡✉（再検索）➡機器検索

4 機器を選び、◉を押す。

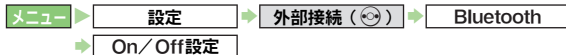
■機器接続時：上記操作のあと「はい」選択➡◉

5 受信側をデータ受信の待機状態にする。

6「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定され、送信が始まります。

■受信側より認証要求時：認証コード入力➡◉

■受信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ Bluetooth ➡ On／Off設定

1「On」を選び、◉を押す。

データ受信の待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■登録していない機器からの接続要求時：「はい」選択➡◉➡認証コード入力➡◉

3「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 受信が始まると、データ登録の確認画面が表示される。

■受信の中止：✉（キャンセル）

■受信の強制終了：☎

5 受信したデータを登録するときは、「はい」を選び、◉を押す。

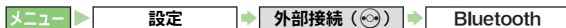
■登録しない：「いいえ」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

■データフォルダ内に登録されるデータの受信時：「本体」／「メモリカード」選択➡◉

10 通信／外部接続

データを一括送受信する

■送信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ Bluetooth

1 「一括データ送信」を選び、◉を押す。

●登録されている機器がないときは、自動的に機器検索が行われます。

■登録していない機器に送信：「周辺デバイス検索」選択➡◉➡✉（再検索）➡機器検索

2 機器を選び、◉を押す。

■機器接続時：上記操作のあと「はい」選択➡◉

3 「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

5 受信側をデータ受信の待機状態にする。

6 データの種類を選び、◉を押す。

送信が始まります。

■受信側より認証要求時：認証コード入力➡◉

■アドレス帳選択時：「はい」／「いいえ」選択➡◉

■受信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ Bluetooth ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

データ受信の待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■登録していない機器からの接続要求時：「はい」選択➡◉➡認証コード入力➡◉

3 「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 受信が始まると、データ登録の確認画面が表示される。

■受信の中止：Y!（キャンセル）

■受信の強制終了：☎

5 *追加登録する*

1「追加登録」を選び、◉を押す。

受信完了後、待受画面に戻ります。

■受信の中止：Y!（キャンセル）

■受信の強制終了：☎

すべてのデータを消して登録する

1「全件削除して登録」を選び、◉を押す。

2「はい」を選び、◉を押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

受信完了後、待受画面に戻ります。

●アドレス帳を受信したときは、お客様の電話番号以外のオーナー情報は消去されます。（オーナー情報が送信されてきたときは、その内容が登録されます。）

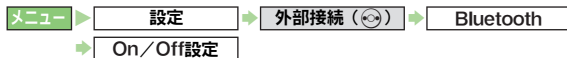
■受信の中止：Y!（キャンセル）

■受信の強制終了：☎

フォルダ単位でデータを受信する

フォルダ単位でデータを送信できる機器からデータを受信し、本機のデータフォルダ内に登録します。

- 本機では、フォルダ単位でのデータ送信はできません。
- 本機で受信できるのは、送信されてきたフォルダを送信側と同じ階層に作成できる（または、同じ階層にすでに同名のフォルダがある）ときだけです。
- 送信側の操作方法については、送信する機器の取扱説明書を参照してください。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ Bluetooth ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

データ受信の待機状態になります。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

■ 登録していない機器からの接続要求時：「**はい**」選択➡◉➡認証コード入力➡◉

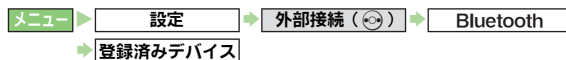
3 「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定され、受信が始まります。受信完了後、待受画面に戻ります。

■ 受信の中止：Y!（**キャンセル**）
■ 受信の強制終了：☎

Bluetooth®を利用してハンズフリー機器などと接続する

- あらかじめハンズフリー機器などを登録しておいてください。（☞P.10-3）

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ Bluetooth ➡ 登録済みデバイス

1 ◎を押す。

登録済のハンズフリー機器のリストが表示されます。

2 機器を選び、◉を押す。

接続され、「☑」（選択状態）が表示されます。

■ 他の機器と接続時：「**はい**」選択➡◉
■ 機器の切断：接続されている機器選択➡◉
■ 名前の変更：機器選択➡✉（**メニュー**）➡「**デバイス名称変更**」選択➡◉➡名前入力➡◉

ハンズフリー機器などと本機との音声出力先を切り替える

■ハンズフリー機器などが接続されている状態で、通話中に次の操作を行うと、音声出力先を切り替えられます。

✉（**メニュー**）➡「**音声切替**」選択➡◉➡「**本体**」／「**Bluetooth**」選択➡◉

- 「**本体**」にすると、本機で通話できます。
- 「Bluetooth」を選択すると、登録済のハンズフリー機器のリストが表示されます。

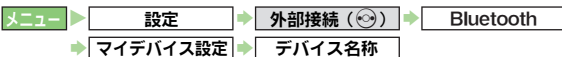
注意▶
- ハンズフリー機器などでの音声通話中は、本機で受話音量を調節できません。ハンズフリー側で調節してください。
- ハンズフリー機器からの発信動作は、待受画面が表示されているときだけできます。

補足▶
- 「☑」が表示されている機器は、切断されていても、発信／着信すると自動的に再接続されます。
- 「□」は非選択状態を表しています。接続中の機器を「□」にすると、切断確認画面が表示されます。

Bluetooth®関連の設定

機器名の変更（デバイス名称） Bluetooth®接続時、相手機器に表示される機器名を変更します。

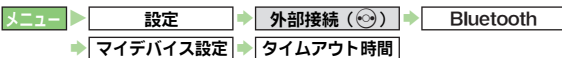
お買い上げ時 812SH

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ デバイス名称

新しい機器名入力➡◉

- 最大16文字まで入力できます。（絵文字は入力できません。）

タイムアウト時間 Bluetooth®未使用時に、自動的にBluetooth®機能を「Off」にするまでの時間を設定します。

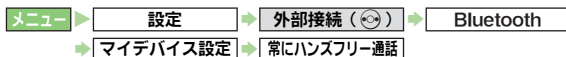
お買い上げ時 タイムアウトなし

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ タイムアウト時間

タイムアウト時間選択➡◉

■ 自動的に「Off」にしない：タイムアウト時間選択時に「タイムアウトなし」選択➡◉

常にハンズフリー通話 ハンズフリー機器接続時に、本機の操作により通話を開始したときの通話方法を設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ 常にハンズフリー通話

「On」／「Off」選択➡◉

- ハンズフリー機器の操作により通話を開始したときは、上記の設定内容にかかわらず、常にハンズフリー機器での通話となります。

マイデバイス情報 本機のBluetooth®機能の詳細を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ Bluetooth

「マイデバイス情報」選択➡◉

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

「**赤外線通信**」とは、本機どうしや他の赤外線通信対応機器（パソコンや携帯電話など）とワイヤレスで接続するための方式です。

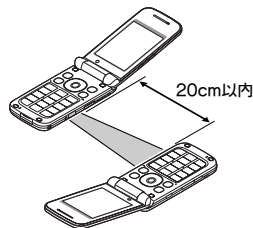
- 本機の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 通信中やメールの送受信中、インターネットの利用中に、赤外線通信は行えません。
- 直接日光があたっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。

補足▶ 正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。「**赤外線通信利用時のご注意**」（☞下記）を確認したあと、「**はい**」を選び◉を押して、再接続してください。

認証コードについて

■「**認証コード**」は赤外線通信のための専用コード（４ケタ）です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のソフトバンク携帯電話（または赤外線通信対応機器）を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

赤外線通信を利用してデータを送受信する

データの送受信方法

１件データ送受信	送信側からデータを１件ずつ送信します。受信側では、自動的に該当する機能のデータとして追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。
フォルダ単位受信	本機のデータフォルダ内へフォルダ単位でデータを受信します。（送信はできません。）
高速赤外線通信：☞P.10-12	送信側からデータフォルダの「**ピクチャー**」または「**デジタルカメラ**」内のJPEG画像を１件ずつ送信します。受信側ではデータフォルダの「**ピクチャー**」に保存されます。

注意▶
- インターネットやメディアプレイヤーの利用中、メールやデータの編集中などは、赤外線通信でのデータ送受信は行えません。
- 受信したデータの内容によっては、本機に正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。
- 高速赤外線通信で送信したデータは、高速赤外線受信に非対応の通信機器では受信できません。

送受信できるデータ

機能	1件	一括	備考
アドレス帳	○	○	1件データ送受信では、グループ設定、着信音、バイブ設定、シークレットの設定内容は送受信できません。また、フォトに設定している画像によっては、設定が無効となることがあります。(画像を別途転送することにより、フォトの設定が行えます。)
カレンダー	○	○※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は送受信できません。本機で設定できない開始日時(2016年1月1日0:00以降)が設定されているデータを受信したときは、登録できません。
予定リスト	○	○※1	1件データ送受信では、アラーム音、シークレットの設定内容は送受信できません。本機で設定できない期限日時(2016年1月1日0:00以降)が設定されているデータを受信したときは、期限なしとして設定されます。

※1 一括データ送受信時は、「**カレンダー/予定リスト**」として、まとめて送受信されます。

機能	1件	一括	備考
テキストメモ	○※2	○	
ブックマーク	○	○※3	
受信ボックス	×※4	○※5	
送信済みボックス	×※4	○	
下書き	×※4	○※6	
テンプレート	○	○※7	コピー/転送不可ファイルは送受信できません。
データフォルダ	○	○※7	コピー/転送不可ファイルは、送受信できません。また、「**デジタルカメラ**」内のファイルは1件データ送信だけ行えます。(受信はできません。)

※2 1件データ送信はできません。1件データ受信だけ可能です。
※3 一括送信時、ブックマークのデータは、Yahoo!ケータイ、ストリーミング、PCサイトブラウザ、すべてのブックマークのデータをバックアップしますが、ブックマークのデータ一括受信時は、ストリーミングには保存されません。(Yahoo!ケータイに保存されます。)
※4 1件データ受信はできますが、「**その他ファイル**」に不明ファイルとして保存され、メールとしては利用できません。
※5 一括データ送信を行うと、迷惑メールフォルダ内のメールは、受信側のソフトバンク携帯電話(本機を除く)の迷惑フォルダではなく、通常の受信フォルダに登録されます。また、メール通知は通常のメールとして送信されますので、受信後は続き受信などの操作はできません。
※6 一括データ送信を行うと、宛先が複数あるSMSが受信側のソフトバンク携帯電話(本機を除く)で登録できなかったり、2件目以降のアドレスが欠落することがあります。
※7 本機のデータフォルダ内へフォルダ単位での受信ができます。

注意▶
- 本機には、カレンダーと予定リストを合わせて最大300件まで保存できます。データ受信中、300件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は受信されません。
- メモリカードのデータフォルダ内のデータは、1件データ送受信が行えます。ただし、「**デジタルカメラ**」内のファイルは1件データ送信だけ行えます。
- 未送信ボックス内のメールは送受信できません。
- 本機で扱えないサイズのメールは受信できません。
- 送信したブックマークのサイズが大きいとき、データ形式によっては正しく受信できないことがあります。
- 本機で登録できるメールは、下書き、未送信ボックス、送信済みボックスを合わせて最大500件です。一括受信中に、500件に達すると確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- 他のソフトバンク携帯電話からメールを一括受信したとき、送信側の機種によっては、本機でスカイメールがS!メールとして読み込まれることがあります。
- メールデータの一括データ送受信時に、送信側でのフォルダのシークレット設定は、受信側では反映されません。また、一括データ受信時は、メール振り分け設定の条件が削除されます。

データを1件ずつ送受信する

■**送信側の操作**

- 以下の操作は、P.10-11「**送受信できるデータ**」表内の各機能のデータのリスト画面で行います。

1 送信するデータを選び、✉（メニュー）を押す。

2「送信」を選び、◉を押す。

■アドレス帳送信時：「**アドレス1件送信**」選択➡◉

3「赤外線通信」を選び、◉を押す。

4 受信側をデータ受信の待機状態にする。

5「はい」を選び、◉を押す。

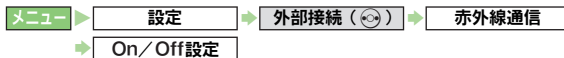
オフラインモードに設定され、送信が始まります。
送信完了後、各機能のリスト画面に戻ります。

高速赤外線通信を利用して画像を送信する

■次の操作を行うと、高速赤外線通信を利用して簡単に画像を対応機器へ送信できます。

◉➡「**データフォルダ**」選択➡◉➡「**ピクチャー**」／「**デジタルカメラ**」選択➡◉➡**画像選択**➡Y!（**1秒以上**）

- 送信できる画像はJPEG画像だけです。
- 高速赤外線通信は、片方向通信のため、受信側からの対応を確認せずに送信できます。このため、受信側がデータを受け取らなかったときも送信側は正常に終了します。
- 受信側の操作は下記「**受信側の操作**」を参照してください。

■**受信側の操作**

メニュー▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1「On（3分）」を選び、◉を押す。

データ受信の待機状態になります。

- 3分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

- 高速赤外線通信時は、自動的にオフラインモードに設定されます。

3「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定されます。

4 **受信が始まると、データ登録の確認画面が表示される。**

■受信の中止：[Y!]（キャンセル）
■受信の強制終了：[電源]

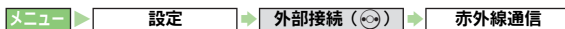
5 **受信したデータを登録するときは、「はい」を選び、◉を押す。**

■登録しない：「**いいえ**」選択➡◉
■データフォルダ内に登録されるデータの受信時：「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡◉
　■高速赤外線通信時は、空き容量により自動的に「**本体**」／「**メモリカード**」のどちらかに保存されます。

注意▶
- 受信動作は、待受画面以外では受け付けられません。また、キー操作ロック設定中や誤動作防止設定中、ソフトウェア更新中も、受け付けられません。
- 高速赤外線通信時は、JPEGファイルだけ受信可能です。また受信できるサイズは本機どうしのときは、約1.8Mバイトです。

データを一括送受信する

■送信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ 赤外線通信

1 **「一括データ赤外線送信」を選び、◉を押す。**

2 **「はい」を選び、◉を押す。**

オフラインモードに設定されます。

3 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。**

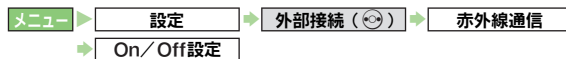
4 **データの種類を選び、◉を押す。**

5 **受信側をデータ受信の待機状態にする。**

6 **認証コード（４ケタ）を入力し、◉を押す。**

送信が始まります。送信完了後、データの種類選択画面に戻ります。

■アドレス帳選択時：「**はい**」選択➡◉

■受信側の操作

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1 **「On（３分）」を選び、◉を押す。**

データ受信の待機状態になります。
- ３分以内に送信側からデータを送信してください。

2 **送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。**

3 **「はい」を選び、◉を押す。**

オフラインモードに設定されます。

4 **認証コード（４ケタ）を入力し、◉を押す。**

- 送信側と同じ認証コードを入力してください。

5 **受信が始まると、データ登録の確認画面が表示される。**

■受信の中止：[Y!]（キャンセル）
■受信の強制終了：[電源]

6 ***追加登録する***

1「**追加登録」を選び、◉を押す。**

受信完了後、待受画面に戻ります。
■受信の中止：[Y!]（キャンセル）
■受信の強制終了：[電源]

すべてのデータを消して登録する

1「全件削除して登録」を選び、◉を押す。

2「はい」を選び、◉を押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

受信完了後、待受画面に戻ります。

- アドレス帳を受信したときは、お客様の電話番号以外のオーナー情報は消去されます。（オーナー情報が送信されてきたときは、その内容が登録されます。）

■ 受信の中止：[Y!]（**キャンセル**）

■ 受信の強制終了：[終話]

フォルダ単位でデータを受信する

フォルダ単位でデータを送信できる機器からデータを受信し、本機のデータフォルダ内に登録します。

- 本機では、フォルダ単位でのデータ送信はできません。
- 本機で受信できるのは、送信されてきたフォルダを送信側と同じ階層に作成できる（または、同じ階層にすでに同名のフォルダがある）ときだけです。
- 送信側の操作方法については、送信する機器の取扱説明書を参照してください。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ 赤外線通信 ➡ On／Off設定

1「On（３分）」を選び、◉を押す。

データ受信の待機状態になります。

- ３分以内に送信側からデータを送信してください。

2 送信側から接続要求されると、オフラインモードの確認画面が表示される。

3「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定され、受信が始まります。
受信完了後、待受画面に戻ります。

- 同名のフォルダがあるときは、フォルダ内にデータだけ受信されます。

■ 受信の中止：[Y!]（**キャンセル**）

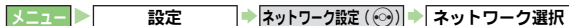
■ 受信の強制終了：[終話]

ネットワーク設定

- 「3G／GSM設定」については、P.2-16を参照してください。

ネットワーク選択	接続するネットワークを選択します。

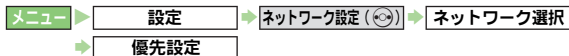
お買い上げ時 自動

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（◎）➡ ネットワーク選択

「手動」選択➡◉➡接続するネットワーク選択➡◉

■ 自動的に選択：「**自動**」選択➡◉

- 通常は、設定を変更する必要はありません。特定のネットワークに接続するときに設定してください。

優先設定	ネットワーク設定を「**自動**」にしたときに、優先的に選択されるネットワークを設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（◎）➡ ネットワーク選択 ➡ 優先設定

ネットワークを追加する

挿入場所選択➡◉➡「挿入」選択➡◉➡ネットワーク選択➡◉

- 選んだ項目の上に挿入されます。

ネットワークを末尾に追加する

◉➡「末尾に追加」選択➡◉➡ネットワーク選択➡◉

ネットワークを削除する

ネットワーク選択➡◉➡「削除」選択➡◉

ネットワークの追加/変更/削除	ネットワークを新規で追加したり、設定内容を変更します。また、追加したネットワークを削除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定(◎) ➡ ネットワーク選択 ➡ 新規追加

ネットワークを追加する

「追加」選択➡◉➡国コード入力➡◉➡ネットワークコード入力➡◉➡名前入力➡◉➡◉➡「ネットワークタイプ選択」選択➡◉➡ネットワークタイプ選択➡◉

- ネットワークは最大5件まで、追加できます。
- すでにネットワークを追加しているときに「**新規追加**」を選び◉を押すと、追加したネットワークのリストが表示されます。このときは、再度◉を押したあと、上記の操作を行ってください。
- 国コード、ネットワークコードは、最大3ケタまで入力できます。また、名前は、最大半角25文字(半角英数字だけ)まで入力できます。

追加したネットワークの設定内容を変更する

追加したネットワーク選択➡◉➡「変更」選択➡◉➡設定内容変更

- 設定方法は、上記「**ネットワークを追加する**」の国コード入力以降の操作と同様です。

追加したネットワークを削除する

追加したネットワーク選択➡◉➡「削除」選択➡◉

ネットワーク状態表示	ネットワークの状態を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定(◎)

「ネットワーク状態表示」選択➡◉

ネットワーク自動調整	ネットワーク自動調整を手動で行います。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定(◎)

「ネットワーク自動調整」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

位置情報設定

位置情報URL設定	位置情報を送信する、地図提供プロバイダのURLを設定します。

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定(◎) ➡ 位置情報設定 ➡ 位置情報URL設定

URL選択➡◉

- URLの表示:✉(**メニュー**)➡「**表示**」選択➡◉
- URLの編集:✉(**メニュー**)➡「**編集**」選択➡◉➡URL編集➡◉
  - ■お買い上げ時に登録されているURLは編集できません。
- URLの削除:URL選択➡✉(**メニュー**)➡「**削除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉
  - ■お買い上げ時に登録されているURLは削除できません。
- URLの追加:URL未設定の番号選択➡◉➡URL入力➡◉

測位On／Off設定	インターネットサービスを利用するとき、現在の位置情報を送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（送信する）

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（◎）➡ 位置情報設定 ➡ 測位On／Off設定

「On」（送信する）／「Off」（送信しない）選択➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

ブラウザ位置情報送信	ブラウザを利用するとき、現在の位置情報を送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時 毎回確認する

メニュー ▶ 設定 ➡ ネットワーク設定（◎）➡ 位置情報設定 ➡ ブラウザ位置情報送信

「毎回確認する」／「送信する」／「送信しない」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

メモリカードの利用

本機は、microSD™メモリカードに対応しています。
- 市販のmicroSD™メモリカードを使用するときは、本機でフォーマットしてください。（☞P.11-4）
- メモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。

メモリカードは、小さなお子様の手の届かないところで保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。

注意▶
- メモリカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSD™メモリカードには、書き込み禁止スイッチはありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。

補足▶
microSD™メモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のmicroSD™メモリカードは使用できないことや、正しく動作しないことがあります。
動作確認済microSD™メモリカード情報について詳しくは、下記を参照してください。

■ **本機から**
SHシリーズ専用のホームページ「Sharp Space Town」（http://j.sst.ne.jp/）

■ **パソコンから**
シャープケータイdaSHの「対応microSD/miniSD/SDメモリカード」（http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/sd_support.html）

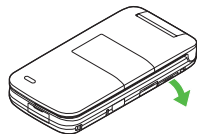
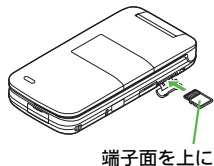
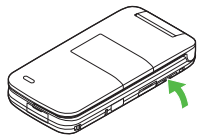
メモリカードの取り扱いについて

microSD™メモリカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください。
- メモリカードは、推奨のものをご使用ください。
  推奨以外のメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。
- 本機の電源を入れた状態でメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。
  メモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水にぬらしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光のあたる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- メモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。

メモリカードを取り付ける／取り外す

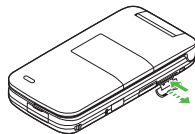
取り付ける

●必ず本機の電源を切った状態で取り付けてください。

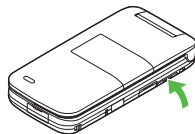
1 **メモリカードスロットのカバーを開く。**

2 **端子面を上にして、「カチッ」と音がするまでメモリカードをゆっくり奥まで入れる。**

3 **カバーを閉じる。**

取り外す

●必ず本機の電源を切った状態で取り外してください。

1 **メモリカードスロットのカバーを開き、メモリカードを軽く押し込む。**

- メモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきます。

2 **メモリカードを取り出す。**

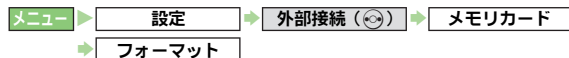
- ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。

3 **カバーを閉じる。**

注意▶
- メモリカードを無理に取り付けたり、取り外すと、メモリカードや本機が破損することがあります。ご注意ください。
- メモリカードを取り付けたあと「」が表示されたときは、接続不良の可能性があります。このときは、メモリカードを取り付け直してください。
- microSD™ メモリカード以外のものを挿入しないでください。メモリカードや本機が破損する恐れがあります。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードまたは本機が故障する恐れがあります。

補足▶ 本機にメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、メモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。(メモリカードの容量や書き込まれているデータ量によって、待受画面が表示されるまでの時間は異なります。)

メモリカードをフォーマット(初期化)する

- フォーマットされていないメモリカードを使うときは、必ず本機でフォーマットしてください。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続(◎) ➡ メモリカード ➡ フォーマット

1 「はい」を選び、◉を押す。

オフラインモードに設定されます。

2 操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、◉を押す。

3 「はい」を選び、◉を押す。

注意▶
- フォーマットすると、メモリカード内のすべてのデータが消去されます。
- フォーマット中は、絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードまたは本機が故障する恐れがあります。
- 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、本機では正常に使用できないことがあります。

メモリカードにデータをバックアップする

本機では、アドレス帳などのデータをメモリカードへバックアップ(一括保存)できます。バックアップしたデータはあとで読み込み(一括復元)できます。

- あらかじめバックアップしておけば、大事なデータを誤って消してしまったときでも、あとで復元できます。
- メモリカードにデータを一括して転送すると、データの種類ごとに1つのバックアップファイルとして保存されます。(転送日のファイル名が付きます。)
- バックアップできるデータの種類は、次のとおりです。

■受信ボックス　■下書き　■送信済みボックス
■テンプレート　■アドレス帳　■メールグループ
■カレンダー　■予定リスト　■テキストメモ
■ブックマーク　■ユーザー辞書　■マイ絵文字
■コンテンツ・キー

- テンプレートとマイ絵文字は、1つのバックアップファイルとしては保存されません。
- 未送信ボックス内のメールは、メモリカードへバックアップできません。
- データを1種類だけ選択してバックアップしたり、すべての種類をまとめてバックアップすることができます。

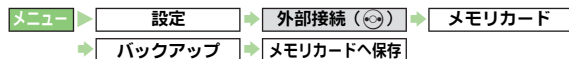
補足▶ バックアップは、個人データの保存や同機種間（microSD™メモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

メモリカードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- バックアップやデータ読み込み中は、電話やメールは利用できません。（着信もできません。）
- バックアップデータをメモリカードから読み込むときは、読み込むデータの種類を選んでください。読み込み時には、本機内の選んだ種類のデータをすべて消去してから、メモリカード内のデータを読み込みますので、ご注意ください。
- データの内容によっては、バックアップできないことがあります。また、バックアップしたデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 本機またはメモリカードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- 本機に保存できる予定／用件は、カレンダーと予定リストを合わせて最大300件です。メモリカードからの読み込み中、300件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- バックアップ時、ブックマークのデータは、Yahoo!ケータイ、ストリーミング、PCサイトブラウザ、すべてのブックマークのデータをバックアップしますが、ブックマークのデータ読み込み時は、ストリーミングには保存されません。（Yahoo!ケータイに保存されます。）
- バックアップしたブックマークのサイズが大きいとき、データ形式によっては正しく読み込めないことがあります。
- アドレス帳のバックアップ時、アドレス帳に設定した画像のサイズによっては、アドレス帳のバックアップデータに含まれないことがあります。このときは、アドレス帳に設定している画像を、アドレス帳をバックアップする際に別途メモリカードへ保存すると、設定を保持できます。
- 通知メールは通常のメールとして読み込まれますので、読み込み後は続き受信などの操作はできません。
- メモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、メモリカードから読み込むまでは、本機でデータの内容を確認できません。（テンプレートとマイ絵文字のデータは確認できます。）
- コンテンツ・キーをバックアップするときは、次の点にご注意ください。
  - ■コンテンツ・キーのバックアップファイルは1つしか保存できないため、再度別のコンテンツ・キーをバックアップすると、前回のバックアップファイルは上書きされます。（前回バックアップしたファイルを残したい時は、メモリカードからコンテンツ・キーのバックアップファイルを本機へ読み込んだあと、あらためてバックアップの操作を行ってください。）
  - ■メモリカードへバックアップ時、コンテンツ・キーは本機からメモリカードへ移動するため、コンテンツ・キーを移動したファイルは使用できなくなります。
  - ■本機へ読み込み時、コンテンツ・キーは、本機内のコンテンツ・キーを上書きせず、追加します。
- メールデータのバックアップ時にシークレット設定していたフォルダは、そのデータの読み込み時に、シークレット設定が解除されます。また、データの読み込み時は、メール振り分け設定の条件が削除されます。

●他のソフトバンク携帯電話でバックアップしたデータを本機で読み込むときは、次のことにご注意ください。
■本機で扱えないサイズのメールは読み込めません。
■本機で登録できるメールは、下書き、未送信ボックス、送信済ボックスを合わせて最大500件です。読み込み中に500件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
■他のソフトバンク携帯電話の機種によっては、スカイメールがS!メールとして読み込まれることがあります。
●本機でバックアップしたデータを他のソフトバンク携帯電話で読み込むときは、次のことにご注意ください。
■迷惑メールフォルダ内のメールは、他のソフトバンク携帯電話の迷惑フォルダではなく、通常の受信フォルダに登録されます。
■下書きメールを他のソフトバンク携帯電話で読み込むと、宛先が複数あるSMSが登録できなかったり、2件目以降のアドレスが欠落することがあります。

メモリカードにバックアップする

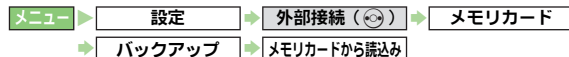
メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続(◎) ➡ メモリカード ➡ バックアップ ➡ メモリカードへ保存

1 **操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、◉を押す。**

2 **「はい」を選び、◉を押す。**
オフラインモードに設定されます。

3 **データの種類を選び、◉を押す。**
■「全選択」/「アドレス帳」/「コンテンツ・キー」選択時:「はい」/「いいえ」選択➡◉
■バックアップの中止:Y!(キャンセル)

メモリカードから読み込む

●メモリカードからデータを読み込むと、本機内の同じ種類のデータは消去されます。(コンテンツ・キーは消去されず、追加されます。)

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続(◎) ➡ メモリカード ➡ バックアップ ➡ メモリカードから読込み

1 **操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、◉を押す。**

2 **「はい」を選び、◉を押す。**
オフラインモードに設定されます。

3 **データの種類を選び、◉を押す。**
●選択できないデータの種類は、転送できません。

4 **ファイルを選び、◉を押す。**
●ファイルが複数あるときは、ファイル名の転送日を確認して選んでください。
例:2007年02月14日にバックアップしたときのファイル名「070214XX」(XXは、00~99、aa~zzの2ケタの数字、英字)
●「全選択」を選んだときは、データの種類ごとに操作4をくり返します。
■ファイル削除:ファイル選択➡✉(削除)➡「はい」選択➡◉

5 **「はい」を選び、◉を押す。**
■読み込みの中止:Y!(キャンセル)
■「全選択」選択時:「はい」/「いいえ」選択➡◉

補足▶ 本機で設定できない期限日時が設定されている予定リストのバックアップデータを、メモリカードから読み込んだときは、期限なしに設定されます。

その他のメモリカード機能

メモリ確認	メモリカードのメモリ使用状況を確認します。

メニュー ▶ データフォルダ ➡ メモリ確認

「メモリカード」選択➡◉

- メモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と、著作権保護などで自動的に使用される部分があります。

SDローカルコンテンツ	HTMLファイルを表示して、インターネットに接続します。

■メモリカードにHTMLファイルがないときは、利用できません。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ メモリカード ➡ SDローカルコンテンツ

タイトル選択➡◉

- パソコンでメモリカードを確認したとき、ローカルコンテンツは「PRIVATE/MYFOLDER/Local Contents」フォルダに保存されています。

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。メモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントできます。

- インターネットなどから入手した静止画はプリント指定できません。
- 操作中にメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、いったん操作を終了し、不要なファイルを削除したあとやり直してください。
- プリント時の操作など詳しくは、プリントする機器の操作説明書などを参照してください。

プリントする静止画と枚数を指定する

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF） ➡ 枚数指定 ➡ 個別指定

1 フォルダを選び、◉を押す。

選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

2 ◎で静止画を選び、✉（枚数）を押す。

静止画の確認：静止画選択➡◉

■プリントの指定画面に戻る：上記操作のあと CLEAR/BACK

3 プリント枚数（00～99枚）を入力し、◉を押す。

静止画の選択画面に戻る：CLEAR/BACK ➡ CLEAR/BACK

指定の解除：プリント枚数入力時に「00」入力➡◉

4 **操作2～3をくり返し、プリント枚数を指定する。**

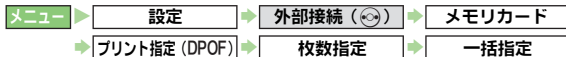
5 **Y!（完了）を押す。**

注意▶
- 他のデジタルカメラなどで指定されたプリント指定（DPOF）がある場合に、本機でプリント指定を行ったときは、以前指定されていたプリント指定は削除されます。
- デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
- パソコンなどでメモリカード内の画像を削除したり名前を変更すると、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、全設定リセット（☞右記）を行ったあとプリント指定をやり直してください。

DPOFの便利な機能

一括指定 デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定します。

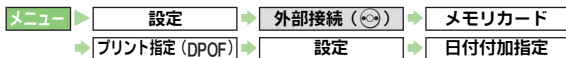
お買い上げ時 0枚

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ 枚数指定 ➡ 一括指定

プリント枚数（01～99枚）入力➡◉

- 最大99枚まで指定できます。

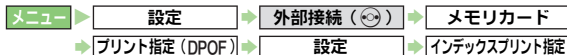
日付付加指定 デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに、日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（付けない）

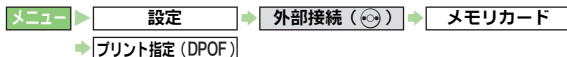
メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ 設定 ➡ 日付付加指定

「On」（付ける）／「Off」（付けない）選択➡◉

インデックスプリント指定 静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが必要かどうかを設定します。

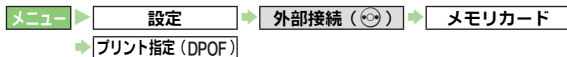
お買い上げ時 Off（不要）

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）➡ 設定 ➡ インデックスプリント指定

「On」（必要）／「Off」（不要）選択➡◉

プリント指定状況確認 印刷画像枚数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

「プリント指定状況確認」選択➡◉

全設定リセット DPOF関連のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）➡ メモリカード ➡ プリント指定（DPOF）

「全設定リセット」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

カードリーダモード

カードリーダモードにすれば、USBケーブルで接続したパソコンから、本機のメモリカード内のデータを操作（読み書き）することができます。

- カードリーダモードにするとオフラインモードに設定されます。
- 電池残量が不足しているときは、カードリーダモードにはできません。また、一時停止中のS!アプリがあるときや音楽をバックグラウンドで再生しているときも、カードリーダモードにはできません。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎）

1「カードリーダモード」を選び、◉を押す。

オフラインモードの確認画面が表示されます。

2「はい」を選び、◉を押す。

カードリーダモードになります。

3 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する。

パソコンから、本機のメモリカード内のデータが操作できるようになります。

- すでにUSBケーブルが接続されているときは、いったん抜いたあとで接続し直してください。

4 カードリーダモードを終了するときは、Y!（キャンセル）を押す。

5「はい」を選び、◉を押す。

- このあと、パソコンでハードウェアデバイスの取り外しの操作を行い、USBケーブルを抜きます。

カレンダー

カレンダーを表示する

- 「**月表示**」（1ヵ月表示／2ヵ月表示）と「**週表示**」の2種類のカレンダーを表示できます。
- お買い上げ時には、「**月表示**」（1ヵ月表示）に設定されています。

メニュー ▶ ツール ▶ ツール1（◎）

1 「カレンダー」を選び、◉を押す。

今月のカレンダー（カレンダー画面）が表示されます。

■ 日付／時刻未設定時：◎（地域選択）➡◉➡日付／時刻入力➡◉

■ カレンダーの操作方法を表示：✉（メニュー）➡「**ヘルプ**」選択➡◉

▪ カレンダー画面に戻る：上記操作のあと◉

カレンダー画面（1ヵ月表示）

■カレンダー画面でできること

ボタン	月表示のとき	週表示のとき
＊	先月を表示※1	先週を表示
＃	翌月を表示※1	翌週を表示
0	ヘルプ	
2	簡易登録（スタンプ貼付）※2	—
4	色設定（当日）	
5	今日を表示	
6	件名検索	
8	指定日へ移動	
◎（上下）	前の週／次の週選択※1	前の時間帯／次の時間帯選択
◎（左右）	日選択	

※1　2ヵ月表示のときは、2ヵ月単位で切り替わります。
※2　1ヵ月表示のときだけ操作できます。

表示設定　カレンダーを起動したときの画面表示を設定します。

お買い上げ時 月表示（1ヵ月表示）

メニュー ▶ ツール ▶ ツール1（◎）▶ カレンダー

✉（メニュー）➡「**カレンダー設定**」選択➡◉➡「**表示設定**」選択➡◉➡**表示方法選択**➡◉

カレンダー色設定　カレンダーに表示される日付の色を設定できます。

お買い上げ時 日曜日／祝日：レッド、土曜日：ブルー、その他：ブラック

メニュー ▶ ツール ▶ ツール1（◎）▶ カレンダー

曜日ごとの色を設定する

✉（メニュー）➡「**カレンダー設定**」選択➡◉➡「**色設定**」選択➡◉➡「**曜日**」選択➡◉➡**曜日選択**➡◉➡**表示色選択**➡◉

日付を指定して設定する

設定日選択➡✉（メニュー）➡「**カレンダー設定**」選択➡◉➡「**色設定**」選択➡◉➡「**当日**」選択➡◉➡**表示色選択**➡◉

■ 曜日指定と同じ色にする：表示色選択時に「**未設定**」選択➡◉

■ 色設定を解除する：✉（メニュー）➡「**カレンダー設定**」選択➡◉➡「**色設定**」選択➡◉➡「**色設定（当日）解除**」選択➡◉➡設定を解除する条件選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

祝日設定	あらかじめ登録されている祝日を非表示(解除)/再表示したり、オリジナルの祝日を作成します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1(◎) ➡ カレンダー

祝日を非表示(解除)/再表示する

✉(メニュー)➡「カレンダー設定」選択➡◉➡「祝日設定」選択➡◉➡◎(「プライベート祝日設定」/「国民の祝日設定」選択)➡非表示(解除)/再表示する祝日選択➡◉(□/☑)

■すべての祝日の非表示(解除)/再表示:祝日選択画面で✉(メニュー)➡「全チェック」/「全解除」選択➡◉

オリジナルの祝日を登録する

✉(メニュー)➡「カレンダー設定」選択➡◉➡「祝日設定」選択➡◉➡◎(「プライベート祝日設定」選択)➡未登録の祝日選択➡◉➡祝日名称入力➡◉➡年月日入力➡◉➡周期選択➡◉➡Y!(保存)

オリジナルの祝日を編集する

✉(メニュー)➡「カレンダー設定」選択➡◉➡「祝日設定」選択➡◉➡◎(「プライベート祝日設定」選択)➡編集する祝日選択➡✉(メニュー)➡「編集」選択➡◉➡「祝日名称:」選択➡◉➡祝日名称入力➡◉➡「日付:」選択➡◉➡年月日入力➡◉➡周期選択➡◉➡Y!(保存)

補足▶
- あらかじめ登録されている祝日は削除/編集できません。
- オリジナルの祝日は最大10件まで登録できます。

簡易登録(スタンプ貼付)	簡単な操作でカレンダーにスタンプを貼り付けることができます。

■月表示(1ヵ月表示)で利用できます。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1(◎) ➡ カレンダー

日選択➡2かABC➡スタンプ選択➡◉

補足▶ その他の項目を登録するときは、予定の編集を行ってください。(☞P.12-7)

アラーム動作設定	アラーム動作時のアラーム音量やバイブ動作、またはマナーモード時の設定をします。

お買い上げ時 アラーム音量:音量3、バイブ:Off、マナーモード時設定:鳴らさない

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1(◎) ➡ カレンダー

アラーム音量を設定する

✉(メニュー)➡「アラーム動作設定」選択➡◉➡「アラーム音量:」選択➡◉➡◈(音量調節)➡◉

バイブ動作を設定する

✉(メニュー)➡「アラーム動作設定」選択➡◉➡「バイブ:」選択➡◉➡「On」/「音連動」/「Off」選択➡◉

マナーモード時のアラームを設定する

✉(メニュー)➡「アラーム動作設定」選択➡◉➡「マナーモード時設定:」選択➡◉➡「鳴らす」/「鳴らさない」選択➡◉

■「鳴らす」選択時:上記操作のあと「はい」選択➡◉

予定を登録する

カレンダーに予定を登録して管理できます。

●カレンダーの予定は、予定リスト（☞P.12-8）の用件と合わせて、最大300件まで登録できます。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎）➡ カレンダー

1 **登録する日を選び、◉を押す。**

2 **「<新規登録>」を選び、◉を押す。**

3 **件名を入力し、◉を押す。**

●32文字以内で、必ず入力してください。

4 **開始日時を入力し、◉を押す。**

●終日をチェック／解除できます。
（終日をチェックしたときは、このあと操作7へ進みます。）

5 **「終了：」を選び、◉を押す。**

6 **終了日時を入力し、◉を押す。**

7 **「カテゴリ：」を選び、◉を押す。**

8 **カテゴリを選び、◉を押す。**

●アラームを設定しないときは、このあと操作13へ進みます。
［終日をチェックしたときは、繰り返しの設定（☞P.12-6）をしたあと、操作13へ進みます。］

9 **「アラーム：」を選び、◉を押す。**

10 **「アラーム通知時間：」を選び、◉を押す。**

11 **「開始時刻」～「1時間前」のいずれかを選び、◉を押す。**

■ アラーム日時を指定：「**その他**」選択➡◉➡アラーム通知日時入力➡◉

■ アラーム音／ムービー、鳴動時間の設定：☞P.12-5

12 **Y!（OK）を押す。**

●画面右下に「OK」が表示されないときは、CLEAR/BACKを押します。

■ 繰り返しの設定：☞P.12-6

予定登録の画面

13 **「場所：」を選び、◉を押す。**

14 **予定の場所を入力し、◉を押す。**

●最大16文字まで入力できます。

15 **「内容：」を選び、◉を押す。**

16 **予定の内容を入力し、◉を押す。**

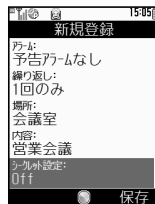
●最大128文字まで入力できます。

■ シークレットの設定：☞P.12-6

17 **Y!（保存）を押す。**

予定が登録されます。

注意▶ 他の機器との間で予定をやりとりすると、相手機によっては表示される日時情報などが異なることがあります。

補足▶ まだ設定時刻になっていない予定がある日は、待受画面に「🗓」（アラームあり）または「🗓」（アラームなし）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、お知らせします。

- アラーム設定を「**予告アラームなし**」にしているときは、何も動作しません。
- 画面ピクチャー（☞P.9-3）を設定しているときは、設定画像が表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を停止する

■アラーム動作中に次の操作を行います。

[Y!]（**停止**）／[終話]／[CLEAR/BACK]／[サイド]

登録した予定を確認する

■アラーム動作中に、登録した予定の確認をするときは、次の操作を行います。

[●]

補足▶
- 通話中や動画撮影中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話や撮影終了後[終話]を押すと、アラームが動作します。
- アラーム動作中に着信があったときは、アラームの動作は終了します。[終話]で通話終了後、待受画面に戻るとインフォメーションが表示されます。

予定の各種設定

- 以下の操作は、P.12-4操作12のあとの予定登録の画面で行います。操作後、予定登録の画面に戻りますので、予定の登録を完了してください。

アラーム音	アラーム音の種類を設定します。

お買い上げ時 アラーム1

固定データを利用する

「アラーム：」選択➡[●]➡「アラーム音／ムービー：」選択➡[●]➡「固定データ」選択➡[●]➡アラーム音選択➡[●]➡[Y!]（OK）

- 再生：アラーム音選択後[✉]（**再生**）
  - ■再生の停止：再生中に[✉]（**停止**）

固定データ以外を利用する

「アラーム：」選択➡[●]➡「アラーム音／ムービー：」選択➡[●]➡「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」／「着信音 Flash®」選択➡[●]➡アラーム音選択➡[●]➡[Y!]（OK）

- 再生：アラーム音選択後[Y!]（**再生**）
  - ■再生の停止：再生中に[CLEAR/BACK]

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時 10秒

「アラーム：」選択➡[●]➡「鳴動時間：」選択➡[●]➡時間選択➡[●]➡[Y!]（OK）

- 時間を入力して設定：時間選択時に「**その他**」選択➡[●]➡鳴動時間入力➡[●]➡[Y!]（OK）

繰り返し設定	予定の繰り返し（１回のみ、毎日、毎週、毎月、毎年）を設定します。

お買い上げ時 １回のみ

１回だけの予定を登録する

「繰り返し：」選択➡◉➡「１回のみ」選択➡◉

繰り返しの予定を登録する

「繰り返し：」選択➡◉➡「毎日」～「毎年」選択➡◉➡繰り返し回数（00～99）入力➡◉

- 予定の日を29～31日に設定して「**毎月**」を選んだときは、29～31日が存在しない月では、予定は設定されません。
- 「**毎年**」を選んだときは、繰り返し回数の指定はできません。
- 繰り返し回数を「00」にしたときは、「**期限なし**」に設定されます。

シークレット設定	予定をシークレットデータに設定します。

お買い上げ時 Off

「**シークレット設定：**」選択➡◉➡「**On**」選択➡◉

- シークレットデータを確認するときは、シークレットモード（☞P.9-27）にしてください。
- シークレット設定を解除するときは、シークレットモード（☞P.9-27）にしたあと、予定の編集（☞P.12-7）を行います。（上記操作の「On」の代わりに「Off」を選びます。）

予定を確認する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール１（◎） ➡ カレンダー

1 予定を確認する日を選び、◉を押す。

- 日付を指定して確認：✉（**メニュー**）➡「**指定日付へ移動**」選択➡◉➡「**指定日**」選択➡◉➡指定日入力➡◉
- 今日の予定を確認：✉（**メニュー**）➡「**指定日付へ移動**」選択➡◉➡「**今日**」選択➡◉

2 予定を選び、◉を押す。

- 予定をメール送信：✉（**メニュー**）➡「**送信**」選択➡◉➡「**メール添付**」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-7操作３以降）

3 確認を終了するときは、CLEAR/BACKを押す。

予定の件数を確認する

■左記操作１のあと、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**メモリ確認**」選択➡◉

シークレット設定を一時的に解除する

■カレンダー画面で、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**シークレット一時解除**」選択➡◉➡**操作用暗証番号（４ケタ）入力**➡◉

- このあとメインメニューに戻ると、再びシークレット設定になります。

予定を検索する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール１（◎） ➡ カレンダー

1 ✉（メニュー）を押す。

2 「件名検索」を選び、◉を押す。

3 検索語を入力し、◉を押す。

- 最大32文字まで入力できます。

4 予定を選び、◉を押す。

予定を編集する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ カレンダー

1 **予定を編集する日を選び、◉を押す。**

2 **予定を選び、✉（メニュー）を押す。**

3 **「編集」を選び、◉を押す。**

4 **編集する項目を選び、◉を押す。**

- 編集方法は、登録時と同様です。

5 **編集が終われば、Y!（保存）を押す。**

予定を削除する

1件削除／1日削除	予定を1件ずつまたは1日単位で削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ カレンダー

指定した予定を1件ずつ削除する

予定を削除する日選択➡◉➡削除する予定選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「1件」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

指定した日の予定をすべて削除する

予定を削除する日選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「1日」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

今週削除／先週まで削除	週表示のとき、今週または先週までの予定を削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ カレンダー

今週の予定をすべて削除する

予定を削除する週の日選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「今週」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

先週までの予定をすべて削除する

予定を削除する翌週選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「先週まで」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

今月削除／先月まで削除	月表示のとき、ひと月単位または先月までの予定を削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ カレンダー

今月の予定をすべて削除する

予定を削除する月選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「今月」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

先月までの予定をすべて削除する

予定を削除する翌月選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「先月まで」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

2ヵ月削除	2ヵ月表示のとき、表示中2ヵ月分の予定を削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ カレンダー

予定を削除する2ヵ月選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「2ヵ月」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

全件削除	すべての予定を削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ カレンダー

✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「全件」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡「はい」選択➡◉

削除する予定に繰り返しの予定が含まれていると

■その他の予定も削除するかどうかの確認画面が表示されます。（全件削除を除く）
削除するときは、次の操作を行います。
「**はい**」選択➡◉
■削除しない：「**いいえ**」選択➡◉

予定リスト

期限の決まった予定（用件）を登録して管理できます。

- 終了（処理）した用件は、処理済チェックを付けて管理できます。（☞P.12-10）
- 予定リストの用件は、カレンダーの予定（☞P.12-4）と合わせて、最大300件まで登録できます。

用件を登録する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール１（◎） ➡ 予定リスト

1「**<新規登録>**」**を選び、◉を押す。**

2 **件名を入力し、◉を押す。**

- 32文字以内で、必ず入力してください。

3 **期限日時を入力し、◉を押す。**

- 期限なしをチェック／解除できます。
［期限なしをチェックしたときは、このあと操作８へ進みます。］
- アラームを設定しないときは、このあと操作８へ進みます。

4「**アラーム：**」**を選び、◉を押す。**

5「**アラーム通知時間：**」**を選び、◉を押す。**

6「**期限時刻**」～「**１時間前**」**のいずれかを選び、◉を押す。**

■アラーム日時を指定：「**その他**」選択➡◉➡アラーム通知日時入力➡◉
■アラーム音／ムービー、鳴動時間の設定：☞P.12-9

7 Y!（**OK**）**を押す。**

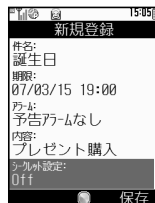
8「**内容：**」**を選び、◉を押す。**

9 **内容を入力し、◉を押す。**

- 最大128文字まで入力できます。

■シークレットの設定：☞P.12-9

10 Y!（**保存**）**を押す。**

用件が登録されます。

用件登録の画面

アラーム設定の指定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、お知らせします。

- アラーム設定を「**予告アラームなし**」にしているときは、何も動作しません。
- 画面ピクチャー（☞P.9-3）を設定しているときは、設定画像が表示されます。また、ムービーや画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、ムービーやSMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を停止する

■アラーム動作中に次の操作を行います。

[Y!]（停止）／[☎]／[CLEAR/BACK]／[▭]

登録した用件を確認する

■アラーム動作中に、登録した用件の確認をするときは、次の操作を行います。

◉

補足▶
- 通話中や動画撮影中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話や撮影終了後[☎]を押すと、アラームが動作します。
- アラーム動作中に着信があったときは、アラームの動作は終了します。[☎]で通話終了後、待受画面に戻るとインフォメーションが表示されます。

用件の各種設定

- 以下の操作は、P.12-8操作７のあとの用件登録の画面で行います。操作後、用件登録の画面に戻りますので、用件の登録を完了してください。

アラーム音	アラーム音の種類を設定します。

お買い上げ時アラーム１

固定データを利用する

「アラーム：」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー：」選択➡◉➡「固定データ」選択➡◉➡アラーム音選択➡◉➡[Y!]（OK）

■ 再生：アラーム音選択後[✉]（再生）
- 再生の停止：再生中に[✉]（停止）

固定データ以外を利用する

「アラーム：」選択➡◉➡「アラーム音／ムービー：」選択➡◉➡「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」／「着信音 Flash®」選択➡◉➡アラーム音選択➡◉➡[Y!]（OK）

■ 再生：アラーム音選択後[Y!]（再生）
- 再生の停止：再生中に[CLEAR/BACK]

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時10秒

「アラーム：」選択➡◉➡「鳴動時間：」選択➡◉➡時間選択➡◉➡[Y!]（OK）

■ 時間を入力して設定：時間選択時に「**その他**」選択➡◉➡鳴動時間入力➡◉➡[Y!]（OK）

シークレット設定	用件をシークレットデータに設定します。

お買い上げ時Off

「シークレット設定：」選択➡◉➡「On」選択➡◉

- シークレットデータを確認するときは、シークレットモード（☞P.9-27）を「**表示する**」にしてください。
- シークレット設定を解除するときは、シークレットモード（☞P.9-27）を「**表示する**」にしたあと、用件の編集（☞P.12-11）を行います。（上記操作の「On」の代わりに「Off」を選びます。）

アラーム動作時の設定

■アラーム音量を設定するときは、予定リスト画面で次の操作を行います。
　用件選択➡✉（メニュー）➡「アラーム動作設定」選択➡◉➡「アラーム音量：」選択➡◉➡◈（音量調節）➡◉

■バイブを設定するときは、予定リスト画面で次の操作を行います。
　用件選択➡✉（メニュー）➡「アラーム動作設定」選択➡◉➡「バイブ：」選択➡◉➡「On」／「音連動」／「Off」選択➡◉

■マナーモード時の動作を設定するときは、予定リスト画面で次の操作を行います。
　用件選択➡✉（メニュー）➡「アラーム動作設定」選択➡◉➡「マナーモード時設定：」選択➡◉➡「鳴らす」／「鳴らさない」選択➡◉
　■「**鳴らす**」選択時：上記操作のあと「**はい**」選択➡◉

用件を確認する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎）

1 「予定リスト」を選び、◉を押す。
- 処理済（チェック済）の用件を確認：◎で「☑」（処理済）選択
- 未処理（未チェック）の用件を確認：◎で「□」（未処理）選択

2 用件を選び、◉を押す。
- 予定をメール送信：✉（**メニュー**）➡「**送信**」選択➡◉➡「**メール添付**」選択➡◉➡メール作成／送信（☞**P.14-7**操作3以降）

3 確認を終了するときは、CLEAR/BACKを押す。

終了した用件にチェックを入れる

■終了した用件にチェック「☑」を入れ、管理することができます。左記操作1のあと、次の操作を行います。
　用件（「□」表示）選択➡◉➡◉
　■チェックの解除：用件（「☑」表示）選択➡◉➡◉

シークレット設定を一時的に解除する

■左記操作1で、次の操作を行います。
　✉（メニュー）➡「シークレット一時解除」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉
- このあとメインメニューに戻ると、再びシークレット設定になります。

用件の件数を確認する

■左記操作1で、次の操作を行います。
　✉（メニュー）➡「メモリ確認」選択➡◉

用件を検索する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ 予定リスト

1 ✉（メニュー）を押す。

2 「件名検索」を選び、◉を押す。

3 検索語を入力し、◉を押す。
- 最大32文字まで入力できます。

4 用件を選び、◉を押す。

用件を編集する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール１（◎）➡ 予定リスト

1 用件を選び、✉（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、◉を押す。

3 編集する項目を選び、◉を押す。

●編集方法は、登録時と同様です。

4 編集が終われば、Y!（保存）を押す。

用件を削除する

１件削除	用件を１件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール１（◎）➡ 予定リスト

削除する用件選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「１件」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

全件削除／処理済削除	すべての用件、または処理済のすべての用件を削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール１（◎）➡ 予定リスト

すべての用件を削除する

✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「全件」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「はい」選択➡◉

処理済の用件をすべて削除する

✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「処理済」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

アラーム

アラームを設定する

指定した時刻にアラームを鳴らしお知らせします。

●毎日または、指定した曜日にだけアラームを鳴らすことができます。

●アラームは、最大５件まで登録できます。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール１（◎）➡ アラーム

1 登録場所（「--：--」表示）を選び、◉を押す。

2 アラームの時刻を入力し、◉を押す。

■アラームの各種設定：☞P.12-13

設定
時刻入力:
07:00
リピート:
1回のみ
アラーム音/ムービー:
アラーム1
スヌーズ設定:
Off
アラーム音量:
音量:5
保存

アラーム登録の画面

3「リピート：」を選び、◉を押す。

4 ***毎日アラームを鳴らす***

1「毎日」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らす

1「曜日指定」を選び、◉を押す。

■曜日をすべて選択：✉（メニュー）➡「全チェック」選択➡◉➡操作4へ

2 曜日を選び、◉を押す。

曜日が指定され、「☑」が表示されます。

●すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。

3 操作2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、Y!（OK）を押す。

１回だけアラームを鳴らす

1「１回のみ」を選び、◉を押す。

12 ツール

5 Y!（保存）を押す。

アラームが設定されます。

- 続けて他の時刻にアラームを設定するときは、P.12-11「**アラームを設定する**」操作１からくり返します。

6 終了するときは、[終話]を押す。

待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。

マナーモード設定時のアラーム動作を設定する

■マナーモード時の設定をするときは、P.12-11「**アラームを設定する**」操作１で次の操作を行います。

「**設定**」選択➡●➡「**マナーモード時設定**」選択➡●➡「**鳴らす**」／「**鳴らさない**」選択➡●

▪「**鳴らす**」選択時：上記操作のあと「**はい**」選択➡●

世界時計（☞P.12-14）の時刻でアラームを設定する

■世界時計の時刻でアラームを設定するときは、P.12-11「**アラームを設定する**」操作１で次の操作を行います。

「**設定**」選択➡●➡「**世界時計連動設定**」選択➡●➡「**On**」／「**Off**」選択➡●

アラームの設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 画面ピクチャー（☞P.9-3）を設定しているときは、設定している画像が表示されます。また、ムービーや画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、ムービーやSMAFファイルの画像が優先して表示されます。

アラーム音を停止する

■アラーム動作中に次の操作を行います。

Y!（停止）／[終話]／[CLEAR/BACK]／[メール]

- 電源を切っている状態でアラーム設定時刻になっても、アラームは動作しません。電源が入っているときにアラームが動作します。

スヌーズ（☞P.12-13）を設定すると

■設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。

（スヌーズ待機状態）

- 着信があったときは、電話を受けることができます。通話終了後[終話]を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。
- スヌーズを解除する前に別のアラームの設定時刻になったときは、別のアラームは動作しません。スヌーズ解除後に別のアラームが動作します。

■スヌーズを解除するときは、アラーム動作中に次の操作を行います。

Y!（停止）／[終話]／[CLEAR/BACK]➡「**はい**」選択➡●

- スヌーズ開始から60分経過すると、スヌーズは自動的に解除されます。

補足▶

- 通話中や動画撮影中にアラーム指定時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、通話や撮影終了後[終話]を押すとアラームが動作します。
- マナーモード設定中の音量は、マナーモード時設定の内容に従います。（お買い上げ時「**鳴らさない**」）
- スヌーズOffのアラーム動作中に着信があったときは、アラームの動作は終了します。[終話]で通話終了後、待受画面に戻るとインフォメーションが表示されます。

アラームの各種設定

●以下の操作は、P.12-11「**アラームを設定する**」操作2のあとのアラーム登録の画面で行います。操作後、アラーム登録の画面に戻りますので、アラームの登録を完了してください。

アラーム音	アラーム音の種類を設定します。

お買い上げ時 アラーム1

固定データを利用する

「**アラーム音／ムービー：**」選択➡◉➡「**固定データ**」選択➡◉➡**アラーム音選択**➡◉

■再生：アラーム音選択後✉（**再生**）

■再生の停止：再生中に✉（**停止**）

固定データ以外を利用する

「**アラーム音／ムービー：**」選択➡◉➡「**着うた・メロディ**」／「**ミュージック**」／「**ムービー**」／「**着信音Flash®**」選択➡◉➡**アラーム音選択**➡◉

■再生：アラーム音選択後Y!（**再生**）

■再生の停止：再生中にCLEAR/BACK

カスタムスクリーン	アラーム音やムービーをカスタムスクリーンに設定します。

「**アラーム音／ムービー：**」選択➡◉➡「**カスタムスクリーン**」選択➡◉

■再生：カスタムスクリーン選択後✉（**再生**）

■再生の停止：再生中に✉（**停止**）

●カスタムスクリーンを設定していないときは、選択できません。

●音楽データを含まないカスタムスクリーンが設定されているときは、選択できません。

スヌーズ設定	アラーム動作後、一定の間隔でアラームをくり返し鳴らします。

お買い上げ時 Off

「**スヌーズ設定：**」選択➡◉➡**くり返す間隔選択**➡◉

■間隔を入力して設定するとき：間隔選択時に「**その他**」選択➡◉➡間隔入力➡◉

アラーム音量	アラーム音の音量を調節します。

お買い上げ時 音量5

「**アラーム音量：**」選択➡◉➡✣（**音量調節**）➡◉

バイブ	バイブレータでお知らせするかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off

「**バイブ：**」選択➡◉➡「**On**」／「**音連動**」／「**Off**」選択➡◉

●「**音連動**」について詳しくは、「**バイブ**」（☞P.9-15）を参照してください。

鳴動時間	アラームを何秒間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時 10秒

「**鳴動時間：**」選択➡◉➡**時間選択**➡◉

■時間を入力して設定するとき：時間選択時に「**その他**」選択➡◉➡鳴動時間入力➡◉

アラームを解除する／再設定する

アラーム解除	設定したアラームを解除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ アラーム

アラーム選択➡✉（メニュー）➡「アラームOff」選択➡◉

- アラームが解除され、「🔔」が消えます。
- 解除しても登録内容は消えません。同じ内容でアラームを動作させるときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム再設定	解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定もできます。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ アラーム

アラーム選択➡✉（メニュー）➡「アラームOn」選択➡◉

■一部を変更して再設定するとき：アラーム選択➡◉➡設定編集
- ■編集方法は、登録時と同様です。

アラームを削除する

1件削除	アラームを1件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ アラーム

アラーム選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

全件削除	すべてのアラームを削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ アラーム

アラーム選択➡✉（メニュー）➡「全件削除」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡「はい」選択➡◉

世界時計

普段お使いの都市［日時設定（☞P.9-18）で設定した都市］の日時と共に、あらかじめ指定した世界各国の都市の日時を表示できます。

- 本機には、あらかじめ世界各国の都市の時刻情報が登録されています。普段お使いの都市の時刻との時差と都市名を入力して、追加することもできます。
- 世界時計は、待受画面に表示することもできます。（時計／カレンダー表示：☞P.9-5）
- お買い上げ時、世界時計の都市（タイムゾーン設定）は、「**東京**」に設定されています。

世界時計を設定する

- サマータイムを設定すると、設定した世界各国の都市の時刻が、1時間進んだ状態で表示されます。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎） ➡ 世界時計

1 **◉を押す。**

2 ***世界時計の都市を設定する***

1「タイムゾーン設定」を選び、◉を押す。

2 ◎で都市を選び、◉を押す。

■都市の追加：✉（オリジナル）➡都市名（最大16文字）入力➡◉➡◎（＋／－）➡◎➡時差入力➡◉

サマータイムを設定する

1「サマータイム設定」を選び、◉を押す。

2「On」を選び、◉を押す。

■サマータイム設定の解除：「Off」選択➡◉

世界時計を表示する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎）

1「世界時計」を選び、◉を押す。

普段お使いの都市と世界時計の都市の時刻が表示されます。

補足▶
- 普段お使いの都市は変更できます。（☞P.9-18）
- 待受画面に世界時計を表示するときは、時計／カレンダー表示（☞P.9-5）を、「世界時計（大）／（小）」、「世界時計＋1ヵ月／2ヵ月」のいずれかにしてください。

電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算が行えます。
●国内通貨と海外通貨の換算も行えます。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール1（◎）

1「電卓」を選び、◉を押す。

電卓の画面が表示されます。

- 待受画面で数字を入力し［文字］を押しても、電卓を呼び出せます。
- ダイヤルボタンで数字を入力し、右記の各ボタンを使って計算します。

■計算結果のコピー：計算結果表示中に✉（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉

＋（足す）	◎	CM（クリアメモリ）	［文字］
－（引く）	◎	RM（メモリ呼出）	［↻］
×（掛ける）	◎	M＋（メモリ加算）	［Y!］※1
÷（割る）	◎	．（小数点）	［＊］
＝（イコール）	◉	+/－（符号反転）	［＃］
C・CE（クリア）	［CLEAR/BACK］	%（パーセント）	✉※2

※1 計算結果が「0」のときは、元の画面に戻ります。
※2 ✉（**メニュー**）を押したあと、メニュー項目から選択してください。

2 電卓を終了するときは、［☎］を押す。

通貨を換算する

■国内と海外の換算レートを設定するときは、電卓の画面で次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**換算**」選択➡◉➡「**レート設定**」選択➡◉➡「**国内通貨**」／「**海外通貨**」選択➡◉➡**換算レート入力**➡◉

- お買い上げ時には、どちらも「1」に設定されています。

■国内通貨と海外通貨を換算するときは、数字を入力したあと、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**換算**」選択➡◉➡「**国内通貨に換算**」／「**海外通貨に換算**」選択➡◉

- あらかじめ設定している換算レートに従って換算されます。

補足▶
- 計算中に着信があったときは、入力した数値や計算結果は一時的に記憶（保護）されています。通話などを終わると、電卓の画面に戻ります。
- メモリ計算は、メモリ内容を消去してから始めてください。
- メモリに記憶した数値は、電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

ボイスレコーダー

本機のマイクを利用して、音声を録音します。

●録音できる内容と録音した音声の保存先は、次のとおりです。

	内容	保存先
メール添付	1件につき、最長約3分録音できます。録音した音声は、メールに添付して送信できます。	本機またはメモリカード※1
長時間録音	最長99時間59分59秒録音できます。	メモリカード※2

※1 あらかじめ保存先を設定できます。（保存時に選択するように設定することもできます。保存時に選択するように設定したときは、必ずメモリカードを取り付けておいてください。）

※2 必ずメモリカードを取り付けておいてください。

●お買い上げ時には、「**メール添付**」に設定されています。

音声録音時のご注意

●ご利用の前に、電池残量をご確認ください。電池残量が不足しているときは録音できません。（ボイスレコーダーは起動できません。）
また、長時間録音で録音中に電池残量が不足すると、録音は中止されます。

●通話中の音声は録音できません。

●外部マイクとして利用できないプラグなどを接続すると、正しく録音できないことがあります。

音声を録音する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール2（◎）

1 「ボイスレコーダー」を選び、◉を押す。

■ 録音時間の変更：✉（**メニュー**）➡「**録音時間**」選択➡◉➡「**メール添付**」／「**長時間録音**」選択➡◉

■ 保存先の変更：☞P.12-17

2 ◉を押す。

録音が始まります。

3 ***「メール添付」で録音する***

❶ 録音を止めるときは、◉を押す。

●録音可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ 音声の再生：「**再生**」選択➡◉

▪ 再生の一時停止：再生中に◉

▪ 再生を終了：CLEAR/BACK

■ 録音のやり直し：CLEAR/BACK➡操作2からやり直す

■ 音声をメールに添付して送信：「**メール送信**」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-7操作3以降）

▪ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡◉

❷ 保存するときは、「保存」を選び、◉を押す。

録音した音声が本機またはメモリカードに保存されます。

■ 保存先選択画面表示時：保存先選択➡◉

「長時間録音」で録音する

❶ 録音を止めるときは、◉を押す。

録音した音声がメモリカードに保存されます。

注意▶
- 録音中は、本機に衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
- メモリカードに音声ファイルが大量に保存されているときは、録音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

補足▶
- 録音中にアラーム時刻になってもアラームは動作しません。このときは、録音終了後、待受画面に戻ると、アラームが動作します。
- メール作成画面からボイスレコーダーを起動して録音したり、録音した音声をメールに添付して送信できます。（☞P.14-10）

音声を再生する

- 再生音は、本機のスピーカーから聞こえます。
- イヤホンマイクなどを利用して聞くこともできます。

メニュー▶ ツール ➡ ツール2（◎）➡ ボイスレコーダー

1 **✉（メニュー）を押す。**

2 **「着うた・メロディ」を選び、◉を押す。**

■本体／メモリカードの切替：✉（メニュー）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

3 **音声を選び、◉を押す。**

再生が始まります。

■音量の調節：◎（上げる）／◎（下げる）

音声を削除する

■左記操作2のあと、次の操作を行います。

音声選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」**選択**➡◉➡「**はい**」**選択**➡◉

再生中に電話／メールなどの着信があると

■電話着信があったときや、アラームの設定時刻になったときは、再生は停止します。

■メール着信があったときは、再生は継続したまま、メールが届いたことをお知らせします。

音声録音に関する設定

保存先設定	「**メール添付**」で録音するときの音声の保存先を設定します。

お買い上げ時 本体

メニュー▶ ツール ➡ ツール2（◎）➡ ボイスレコーダー

✉（メニュー）➡「**保存先設定**」**選択**➡◉➡「**本体**」／「**メモリカード**」／「**毎回確認**」**選択**➡◉

- 「**毎回確認**」を選ぶと、保存のたびに保存先の選択画面が表示されるようになります。

ドキュメントビューア

データフォルダ内やインターネット上のドキュメントファイル、メール添付、Bluetooth®、赤外線通信で受信したドキュメントファイルを閲覧できます。

- 表示できるファイルの種類は以下のとおりです。
  - ■PDFデータ（.pdf） ■Microsoft® Excel®（.xls）
  - ■Microsoft® Word（.doc）■Microsoft® PowerPoint®(.ppt)
- ファイルによっては、表示されるまで時間がかかったり、正しく表示できないことがあります。
  （複雑なデザインなどを含むファイル、ファイル名に特殊な文字が含まれるファイル、表示するためにパスワードの入力が必要なファイル、日本語／英語以外の言語を含むファイルなど）
- 閲覧するファイルは、あらかじめメモリカードの次のフォルダに保存してください。
  - ■PRIVATE/MYFOLDER/My Items/OTHER DOCUMENTS
- 閲覧可能な最大ファイルサイズは1Mバイトです。
  （ただし、1Mバイト以下のファイルでも内容により表示できないことがあります。）

データフォルダ内のファイルを見る

メニュー ▶ ツール ➡ ツール2（◎） ➡ ドキュメントビューア

1 ファイルを選び、◉を押す。

インターネット上のファイルを見る

- P.15-2のインターネットの情報画面で操作します。

1 インターネットの情報画面でファイルを選び、◉を押す。

補足▶ Yahoo!ケータイからは最大300Kバイト、PCサイトブラウザからは最大500Kバイトのファイルをダウンロードして閲覧できます。

メールに添付されたファイルを見る

- P.14-4の受信メール確認画面で操作します。

1 ファイルの添付されたメールを選び、◉を押す。

2 ファイルを選び、◉を押す。

ファイル表示中の操作方法

キー	操作	説明
◉	全体表示	ファイル全体を表示します。
Y!	縦横表示切替	反時計回りに90°回転します。（もう一度押すと、元に戻ります。）
◎(上)	上表示	上にスクロールします。
◎(下)	下表示	下にスクロールします。
◎(左)	左表示	左にスクロールします。
◎(右)	右表示	右にスクロールします。
1	左上表示	ファイルの左上端部分を表示します。
2	全画面表示	ファイルを画面いっぱいに表示します。
3	右上表示	ファイルの右上端部分を表示します。
4	縮小	ファイルの表示を縮小します。
5	中央表示	ファイルの中央部分を表示します。
6	拡大	ファイルの表示を拡大します。
7	左下表示	ファイルの左下端部分を表示します。
8	指定ページ移動	入力したページに移動します。 ■ページ数入力➡◉
9	右下表示	ファイルの右下端部分を表示します。
0	ヘルプ	ヘルプ画面を表示します。
#	ページ送り	1ページ進みます。
*	ページ戻し	1ページ戻します。
⤾	フィット表示	画面の横幅に合わせてファイルを表示します。

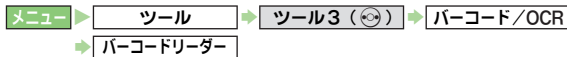
バーコード読み取り

印刷されたバーコードをカメラで撮影して読み取ったり、インターネットなどで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。

- バーコード(JANコード)またはQRコードを自動的に判別し、読み取ることができます。
- バーコード(JANコード)は最大50回まで、QRコードは最大16回まで連続して読み取ることができます。(連続モード)ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取れないことがあります。
- ズームは利用できません。

注意▶
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部や本機の影がバーコードにかかっているときは、読み取れないことがあります。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。

補足▶
- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。JANコード以外の一次元バーコード(ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など)は、読み取ることができません。
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3(◎) ➡ バーコード/OCR ➡ バーコードリーダー

1 読み取るバーコードを画面中央に表示する。

- 接写スイッチを接写モード「🌷」に切り替えてください。
- 被写体とは、約10cm離してください。

■ 明るさの調整:◎(明るさ選択)
■ 連続モードの設定:✉(**メニュー**)➡「**連続読み取り**」選択➡◉➡「On」/「Off」選択➡◉
■ 操作ガイドの表示:0
 ■ 確認の終了:上記操作のあと◉

2 ◉を押す。

バーコードの読み取りが始まります。

- 読み取りにくいときは、本機をゆっくりと動かして被写体との距離を変えてください。

■ 読み取りの中止:Y!(**キャンセル**)➡操作1からやり直す

3 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作:☞P.12-20〜P.12-22
■ 読み取りのやり直し:読み取り結果表示中にCLEAR/BACK➡「**はい**」選択➡◉➡操作1からやり直す

12 ツール

連続モードでの読み取り後の操作

■読み取りが終了すると、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 連続して読み取るとき
  「**はい**」選択➡◉➡**次のバーコードを画面中央に表示**➡◉
- 読み取りを終了するとき
  「**いいえ**」選択➡◉➡**読み取り結果表示**

分割されているバーコード読み取り後の操作

■読み取りが終了すると、次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 読み取るとき
  「**はい**」選択➡◉➡**次のバーコードを画面中央に表示**➡◉
- 読み取りを中止するとき
  「**いいえ**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

■分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示／保存できません。
■読み取り中は、分割されている個数と、読み取り済の個数が画面1行目に表示されます。（例：[icon]…4分割の1個目）

■読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2選択➡◉➡電話番号入力画面➡[icon]
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレス選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-8操作5以降）
メール本文に貼り付ける	[icon]（**メニュー**）➡「**メール本文へ貼付**」選択➡◉➡◉➡「S! メール」／「SMS」選択※4➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-6操作3以降、P.14-7操作3以降） 読み取り結果の一部を利用する：貼り付け文字列表示中に[icon]（**切取**）➡切り出す最初の文字選択➡◉➡切り出す最後の文字選択➡◉
アドレス帳に登録する※1※3	「TEL:」の付いている番号※2／「@」の含まれているE-mailアドレス選択➡[icon]（**メニュー**）➡「**アドレス帳登録**」選択➡◉➡「**新規登録**」選択➡◉➡P.4-4操作2以降
インターネットに接続する※5	先頭に「http://」、「rtsp://」の付いているURL選択➡◉➡情報画面表示
データフォルダに保存する（画像／メロディ）	画像／メロディ選択➡[icon]（**メニュー**）➡「**保存**」選択➡◉
登録する	[icon]（**メニュー**）➡「**読み取りデータ登録**」選択➡◉ 最大10件まで登録できます。 登録したデータは、「**読み取りデータ確認**」（☞P.12-22）で確認できます。
画面ピクチャーに登録する	画像選択➡[icon]（**メニュー**）➡「**画面ピクチャー登録**」選択➡◉➡表示場面選択➡◉➡◉

12 ツール

コピーする	文字	✉（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡コピーする最初の文字選択➡◉➡コピーする最後の文字選択➡◉
	URL※5	先頭に「http://」、「rtsp://」の付いているURL選択➡✉（メニュー）➡「URLコピー」選択➡◉
	E-mailアドレス※3	「@」の含まれているE-mailアドレス選択➡✉（メニュー）➡「アドレスコピー」選択➡◉
	電話番号※1	「TEL：」の付いている番号選択※2➡✉（メニュー）➡「電話番号コピー」選択➡◉
壁紙に登録する		画像選択➡✉（メニュー）➡「壁紙登録」選択➡◉➡◉ ■ ディスプレイサイズ以外の画像選択時：「センタリング」／「全画面表示」／「画像全体表示」選択➡◉➡◉（ディスプレイサイズの画像選択時／「センタリング」選択時は、画像を◎で拡大／縮小、✉で回転できます。）
画像／メロディを表示／再生する		画像／メロディ選択➡◉
ファイルの詳細情報を表示する		画像／メロディ選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

※1 含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2 0から始まる10ケタ以上32ケタ以下の数字の文字列についても、「TEL:」と同様の扱いとなります。
※3 含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4 貼り付ける文字数が「SMS」送信最大文字数を超えたときは、自動的に「S!メール」作成画面になります。
※5 含まれている文字が「http://¥」、「rtsp://¥」のときに利用できます。
●「¥」は英数字1文字以上を示します。

注意▶ 先頭に「TEL:」の付いている電話番号（0から始まる10ケタ以上32ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているE-mailアドレス、先頭に「http://」や「rtsp://」の付いているURLがないときは、それらを利用した各操作は行えません。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれているとき

■アドレス帳（「MEMORY:」）やメール（「MAILTO:」）用の項目と内容が表示されます。
- このあと◉を押すと、表示されている内容をアドレス帳登録画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインが付きます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降は破線のアンダーラインは付きません。）

文字入力中の読み取り 文字入力中にバーコードを読み取り、読み取り結果をカーソル位置に挿入します。

文字入力画面で✉（メニュー）➡「読み取り」選択➡◉➡「バーコード読み取り」選択➡◉➡バーコードを画面中央に表示➡◉➡◉

■ 読み取り結果の一部を利用する：読み取り結果表示中に✉（切取）➡切り出す最初の文字選択➡◉➡切り出す最後の文字選択➡◉

注意▶ 次のときは、文字入力中のバーコード読み取り／文字読み取りはできません。
■ 通話中　■ S!アプリ起動中

バーコードファイルの読み取り データフォルダ内のバーコードファイルを直接読み取ります。

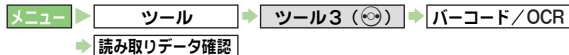
メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎） ➡ バーコード／OCR ➡ データフォルダ

バーコードファイル選択➡◉

■ 分割バーコード読み取り時：「はい」選択➡◉
■ 読み取り中止：「いいえ」選択➡◉➡「はい」選択➡◉
■ 自動読み取り失敗時：◉➡次のバーコードファイル選択➡◉

注意▶
- サイズを変更したバーコードは、読み取れないことがあります。
- バーコードの種類によっては、確認メッセージが表示され、読み取れないことがあります。

読み取りデータ確認 登録した読み取り結果（読み取りデータ）を確認します。

メニュー▶ツール➡ツール3（◎）➡バーコード／OCR
➡読み取りデータ確認

読み取りデータ選択➡◉

■読み取りデータの情報確認：読み取りデータ選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉
■確認の終了：上記操作のあと◉
■読み取りデータの削除：読み取りデータ選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

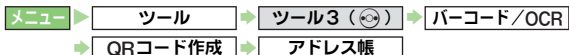
- 表示した読み取り結果を、再び登録することはできません。
- 表示サイズが大きすぎると表示されません。また、ファイルによっては表示できないことがあります。

QRコード作成

本機のアドレス帳、入力したテキスト、データフォルダ内のメロディ／画像／テキストメモを利用して、QRコードを作成できます。

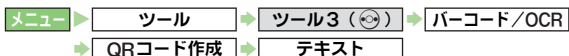
- 1つのQRコードに登録できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは513文字、英数字を入力したときは311文字、漢字だけを入力したときは131文字となります。
- 情報量が多いときは、自動的に分割QRコードが表示されます。（16分割まで）
- 作成したQRコードは、本機のデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。登録後は、データフォルダの操作で確認できます。（☞P.8-5）

アドレス帳のQRコード作成 登録済のアドレス帳を利用して、QRコードを作成します。

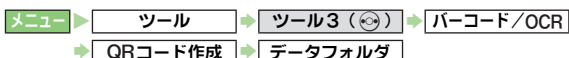
メニュー▶ツール➡ツール3（◎）➡バーコード／OCR
➡QRコード作成➡アドレス帳

アドレス帳選択➡◉➡作成されたQRコード表示➡◉

- QRコードには、姓、名、ヨミ、電話番号、E-mailアドレス、住所、メモが含まれます。その他の項目は含まれません。

テキストのQRコード作成 テキストを入力して、QRコードを作成します。

メニュー▶ツール➡ツール3（◎）➡バーコード／OCR
➡QRコード作成➡テキスト

テキスト入力➡◉➡作成されたQRコード表示➡◉

その他のQRコード作成 データフォルダ内のメロディ／画像／テキストメモを利用して、QRコードを作成します。

メニュー▶ツール➡ツール3（◎）➡バーコード／OCR
➡QRコード作成➡データフォルダ

フォルダ選択➡◉➡ファイル選択➡◉➡作成されたQRコード表示➡◉

登録先を変更する

■作成されたQRコードの表示中に、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「登録先変更」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉

S!メールに添付して送信する

■作成されたQRコードの表示中に、次の操作を行います。
✉（メニュー）➡「メール添付」選択➡◉➡P.14-7操作3以降

12 ツール

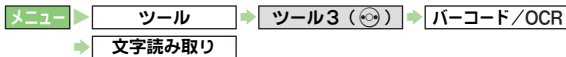
QRコード作成中に着信があると

■作成中の内容は保存されています。通話終了後、QRコード作成画面に戻ります。

文字読み取り

URL、E-mailアドレス、電話番号、英語名などをカメラで撮影し、読み取ります。また、読み取ったあとに、種類に応じた操作も行えます。

- 最大256文字まで、連続して読み取ることができます。
- 一度に読み取り可能な文字数は最大半角60文字、行数は3行までです。ただし、35文字を超えると、読み取りにくいことがあります。
- 一部記号など、読み取れないことがあります。
- 文字読み取りの起動時には、反転モードは「**自動**」に設定されています。白抜きの文字など、うまく読み取れないときは、反転モードを切り替えてください。
- ズームは利用できません。

注意▶
- 音楽再生中は、文字読み取りはできません。文字読み取りを起動すると、終了確認画面が表示されますので、「**はい**」を選び◉を押し、機能を終了させてください。
- S!アプリ起動中は、文字読み取りは起動できません。

1 読み取る文字を、画面中央に表示する。

- 画面内の［ ］枠中央に入るように調整してください。
  ［ ］の端の文字は読み取りにくいことがあります。
- 文字のサイズに応じて、接写スイッチを通常モード⇔接写モードに切り替えてください。
- 被写体とは、約10cm離してください。

ピント調整バー
（色が濃くなるほどピントが合います）

■ 明るさの調整：⊙（明るさ選択）

■ 反転モードの設定：✉（**メニュー**）➡「**反転モード切替**」選択➡◉➡「**自動**」／「**通常文字**」／「**反転文字**」選択➡◉

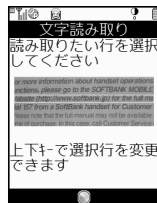
■ 操作ガイドの表示：0

2 ◉を押す。

文字の読み取りが始まります。

■ 読み取りの中止：CLEAR/BACK➡操作1からやり直す

3 ⊙で読み取る行を指定し、◉を押す。

- 文字の読み取りは、1行単位で行います。

4 読み取りが終了すると、読み取り結果が表示される。

読み取った文字を自動的に判別し、URL、E-mailアドレス、電話番号、単語などで表示します。読み取ったあとでも、種類を変更し、再認識することができます。

- 読み取り可能文字数を超えたときは、文字数をカットしたあとの読み取りデータが表示されます。

■ 読み取りの種類変更：✉（**メニュー**）➡「**モード切替**」選択➡◉➡種類選択➡◉
（切り替えた種類により、読み取り結果や変換候補で表示される内容が変わります。）

■ 読み取り結果修正：✉（**メニュー**）➡「**候補選択（編集）**」選択➡◉➡修正する文字選択➡候補選択／文字修正

■ 読み取りのやり直し：CLEAR/BACK➡「**はい**」選択➡◉➡操作1からやり直す

5 ◉を押す。

- このあと、読み取り結果を利用した各操作が行えます。（☞P.12-20）

続けて文字を読み取るとき

■操作5のあと、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**続き読み取り**」／「**追加読み取り**」選択➡◉

- **続き読み取り**
改行をカットしたデータを、前回読み取った結果の末尾に追加します。（前に読み取ったものと同じ種類で読み取ります。）
- **追加読み取り**
改行も含むデータを、前回読み取った結果の次行に追加します。

■すでに256文字を読み取り済のときは、「**続き読み取り**」または「**追加読み取り**」はできません。

文字入力中の読み取り	文字入力中に文字を読み取り、入力中の本文のカーソル位置に読み取り結果を挿入します。

文字入力画面で✉（メニュー）➡「読み取り」選択➡◉➡「文字読み取り」選択➡◉➡文字を画面中央に表示➡◉➡読み込んだ文字選択➡◉➡◉

- 読み取りの種類を変更するときや、読み取り結果を修正するときは、左記操作4を参照してください。

ストップウォッチ

最長24時間（23時間59分59.9秒）まで、1／10秒単位で時間（タイム）を計測できます。

計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記録できます。

- 計測したタイムは、最新の4件までのラップタイムと合わせて、本機のテキストメモに登録できます。
- 電池残量が不足しているときは、計測できません。また、計測中に電池残量が不足すると、ストップウォッチは停止します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール2（◎）➡ ストップウォッチ

1 ◉を押す。

タイムの計測が始まります。

■ ラップタイムの記録：✉（LAP）

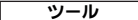
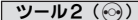
- ラップタイムは、最新の4件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

2 止めるときは、◉を押す。

■ テキストメモ登録：✉（**メニュー**）➡「**テキストメモに登録**」選択➡◉

- 登録後のタイムは、テキストメモの操作で確認します。（☞P.12-26）

■ 再開：◉

■ 計測タイムの消去：タイマー停止中に✉（**メニュー**）➡「**リセット**」選択➡◉

3 **終了するときは、CLEAR/BACK を押したあと、「はい」を選び、◉を押す。**

補足▶
- ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。消去したくないデータは、計測終了後、テキストメモに登録してください。
- 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。☎で通話終了後、計測中の画面に戻ります。
- ストップウォッチ動作中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、ストップウォッチ終了後、待受画面に戻ると、アラームが動作します。

キッチンタイマー

設定した時間が経過したことを、アラームとライトでお知らせします。
- 最長60分まで、1秒単位で設定できます。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール２（◎）➡ キッチンタイマー

1 **セットする時間（00分01秒～60分00秒）を入力し、◉を押す。**
- 入力を間違えたときは、◎でカーソルを移動し、入力し直してください。◉を押したあとは、下記の「**時間の変更**」の操作を行います。
- 60分（60：00）以上の数字を入力したときは、タイマー起動時の入力画面に戻ります。

■ 時間の変更：✉（**編集**）➡時間入力➡◉

2 **◉を押す。**

タイマーのカウントダウンが始まります。

3 **止めるときは、◉を押す。**

■ 再開：◉
■ タイマーのリセット：タイマー停止中に✉（**リセット**）

4 **終了するときは、CLEAR/BACK を押したあと、「はい」を選び、◉を押す。**

設定時間になったときの動作

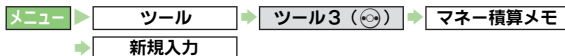
■「**効果音／サウンド再生**」の音量設定に従ってお知らせします。
- アラームを止めるときは、Y!（**キャンセル**）を押します。約60秒間そのままにしておいても止まります。
- マナーモード設定中は、マナーモード設定に従ってお知らせします。
- 着信中や通話中にタイマー設定時間が経過したときは、通話終了後☎を押すと、時間経過のお知らせが表示されます。

補足▶
- キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。☎で通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
- キッチンタイマー動作中にアラーム時刻になっても、アラームは動作しません。このときは、キッチンタイマー終了後、待受画面に戻ると、アラームが動作します。

マネー積算メモ

順次入力した金額の合計を自動的に計算します。出張時の経費の計算などに便利です。
- マネー積算メモは、最大30件まで入力できます。
（合計金額は最大29,999,999.70円まで、1回の入力は最大999,999.99円まで）

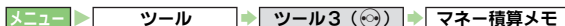
マネー積算メモ入力	ダイヤルボタンで金額を入力し、明細名を付けて登録します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎）➡ マネー積算メモ ➡ 新規入力

金額入力➡◉➡明細名選択➡◉

■ マネー積算メモを簡単に入力する：待受画面で金額入力➡◎➡◉➡明細名選択➡◉

- 操作した日時／明細名／金額が登録されます。
- 日付／時刻を設定していないときは、日時には「--/--/-- --:--」などが登録されます。

メモ確認	入力したマネー積算メモを確認します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎）➡ マネー積算メモ

「メモ確認」選択➡◉

■ 他の金額を確認：◎

■ 入力したマネー積算メモの明細名を変更：明細選択➡◉➡明細名選択➡◉

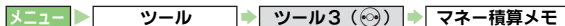
▪ 明細名の変更：明細名選択時に「**その他**」選択➡◉➡明細名入力（最大14文字）➡◉（この操作で明細名を変更しても、あらかじめ登録されている明細名は変更されません。）

■ 金額の変更：明細選択➡✉（**メニュー**）➡「**金額変更**」選択➡◉➡金額入力➡◉

■ 明細の1件削除：明細選択➡✉（**メニュー**）➡「**1件削除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

■ 明細の全件削除：✉（**メニュー**）➡「**全件削除**」選択➡◉➡操作用暗証番号入力（4ケタ）➡◉➡「**はい**」選択➡◉

明細変更	あらかじめ登録されている明細名を変更します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎）➡ マネー積算メモ

「明細変更」選択➡◉➡明細名選択➡◉➡明細名入力➡◉

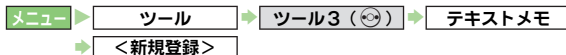
- 最大14文字まで入力できます。

テキストメモの利用

よく使う文章を登録し、メールの本文入力などで利用できます。

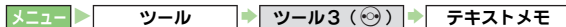
- 1件につき最大1536文字、最大60件まで登録できます。

テキストメモに文章を登録する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎）➡ テキストメモ ➡ <新規登録>

1 本文を入力し、◉を押す。

補足▶ 登録したテキストメモを文字入力画面に挿入するときは、「**テキストメモを利用する**」（☞P.3-15）を参照してください。

テキストメモを確認する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎）➡ テキストメモ

1 確認するテキストメモを選び、◉を押す。

■ 確認の終了：CLEAR/BACK

テキストメモを修正する

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎）➡ テキストメモ

1 **修正するテキストメモを選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「編集」を選び、◉を押す。**

3 **内容を修正し、◉を押す。**

上書き保存されます。

テキストメモを削除する

登録したテキストメモを1件ずつ削除します。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎）➡ テキストメモ ➡ テキストメモを選ぶ ➡ メニュー（✉）➡ 削除

1 **「はい」を選び、◉を押す。**

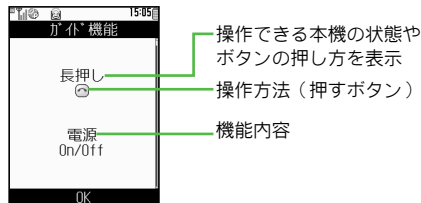
ガイド機能

本機の基本的な操作方法を確認することができます。

● ガイド機能では、誤動作防止など、おもに直接ボタンで操作する（メニューに表示されない）機能が表示されます。

メニュー ▶ ツール ➡ ツール3（◎）

1 **「ガイド機能」を選び、◉を押す。**

ガイド機能画面が表示されます。

2 **◎を押す。**

別の機能の操作説明が表示されます。

● #／＊を押しても、別の機能の操作説明が表示されます。

3 **確認を終了するときは、◉を押す。**

12 ツール

オプションサービス

オプションサービスの概要

本機では、次のオプションサービスを利用できます。
- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。
- サービス内容や一般電話からの操作などについて詳しくは、「**サービスガイド 3G**」を参照してください。

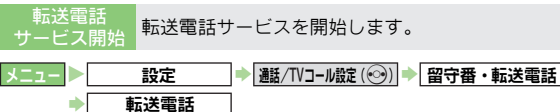
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。(☞右記)
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。(☞P.13-4) **■着信お知らせ機能** 電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話をインフォメーションでお知らせします。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけられます。また、相手を切り替えることもできます。(☞P.13-5)
多者通話サービス※	通話中に他の相手に電話をかけ、最大6人同時に通話できます。また、相手を切り替えながら交互に通話できます。(☞P.13-6)
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを状況に合わせて制限できます。(☞P.13-7)
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にすることができます。(☞P.13-10)

※別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。ただし、転送電話サービスの「**TVコール**」と留守番電話サービスは、同時に利用できます。
- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスおよび留守番電話サービスはご利用になれません。(発着信規制サービスが優先されます。)

転送電話サービス開始	転送電話サービスを開始します。

メニュー ➡ 設定 ➡ 通話/TVコール設定 (◎) ➡ 留守番・転送電話
➡ 転送電話

転送先の電話番号を入力する

通話の種類選択➡◉➡「呼出なし」/「呼出あり」選択➡◉➡「電話番号入力」選択➡◉➡転送先電話番号入力➡◉

「**呼出あり**」選択時：上記操作のあと、呼出時間選択➡◉

- 一般電話へ転送するときは、電話番号を市外局番から入力してください。

アドレス帳の電話番号を利用する

通話の種類選択➡◉➡「呼出なし」/「呼出あり」選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉➡◉

電話番号が複数登録されているアドレス帳選択時：アドレス帳選択画面でアドレス帳選択➡◉➡電話番号選択➡◉➡◉

「**呼出あり**」選択時：上記操作のあと、呼出時間選択➡◉

転送先の履歴番号を利用する

通話の種類選択➡◉➡「呼出なし」/「呼出あり」選択➡◉➡履歴番号選択➡◉➡◉

「**呼出あり**」選択時：上記操作のあと、呼出時間選択➡◉

転送電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間に[通話キー]を押すと、そのまま通話できます。
- 「**呼出なし**」で転送電話サービスを開始しているときは、着信音は鳴らず、転送先に転送されます。

注意▶ **転送先として登録できない電話番号**
- 「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「00」から始まる電話番号（例：001、0041から始まる国際電話番号など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

TVコールを転送するとき
3G-324Mに準拠したTVコール対応機を転送先に設定してください。転送先が、3G-324Mに準拠したTVコール対応機以外のときは、TVコールは転送されません。

補足▶ 転送電話サービスを本機の簡易留守録（☞P.2-9）と合わせてご利用になるときは、呼出時間の設定により、優先順位が変わります。
例：転送電話サービスの呼出時間…10秒
簡易留守録の呼出時間………… 9秒
と設定すると、簡易留守録が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）

転送電話サービス停止 転送電話サービスを停止します。

メニュー▶設定➡通話/TVコール設定（◎）➡留守番・転送電話
「**留守番・転送停止**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉
- 確認メッセージが表示されます。
- 留守番電話サービスも停止します。

転送電話サービス設定確認 転送電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー▶設定➡通話/TVコール設定（◎）➡留守番・転送電話
「**設定確認**」選択➡◉
- 設定確認画面が表示されます。
  - 確認の終了：上記操作のあと◉

留守番電話サービス

- 留守番電話センターへの転送は、転送電話サービスを利用します。そのため、留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。ただし、転送電話サービスの「**TVコール**」と留守番電話サービスは、同時に利用できます。
- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスおよび留守番電話サービスはご利用になれません。(発着信規制サービスが優先されます。)
- 留守番電話サービスで利用できる機能などについて詳しくは、「**サービスガイド 3G**」を参照してください。
- 電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話を、インフォメーションでお知らせすることもできます。(着信お知らせ機能:☞P.13-5)

留守番電話サービス開始 留守番電話サービスを開始します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定 (◎) ➡ 留守番・転送電話 ➡ 留守番電話 ➡ 設定

「**呼出なし**」/「**呼出あり**」選択➡◉

■「**呼出あり**」選択時:上記操作のあと、呼出時間選択➡◉

- 確認メッセージが表示されます。

留守番電話サービス開始後に着信があると

■着信音が鳴っている間に☐を押すと、そのまま通話できます。

- 「**呼出なし**」で留守番電話サービスを開始しているときは、着信音は鳴らず、留守番電話センターに転送されます。

補足▶ 留守番電話サービスを本機の簡易留守録(☞P.2-9)と合わせてご利用になるときは、呼出時間の設定により、優先順位が変わります。

例:留守番電話サービスの呼出時間…10秒
簡易留守録の呼出時間…………… 9秒

と設定すると、簡易留守録が優先されます。(ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。)

留守番電話サービス停止 留守番電話サービスを停止します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定 (◎) ➡ 留守番・転送電話

「**留守番・転送停止**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

- 確認メッセージが表示されます。
- 転送電話サービスも停止します。

伝言メッセージ再生 留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

メニュー ▶ 電話機能

「**留守電サービス再生**」選択➡◉

- 留守番電話センターに接続されます。以降は、アナウンスに従って操作します。
- 待受画面で次の操作を行っても、伝言メッセージを再生できます。
  ■ ◉➡「**設定**」選択➡◉➡◎(「**通話/TVコール設定**」選択)➡「**留守番・転送電話**」選択➡◉➡「**留守番電話**」選択➡◉➡「**留守電サービス再生**」選択➡◉

補足▶
- 留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、「📼」が表示されます。
- 「📼」は本機から伝言メッセージを聞いたときに消えます。

留守番電話サービス設定確認	留守番電話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◉）➡ 留守番・転送電話

「設定確認」選択➡◉

- 設定確認画面が表示されます。

  確認の終了：上記操作のあと◉

着信お知らせ機能を利用する

着信お知らせ機能を「On」にすると、電源を切っているときや圏外時にかかってきた電話をインフォメーションでお知らせします。

- 留守番電話サービスを開始しているときだけ、利用できます。

着信お知らせ機能設定／解除	着信お知らせ機能を設定／解除します。

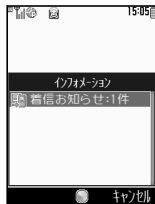
メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◉）

「着信お知らせ機能」選択➡◉➡◉

- ネットワークに接続されます。以降は、アナウンスに従って操作してください。

着信お知らせ機能設定中に着信があると

■電源を切っているときや圏外時には、着信があったことをセンターで記憶します。電源を入れたり圏内に入ると、インフォメーション（☞P.2-7）で着信があったことをお知らせします。

- インフォメーションが表示されるまでに、時間がかかることがあります。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

割込通話サービス設定／解除	割込通話サービスを設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◉）➡ 割込通話

「On」（設定）／「Off」（解除）選択➡◉

- 設定確認メッセージが表示されます。

割込通話着信	通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら[切替]

- 以降[切替]（切替）を押すたびに、通話する相手を切り替えられます。

割込通話中に本機を閉じると

■すべての通話が切れます。

割込通話中に[終話]を押すと

■通話中の相手との通話が切れ、保留中の相手との通話を開始します。

割込通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ります。次の操作を行うと、保留中の相手と通話できます。

[メール]（メニュー）➡「通話再開」選択➡◉

補足▶
- 割込通話サービスの利用中は、通話中に着信があっても、着信音は鳴らず、バイブレータも動作しません。専用の割り込み音が聞こえます。
- 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始している場合に、通話中にかかってきた電話を受けなかったときは、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスを「**呼出なし**」で開始しているときは、かかってきた電話は受けられません。（留守番電話センターまたは転送先に転送されます。）

割込通話サービス設定確認　割込通話サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 割込通話

「**設定確認**」選択➡◉
- 設定確認画面が表示されます。
  - 確認の終了：上記操作のあと◉

多者通話サービス

別途お申し込みが必要です。

通話中発信　通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号入力➡

- 相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。
- アドレス帳（◎）、発着信履歴（長押し）を使ってかけることもできます。

切替通話　相手を切り替えながら通話します。

通話中に

- それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

切替通話中に本機を閉じると

■すべての通話が切れます。

切替通話中にを押すと

■通話中の相手との通話が切れ、保留中の相手との通話を開始します。

切替通話中に通話中の相手が電話を切ると

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴ります。次の操作を行うと、保留中の相手と通話できます。

（**メニュー**）➡「**通話再開**」選択➡◉

多者通話　複数で同時に通話できます。（最大６人）

切替通話中に（メニュー）➡「多者通話」選択➡◉➡「すべてと通話」選択➡◉

- 多者通話中に１人だけと通話する：相手の電話番号／名前選択➡◉➡「**特定の相手と通話**」選択➡◉
  - ■選択した相手だけの通話となり、残された相手は保留になります。
- 特定の相手との通話後／通話相手を増やしたあとで全員と多者通話する：（**メニュー**）➡「**多者通話**」選択➡◉➡「**すべてと通話**」選択➡◉

多者通話中にを押すか本機を閉じると

■すべての通話が同時に切れます。

多者通話中に通話中の相手が電話を切ると

■残された相手と通話できます。

発着信規制サービス

電話の発着信やSMSの送受信を規制します。

●設定できる規制内容は、次のとおりです。

発信規制	**全発信規制**	緊急通話を除くすべての電話をかけられないようにします。
	国際発信全規制※1	滞在国以外への電話をかけられないようにします。
	国際発信規制※2	滞在国と日本以外への国際電話をかけられないようにします。
着信規制	**全着信規制**	すべての電話を受けられないようにします。
	国際着信規制	日本以外で電話を受けられないようにします。

※1 例：イギリス滞在中➡イギリス国内へだけ発信可能

※2 例：イギリス滞在中➡イギリス国内および日本国内へ発信可能

また、発信先や着信元を規制したり、電話番号非通知の着信を拒否することもできます。

着信拒否	**電話番号指定**	あらかじめ着信拒否に設定した相手からの電話を受けないようにします。
	アドレス帳以外	アドレス帳に登録していない番号からの電話を受けないようにします。
	非通知	電話番号非通知の電話を受けないようにします。
	公衆電話	公衆電話からの電話を受けないようにします。
	通知不可	通知不可番号からの電話を受けないようにします。

注意▶
- 発着信規制サービスの操作には、ご契約時にお決めいただいた「**発着信規制用暗証番号**」(☞P.1-27)が必要です。
- 発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。
  このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(☞P.21-28)までご連絡ください。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「**全発信規制**」および「**全着信規制**」はご利用になれません。(転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます。)

補足▶ 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発信規制を設定する

発信規制の設定／解除 発信規制を設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容ごとに設定／解除する

規制内容選択➡◉➡「On」（設定）／「Off」（解除）選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

- 確認メッセージが表示されます。

すべての発信規制を解除する

「全発信規制停止」選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

- 確認メッセージが表示されます。

補足▶ 発信規制設定中の「110」などの緊急電話発信については、P.2-3を参照してください。

発信規制の設定確認 発信規制の設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 発信規制

規制内容選択➡◉➡「設定確認」選択➡◉

- 設定確認画面が表示されます。
  - 確認の終了：上記操作のあと◉

着信規制を設定する

着信規制の設定／解除 着信規制を設定／解除します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 着信規制

規制内容ごとに設定／解除する

規制内容選択➡◉➡「On」（設定）／「Off」（解除）選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

- 確認メッセージが表示されます。

すべての着信規制を解除する

「全着信規制停止」選択➡◉➡発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

- 確認メッセージが表示されます。

着信規制の設定確認 着信規制の設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 着信規制

規制内容選択➡◉➡「設定確認」選択➡◉

- 設定確認画面が表示されます。
  - 確認の終了：上記操作のあと◉

着信を拒否する

着信拒否電話番号の登録　着信を拒否する電話番号を登録します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否 ➡ 電話番号指定 ➡ 拒否番号リスト

電話番号を登録する

登録場所選択➡◉➡電話番号入力➡◉

- アドレス帳を利用した登録：登録場所選択➡✉（メニュー）➡「アドレス帳参照」選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉
  - 電話番号が複数登録されているとき：上記操作のあと電話番号選択➡◉
  - アドレス帳に登録されている番号は、登録している相手の名前が表示されます。
- 通話履歴を利用した登録：登録場所選択➡✉（メニュー）➡「通話履歴参照」選択➡◉➡◎（履歴の種類選択）➡履歴選択➡◉

登録した電話番号を編集する

編集する電話番号選択➡◉➡電話番号編集➡◉

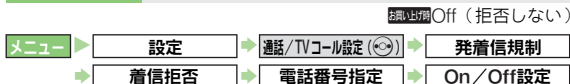
登録した電話番号を削除する

削除する電話番号選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

補足▶ 着信を拒否する電話番号を登録したあと、着信拒否On／Off設定を「On」にしてください。

着信拒否On／Off設定　あらかじめ登録した相手からの着信を拒否するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（拒否しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否 ➡ 電話番号指定 ➡ On／Off設定

「On」（拒否する）／「Off」（拒否しない）選択➡◉

アドレス帳以外着信拒否　アドレス帳に登録していない番号からの着信を拒否するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（拒否しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否 ➡ アドレス帳以外

「On」（拒否する）／「Off」（拒否しない）選択➡◉

非通知着信拒否　電話番号非通知の着信を拒否するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（拒否しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否 ➡ 非通知

「On」（拒否する）／「Off」（拒否しない）選択➡◉

公衆電話着信拒否　公衆電話からの着信を拒否するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（拒否しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否 ➡ 公衆電話

「On」（拒否する）／「Off」（拒否しない）選択➡◉

通知不可着信拒否　発信者番号を通知できない相手からの着信を拒否するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off（拒否しない）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 着信拒否 ➡ 通知不可

「On」（拒否する）／「Off」（拒否しない）選択➡◉

発着信規制用暗証番号を変更する

発着信規制用暗証番号変更	発着信規制用暗証番号を変更します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発着信規制 ➡ 規制用暗証番号変更

現在の発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡新しい発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡もう一度新しい発着信規制用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知に設定することができます。

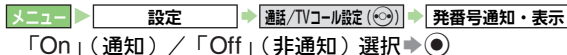
● ここでの設定にかかわらず、電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルすると、発信ごとに電話番号の通知／非通知を選べます。

通知	1 8 6 または * 3 1 #
非通知	1 8 4 または # 3 1 #

発信者番号通知／非通知設定	電話番号を相手に通知したり、非通知に設定します。

お買い上げ時 On（通知）

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発番号通知・表示

「On」（通知）／「Off」（非通知）選択➡◉

発信者番号通知サービス設定確認	発信者番号通知サービスの設定状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 通話/TVコール設定（◎）➡ 発番号通知・表示

「設定確認」選択➡◉

● 設定確認画面が表示されます。

確認の終了：上記操作のあと◉

メールについて

本機では、SMSとS!メールの2つのメッセージサービスが利用できます。

●S!メールではアレンジメール、フィーリングメールが作成できます。

SMS

ソフトバンク携帯電話どうしでご契約の電話番号を宛先として、短いメッセージを送信できます。

●最大20件まで同時に送信できます。

S!メール

ソフトバンク携帯電話やパソコン、E-mailに対応している携帯電話などとの間で、長いメッセージや画像、サウンド、vファイルなどを送受信できます。

●ソフトバンク携帯電話やパソコン、E-mailに対応している携帯電話などの宛先へ最大20件まで同時に送信できます。

アレンジメール

文字色、文字サイズ、背景色を変えたり、画像、BGMなどを挿入できます。(☞P.14-11)

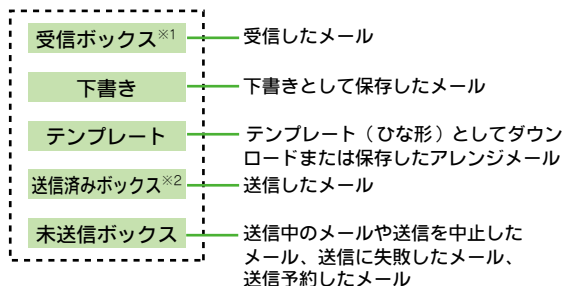
フィーリングメール

フィーリングメールの種類ごとにライト、バイブパターン、着信音を設定することによって受信したメールの種類がわかります。(☞P.14-15)

補足▶ ●S!メールの利用とE-mailの受信には、別途ご契約が必要です。

●メールの通信料など詳しくは、「**サービスガイド 3G**」を参照してください。

メールの管理方法について

本機で送受信したメールなどは、次のように管理されています。(メールフォルダ)

※1 受信ボックス表示設定(☞P.14-4)を「**フォルダ表示**」にしているときは、「**受信メール**」、「**振り分けフォルダ**」が表示されます。また、迷惑メール設定(☞P.14-35)を「On」にしているときは、「**迷惑メールフォルダ**」も表示されます。

※2 送信ボックス表示設定(☞P.14-4)を「**フォルダ表示**」にしているときは、「**送信メール**」、「**振り分けフォルダ**」が表示されます。

メールの自動削除設定について

■本機では、受信ボックス/送信済みボックスのメモリがいっぱいになると、古いメールから自動的に削除されるように設定されています。

●自動的に削除されないようにするためには、次の操作を行ってください。

▪自動削除設定を「Off」にする。(☞P.14-36)

▪メールを保護する。(☞P.14-28)

●受信ボックス/送信済みボックスのデータをメモリカードにバックアップすることもできます。(☞P.11-4)

メモリ使用状況を確認する

■メールフォルダのメモリの使用状況を確認するときは、次の操作を行います。

◉➡「メール」選択➡◉➡「メモリ容量確認」選択➡◉➡「受信ボックス」／「送信ボックス合計」／「送信済み」／「下書き」／「未送信」選択➡◉

■確認の終了：上記操作のあと◉

- 受信ボックスには、最大5Mバイトまたは1000件まで保存できます。また、送信済みボックス、下書き、未送信ボックスには、合計で最大3Mバイトまたは500件まで保存できます。
- メールフォルダのメモリ容量がわずかになると、それをお知らせするメッセージが表示されます。
- テンプレートのメモリ使用状況は、データフォルダのその他ファイルのメモリ使用状況（☞P.8-2）に反映されます。
- USIMカードに保存しているSMSの容量または件数は、表示されません。

メール画面の見かた

リスト画面

メールの受信画面で◉を押したときや、メールフォルダを選び◉を押したときは、次のようなリスト画面が表示されます。

1行 差出人+本文

メールの種類／状態

● **メールの状態**

✉	未読	✉	既読
✉	送信済	✉	送信失敗
✉	返信済	✉	転送済
✉	S!メール通知	✉	配信レポート未読
✉	送信予約		

※SMSのときは、封筒マークの右下に「SMS」が表示されます。（例：「✉」）

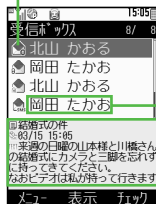
※送信予約は未送信ボックスに保存されます。

● **メールの設定など**

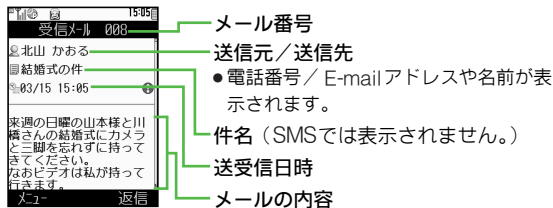
📎	添付あり	🔒	保護
❗	優先度（高）	⬇	優先度（低）
	USIMカード内SMS		

送信元／送信先

- 電話番号／E-mailアドレスや名前が表示されます。

メールの内容

補足▶
- リスト画面で次の操作を行うと、メールの順番を並べ替えることができます。
  ✉（メニュー）➡「表示設定」選択➡◉➡「並べ替え」選択➡◉➡並べ替え方法選択➡◉
- リスト画面の表示方法を変更することもできます。（☞右記）

メッセージ画面

リスト画面でメールを選び◉を押すと、次のようなメッセージ画面が表示されます。

補足▶
- バックライトが暗くなりメッセージが読みづらいときは、0～9を押すと、バックライトが点灯します。
- メッセージ画面で#を押すと前のメッセージを、*を押すと次のメッセージを確認できます。

メールの表示方法を設定する

リスト画面の表示方法を設定する

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定

1 「メールリスト表示切替」を選び、◉を押す。

2 「2行表示」、「1行 差出人＋本文」、「1行 件名＋本文」、「1行 差出人」、「1行 件名」のいずれかを選び、◉を押す。

- お買い上げ時には、「**1行 差出人＋本文**」に設定されています。

補足▶
- リスト画面では、次の操作で設定できます。
  ✉（メニュー）➡「表示設定」選択➡◉➡左記操作1以降
- リスト画面で☞を押しても切り替えられます。

受信ボックス／送信済みボックスをフォルダ表示にする

受信ボックス／送信済みボックス内にフォルダを表示して、メールを相手や内容などによって分類したり、自動的に振り分けることができます。（☞P.14-31）

- お買い上げ時には、どちらも「**一覧表示**」（フォルダ表示しない）に設定されています。

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定

1 「受信ボックス表示設定」または「送信ボックス表示設定」を選び、◉を押す。

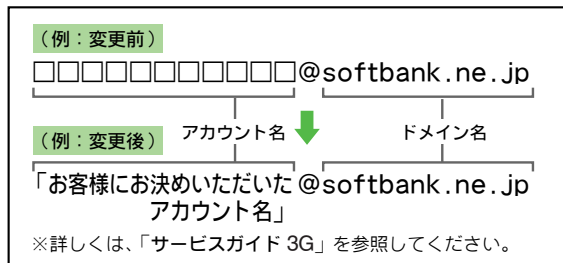
■ シークレット設定したフォルダがあるとき：操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉

2 「フォルダ表示」を選び、◉を押す。

■ 一覧表示にする：「**一覧表示**」選択➡◉

注意▶ 一覧表示に戻すと、シークレット設定したフォルダに保存されていたメールも表示されます。

メールアドレスの変更・編集

メールアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。

- この操作は、インターネットを利用します。
- あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-20）
- 迷惑メール防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。
- ご契約時には、ランダムな英数字が設定されています。

メニュー ▶ メール ▶ 設定

1 「メール・アドレス設定」を選び、◉を押す。

インターネットに接続します。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

補足▶ Yahoo! ケータイの「My SoftBank」（設定・申込）でもメールアドレスの変更、編集が行えます。

メール送信

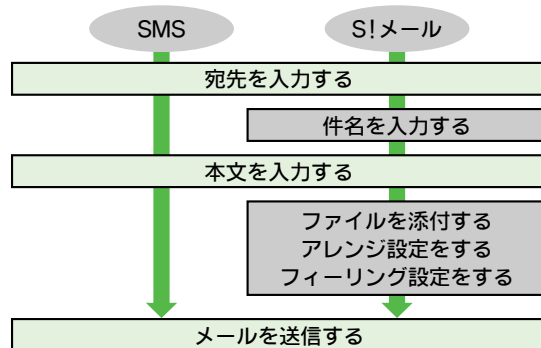
- あらかじめメールグループを登録しておくと、グループに設定した複数の宛先に、同じメールを一括で送信できます。（☞P.4-12）
- よくメールを送信する相手は、簡単メール宛先に登録しておくと便利です。（☞P.14-33）
- マルチジョブ機能を利用すれば、他のメールを確認しながら、メールを作成できます。（☞P.1-26）

メールを作成する前に

SMSとS!メールでは、入力できる項目が異なります。

	宛先	件名	本文	添付
SMS	○※	×	○	×
S!メール	○	○	○	○

※E-mailアドレスは入力できません。

メール作成の流れ

送信可能文字数

送信可能文字数は、次のとおりです。

SMS	最大全角70文字(半角カタカナ70文字、半角英数字160文字)
S!メール	全角約15000文字(半角約30000文字)

- SMSでは文字コード設定(☞P.14-37)を「英語(160文字)」にしているときは、全角は入力できません。最大半角英数字160文字まで入力できます。
- S!メールは、添付ファイルと本文など、合わせて最大約300Kバイトまで送信できます。このため、添付ファイルのデータ量によって、本文に入力できる文字数は異なります。
- 送信するメールのおおよそのデータ容量は、メール作成画面(☞右記「SMS作成画面」/P.14-7「S!メール作成画面」)で確認できます。

SMSを作成/送信する

ここでは、SMSの新規作成から送信までを説明します。

1 **◉を押したあと、「メール」を選び、◉を押す。**

- 待受画面で✉を押しても、操作できます。

2 **「SMS新規作成」を選び、◉を押す。**

SMS作成画面が表示されます。

SMS作成画面

3 **宛先入力欄を選び、◉を押す。**

■ 宛先入力時にできること:☞P.14-9

4 **宛先を入力する。**

■ 宛先の入力方法:☞P.14-7操作4
 ■ SMS の宛先選択画面では「メールアドレス入力」は表示されません。

5 **本文入力欄を選び、◉を押したあと、メールの本文を入力する。**

◉の代わりにダイヤルボタンを押しても、本文入力画面を表示できます。

■ 文字の入力方法:☞P.3-5

6 **◉を押す。**

■ メール本文の修正:☞P.14-8操作8
■ メール本文の削除:☞P.14-8操作8
■ デルモジ表示の確認:☞P.14-8操作8
■ 送信オプションの設定:☞P.14-15
■ 送信予約:☞P.14-17
■ 作成したメールを下書きに保存:☞P.14-18

7 **Y!(送信)を押す。**

SMSが送信されます。

SMS作成中にS!メールに変換する

■SMS作成画面で、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**S!メールに変換**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

- SMS本文入力中に送信可能文字数を超えると、超過した文字も入力された状態で、S!メールに変換されます。
  - ■ S!メールに変換する：「**はい**」選択➡◉

S!メールを作成／送信する

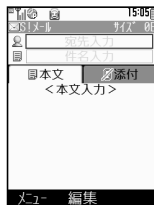
ここでは、S!メールの新規作成を例に、宛先入力から送信までを説明します。

1 **◉を押したあと、「メール」を選び、◉を押す。**

- 待受画面で✉を押しても、操作できます。

2 **「新規作成」を選び、◉を押す。**

S!メール作成画面が表示されます。

- 待受画面で✉を長く（1秒以上）押しても、S!メール作成画面を表示できます。

S!メール作成画面

3 **宛先入力欄を選び、◉を押す。**

宛先選択画面が表示されます。

■ 宛先入力時にできること：☞P.14-9

宛先選択
ｱﾄﾞﾚｽ帳
ﾒｰﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ選択
簡単ﾒｰﾙ宛先
電話番号入力
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ入力
木村 哲也
北山 かおる

宛先選択画面

4 ***アドレス帳から宛先を選択する***

1「アドレス帳」を選び、◉を押す。

2 送信先を選び、◉を押す。

■ アドレス帳の検索方法：☞P.4-8「**アドレス帳から電話をかける**」操作2～3

■ 宛先が複数登録されているアドレス帳選択時：ソフトバンク携帯電話の電話番号／E-mailアドレス選択➡◉

メールグループ（☞P.4-12）から宛先を選択する

1「メールグループ選択」を選び、◉を押す。

2 メールグループを選び、◉を押す。

■ 宛先の追加：宛先入力欄選択➡◉➡「**宛先追加**」選択➡◉➡操作4をくり返す

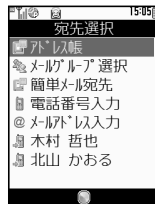
送信履歴から宛先を選択する

1 送信先を選び、◉を押す。

- 送信履歴は、マークのあとに名前や電話番号／E-mailアドレスが表示されているものです。

簡単メール宛先（☞P.14-33）から宛先を選択する

1「簡単メール宛先」を選び、◉を押す。

2 送信先を選び、◉を押す。

宛先を直接入力する

❶「電話番号入力」または「メールアドレス入力」を選び、◉を押す。

❷ソフトバンク携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを入力し、◉を押す。

5 件名入力欄を選び、◉を押す。

件名入力画面が表示されます。（◉の代わりにダイヤルボタンを押しても、件名入力画面を表示できます。）

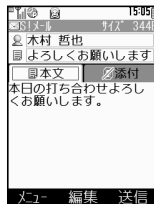
6 件名を入力し、◉を押す。

●最大全角256文字（半角512文字）まで入力できます。

7「本文」を選び、◉を押したあと、S!メールの本文を入力する。

- 文字の入力方法：☞P.3-5
  - ■マイ絵文字履歴リストからマイ絵文字を入力したときは、自動的にアレンジメール作成画面になります。（☞P.14-11）
- 他社送信用絵文字の入力：本文入力画面で✉（**メニュー**）➡「**他社送信用絵文字**」選択➡◉➡「**ドコモ対応**」／「**au対応**」／「**ソフトバンク対応**」／「**携帯3社共通**」選択➡◉➡絵文字選択➡◉
  - ■選択したモードによっては使えない絵文字もあります。
  - ■選択したモードは作成中のメールにだけ有効です。
  - ■モードを変更しても入力済みの絵文字には反映されません。
- アレンジメールの作成：☞P.14-11
- 署名の入力：本文入力画面で✉（**メニュー**）➡「**その他**」選択➡◉➡「**署名**」選択➡◉
  - ■自動挿入を「On」にしているときは、署名が自動的に挿入されます。（☞P.14-35）

8 ◉を押す。

- メール本文の修正：本文入力欄選択➡◉➡本文修正➡◉
- メール本文の削除：本文入力欄選択➡✉（**メニュー**）➡「**本文消去**」選択➡◉
- デルモジ表示の確認：本文入力欄選択➡✉（**メニュー**）➡「**デルモジ表示**」選択➡◉
  - ■受信側がデルモジ対応機のときの、受信側での表示状態を確認できます。
- 送信オプションの設定：☞P.14-15
- フィーリングメールの作成：☞P.14-15
- 送信予約：☞P.14-17
- 作成したメールを下書きに保存：☞P.14-18

9 ファイルの添付などを行う。

- ファイルの添付：☞P.14-10

10 Y!（送信）を押す。

メールが送信されます。

●送信中にクローズポジションにしても、送信は中止されません。

- 送信中のメールをキャンセル：Y!（**キャンセル**）
  - ■タイミングによっては、キャンセルできないことがあります。

メール作成中に着信があると

■作成中のメールは保護されています。通話などを終わると、作成を継続できます。

アドレス帳からメールを作成する

■アドレス帳を呼び出し、次の操作を行います。

- 電話番号のとき
  電話番号選択➡◉➡「メール作成」選択➡◉➡「S!メール」／「SMS」選択➡◉➡メール作成（☞P.14-8操作5以降、P.14-6操作5以降）
- E-mailアドレスのとき
  E-mailアドレス選択➡◉➡S!メール作成（☞P.14-8操作5以降）

相手が電源を切っていたり、電波の届かない所にいると

■サーバーメールボックスにメールが保管され、送信が終了するか、有効期限までくり返し配信します。（リトライ機能）

- 設定された有効期限内に相手が受信しないとき、メールは削除されます。

送信に失敗すると

■送信に失敗したメールがあるときは、「✉」とインフォメーションが表示されます。再送するときは、インフォメーション画面で、次の操作を行います。

「送信失敗」選択➡◉➡メール選択➡◉

■自動再送を「On」にしているときは、自動的に最大2回まで再送されます。（☞P.14-34）

- 2回続けて送信に失敗したメールは、以降自動では再送できません。送信する必要があるときは、上記の再送信の操作で手動で再送してください。
- 自動再送するときまれに、同じメールが2通送信されることがあります。

宛先入力時にできること

■他の宛先を追加入力するときは、メール作成画面（☞P.14-6「SMS作成画面」／P.14-7「S!メール作成画面」）で次の操作を行います。

宛先欄選択➡◉➡「宛先追加」選択➡◉➡宛先入力（☞P.14-7操作4）

▪ メール作成画面に戻る：上記操作のあと[CLEAR/BACK]

- 最大20件まで入力できます。
- 宛先を追加して送信先が複数になると、SMS／S!メール作成画面の宛先欄に「👥」が表示されます。

■宛先タイプ（「To」、「Cc」、「Bcc」）を変更するときは、S!メール作成画面で次の操作を行います。

宛先欄選択➡◉➡宛先選択➡✉（メニュー）➡「Toへ変更」／「Ccへ変更」／「Bccへ変更」選択➡◉

- 「Cc」や「Bcc」にすると、メールのコピーが送信されます。「Bcc」にすると、「Bcc」に設定した相手の電話番号／E-mailアドレスは、他の送信先には表示されません。

■宛先を変更／修正するときは、メール作成画面（☞P.14-6「SMS作成画面」／P.14-7「S!メール作成画面」）で次の操作を行います。

宛先欄選択➡◉➡宛先選択➡◉➡宛先修正➡◉

▪ メール作成画面に戻る：上記操作のあと[CLEAR/BACK]

■宛先を削除するときは、メール作成画面（☞P.14-6「SMS作成画面」／P.14-7「S!メール作成画面」）で次の操作を行います。

宛先欄選択➡◉➡宛先選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉

▪ 全宛先削除：「**削除**」選択時に「**全件削除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉
▪ メール作成画面に戻る：上記操作のあと[CLEAR/BACK]

注意▶ 宛先にE-mailアドレスを入力したときは、件名や本文に半角カタカナを入力しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。

画像／サウンドファイルなどを添付する

S!メールに画像やサウンドなどを添付して送信できます。
- 最大20ファイルまで添付できます。ただし、S!メール本文などと合わせて300Kバイトを超えるときは、添付できません。
- 送信先が添付ファイルを受信できるかなど、あらかじめ送信先のサービス対応状況などをご確認のうえ、操作してください。
- 以下の操作は、P.14-8操作９で行います。操作後、S!メール作成画面に戻りますので、S!メールの作成を完了し、S!メールを送信してください。

1「添付」を選ぶ。

2「ファイル添付」を選び、◉を押す。

■メニューからの操作：S!メール作成画面で✉（メニュー）➡「ファイル添付」選択➡◉

3 *画像を添付する*

1「画像」を選び、◉を押す。

2 フォルダを選び、◉を押す。

■添付する画像を撮影：「カメラ起動」選択➡◉➡◉（撮影）➡◉

■保存先選択画面表示時：上記操作のあと保存先選択➡◉

3 画像を選び、◉を押す。

■データサイズの大きいJPEG画像選択時：圧縮サイズ選択➡◉

■画像サイズの変更：添付した画像選択➡✉（メニュー）➡「画像リサイズ」選択➡◉➡サイズ選択➡◉

■マルチジョブ機能利用中またはJPEG形式（.jpg）以外の画像のときは、サイズを変更できません。

サウンドを添付する

1「サウンド」を選び、◉を押す。

2 フォルダを選び、◉を押す。

■添付するサウンドの録音：「ボイスレコーダー起動」選択➡◉➡◉（録音開始）➡◉（録音終了）➡「添付」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉（操作完了）

3 サウンドを選び、◉を押す。

ムービーを添付する

1「ムービー」を選び、◉を押す。

2「ムービー添付」を選び、◉を押す。

■添付するムービーの撮影：「ビデオカメラ起動」選択➡◉➡◉（撮影開始）➡◉（撮影終了）➡「添付」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉（操作完了）

3 ムービーを選び、◉を押す。

Flash®／着信音Flash®（☞P.8-7）を添付する

1「Flash®」または「着信音Flash®」を選び、◉を押す。

2 ファイルを選び、◉を押す。

アドレス帳を添付する

1「アドレス帳」を選び、◉を押す。

2 アドレス帳を選び、◉を押す。

予定を添付する

1「カレンダー」を選び、◉を押す。

2 予定が登録されている日を選び、◉を押す。

3 予定を選び、◉を押す。

テンプレートを添付する

1「メールテンプレート」を選び、◉を押す。
2 ファイルを選び、◉を押す。

ブックを添付する

1「ブックフォルダ」を選び、◉を押す。
2 ファイルを選び、◉を押す。

カスタムスクリーンを添付する

1「カスタムスクリーン」を選び、◉を押す。
2 ファイルを選び、◉を押す。

その他のファイルを添付する

1「その他ファイル」を選び、◉を押す。
2 ファイルを選び、◉を押す。

添付ファイルを削除する

■S! メール作成画面で、次の操作を行います。
ファイル選択➡✉（メニュー）➡「ファイル削除」選択➡◉

添付ファイルを追加する

■S! メール作成画面で、次の操作を行います。
「添付」選択➡「ファイル添付」選択➡◉➡P.14-10操作３以降

アレンジメールを作成する

文字色、文字サイズ、背景色を変えたり、画像、BGMなどを挿入できます。

- １件のアレンジメールにつき、BGMまたはFlash®を１ファイル挿入できます。
- １件のアレンジメールにつき、最大40種類のマイ絵文字が挿入できます。
- 以下の操作は、P.14-8操作７で行います。操作後、S!メール作成画面に戻りますので、S!メールの作成を完了し、S!メールを送信してください。

1 ✉（メニュー）を押す。

2「アレンジ設定」を選び、◉を押す。

アレンジメール作成画面が表示されます。

- を長く（１秒以上）押しても、アレンジメール作成画面が表示されます。

アレンジメール
作成画面

3 *文字色を変える*

1「文字色：」を選び、●を押す。

2 文字色を選び、●を押す。

3 文字を入力する。

- [Y!]を押すと、アレンジメニューが表示されます。
- 入力済の文字色を変える：[✉]（**範囲選択**）➡最初の文字選択➡●➡最後の文字選択➡●➡「**文字色：**」選択➡●➡文字色選択➡●
- 入力済の文字すべての文字色を変える：[✉]（**範囲選択**）➡[✉]（**全選択**）➡「**文字色：**」選択➡●➡文字色選択➡●

文字サイズを変える

1「文字サイズ：」を選び、●を押す。

2 文字サイズを選び、●を押す。

3 文字を入力する。

- [Y!]を押すと、アレンジメニューが表示されます。
- 入力済の文字の文字サイズを変える：[✉]（**範囲選択**）➡最初の文字選択➡●➡最後の文字選択➡●➡「**文字サイズ：**」選択➡●➡文字サイズ選択➡●
- 入力済の文字すべての文字サイズを変える：[✉]（**範囲選択**）➡[✉]（**全選択**）➡「**文字サイズ：**」選択➡●➡文字サイズ選択➡●

画像を挿入する

1「画像挿入」を選び、●を押す。

2「ピクチャーフォルダ」または「デジタルカメラフォルダ」を選び、●を押す。

3 ファイルを選び、●を押す。

- 添付する画像を撮影：「**画像挿入**」選択➡●➡「**カメラ起動**」選択➡●➡●（**撮影**）➡●

4 ◎で画像挿入位置を選び、●を押す。

- 本文に何も入力されていないときは、挿入位置を選ぶ必要はありません。

マイ絵文字（☞P.8-7）を挿入する

1「マイ絵文字挿入」を選び、●を押す。

データフォルダの「**マイ絵文字**」のフォルダが開きます。

2 マイ絵文字を選び、●を押す。

3 ●を押す。

- 本文入力画面でマイ絵文字を挿入する：本文入力画面で[*]➡履歴リスト表示時に[#]（マイ絵文字履歴リストが表示されます。）➡マイ絵文字選択➡●
  - ■ マイ絵文字を挿入すると自動的にアレンジメールになります。
  - ■ マイ絵文字履歴リスト表示時に[#]を押すと、マイ絵文字のファイルリスト画面が表示されます。

BGMを挿入する

1「挿入」を選び、◉を押す。
2「BGM挿入」を選び、◉を押す。
3「着うた・メロディフォルダ」または「ミュージックフォルダ」を選び、◉を押す。
4 ファイルを選び、◉を押す。

■ 添付するBGMを録音：「挿入」選択➡◉➡「BGM挿入」選択➡◉➡「ボイスレコーダー起動」選択➡◉➡◉（録音開始）➡◉（録音終了）➡「添付」選択➡◉➡「本体」／「メモリカード」選択➡◉（操作完了）
■ BGMの削除：「挿入」選択➡◉➡「BGM削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

Flash®（☞P.8-7）を挿入する

1「挿入」を選び、◉を押す。
2「Flash挿入」を選び、◉を押す。
データフォルダの「Flash®」のフォルダが開きます。
3 ファイルを選び、◉を押す。

■ Flash®のプレビュー表示：Y!（文字入力）➡✉（メニュー）➡「プレビュー表示」選択➡◉
■ Flash®の削除：Y!（文字入力）➡カーソルをFlashアイコンの前に移動➡CLEAR/BACK

区切り線を挿入する

1「挿入」を選び、◉を押す。
2「区切り線挿入」を選び、◉を押す。

■ アレンジメール作成画面に戻る：CLEAR/BACK

文字列を点滅させる

1「効果設定」を選び、◉を押す。
2「点滅」を選び、◉を押す。
3「点滅設定」を選び、◉を押す。
4 文字を入力する。

■ 入力済の文字の点滅：✉（範囲選択）➡最初の文字選択➡◉➡最後の文字選択➡◉➡「効果設定」選択➡◉➡「点滅」選択➡◉➡「点滅設定」選択➡◉
■ 点滅の解除：✉（範囲選択）➡点滅設定している文字列選択➡最初の文字選択➡◉➡最後の文字選択➡◉➡「効果設定」選択➡◉➡「点滅」選択➡◉➡「点滅解除」選択➡◉

文字列をスクロールさせる

1「効果設定」を選び、◉を押す。
2「スクロール」を選び、◉を押す。
3「右から左へ」または「左右スウィング」を選び、◉を押す。
4 文字を入力する。

■ 入力済の文字のスクロール：✉（範囲選択）➡最初の文字選択➡◉➡最後の文字選択➡◉➡「効果設定」選択➡◉➡「スクロール」選択➡◉➡「右から左へ」／「左右スウィング」選択➡◉
■ スクロールの解除：✉（範囲選択）➡スクロール設定している文字列選択➡最初の文字選択➡◉➡最後の文字選択➡◉➡「効果設定」選択➡◉➡「スクロール」選択➡◉➡「スクロール解除」選択➡◉

行を揃える

1「効果設定」を選び、◉を押す。

2「行揃え」を選び、◉を押す。

3「左寄せ」、「中央寄せ」、「右寄せ」のいずれかを選び、◉を押す。

4 文字を入力する。

■ 入力済の文字の行揃え：✉（**範囲選択**）➡最初の文字選択➡◉➡最後の文字選択➡◉➡「**効果設定**」選択➡◉➡「**行揃え**」選択➡◉➡「**左寄せ**」／「**中央寄せ**」／「**右寄せ**」選択➡◉

背景色を変える

1「背景色：」を選び、◉を押す。

2 背景色を選び、◉を押す。

装飾を解除する

1「装飾解除」を選び、◉を押す。

2「はい」を選び、◉を押す。

- すべてのアレンジ設定が解除され、通常のS!メール作成画面に戻ります。

1つ前の操作に戻る

■アレンジメール作成画面で、次の操作を行います。

「**元に戻す**」選択➡◉

- BGMを挿入／削除したときは、元に戻せません。

テンプレートを作成する

■S!メール作成画面で次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**テンプレートへ保存**」選択➡◉➡**テンプレート名入力**➡◉➡「**保存**」選択➡◉

- 宛先、件名、添付、送信オプションの設定内容は保存されません。
- テンプレートはインターネットなどからダウンロードすることもできます。

テンプレートを利用してアレンジメールを作成する

■次の操作を行います。

◉➡「**メール**」選択➡◉➡「**テンプレート**」選択➡◉➡**テンプレート選択**➡◉

▪ テンプレートのプレビュー表示：テンプレート一覧画面で✉（**メニュー**）➡「**プレビュー**」選択➡◉

▪ テンプレートの表示切替：テンプレート一覧画面で✉（**メニュー**）➡「**表示切替**」選択➡◉➡「**ファイル名**」／「**タイトル**」選択➡◉

- テンプレートの管理については、「**フォルダ／ファイルの管理**」（☞P.8-8）を参照してください。

■S!メール作成画面で次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**テンプレート呼び出し**」選択➡◉➡**テンプレート選択**➡◉

フィーリングメールを作成する

フィーリング設定を行うと、感情を表す絵文字（フィーリング設定用絵文字）が件名の先頭に挿入されます。
フィーリング設定されたメール（フィーリングメール）を受信すると、フィーリング設定用絵文字に連動した着信音、バイブ、ライトでお知らせします。

- 宛先がフィーリング設定対応のソフトバンク携帯電話のときに利用できます。
- フィーリング設定に対応していない携帯電話に送信したときは、受信側では通常の絵文字として件名に表示されます。
- フィーリング設定用絵文字に連動する着信音、バイブ、ライトは、受信側の携帯電話で設定します。（☞P.14-20）
- 以下の操作は、P.14-8操作８のあとで行います。操作後、S!メール作成画面に戻りますので、S!メールの作成を完了し、S!メールを送信してください。

1 **✉（メニュー）を押す。**

2 **「フィーリング設定」を選び、◉を押す。**

3 **「Happy／うれしい」、「OK／Good」、「悲しい／ごめんね」、「NG／Bad」、「重要／注目」のいずれかを選び、◉を押す。**

4 **フィーリング設定用絵文字を選び、◉を押す。**
S!メール作成画面に戻ります。

送信オプションを設定する

メールの送信オプションを設定します。

- 送信オプションで設定した内容は、対応機種どうしだけで有効となります。
- 送信オプションで設定した内容は、作成中のメール１件だけに有効となります。
- 以下の操作は、P.14-6操作６のあとのSMS作成画面、またはP.14-8操作８のあとのS!メール作成画面で行います。操作後、CLEAR/BACKを押すとメール作成画面（☞P.14-6「SMS作成画面」／P.14-7「S!メール作成画面」）に戻りますので、メールの作成を完了し、メールを送信してください。

メール共通の送信オプションを設定する

配信確認	送信メールの配信状況を配信レポート（☞P.14-19）として入手するかどうかを設定します。

■宛先がE-mailアドレスのときは、利用できません。

お買い上げ時 Off（入手しない）

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「配信確認」選択➡◉➡「On」（入手する）／「Off」（入手しない）選択➡◉

SMSの送信オプションを設定する

有効期限設定	送信したメールをSMSサービスセンターに保存する期限を設定します。

お買い上げ時 最大

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「有効期限設定」選択➡◉➡期限選択➡◉

S!メールの送信オプションを設定する

返信先アドレス設定	送信するメールの返信先のアドレスを設定します。

■返信先アドレスが未設定のときは、設定できません。

お買い上げ時Off

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「返信先アドレス設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

返信先アドレスを入力する：☞P.14-37

注意▶ 返信先アドレスを設定したときでも、受信者側のメールソフトにより返信先アドレスが動作しないことがあります。

優先度	優先度を設定します。

お買い上げ時普通

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「優先度」選択➡◉➡優先度選択➡◉

- 優先度を設定しても、送信速度は変わりません。

サーバーメール転送時	転送したあと、サーバーからメールを削除するかどうかを設定します。

■サーバーメール転送をするときだけ設定できます。

お買い上げ時削除しない

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「サーバーメール転送時」選択➡◉➡「削除しない」／「転送後削除」選択➡◉

自動消去設定	送信したS!メールが受信側で表示されたあとメールボックスから自動的に消去するように設定します。

■宛先がE-mailアドレスのときは、設定できません。

お買い上げ時Off

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「自動消去設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

返信リクエスト	返信を要求するメッセージを受信側に表示させるかどうかを設定します。

■宛先がE-mailアドレスのときは、設定できません。

お買い上げ時Off

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「返信リクエスト」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

転送NG	転送を禁止するメッセージを受信側に表示させるかどうかを設定します。

■宛先がE-mailアドレスのときは、設定できません。

お買い上げ時Off

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「転送NG」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

削除NG	削除を禁止するメッセージを受信側に表示させるかどうかを設定します。

■宛先がE-mailアドレスのときは、設定できません。

お買い上げ時Off

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「削除NG」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

クイズ	受信側が質問に答えないとメッセージ画面が表示されないように設定します。

■宛先がE-mailアドレスのときは、設定できません。

お買い上げ時Off

クイズを設定する

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「クイズ」選択➡◉➡「On／Off設定」選択➡◉➡「On」選択➡◉➡「問題」選択➡◉➡問題入力➡◉➡「正解」選択➡◉➡正解入力➡◉➡✉（完了）

- 「Off」にすると、入力した問題／正解は削除されます。
  - 問題は、お買い上げ時に設定されている問題（「**私の誕生日はいつですか？**」）になります。

問題／正解を編集する

✉（メニュー）➡「送信オプション」選択➡◉➡「クイズ」選択➡◉➡「問題編集」選択➡◉➡「問題」選択➡◉➡問題入力➡◉➡「正解」選択➡◉➡正解入力➡◉➡✉（完了）

添付再生優先	受信側で自動的にメッセージが表示され、ファイルが再生するように設定します。

■宛先がE-mailアドレスのときは、設定できません。
■P.14-8操作９のあとのS!メール作成画面で行います。
お買い上げ時Off

添付再生優先のOn／Offを設定する

添付ファイル選択➡✉（メニュー）➡「添付再生優先」選択➡◉➡「On／Off設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

●「Off」にすると入力したメッセージは削除されます。

メッセージを入力する

添付ファイル選択➡✉（メニュー）➡「添付再生優先」選択➡◉➡「メッセージ入力」選択➡◉➡メッセージ入力➡◉

● ２つ以上のファイルには、設定できません。
● アレンジメールでは、設定できません。
●「添付再生優先」が表示されない添付ファイルは、設定できません。

注意▶ １件のS!メールに対して「自動消去設定」、「返信リクエスト」、「転送NG」、「削除NG」、「クイズ」、「添付再生優先」は同時に設定できません。

メールを送信予約する

メールを指定した日時に送信することができます。

● 送信予約をしたメールは未送信ボックスに保存されます。
● 最大10件まで登録できます。
● 送信が成功したときは、インフォメーションが表示されます。
● 以下の操作は、P.14-6操作６のあとのSMS作成画面、またはP.14-8操作８のあとのS!メール作成画面で行います。

1 **✉（メニュー）を押す。**

2 **「送信予約」を選び、◉を押す。**

3 **「日時指定」を選び、◉を押す。**

■ 圏内で10秒経過後に送信：「圏内時に送信」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

4 **日時を入力する。**

● 一週間以内の日時に設定できます。

5 **「はい」を選び、◉を押す。**

●「自動再送」（☞P.14-34）が「Off」の場合に、指定した日時に送信できなかったとき（圏外または電源Off時）は、再送されません。

下書きを利用する

作成したメールを下書きに保存する

作成したメールを、送信せずに下書きとして保存します。
- 保存するメモリがないときは、下書きを保存できません。不要なメールを削除（☞P.14-29）したあと、操作してください。
- 以下の操作は、P.14-6操作6のあとのSMS作成画面、または P.14-8操作8のあとのS!メール作成画面で行います。

1 **✉（メニュー）を押す。**

2 **「下書きへ保存」を選び、◉を押す。**
下書きフォルダに保存されます。

注意▶ S!メールを保存したときは、宛先タイプ（「To」、「Cc」、「Bcc」）や添付ファイルの順番が変わることがあります。

下書きしたメールを送信する

下書きとして保存しておいたメールを送信します。

メニュー ▶ メール

1 **「下書き」を選び、◉を押す。**
下書きフォルダ内に保存されているメールの一覧画面が表示されます。
- 下書きしたメールの情報確認：メール選択➡✉（**メニュー**）➡「**メールのプロパティ**」選択➡◉
  - ■ 確認の終了：上記操作のあと◉
- 下書きしたメールの削除：メール選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

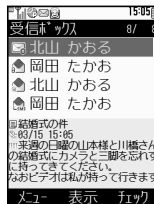
2 **メールを選び、◉を押す。**
下書きの内容が入力された状態で、メール作成画面（☞P.14-6「SMS作成画面」／P.14-7「S!メール作成画面」）が表示されます。

3 **メールを修正／送信する。**
- メールの修正／送信方法は、SMSの作成時（☞P.14-6）、またはS!メールの作成時（☞P.14-7～P.14-8）と同様です。
- 送信したメールは、下書きから削除されます。
- 修正した下書きの再保存：修正後✉（**メニュー**）➡「**下書きへ保存**」選択➡◉➡「**新規に保存**」／「**上書き保存**」選択➡◉

メール受信

新着メールを確認する

1 **メールを受信すると、受信画面のあとインフォメーションが表示される。（「✉」点灯）**
- 本機がクローズポジションのときは、受信中にオープンポジションにすると、受信画面のあと、インフォメーションが表示されます。

2 **「新着メール」を選び、◉を押す。**
メールのリスト画面が表示されます。
- メールの受信画面で◉を押しても、メールのリスト画面が表示されます。
- 受信ボックスフォルダ表示時（☞P.14-4）：フォルダ選択➡◉

3 メールを選び、◉を押す。

メッセージ画面が表示されます。

- デルモジ表示（☞P.14-24）に対応したメールのときに、文字が3D表示されるように設定することもできます。（受信ボックス表示設定：☞P.14-24）

■ 続きのあるS!メールの受信：☞P.14-21
■ 受信したメールの利用：☞P.14-23

補足▶
- 受信画面やインフォメーションが表示されていないときは、受信ボックスから確認できます。（☞P.14-23）
- 優先度が「**低**」に設定されているメールを受信したときは、着信音、バイブは動作しません。

新着メールをサブディスプレイで確認する（メール即読）

■メールを受信したあと、バックライト点灯中に、クローズポジションで次の操作を行います。

[☞]

■ メール本文のスクロール：[▶]／[◀]
■ メールの確認を終了する：[☞]

（新着メールが複数あるときは、次の新着メールが表示されます。）

- 絵文字やマイ絵文字は表示されません。
- 1件のメールにつき、最大150文字まで表示されます。（改行文字は、2文字として数えられます。）
- サブディスプレイの設定（☞P.9-13）で、メール表示または着信相手表示がOffのときは、新着メールをサブディスプレイで確認できません。

サーバーメールボックスのメールを受信する

■サーバーメールボックス内のメールを手動で受信するときは、次の操作を行います。

✉➡**「新着メール受信」選択**➡◉

メールに返信リクエストが設定されていると

■返信をせずにメッセージ画面を閉じると返信を要求するメッセージが表示されます。

- 返信するときは「**はい**」を選び、◉を押します。
- 返信をするとメッセージは表示されなくなります。

メールにクイズが設定されていると

■メールを開こうとすると、問題が表示されます。◉を押して、答えを入力して◉を押すと、メールの内容が表示されます。

- 答えが間違っているとメールは開きません。
- クイズが設定されているメールは、リスト画面で件名／本文は表示されません。

メールに添付再生優先が設定されていると

■メールを開くと自動的にメッセージが表示され、添付ファイルが再生されます。

- ファイルによっては、再生されないことがあります。

配信レポートを確認する

■配信確認（☞P.14-35）を「On」にしてメールを送信したときは、サーバーメールボックスからメールの配信状況のレポートが届きます。このレポートは、インフォメーション画面（☞P.14-18）で次の操作を行うと、確認できます。

「配信確認」選択➡◉➡**配信レポート未読メール選択**➡◉➡[Y!]**（レポート）**

■ レポートが複数あるとき：上記操作のあと◉➡[CLEAR/BACK]➡レポート選択➡◉

- 送信済みメッセージ画面でも、無事に配信が完了しているときは「[icon]」、配信の状況が不明のときは「[icon]」、配信が失敗しているときは「[icon]」が表示されます。

待受画面以外でメールを受信すると

■メール通知音が鳴り、画面の1行目に受信した旨のメッセージが表示されます。
（「○○**様からメールが届いています**」など）
- メッセージを表示しないようにしたり、表示内容や、通知音の有無を設定することができます。
（メールお知らせ設定：☞P.14-36）

■待受画面に戻ると、インフォメーションが表示されます。

E-mailアドレスを変更すると

■ソフトバンクより新しいE-mailアドレスに変更したことをお知らせするメールが届きます。このとき、次の操作を行うと、自動的にオーナー情報が更新されます。

メール選択➡◉➡「はい」選択➡◉

■オーナー情報にすでに3件のE-mailアドレスが登録されているときは、更新されません。

フィーリングメールを受信すると

フィーリングメールを受信すると、フィーリングメールの種類に応じて、ライト、バイブパターン、着信音が動作し、インフォメーションが表示されます。

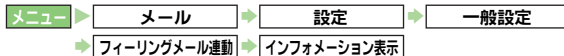
- アドレス帳で着信時の動作が設定されているときは、アドレス帳での着信時の動作が優先されます。
- フィーリングメール受信時の設定が無効になるときは、次のとおりです。
  - ■アドレス帳でシークレット設定されているとき
  - ■迷惑メールに設定されているとき
  - ■シークレット設定されているメールフォルダへ振り分け設定されているとき

■フィーリングメール受信時の設定をする

フィーリングメール受信時の各種設定を行います。
お買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	Happy／うれしい	OK／Good	悲しい／ごめんね	NG／Bad	重要／注目
インフォメーション表示	On				
ライトOn／Off設定	On				
バイブパターン	音連動				
着信音On／Off設定	On				
着信音設定	メールサウンド6	メールサウンド7	メールサウンド8	メールサウンド9	メールサウンド10
鳴動時間	5秒				

インフォメーション表示 フィーリングメール受信時にインフォメーションを表示するかどうかを設定します。

メニュー▶メール➡設定➡一般設定➡フィーリングメール連動➡インフォメーション表示

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

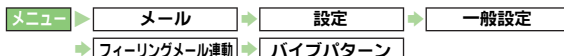
ライト設定 フィーリングメール受信時にスモールライトを点滅してお知らせするかどうかを設定します。

メニュー▶メール➡設定➡一般設定➡フィーリングメール連動➡ライト設定

On／Offを設定する

「On」／「Off」選択➡◉

バイブパターン フィーリングメール受信時にバイブ動作をするかどうかを設定します。

メニュー▶メール➡設定➡一般設定➡フィーリングメール連動➡バイブパターン

「On」／「音連動」／「Off」選択➡◉

着信音設定	フィーリングメール受信時の着信音を設定します。

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ フィーリングメール連動 ➡ 着信音

On／Offを設定する

「On／Off設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

着信音を設定する

「着信音選択」選択➡◉➡「Happy／うれしい」／「OK／Good」／「悲しい／ごめんね」／「NG／Bad」／「重要／注目」選択➡◉➡「固定データ」／「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」／「着信音 Flash®」選択➡◉➡着信音選択➡◉

鳴動時間を設定する

「鳴動時間」選択➡◉➡時間入力➡◉

S!メールの続きを受信する

メール受信設定（日本）やメール受信設定（海外）（☞P.14-37）が「**自動受信**」以外のときに、下記のいずれかに該当するS!メールが送られてくると、サーバーメールボックスに一時蓄積され、メッセージの一部（先頭部分）がお客様のソフトバンク携帯電話に送信されます。

- お買い上げ時は、メール受信設定（日本）は「**自動受信**」、メール受信設定（海外）は「**手動受信**」に設定されています。（受信設定の変更：☞P.14-37）

サーバーメールボックスに一時蓄積される条件
- ■宛先が複数あるとき
- ■添付ファイルがあるとき　など

補足▶
- 続きのあるS!メールは、受信ボックスのリスト画面に「✉」が表示されています。
- メールリストを利用して、S!メールの続きを受信することもできます。（☞P.14-22）

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」を選び、◉を押す。

受信ボックスをフォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 「✉」が表示されているメールを選び、◉を押す。

3 ✉（受信）を押す。

メールの受信が始まります。

- 受信が終わると、メールのメッセージ画面が表示されます。

受信の取消：受信中に✉（**キャンセル**）

注意▶ 300Kバイトを超えるメールは、サーバーによっては一部が削除されて受信します。

メールリストを受信する

サーバーメールボックスに一時蓄積されているメールの一覧（メールリスト）を受信します。

メニュー ▶ メール

1「サーバーメール操作」を選び、◉を押す。

- 以前受信したメールリストの確認：「**メールリスト**」選択➡◉
- サーバーメールボックスに一時蓄積されているメールをすべて受信する：「**メール全受信**」選択➡◉（操作完了）
- サーバーメールボックスに一時蓄積されているメールをすべて削除する：「**メール全削除**」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「**新着メール以外**」／「**全削除**」選択➡◉（操作完了）

2「メールリスト」を選び、◉を押す。

3 ✉（メニュー）を押す。

4「メールリスト更新」を選び、◉を押す。

受信が始まります。受信が終わると、メールリストが表示されます。

- 以前受信したメールリストがあるときは、メールリストが更新されます。
- 更新中の取消：Y!（**キャンセル**）
- メールリストを利用する：☞右記

サーバーメール容量を確認する

■サーバーメールの容量を確認するときは、上記「**メールリストを受信する**」操作１のあと次の操作を行います。
「**サーバーメール容量**」選択➡◉
- 確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK
- サーバーメール容量確認中の更新：◉

メールリストを利用する

受信したメールリストを利用して、メールサーバー内のメールを受信／転送／削除できます。

S!メールの続きを受信する　S!メールの続きを受信します。

メール選択➡◉

- すべてのS!メールの続きを受信：✉（**メニュー**）➡「**全メール受信**」選択➡◉
- 受信したメールは、メールリストから削除され、受信ボックスに保存されます。
- メールを複数選択し（☞P.14-24）、続きを受信することもできます。

サーバーメール転送　サーバー内のメールをソフトバンク携帯電話番号／パソコンなど他のE-mailアドレスに転送します。

メール選択➡✉（メニュー）➡「サーバーメール転送」選択➡◉➡宛先欄選択➡◉➡転送先入力（☞P.14-7操作４）➡Y!（送信）

サーバーメール削除　サーバー内のメールを削除します。

メール選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

- すべてのサーバーメールを削除：✉（**メニュー**）➡「**全メール削除**」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「**はい**」選択➡◉

メールのプロパティ　サーバー内のメールの詳細情報を確認します。

メール選択➡✉（メニュー）➡「メールのプロパティ」選択➡◉

- 確認の終了：上記操作のあと◉

メールの利用

メールの内容を確認する

●他の機能を利用しているときでも、✉を長く（１秒以上）押すと、メール受信ボックスを表示できます。

メニュー ▶ **メール**

1 「受信ボックス」、「下書き」、「送信済みボックス」、「未送信ボックス」のいずれかを選び、●を押す。

リスト画面が表示されます。

- インフォメーション表示時：「**新着メール**」選択➡●
- フォルダ表示時：フォルダ選択➡●
- メールの詳細情報の確認（未送信ボックスを除く）：メール選択➡✉（**メニュー**）➡「**メールのプロパティ**」選択➡●
  - ■情報の続きを確認：上記操作のあと◎
  - ■確認の終了：上記操作のあと●
- メールアドレスの確認（受信ボックス／送信済みボックス）：メール選択➡✉（**メニュー**）➡「**メールアドレス表示**」選択➡●➡メールアドレス選択➡●
  - ■確認の終了：上記操作のあとCLEAR/BACK➡CLEAR/BACK➡CLEAR/BACK
  - ■メールアドレス確認画面で✉（**メニュー**）を押すと、メールアドレスのコピーやアドレス帳登録、振り分けフォルダの登録が行えます。

2 メールを選び、●を押す。

●画像が添付されているときは、●を押すと画像が表示されます。添付されている画像のサイズが大きいときは、画像を表示できないことがあります。

●クイズが設定されているときは、問題が表示されます。●を押して答えを入力し、正解するとメールの内容が表示されます。

■答えが不正解のときは、メールの内容は表示されません。

●操作１で「**下書き**」を選んだときは、メール作成（修正）画面が表示されます。（☞P.14-7）

- 画面のスクロール：◎
- 画面移動：✉（**メニュー**）➡「**画面移動**」選択➡●➡「**先頭へ**」／「**最後へ**」選択➡●

注意▶ 添付されているテキストファイルは、正しく表示できないことがあります。

文字コードを変更する

■左記操作１で「**受信ボックス**」を選び、●を押したあと、上記操作２で、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**文字コード変換**」選択➡●➡**文字コード選択**➡●

スライドメールを再生する

■スライドメールとは、メールの本文と画像／サウンドなどの添付ファイルを１つにまとめたものです。

■上記操作２で、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**スライド再生**」選択➡●

■確認の終了：再生中にCLEAR/BACK

送信済みボックス／未送信ボックス内のメールを編集する

■左記操作１で「**送信済みボックス**」または「**未送信ボックス**」を選び、●を押したあと、次の操作を行います。

メール選択➡✉（**メニュー**）➡「**編集と送信**」／「**編集**」選択➡●➡◎➡**P.14-6操作５以降、P.14-8操作５以降**

メールの内容をコピーする

■P.14-23操作２のあと、次の操作を行います。

✉（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡「アドレス」／「件名」／「本文」選択➡◉

- 本文／件名選択時：◈（開始位置選択）➡◉➡◈（終了位置選択）➡◉
- このあと、他の画面に貼り付けることができます。（☞P.3-13）
  マイ絵文字や装飾されたアレンジメールの本文をコピーしたときは、文字列だけがペーストされます。
- 下書き、未送信ボックス、テンプレートでは操作できません。

SMSをUSIMカードに保存する

■P.14-23操作１で「受信ボックス」、「送信済みボックス」を選び、◉を押したあと、次の操作を行います。

SMS選択➡✉（メニュー）➡「メール管理」選択➡◉➡「USIMに移動」選択➡◉

- USIMカードに登録できる件数は、USIMカードによって異なります。
- 「USIMに移動」が表示されないSMSは、USIMカードに保存できません。

デルモジ表示について

メール本文内に絵文字や顔文字、対応の単語（「おはよう」、「食事」、「新幹線」など）があるときに次の操作を行うと、3Dアニメーションを表示することができます。
（メール本文の先頭150文字）

- 以下の操作は、P.14-23操作１のあとのメールリスト画面で行います。

1 **メールを選び、◉を押す。**

2 **✉（メニュー）を押す。**

3 **「デルモジ表示」を選び、◉を押す。**

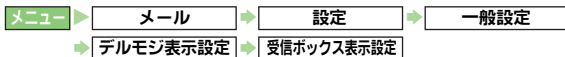
■ デルモジ表示の中止：Y!（停止）

- デルモジ表示は、◉を押すたびに一時停止⇔再生します。

■デルモジ表示設定

受信ボックス表示設定	受信ボックスのメールをデルモジ表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 デルモジ表示しない

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ デルモジ表示設定 ➡ 受信ボックス表示設定

「常にデルモジ表示」／「未読のみ表示」／「デルモジ表示しない」選択➡◉

背景色／描画速度設定	文字の背景色や文字が表示されるスピードを設定します。

お買い上げ時 背景色設定：ランダム変更、描画速度設定：標準

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ デルモジ表示設定

文字の背景色を設定する

「背景色設定」選択➡◉➡色選択➡◉

文字の表示スピードを設定する

「描画速度設定」選択➡◉➡スピード選択➡◉

メールを複数選択する

同じフォルダ内のメールを複数選択すれば、一括して保護／削除、未開封／開封済み切替、フォルダ移動などができます。

メニュー ▶ メール

1 **フォルダを選び、◉を押す。**

■ フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、[Y!]（チェック）を押す。

メールの左端のマークが「☑」に変わります。

■選択の解除：「☑」が表示されているメール選択➡[Y!]（解除）

3 操作2をくり返し、必要なメールを選択する。

●このあと、保護／削除などを行います。

■すべての選択の解除：✉（メニュー）➡「全チェック解除」選択➡◉

未開封にする／開封済みにする

一度読んだメールを未開封にしたり、まだ読んでいないメールを開封済みに切り替えられます。

メニュー▶メール

1「受信ボックス」を選び、◉を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 *メールを1件ずつ未開封／開封済みにする*

1 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のメールを未開封／開封済みにする

1 メールを複数選択し（☞上記操作2以降）、✉（メニュー）を押す。

●このあと、操作4へ進みます。

3「メール管理」を選び、◉を押す。

4「未開封にする」または「開封済みにする」を選び、◉を押す。

メールを返信する

メニュー▶メール

1「受信ボックス」を選び、◉を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、◉を押す。

■送信元だけに返信：[Y!]（返信）➡操作5へ

▪このときは、本文の引用はできません。

▪SMSを選んだときはSMS作成画面、S!メールを選んだときはS!メール作成画面が表示されます。

3 ✉（メニュー）を押す。

4 *送信元が電話番号のメールに返信する*

1「返信」または「全員へ返信」を選び、◉を押す。

2「S!メールで返信」、「S!メールで引用付き返信」、「SMSで返信」、「SMSで引用付き返信」のいずれかを選び、◉を押す。

●「S!メールで返信」／「S!メールで引用付き返信」を選んだときは、S!メール作成画面が表示されます。

●「SMSで返信」／「SMSで引用付き返信」を選んだときは、SMS作成画面が表示されます。

送信元がE-mailアドレスのメールに返信する

1「返信」または「全員へ返信」を選び、◉を押す。

2「S!メールで返信」または「S!メールで引用付き返信」を選び、◉を押す。

S!メール作成画面が表示されます。

5 返信メールを作成／送信する。（☞P.14-6操作5、P.14-8操作5以降）

補足▶
- 「**全員へ返信**」を選ぶと、すべての送信先（To／Cc）に同じ内容のメールを一度に返信できます。（メールによっては、「**全員へ返信**」が表示されないことがあります。）
- S!メールで一度に送信できる宛先は、最大20人です。
- 「**全員へ返信**」を行うと、本機にもメールが送信されることがあります。
- 「**引用付き返信**」を選ぶと、返信元のメールの本文を引用できます。

メールを転送する

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」を選び、◉を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、◉を押す。

3 ✉（メニュー）を押す。

4 「転送」を選び、◉を押す。

- S!メールを選んだときは、S!メール作成画面が表示されます。
- SMSを選んだときは、「**S!メール**」または「**SMS**」を選び、◉を押します。メール作成画面（☞P.14-6「**SMS作成画面**」／P.14-7「**S!メール作成画面**」）が表示されます。

5 宛先入力欄を選び、◉を押す。

宛先選択画面が表示されます。

6 転送先を入力し、◉を押す。

■宛先の入力方法：☞P.14-7操作4

7 Y!（送信）を押す。

メールが転送されます。

- 添付ファイルがあるときは、転送するメールに自動的に添付されます。

メールに転送NGが設定されていると

■「**転送NGに設定されていますが、転送しますか？**」というメッセージが表示されます。転送するときは次の操作を行います。

「はい」選択➡◉

サーバーメールボックスに一時蓄積されているメールを転送する

■受信リスト画面に、S!メール通知（「✉」表示）があるときに、次の操作を行います。

S!メール通知選択➡✉（メニュー）➡「転送」選択➡◉➡「通知メール転送」／「サーバーメール転送」選択➡◉➡左記「メールを転送する」操作５以降

- メールによっては、転送できないことがあります。
- 「**通知メール転送**」では、S!メール通知だけ転送されます。

送信済メールを取り消す

取消要求を送信することによって、送信済みメールを送信先の受信ボックスから削除します。
件名に「Del：」とついたメールが送信されます。

- 「**送信済メール取消**」は、対応機種どうしだけで有効となります。
- 送信済メールの文章が短いときは、削除できないことがあります。
- 宛先がE-mailアドレスのときは、操作できません。
- SMSのときは、操作できません。
- 送信済メールが保護されているときは、削除できません。

メニュー ▶ メール

1 「送信済みボックス」を選び、◉を押す。

■ フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

- 宛先が複数のときは、すべての送信先のメールを取消できます。

3 「送信済メール取消」を選び、◉を押す。

4 「はい」を選び、◉を押す。

- このあと、配信レポートが送られてきます。

メール内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

アドレス帳に登録する

メールの送信先／送信元の電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に登録します。また、メールの本文に含まれる電話番号も登録できます。

- 本文に含まれる電話番号は、ⓢで選んだときに文字が反転表示するものだけ利用できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。

■ フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、◉を押す。

3 ***送信元／送信先の電話番号／E-mailアドレスを登録する***

1 ✉（メニュー）を押す。

2 「アドレス帳に登録」を選び、◉を押す。

3 電話番号またはE-mailアドレスを選び、◉を押す。

本文中の電話番号／E-mailアドレスを登録する

1 電話番号またはE-mailアドレスを選び、◉を押す。

2 「アドレス帳に登録」を選び、◉を押す。

4 「新規登録」を選び、◉を押す。

電話番号やE-mailアドレスが、アドレス帳の該当する項目に入力されます。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。（☞P.4-4）

■ 追加登録時：アドレス帳選択➡◉➡Y!（**保存**）

電話発信／メール送信／インターネット接続を行う

メール本文に電話番号やE-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、メールを送信できます。また、URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）が含まれているときは、インターネットに接続できます。

● で選んだときに、文字が反転表示するものだけ利用できます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」、「送信済みボックス」、「未送信ボックス」のいずれかを選び、●を押す。

フォルダ表示時：フォルダ選択➡●

2 メールを選び、●を押す。

● 電話番号やE-mailアドレス、URLが含まれているメールを選んでください。

3 ***電話をかける（電話番号の利用）***

1 電話番号を選び、●を押す。

2「発信」または「TVコール」を選び、●を押す。

メールを作成する（電話番号／E-mailアドレスの利用）

1 ソフトバンク携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを選び、●を押す。

2「メール作成」を選び、●を押す。

電話番号選択時：「S!メール」／「SMS」選択➡●➡メール作成（☞P.14-6操作5以降、P.14-8操作5以降）

E-mailアドレス選択時：S!メール作成（☞P.14-8操作5以降）

インターネットに接続する（URLの利用）

1 URLを選び、●を押す。

2「はい」を選び、●を押す。

インターネットに接続されます。

●「rtsp://」で始まるアドレスのときは、動画／音楽がストリーミングされます。（☞P.15-12）

メールを保護する

削除したくない受信メールや送信済メールを個別に保護できます。

● 保護されているメールは、削除されません。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、●を押す。

フォルダ表示時：フォルダ選択➡●

2 ***1件ずつ保護する***

1 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

● 保護解除するときは、保護されているメール（「🔒」表示）を選んでください。

複数のメールを保護する

1 メールを複数選択し（☞P.14-25操作2以降）、✉（メニュー）を押す。

3 「保護」を選び、●を押す。

保護されたメールには、「🔒」が表示されます。

保護解除：「**保護解除**」選択➡●

メールを削除する

●保護されているメールは、削除されません。

メールを指定して削除する

メニュー ▶ メール

1 **「受信ボックス」、「下書き」、「送信済みボックス」、「未送信ボックス」のいずれかを選び、◉を押す。**

■ フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 *1件ずつ削除する*

1 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のメールを削除する

1 メールを複数選択し（☞P.14-25操作2以降）、✉（メニュー）を押す。

3 **「削除」を選び、◉を押す。**

4 **「はい」を選び、◉を押す。**

補足▶ メールによっては、削除に時間がかかることがあります。

メールに削除NGが設定されていると

■受信ボックスで、削除NGが設定されているメールを削除しようとすると、「**削除NGに設定されていますが、削除しますか？**」というメッセージが表示されます。削除をするときは次の操作を行います。

「**はい**」選択➡◉

●全件削除のときはメッセージは表示されません。

サーバーメールボックスに一時蓄積されているメールを削除する

■受信リスト画面に、S!メール通知（「✉」表示）があるときに、次の操作を行います。

S!メール通知選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「通知メール削除」／「サーバーメール削除」／「通知及びサーバーメール削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

● メールによっては、削除できないことがあります。

メールをすべて削除する

メニュー ▶ メール

1 **「受信ボックス」、「下書き」、「送信済みボックス」、「未送信ボックス」のいずれかを選び、◉を押す。**

■ フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 **✉（メニュー）を押す。**

●「下書き」、「未送信ボックス」を選んだときは、このあと操作4へ進みます。

3 **「メール管理」を選び、◉を押す。**

4 **「全件削除」を選び、◉を押す。**

■ 保護メールがあるとき：「**全件削除**」／「**保護メール以外削除**」選択➡◉

5 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。**

添付ファイルをデータフォルダに保存する

メール内の添付ファイル(画像やサウンド、vファイルなど)を、データフォルダに保存できます。

メニュー ▶ メール

1「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、◉を押す。

●ファイルが添付されているメールを選んでください。

3 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

■ファイルの情報確認：「**ファイルのプロパティ**」選択➡◉
■確認の終了：上記操作のあと◉

■画像表示サイズの変更：「**画像表示設定**」選択➡◉➡「**通常サイズ表示**」／「**全画面表示**」選択➡◉

4「添付をデータフォルダへ保存」を選び、◉を押す。

5 ファイル名を入力し、◉を押す。

●ファイル名を変更しないときは、そのまま◉を押し、操作6へ進みます。

6「保存」を選び、◉を押す。

データフォルダに保存され、メッセージ画面に戻ります。

●データフォルダのメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示されます。不要なファイルを削除(☞P.8-8)したあと、保存し直してください。

■メモリカードに保存：✉（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉➡「**保存**」選択➡◉

添付ファイルを利用する

メール内の添付ファイルを、壁紙、着信音、着信ビデオに設定できます。

●設定時にデータフォルダに保存されます。

メニュー ▶ メール

1「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。

■フォルダ表示時：フォルダ選択➡◉

2 メールを選び、◉を押す。

●ファイルが添付されているメールを選んでください。

3 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

4 ***壁紙に設定する***

1「壁紙登録」を選び、◉を押す。

着信音に設定する

1「音声着信音設定」を選び、◉を押す。

着信ビデオに設定する

1「着信ビデオ設定」を選び、◉を押す。

5 ファイル名を入力し、◉を押す。

6「保存」を選び、◉を押す。

設定が反映されます。

■ディスプレイサイズ以外の画像選択時：「**センタリング**」／「**全画面表示**」／「**画像全体表示**」選択➡◉

7 ◉を押す。

メールをフォルダで管理する（振り分けフォルダ）

送受信したメールを、相手や内容などによってフォルダに分類したり、アドレスや件名をもとに自動的に振り分けることができます。

- あらかじめ、受信ボックス表示設定（☞P.14-4）または送信ボックス表示設定（☞P.14-4）を「**フォルダ表示**」にしておいてください。

フォルダを作成する

- 振り分けフォルダは、最大20件作成できます。
- お買い上げ時には、７件（フォルダ１～フォルダ７）登録されています。

メニュー ▶ メール

1 **「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。**

2 **✉（メニュー）を押す。**

3 **「フォルダ新規作成」を選び、◉を押す。**

4 **フォルダ名を入力し、◉を押す。**

- 最大20文字まで入力できます。

フォルダ名を変更する

メニュー ▶ メール

1 **「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。**

2 **振り分けフォルダを選び、✉（メニュー）を押す。**

3 **「フォルダ名変更」を選び、◉を押す。**

■ フォルダシークレット設定時：☞P.14-33

4 **フォルダ名を入力し、◉を押す。**

- 最大20文字まで入力できます。

メールをフォルダに移動する

- 連結受信中のメールまたは保護されているメールは、分類（移動）できません。
- シークレット設定したフォルダは、移動先として選択できません。移動させるときは、シークレット設定を一時解除または解除してください。

メニュー ▶ メール

1 **「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。**

2 **フォルダを選び、◉を押す。**

■ フォルダシークレット設定時：☞P.14-33

3 ***１件ずつ移動する***

1 メールを選び、✉（メニュー）を押す。

複数のメールを移動する

1 メールを複数選択し（☞P.14-25操作２以降）、✉（メニュー）を押す。

- このあと、操作５へ進みます。

4 **「メール管理」を選び、◉を押す。**

5 **「フォルダへ移動」を選び、◉を押す。**

6 **フォルダを選び、◉を押す。**

指定したフォルダへメールを自動的に保存する

送受信したメールを電話番号やE-mailアドレスによって、指定したフォルダに自動的に振り分けます。
また、S!メールの件名やSMSの本文に含まれる文字列によって、振り分けることもできます。

- 設定できる振り分け条件は、1フォルダにつき最大20件です。
- 「迷惑メールフォルダ」(☞P.14-35)にも振り分け条件を設定できます。
- 振り分け条件は、フォルダ番号が小さい方が優先されます。
- 設定後のメールに反映されます。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。

2 フォルダを選び、✉(メニュー)を押す。

■ フォルダシークレット設定時:☞P.14-33

3 「メール振り分け設定」を選び、◉を押す。

4 設定番号を選び、◉を押す。

■ 振り分け条件の削除:設定番号選択➡✉(メニュー)➡「削除」/「設定リセット」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

5 *電話番号/E-mailアドレスで振り分ける*

1「アドレス(差出人)」または「アドレス(宛先)」を選び、◉を押す。

2 宛先を入力し(☞P.14-7操作4)、◉を押す。

■ 宛先の変更:設定番号選択➡✉(メニュー)➡「宛先変更」選択➡◉➡宛先入力(☞P.14-7操作4)

件名(S!メール)/本文(SMS)に含まれる文字で振り分ける

1「件名」を選び、◉を押す。

2 文字を入力し、◉を押す。

- 最大全角20文字(半角40文字)まで入力できます。

フォルダをシークレット設定にする

操作用暗証番号を入力しないと、フォルダ内のメールを確認できないようにすることができます。

- シークレット設定はフォルダ単位で設定できます。
- シークレット設定されたフォルダは表示されません。
- 「シークレットフォルダ着信」を「お知らせしない」に設定しているときは、着信表示されません。(☞P.14-36)

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。

2 フォルダを選び、✉(メニュー)を押す。

3 「シークレット設定」を選び、◉を押す。

4 操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、◉を押す。

シークレットを一時解除する

■シークレットを一時解除するときは、「**フォルダ表示**」時に次の操作を行います。

✉（メニュー）➡「シークレット一時解除」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

- このあと、メールのメインメニューに戻ると再びシークレット設定になります。

シークレットを解除する

■シークレットを解除するときは、シークレット一時解除したあとに次の操作を行います。

シークレット設定されているフォルダ選択➡✉（メニュー）➡「シークレット解除」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉

フォルダを削除する

- フォルダ内にメールがあると、フォルダは削除できません。あらかじめ、メールを他のフォルダに移動するか、削除しておいてください。

メニュー ▶ メール

1 「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選び、◉を押す。

2 フォルダを選び、✉（メニュー）を押す。

3 「削除」を選び、◉を押す。

■ メール振り分け設定時：「**はい**」選択➡◉

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力し、◉を押す。

その他の機能

簡単メール宛先を登録する

よくメールを送信する相手を簡単メール宛先に登録しておけば、待受画面から簡単にメールを送信できます。また、メール作成時に利用することもできます。

- 最大10件まで登録できます。

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 簡単メール宛先設定

1 番号を選び、◉を押す。

■ 登録済の宛先変更：番号選択➡◉➡宛先修正➡◉➡「**はい**」選択➡◉

■ 登録済の宛先削除：番号選択➡✉（**メニュー**）➡「**削除**」／「**設定リセット**」選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

2 ***アドレス帳から宛先を選択する***

1「アドレス帳」を選び、◉を押す。

2 アドレス帳を選び、◉を押す。

■ アドレス帳の検索方法：☞P.4-8「アドレス帳から電話をかける」操作２～３

宛先を直接入力する

1「電話番号入力」または「メールアドレス入力」を選び、◉を押す。

2 ソフトバンク携帯電話の電話番号またはE-mailアドレスを入力し、◉を押す。

メール作成時に簡単メール宛先を登録する

■簡単メール宛先を登録していないときは、P.14-6操作3のあと、またはP.14-7操作3のあと次の操作を行うと、登録できます。

「簡単メール宛先」選択➡◉➡未登録の番号選択➡◉➡「はい」選択➡◉➡P.14-33操作2

簡単にメールを送信する

簡単メール宛先に登録した相手に、待受画面から簡単にメールを作成/送信します。

- あらかじめ、簡単メール宛先を登録しておいてください。

1 簡単メール宛先に登録している番号(0～9)のいずれかを押す。

2 ✉(メール)を押す。

■宛先がソフトバンク携帯電話の電話番号のとき:「S!メール」/「SMS」選択➡◉

3 メールを作成/送信する。(☞P.14-6操作5以降、P.14-8操作5以降)

メールを自動再送する

圏外などの理由で送信に失敗したメールを、自動的に再送するように設定できます。

- 自動再送を「On」にすると、一定の間隔をおいて最大2回再送します。
- SMS/S!メールにかかわらず、登録(作成)した順にメールが再送されます。
- 再送が成功したときは、インフォメーションが表示されます。
- お買い上げ時には、「On」に設定されています。

1 「On」を選び、◉を押す。

■自動再送の解除:「Off」選択➡◉

■自動再送の解除は、再送待ちのメールがない状態で行ってください。

注意▶ 自動再送は、海外などでローミング網を利用しているときでも有効となります。課金が高額になることがありますので、ご注意ください。

メール共通設定

メール送信中画面	メール送信中のアニメを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 表示する

メニュー▶メール➡設定➡一般設定➡メール送信中画面

「表示する」/「表示しない」選択➡◉

メール 14

配信確認	送信メールの配信状況を配信レポート（☞P.14-19）として入手するかどうかを設定します。

■宛先がソフトバンク携帯電話のときに利用できます。
お買い上げ時 Off（入手しない）

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 配信確認

「On」（入手する）／「Off」（入手しない）選択➡◉

- 「On」にすると、ソフトバンク携帯電話へのメール送信時には常に、配信レポートが届くようになります。

迷惑メール設定	アドレス帳に登録されていない電話番号／E-mailアドレスからのメールを、特定のフォルダに振り分けます。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 迷惑メール設定

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

- 「On」にすると、「**迷惑メールフォルダ**」が作成され、迷惑メールがそのフォルダに保存されるようになります。
- 「**迷惑メールフォルダ**」に振り分け条件を設定することができます。（☞P.14-32）
- 振り分け条件は、迷惑メール以外のフォルダが優先されます。
- 迷惑メールに該当するメールを受信したときは、着信音は鳴らず、インフォメーションも表示されません。

署名設定	名前やアドレスなど、メールの本文で使う署名を作成できます。

お買い上げ時 自動挿入：Off

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 署名設定

署名を入力する

「編集」選択➡◉➡署名入力➡◉

- 署名は、最大全角128文字（半角256文字）まで入力できます。

自動挿入を設定する

「自動挿入」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

■ 署名未入力で「On」を選んだとき：上記操作のあと、署名入力➡◉

- 自動挿入を「On」にすると、メール作成時に自動的に署名が挿入されます。
- SMSには挿入されません。

自動削除設定	受信ボックス／送信済みボックス内のメールを、古いものから自動的に削除するかどうかを設定します。

お買い上げ時 受信ボックス：On、送信済みボックス：On

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ 自動削除設定

受信ボックスに設定する

「受信ボックス」選択➡◉➡「On」（削除する）／「Off」（削除しない）選択➡◉

送信済みボックスに設定する

「送信済みボックス」選択➡◉➡「On」（削除する）／「Off」（削除しない）選択➡◉

- 自動削除されるのは、受信ボックス／送信済みボックスにメールを保存するメモリがなくなったときです。（☞P.14-2）

メールお知らせ設定	待受画面以外でメールを受信したときの表示内容や通知音（固定）を設定します。

お買い上げ時 表示内容設定：名前表示、通知音設定：On

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ メールお知らせ設定

表示内容を設定する

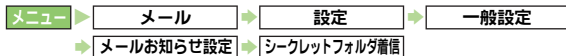
「表示内容設定」選択➡◉➡「名前表示」／「アドレス表示」／「名前・件名表示」／「Off」選択➡◉

通知音を設定する

「通知音設定」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

シークレットフォルダ着信	シークレットフォルダに振り分け設定されているメールを受信したとき、お知らせするかどうかを設定します。

お買い上げ時 お知らせする

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ メールお知らせ設定 ➡ シークレットフォルダ着信

「お知らせする」／「お知らせしない」選択➡◉

スクロール単位	メッセージ画面のスクロールする単位を設定します。

お買い上げ時 1行

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ 一般設定 ➡ スクロール単位

「1行」／「半画面」／「全画面」選択➡◉

SMS設定

有効期限設定	送信したメールをSMSサービスセンターに保存する期限を設定します。

お買い上げ時 最大

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ 有効期限設定

「最大」／「30分」／「1時間」／「6時間」／「1日」／「1週間」選択➡◉

- 「設定1（既定値）」に設定したSMSセンター番号に、有効期限が設定されます。

SMSセンター番号	SMSセンター番号を設定します。

お買い上げ時 設定1（既定値）：+819066519300

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ SMSセンター番号

SMSセンター番号を追加する

「設定2」／「設定3」選択➡◉➡SMSセンター番号入力➡◉

SMSセンター番号を変更する

「設定1（既定値）」／「設定2」／「設定3」選択➡◉➡SMSセンター番号変更➡◉

SMSセンター番号を消去する

「設定2」／「設定3」選択➡✉（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

SMSセンター番号を設定する

「設定2」／「設定3」選択➡✉（メニュー）➡「既定値に設定」選択➡◉

- 「設定2」や「設定3」をSMSセンター番号に設定すると、自動的に「設定1（既定値）」として登録されます。（それまでの番号は1つずつ下にずれます。）

注意▶ ご契約されたソフトバンクから変更のお知らせがないときは、変更しないでください。

文字コード設定	SMS作成時の入力文字を設定します。（日本語／英語）

お買い上げ時 日本語（70文字）

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ SMS設定 ➡ 文字コード設定

「日本語（70文字）」／「英語（160文字）」選択➡◉

S!メール設定

メール受信設定（日本）	S!メールをサーバーメールボックスに蓄積せず自動受信するか、手動受信するかを設定します。

■日本国内で本機を使用するとき、設定してください。

お買い上げ時 自動受信

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ S!メール設定 ➡ メール受信設定（日本）

「自動受信」／「電話番号のみ自動」／「手動受信」選択➡◉

注意▶ 「自動受信」に設定すると、添付ファイルを含むメールの全文が自動で本機に受信されます。メールの全文を受信したときは、お客様のご契約内容に応じて所定の料金が発生するため、ご利用状況に合わせて受信設定を変更してください。

メール受信設定（海外）	S!メールをサーバーメールボックスに蓄積せず自動受信するか、手動受信するかを設定します。

■海外で本機を使用するとき、設定してください。

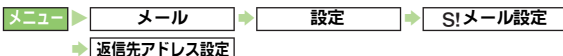
お買い上げ時 手動受信

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ S!メール設定 ➡ メール受信設定（海外）

「自動受信」／「手動受信」選択➡◉

返信先アドレス設定	返信先のアドレスを設定します。

お買い上げ時 Off

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ S!メール設定 ➡ 返信先アドレス設定

返信先アドレスのOn／Offを設定する

「On／Off設定」選択➡「On」／「Off」選択➡◉

返信先アドレスを入力する

「アドレス編集」選択➡◉➡宛先選択➡◉

画像表示設定	添付されてきた画像の表示サイズを切り替えることができます。

お買い上げ時 通常サイズ表示

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ S!メール設定 ➡ 画像表示設定

「通常サイズ表示」／「全画面表示」選択➡◉

- スライドメール再生時（☞P.14-23）は、ここでの設定は無効となります。

添付ファイル自動表示	添付されてきた画像やサウンドを自動的に表示／再生するかどうかを設定します。

お買い上げ時 画像：On（表示する）、サウンド：Off（再生しない）

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ S!メール設定 ➡ 添付ファイル自動表示

画像の表示を設定する

「画像」選択➡◉➡「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

サウンドの再生を設定する

「サウンド」選択➡◉➡「On」（再生する）／「Off」（再生しない）選択➡◉

- スライドメール（☞P.14-23）のときは、ここでの設定にかかわらず、表示／再生されます。
- アレンジメールのときは、ここでの設定は無効となります。

添付ファイル送信時設定	カメラで撮影またはボイスレコーダーで録音直後のファイルをメールで送信するとき、ファイルを保存するかどうかを設定します。

お買い上げ時 保存して送信

メニュー ▶ メール ➡ 設定 ➡ S!メール設定 ➡ 添付ファイル送信時設定

「保存して送信」／「保存しないで送信」選択➡◉

Yahoo!ケータイ

Yahoo!ケータイについて

Yahoo!ケータイとは、ソフトバンク携帯電話で利用できる携帯電話専用のポータルサイト「**Yahoo!ケータイ**」またはPCサイトブラウザを利用した情報の閲覧などができるサービスです。
本書では、携帯専用ポータルサイトを「**Yahoo!ケータイ**」、PCサイトブラウザを利用して閲覧できるサイトを「**PCサイト**」、これらの総称を「**インターネット**」と表記しています。

- インターネットを利用する前に、あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。(☞P.1-20)

インターネット	
Yahoo!ケータイ	PCサイト
携帯専用ポータルサイト	**パソコン向けサイト**

■Yahoo!ケータイでできること

- Yahoo!ケータイの情報画面の閲覧(☞P.15-3)
- 画像などのデータのダウンロード(☞P.15-11)
- 動画／音楽のストリーミング(☞P.15-12)
- ライブモニターへの登録(☞P.15-14)

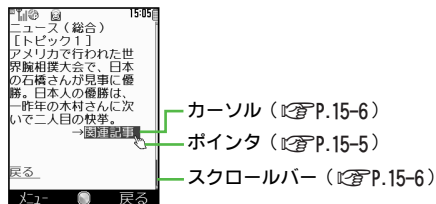
■PCサイトでできること

- PCサイトブラウザを利用したPCサイト情報画面の閲覧(☞P.15-18)

注意▶ 情報画面の一部には、閲覧時に自動的に通信が行われるコンテンツが含まれていることがあります。このときは、パケット通信料がかかる可能性がありますので、十分ご注意ください。
通信を中止するときは[CLEAR/BACK]を押してください。

補足▶
- インターネットの利用には、別途ご契約が必要です。
- インターネットのサービス内容や通信料など詳しくは、「**サービスガイド3G**」を参照してください。

情報画面

インターネットの情報画面例は、次のとおりです。

注意▶ 通信やサーバーなどの状態によっては、情報画面を表示できないことがあります。

補足▶ Yahoo!ケータイの情報画面閲覧中にPCサイトの情報画面に切り替えることができます。(☞P.15-3操作1)

キャッシュメモリ(一時保存用のメモリ)について

■インターネットで入手したメニューや情報は、「**キャッシュメモリ**」に一時保存されます。キャッシュメモリの容量は、あらかじめ定められていて、メモリが一杯になると古い情報から順に自動的に消去されます。

- 一度見た情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュメモリに一時保存されている情報が表示されることがあります。
- 有効期限が指定されている情報は、有効期限を過ぎるとキャッシュメモリから消去されます。

■SSLについて

SSL（Secure Socket Layerの略）とは、インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。一般的に、クレジットカードの番号や個人情報など、大切な情報を送受信する際に使用されます。

本機では、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されています。この証明書の内容を確認することもできます。（ルート証明書：☞P.15-22）

SSL利用に関するご注意

■セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSLを利用することに同意されたものとします。
お客様自身によるSSLの利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社、エントラストジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社は、お客様に対しSSLの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。
万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

Yahoo!ケータイに接続する

メニューから接続する

Yahoo!ケータイのメインメニューから項目を選び、情報を入手します。

- Yahoo!ケータイのメインメニューは、変更されることがあります。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ

1 「Yahoo!ケータイ」を選び、◉を押す。

Yahoo!ケータイのメインメニューが表示されます。

- 待受画面で[Y!]を押しても、Yahoo!ケータイのメインメニューが表示されます。

■ PCサイトに切替：[✉]（**メニュー**）➡「**PCサイトブラウザ切替**」選択➡◉
- ■このあと警告文が表示されます。承諾する場合は、◉を2回押すと、閲覧していたYahoo!ケータイの情報画面がPCサイトの情報画面で表示されます。
- ■サイトによっては正しく表示されないことがあります。

2 項目にカーソルを移動する。

3 ◉を押す。

通信が始まります。

- 通信中にクローズポジションにしても、通信は中断されません。

■ 通信の中止：通信中に[CLEAR/BACK]

4 操作2〜3をくり返し、閲覧する項目を順に選ぶ。

■ 情報画面での操作：☞P.15-5
■ Yahoo!ケータイのメインメニューに戻る：[✉]（**メニュー**）➡「**Yahoo!ケータイ**」選択➡◉

5 **Yahoo!ケータイを終了するときは、☎を押したあと、「はい」を選び、◉を押す。**

履歴を利用して接続する

これまでに表示したYahoo!ケータイの情報画面の履歴を利用して、情報画面を表示します。

- 履歴には、最大300件まで情報画面が記憶されます。最大件数を超えたときは、古い情報画面から順に自動的に削除されます。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ アクセス履歴一覧

1 **履歴を選び、◉を押す。**

2 **Yahoo!ケータイを終了するときは、☎を押したあと、「はい」を選び、◉を押す。**

履歴の情報確認

■履歴リスト画面で、次の操作を行います。

履歴選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ表示」選択➡◉

■ 確認の終了：上記操作のあと◉

URLをメールで送信

■履歴リスト画面で、次の操作を行います。

履歴選択➡✉（メニュー）➡「URL送信」選択➡◉➡「S! メール」／「SMS」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-7操作３以降、P.14-6操作３以降）

履歴をドメイン順／日付順に並べ替える

■履歴のリスト画面で、次の操作を行います。

✉（メニュー）➡「並べ替え」選択➡◉➡「ドメイン順」／「日付順」選択➡◉

履歴を削除する

■履歴のリスト画面で、次の操作を行います。

履歴選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

■ すべての履歴の削除：✉（メニュー）➡「全件削除」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「はい」選択➡◉

URLを直接入力して接続する

URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）を入力して、Yahoo!ケータイの情報画面を表示します。

- 履歴を利用して接続することもできます。（☞左記）
- 「http://」を省略して入力しても接続できます。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ URL入力

1 **URLを入力し、◉を押す。**

- 入力したURLによっては、PCサイトの情報画面が表示されることがあります。

2 **Yahoo!ケータイを終了するときは、☎を押したあと、「はい」を選び、◉を押す。**

以前入力した履歴から選択

■URL入力画面で、次の操作を行います。

✉（メニュー）➡「URL入力履歴」選択➡◉➡URL選択➡◉

■ URL入力履歴は、新しいものから順に、最大10件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

情報画面での操作のしかた

基本的な操作

前の情報画面	前に表示した情報画面に戻ります。

[Y!]（戻る）

元の画面に戻る：上記操作のあと[✉]（メニュー）➡「進む」選択➡●

文頭ジャンプ／文末ジャンプ	情報画面の文頭や文末部分を表示します。

[✉]（メニュー）➡「便利機能」選択➡●➡「文頭ジャンプ」／「文末ジャンプ」選択➡●

セキュリティで保護されている情報画面表示	セキュリティで保護されている情報画面を表示します。

セキュリティで保護されている情報画面表示時の認証画面で●

- 画面に「🔒」が表示されます。
- 確認画面を表示しないように設定することもできます。（セキュリティ確認画面：☞P.15-22）

認証要求	認証が必要な情報画面を表示します。

ユーザーID／パスワード入力➡●➡[Y!]（送信）

ヘルプ	ヘルプを表示します。

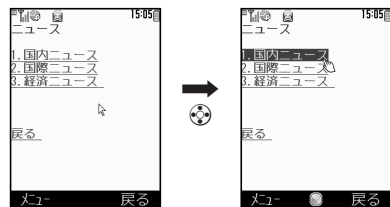
[✉]（メニュー）➡「ヘルプ」選択➡●

情報画面に戻る：上記操作のあと●

ポインタで操作する

ポインタ「↖」を使って画面の続きを表示したり、項目を選んだりできます。ポインタはマルチガイドボタンで操作します。

- 画面の続きを表示させるときは、ポインタをスクロールさせたい方向の画面端へ移動させてください。

■項目を選ぶ

ポインタの表示／操作を設定する

■情報画面で、次の操作を行います。

[✉]（メニュー）➡「設定」選択➡●➡「ポインタ設定」選択➡●➡「ポインタ（Yahoo!ケータイ）」／「ポインタ（PCサイトブラウザ）」選択➡●➡「On」／「Off」選択➡●

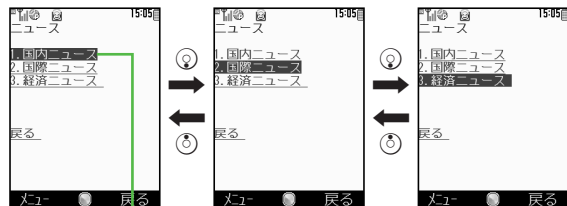
- 情報画面で[📖]を長く（1秒以上）押しても、ポインタの表示／操作の「On」／「Off」の切り替えができます。

ポインタの速度を設定する

■情報画面で、次の操作を行います。

[✉]（メニュー）➡「設定」選択➡●➡「ポインタ設定」選択➡●➡「速度設定」選択➡●➡「遅い」／「普通」／「速い」選択➡●

カーソルを移動する

ポインタ表示／操作を「Off」にしているときは、カーソルを移動して項目を選びます。
を押すと、カーソルが１段ずつ下または上に移動します。

また、同じ行に複数の項目があるときは、を押すとカーソルが右または左に移動します。

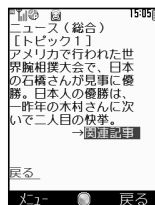
- 選べる項目がないときは、カーソルは表示されません。

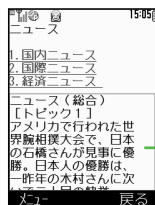
補足▶ 次のボタンを長く（１秒以上）押しても画面の続きを表示させることができます。
2（上）、4（左）、6（右）、8（下）

画面を切り替える

■フレーム非対応（非表示）情報画面

下画面や上画面があるときは、画面の右にスクロールバーが表示されます。
また、左画面や右画面があるときは、画面の下にスクロールバーが表示されます。スクロールバーの白色の部分が現在表示されている位置です。
を押すと、画面の続きが表示され、スクロールバーの白色の部分も移動します。

スクロールバー

■フレーム対応（フレーム表示）情報画面

を長く（１秒以上）押すと、フレームを選択することができます。を押すと、選択されているフレーム内の続きの画面が表示されます。

選択したフレームだけを表示する

■フレーム対応情報画面で、次の操作を行います。

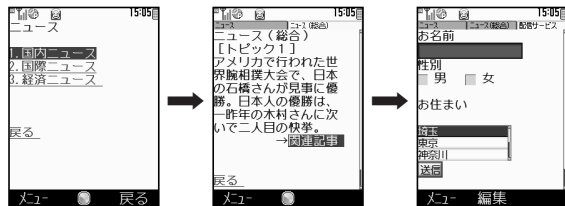
[キー]を長く（1秒以上）押してフレーム選択➡[メール]（メニュー）➡「フレームイン」選択➡◉

■ フレーム表示に戻す：上記操作のあと [メール]（メニュー）➡「フレームアウト」選択➡◉

■ [CLEAR/BACK]を押してもフレーム表示に戻ります。

複数の情報画面を表示する

画面上部に表示されるタブを利用して複数の情報画面を表示できます。

- 最大3つの情報画面を表示できます。
- Yahoo!ケータイの情報画面とPCサイトの情報画面は同時に表示できません。

1 **情報画面で、[メール]（メニュー）を押す。**

2 **「新しいタブで開く」を選び、◉を押す。**

カーソルの当たっているリンク先の情報画面が新しいタブで表示されます。

- ブックマーク、お気に入り、URL入力、アクセス履歴一覧から「**新しいタブで開く**」を実行したときは、指定された情報画面が新しいタブで表示されます。

■ 3つ目の情報画面を開く：[メール]（**メニュー**）➡「**タブメニュー**」選択➡◉➡「**新しいタブで開く**」選択➡◉

■ 情報画面の切替：[メール]（**メニュー**）➡「**タブメニュー**」選択➡◉➡「**タブ切替**」選択➡◉➡情報画面選択➡◉

■ [＊]を長く（1秒以上）押したあと、[左右キー]を押しても情報画面の切り替えができます。

■ 選択中の情報画面を閉じる：[メール]（**メニュー**）➡「**タブメニュー**」選択➡◉➡「**選択中のタブを閉じる**」選択➡◉

■ 表示中の情報画面以外を閉じる：[メール]（**メニュー**）➡「**タブメニュー**」選択➡◉➡「**他のタブをすべて閉じる**」選択➡◉

注意▶ 複数の情報画面を表示しているときは、情報画面が一部表示できないことがあります。不要となった情報画面は閉じて閲覧することをおすすめします。

補足▶ 情報画面によっては、自動的にタブが追加されることがあります。

情報画面内の文字入力や項目選択

入手した情報によっては、下の画面例のように、文字を入力したり、選択ボタンやメニューで項目を選択して、情報を送信できるものがあります。

文字入力欄

- 文字が入力できる部分です。
- □の位置にカーソルを合わせて◉を押すと､文字入力画面が表示されます。このあと文字を入力し、◉を押します。

選択ボタン

- 項目を選択する部分です。
- □（チェックボックス）にカーソルを合わせて◉を押すと、☑に変わり選択されます。
- 選択ボタンには、○（ラジオボタン）もあります。

メニュー

- メニュー項目を選択する部分です。
- メニュー項目にカーソルを合わせて◉を押すと、項目を選択できるようになります。メニューには、連続して項目を選択することで、複数の項目を選択できるものもあります。このようなメニューで選択を終了するときはCLEAR/BACKを押してください。

実行ボタン

- 登録内容の送信やリセットなど、動作を選択する部分です。
- □の位置にカーソルを合わせて◉を押すと、□内に表示されている動作が行われます。

文字入力欄へ文字を入力すると（インプットメモリ）

■情報画面の文字入力欄に入力した文字は、自動的にインプットメモリに登録されます。登録されたインプットメモリは、必要なときに呼び出して利用できます。（入力した暗証番号は登録されません。）

■インプットメモリは、新しいものから最大20件まで記憶されています。20件を超えたときは、古いインプットメモリから順に消去されます。

インプットメモリを利用する

■文字入力できる状態で次の操作を行うと、選んだインプットメモリを文字入力欄に入力できます。

✉（メニュー）➡「その他」選択➡◉➡「インプットメモリ」選択➡◉➡番号選択➡◉

情報の利用

ブックマーク／お気に入りを利用する

よく利用するURL／情報画面を「**ブックマーク**」、「**お気に入り**」に登録しておくと、簡単な操作で表示できます。

●表示できる内容は、次のとおりです。

機能名	内容
ブックマーク	情報画面のURLが登録されます。情報は、インターネットに接続することで確認できます。 ●フォルダで管理することもできます。 ●Yahoo!ケータイ、ストリーミング合わせて最大100件まで、またPCサイトは最大100件まで登録できます。
お気に入り	情報画面そのものが登録されます。情報は、インターネットに接続せずに確認できます。 ●お気に入りには、気になる情報をメモ代わりに登録すると便利です。 ●Yahoo!ケータイ、PCサイトそれぞれ最大100件まで登録できます。

ブックマークにあらかじめ登録されているURLについて

■ブックマークにあらかじめ登録されている「Sharp Space Town」、「**カスタモ**」は、シャープ製ソフトバンク携帯電話専用のサイトです。

●「Sharp Space Town」では、壁紙やゲームなど多彩なコンテンツがあります。また、辞書ファイルもダウンロードできます。

●「**カスタモ**」では、カスタムスクリーン（☞P.9-9）がダウンロードできます。

URL／情報画面を登録する

●以下の操作は、P.15-3操作4のあとのYahoo!ケータイの情報画面、またはP.15-18操作4のあとのPCサイトの情報画面で行います。

1 **✉（メニュー）を押す。**

●「**ブックマーク**」または「**お気に入り**」が表示されないメニュー画面では、操作できません。

2 ***ブックマークに登録する***

1「ブックマーク」を選び、◉を押す。
2「登録」を選び、◉を押す。
3 タイトルを入力し、◉を押す。

●ストリーミング中にブックマークに登録すると、ブックマークのストリーミングリストに登録されます。

お気に入りに登録する

1「お気に入り」を選び、◉を押す。
2「登録」を選び、◉を押す。
3 タイトルを入力し、◉を押す。

URLを入力してブックマークに登録する

■直接URLを入力してブックマークに登録するときは、次の操作を行います。

◉➡「Yahoo!ケータイ」選択➡◉➡「**ブックマーク**」選択➡◉➡「Yahoo!ケータイ」／「**PCサイトブラウザ**」／「**ストリーミング**」選択➡✉（メニュー）➡「**新規作成**」選択➡◉➡URL入力➡◉➡タイトル入力➡◉

登録した情報画面を表示する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ

1 ブックマークを表示する

1「ブックマーク」を選び、◉を押す。

- URLをメールで送信：タイトル選択➡✉（メニュー）➡「送信」選択➡◉➡「メール本文に挿入」選択➡◉➡「S!メール」／「SMS」選択➡◉➡メール作成／送信（P.14-6操作3以降、P.14-7操作3以降）
  - ■SMSの送信可能文字数より長いURLのときは、自動的にS!メール作成画面になります。
- ブックマークの情報確認：タイトル選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ表示」選択➡◉
  - ■確認の終了：上記操作のあと◉

ブックマークのリスト画面

2 ◎で「Y!」（Yahoo!ケータイ）、「🖥」（PCサイトブラウザ）、「🌐」（ストリーミング）のいずれかを選ぶ。

お気に入りを表示する

1「お気に入り」を選び、◉を押す。

- お気に入りの情報確認：タイトル選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ表示」選択➡◉
  - ■確認の終了：上記操作のあと◉

お気に入りのリスト画面

2 ◎で「Y!」（Yahoo!ケータイ）または「🖥」（PCサイトブラウザ）を選ぶ。

2 タイトルを選び、◉を押す。

> **情報画面表示中にブックマークを表示する**
>
> ■次の操作を行います。
>
> ✉（メニュー）➡「ブックマーク」選択➡◉➡「一覧表示」選択➡◉➡タイトル選択➡◉

ブックマーク／お気に入りの登録内容を編集する

- 以下の操作は、左記「登録した情報画面を表示する」操作1のブックマーク／お気に入りのリスト画面で行います。

■ブックマークの編集

タイトル／URLの変更	タイトルやURLを変更します。

タイトルを変更する

タイトル選択➡✉（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡「タイトル：」選択➡◉➡タイトル入力➡◉➡Y!（保存）

URLを変更する

タイトル選択➡✉（メニュー）➡「編集」選択➡◉➡「URL：」選択➡◉➡URL入力➡◉➡Y!（保存）

フォルダ管理	ブックマークをフォルダで管理します。

新規フォルダを作成する

✉（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉

フォルダに移動する

タイトル選択➡✉（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡✉（フォルダ）➡移動先フォルダ選択➡◉➡◉

- フォルダ内のブックマークをフォルダから出す：フォルダ内のタイトル選択➡✉（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡✉（上へ）➡◉

フォルダ名を変更する

フォルダ選択➡☒（メニュー）➡「フォルダ名変更」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉

■お気に入りの編集

タイトル変更	タイトルを変更します。

タイトル選択➡☒（メニュー）➡「タイトル変更」選択➡◉➡タイトル入力➡◉

■ブックマーク／お気に入りの編集

並べ替え	ブックマーク／お気に入りの表示順を並べ替えます。

タイトル選択➡☒（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡◎（移動先選択）➡◉

削除	ブックマークやお気に入りを削除します。

タイトル／フォルダ選択➡☒（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

- すべてのタイトル／フォルダの削除：☒（**メニュー**）➡「**全件削除**」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡「**はい**」選択➡◉

Yahoo!ケータイの情報内のファイルをデータフォルダに保存する

Yahoo!ケータイの情報内の画像やサウンドなどをデータフォルダに保存します。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ Yahoo!ケータイ ➡ 情報画面を表示する

1 ☒（メニュー）を押す。

2「ファイル保存」を選び、◉を押す。

- 情報内にファイルが1つしかないときは、このあと操作4へ進みます。
- 背景画像の保存：上記操作のあと「**背景画像保存**」選択➡◉➡下記操作4以降
  - ■背景画像がないときは表示されません。

3 ファイルを選び、◉を押す。

- ファイルの確認：「**表示**」／「**再生**」選択➡◉
  - ■確認の終了：上記操作のあと CLEAR/BACK
- ファイルの情報確認：「**プロパティ表示**」選択➡◉
  - ■確認の終了：上記操作のあと◉

4「保存」を選び、◉を押す。

データフォルダのリスト画面が表示されます。

- 本体／メモリカードの切替：☒（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡◉
- 新しく作成したフォルダに保存：フォルダ選択➡◉

5 ◉を押す。

データフォルダに保存されます。

- 保存したファイルの内容によっては、保存後に利用できるメニューが表示されることがあります。
- データフォルダのメモリが一杯のときは、空き容量がない旨のメッセージが表示されます。不要なファイルを削除（☞P.8-8）したあと、保存し直してください。
- フォルダ内に同名のファイルがあるとき：「**別名で保存**」／「**上書き保存**」／「**キャンセル**」選択➡◉

ファイルへのリンクを選んだとき

■ファイルによっては、自動的に保存されることがあります。ダウンロード完了画面で保存先を確認してください。

情報画面内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

情報画面に電話番号（先頭に「TEL:」が付いている番号）／E-mailアドレスが含まれているときは、その画面から電話をかけたり、メールを送信できます。また、URL（「http://」／「https://」／「rtsp://」で始まるアドレス）が含まれているときは、インターネットに接続できます。

- アンダーラインが付いていないときは、利用できません。
- 電話番号／E-mailアドレス、URLが表示されていなくても、アンダーラインの付いた文字で利用できることがあります。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ Yahoo!ケータイ

1 電話番号やE-mailアドレス、URLが含まれている情報画面を表示する。

2 *電話をかける（電話番号の利用）*

1 電話番号を選び、◉を押す。
2「発信」または「TVコール」を選び、◉を押す。

メールを送信する
（ソフトバンク携帯電話番号／E-mailアドレスの利用）

1 ソフトバンク携帯電話番号またはE-mailアドレスを選び、◉を押す。
2「メール作成」を選び、◉を押す。

メールの作成／送信方法：P.14-6 操作５以降、P.14-8 操作５以降

インターネットに接続する（URLの利用）

1 URLを選び、◉を押す。

インターネットに接続されます。

- 「rtsp://」で始まるアドレスのときは、動画／音楽がストリーミングされます。

アドレス帳に登録する

■新規で登録するときは、情報画面で次の操作を行います。

電話番号／E-mailアドレス選択➡◉➡「アドレス帳に登録」選択➡◉➡「新規登録」選択➡◉

- アドレス帳登録の画面（☞P.4-4）が表示されます。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。

■登録済のアドレス帳に追加登録するときは、情報画面で次の操作を行います。

電話番号／E-mailアドレス選択➡◉➡「アドレス帳に登録」選択➡◉➡アドレス帳選択➡◉➡Y!（保存）

動画／音楽のストリーミング

動画や音楽をダウンロードしながら同時に再生します。（ストリーミング）

- ストリーミングできるのは、Yahoo!ケータイの情報画面のストリーミング対応データだけです。
- ダウンロードしたデータは、本体やメモリカードには保存されません。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ Yahoo!ケータイ ➡ 情報画面を表示する

1 再生するデータを選び、◉を押す。

動画や音楽のストリーミングが始まります。（動画／音楽の再生：☞P.7-4、P.7-8）

一時停止：ストリーミング中に◉

- 一時停止中の再開：上記操作のあと◉
- ストリーミング一時停止中も、インターネットへは接続されています。（通信料が発生します。）

ストリーミング中に着信があると

■ストリーミング中に電話着信があると、ストリーミングは停止します。このときは、◉を押すと通話できます。
通話を拒否するときは、次の操作を行います。
✉（**メニュー**）➡「**着信拒否**」**選択**➡◉
- 通話後は、再接続確認画面が表示されます。

■ストリーミング中にメールを受信すると、メールお知らせ設定（☞P.14-36）の設定に従ってお知らせします。

注意▶
- ストリーミング中にクローズポジションにしても、ストリーミングは一時停止しません。
- 一時停止中などで3分以上そのままにしていると、再接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- ストリーミング中に一時停止、早送り、巻き戻しや、メニュー画面が利用できないストリーミング形式（ライブストリーミング）もあります。

補足▶ ストリーミング時に接続したURLは、履歴として本機に最大10件まで記憶されます。10件を超えたときは、古い履歴から順に自動的に削除されます。

表示サイズを変更する

■表示サイズを一時的に変更するときは、ストリーミング中に次の操作を行います。
2
- 押すたびに、「**全画面（マークなし）**」→「**全画面（マークあり）**」→「**標準**」→「**拡大**」の順に切り替わります。
- 一時停止中は、表示サイズは切り替わりません。表示サイズが全画面のときは、「**全画面（マークなし）**」→「**全画面（マークあり）**」が切り替わります。

- データや再生状態によっては、表示サイズが変更できないことがあります。

■ストリーミング開始時の表示サイズを設定するときは、ストリーミング中に次の操作を行います。
✉（**メニュー**）➡「**設定**」**選択**➡◉➡「**表示サイズ**」**選択**➡◉➡「**標準**」／「**拡大**」／「**全画面**」**選択**➡◉

バックライトを設定する

■ストリーミング中のバックライトの点灯方法を設定するときは、ストリーミング中に次の操作を行います。
✉（**メニュー**）➡「**設定**」**選択**➡◉➡「**バックライト**」**選択**➡◉➡「**常にOn**」／「**常にOff**」／「**通常設定に従う**」**選択**➡◉
- 「**通常設定に従う**」にすると、バックライト（☞P.9-13）の設定内容に従って動作します。

指定した時間から再生する（タイムサーチ）

■ストリーミング中にタイムサーチを行うときは、次の操作を行います。

✉（メニュー）➡「タイムサーチ」選択➡◉➡時間入力➡◉

メディアプレイヤーからのストリーミング　あらかじめメディアプレイヤーを起動してから、インターネットに接続して、ストリーミングします。

メニュー ▶ メディアプレイヤー ➡ ストリーミング

続きから再生する

「続き再生」選択➡◉

- ダウンロードした続きからストリーミングします。

URLを入力してストリーミングを開始する

「URL入力」選択➡◉➡URL入力➡◉

- 最大1024文字まで入力できます。

ブックマークを利用してストリーミングを開始する

「ブックマーク」選択➡◉➡ブックマーク選択➡◉

履歴を利用してストリーミングを開始する

「履歴」選択➡◉➡履歴選択➡◉

履歴の詳細確認：「履歴」選択➡◉➡履歴選択➡✉（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

■ 確認の終了：上記操作のあと◉

履歴のURLを編集して接続：「履歴」選択➡◉➡履歴選択➡✉（メニュー）➡「URL編集」選択➡◉➡URL編集➡◉

補足▶ 「URL入力」などを選択する画面で、「設定」を選び◉を押しても、バックライトや表示サイズが設定できます。

ライブモニター

ライブモニターについて

ライブモニターでは、登録したYahoo!ケータイのコンテンツの更新情報を見ることができます。

- ライブモニターには、ライブモニターリストとS!ループリストの２種類あります。
- 待受画面でライブモニターリストに登録したコンテンツの最新情報を確認することができます。（☞P.9-6）

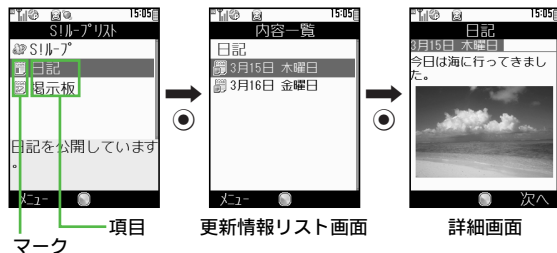
リスト画面を表示する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター

1 **「ライブモニターリスト」または「S!ループリスト」を選び、◉を押す。**

■ライブモニターリスト

	速報未読		一般未読
	速報既読		一般既読
	速報自動更新停止中		一般自動更新停止中

■S!ループリスト

(アイコン)	S!ループ未読
(アイコン)	S!ループ既読
(アイコン)	S!ループ自動更新停止中

更新情報を確認する

ライブモニターリストの更新情報を確認する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター

1「ライブモニターリスト」を選び、◉を押す。

2 コンテンツを選び、◉を押す。

更新情報リストが表示されます。(☞P.15-14「更新情報リスト画面」)

3 リストから更新情報を選び、◉を押す。

更新情報の詳細が表示されます。(☞P.15-14「詳細画面」)

■ インターネットに接続:タイトル選択➡◉➡「はい」選択➡◉

■ インターネットに接続され、Yahoo!ケータイのコンテンツが表示されます。

S!ループリストの更新情報を確認する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター

1「S!ループリスト」を選び、◉を押す。

2 項目を選び、◉を押す。

更新情報のリストが表示されます。(☞左記「更新情報リスト画面」)

3 リストから更新情報を選び、◉を押す。

更新情報の詳細が表示されます。(☞左記「詳細画面」)

■ インターネットに接続:タイトル選択➡◉➡「はい」選択➡◉

■ インターネットに接続され、S!ループの情報画面が表示されます。

ライブモニターリスト/S!ループリストに登録する

ライブモニターリストに登録する

- ライブモニターリストには速報が1件、一般が最大4件まで登録できます。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター

1「ライブモニターリスト」を選び、◉を押す。

2「コンテンツリスト」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

インターネットに接続され、コンテンツリストが表示されます。

4 コンテンツを選び、◉を押す。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

S!ループリストに登録する

●S!ループリストには最大５件まで登録できます。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター

1「S!ループリスト」を選び、◉を押す。

2「S!ループ」を選び、◉を押す。

3「はい」を選び、◉を押す。

S!ループに接続され、S!ループの情報画面が表示されます。

●以降、S!ループリストの登録方法については、S!ループのヘルプを参照してください。

ライブモニターリスト／S!ループリストを更新する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター

1「ライブモニターリスト」または「S!ループリスト」を選び、◉を押す。

2 *一件更新する*

1 コンテンツまたはS!ループの項目を選び、✉（メニュー）を押す。

2「更新」を選び、◉を押す。

3「１件更新」を選び、◉を押す。

全件更新する

1 ✉（メニュー）を押す。

2「更新」を選び、◉を押す。

3「全件更新」を選び、◉を押す。

コンテンツ／S!ループ各項目の概要を確認する

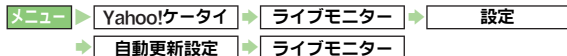
■ライブモニターリスト またはS!ループリスト画面（☞P.15-14）で、次の操作を行います。

コンテンツ／S!ループの項目選択 ➡ ✉（メニュー）➡「プロパティ表示」選択 ➡ ◉

ライブモニターリスト／S!ループリストを自動更新する

- 自動更新を設定した時刻を基準に自動更新が行われます。次回の自動更新の時刻は上記「**コンテンツ／S!ループ各項目の概要を確認する**」で確認できます。
- 夜間から早朝の間は、ライブモニターリストの速報、S!ループリストの自動更新は行われません。
- 海外では自動更新されません。
- 圏外や電波の悪い場所では、自動更新されないことがあります。
- 何らかの事情で自動更新が停止したときは、手動で更新できます。（☞左記）
- USIMカードを交換したときは、自動更新設定は「Off」になります。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

ライブモニターリストを自動更新する

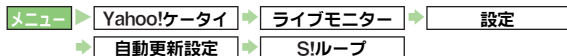
メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター ➡ 設定 ➡ 自動更新設定 ➡ ライブモニター

1 *「速報」を自動更新する*

1 「速報」を選び、◉を押す。
2 ◉を押す。
3 更新間隔を選択し、◉を押す。
■ 自動更新設定を解除する：「Off」選択➡◉

「一般」を自動更新する

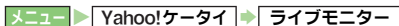
1 「一般」を選び、◉を押す。
2 ◉を押す。
3 「On」を選び、◉を押す。
● 1日に1回更新されます。
■ 自動更新設定を解除する：「Off」選択➡◉

S!ループリストを自動更新する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター ➡ 設定 ➡ 自動更新設定 ➡ S!ループ

1 ◉を押す。

2 「On」を選び、◉を押す。
● 1日に4回程度更新されます。
■ 自動更新設定を解除する：「Off」選択➡◉

登録したコンテンツ／S!ループの項目を削除する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ライブモニター

1 「ライブモニターリスト」または「S!ループリスト」を選び、◉を押す。

2 *一件削除する*

1 コンテンツまたはS!ループの項目を選び、✉（メニュー）を押す。
2 「削除」を選び、◉を押す。
3 「1件削除」を選び、◉を押す。
4 「はい」を選び、◉を押す。

全件削除する

1 ✉（メニュー）を押す。
2 「削除」を選び、◉を押す。
3 「全件削除」を選び、◉を押す。
4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。
5 「はい」を選び、◉を押す。

注意▶ 自動更新中は、削除できません。

PCサイトに接続する

メニューから接続する

PCサイトブラウザでパソコン向けサイトを閲覧できます。

- データ量の多い情報画面を表示するときは通信料が高額になりますので、ご注意ください。
- PCサイトブラウザでは、ドキュメントファイル以外のデータをダウンロードまたはストリーミングすることはできません。

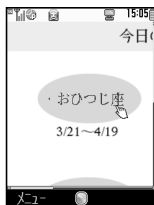
メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ PCサイトブラウザ

1 「ホームページ」を選び、◉を押す。

このあと警告文が表示されます。承諾するときは、◉を2回押すと、ホームページが表示されます。

PCサイトブラウザ起動中のアイコン「🖥」が表示されます。

■ Yahoo!ケータイに切替：✉（**メニュー**）➡「**ブラウザ切替**」選択➡◉

- ■ このあと警告文が表示されます。承諾するときは、◉を2回押すと、閲覧していたPCサイトの情報画面がYahoo!ケータイの情報画面で表示されます。
- ■ サイトによっては正しく表示されないことがあります。

2 項目にカーソルを移動する。

3 ◉を押す。

通信が始まります。

- 通信中にクローズポジションにしても、通信は中断されません。

■ 通信の中止：通信中にCLEAR/BACK

4 操作2～3をくり返し、閲覧する項目を順に選ぶ。

■ 情報画面での操作：☞P.15-5

■ ブックマーク／お気に入りへの登録：☞P.15-9

■ 情報画面内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する：☞P.15-12

■ ホームページに戻る：✉（**メニュー**）➡「**ホームページ**」選択➡◉

5 PCサイトブラウザを終了するときは、📞を押したあと、「はい」を選び、◉を押す。

画面表示を切り替える

■情報画面で、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**PCスクリーン**」選択➡◉

- ■ PCスクリーンからスモールスクリーンに切り替えるとき：✉（**メニュー**）➡「**スモールスクリーン**」選択➡◉
- スモールスクリーンでは、PCサイトの情報画面がディスプレイの幅に収まるようにレイアウトされます。
- PCスクリーンでは、PCサイトの情報画面が横800×縦600ドットのサイズで表示されます。

情報画面を拡大縮小表示する

■情報画面で、次の操作を行います。

✉（**メニュー**）➡「**便利機能**」選択➡◉➡「**拡大縮小表示**」選択➡◉➡倍率選択➡◉

履歴を利用して接続する

これまで表示した情報画面の履歴を利用して、情報画面を表示します。

- 履歴には、最大約300件まで情報画面が記憶されます。最大件数を超えたときは、古い情報画面から順に自動的に削除されます。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ PCサイトブラウザ ➡ アクセス履歴一覧

1 履歴を選び、◉を押す。

履歴リスト画面での操作：☞P.15-4

2 PCサイトブラウザを終了するときは、☎を押したあと、「はい」を選び、◉を押す。

URLを直接入力して接続する

URL（「http://」／「https://」で始まるアドレス）を入力して、情報画面を表示します。

- 履歴を利用して接続することもできます。（☞上記）
- 「http://」を省略して入力しても接続できます。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ PCサイトブラウザ ➡ URL入力

1 URLを入力し、◉を押す。

- 入力したURLによっては、Yahoo!ケータイの情報画面が表示されることがあります。

URL入力画面での操作：☞P.15-4

2 PCサイトブラウザを終了するときは、☎を押したあと、「はい」を選び、◉を押す。

その他の機能

情報表示中の各種操作

- 以下の操作は、インターネットの情報画面（☞P.15-2）で行います。

テキストコピー	情報画面内の文字をコピーします。

✉（メニュー）➡「テキストコピー」選択➡◉➡P.3-14「コピー／カット（切り取り）／ペースト（貼り付け）を行う」操作3以降

情報の更新	情報を最新の内容に更新します。

✉（メニュー）➡「更新」選択➡◉

- お気に入りに登録している情報画面で操作したときは、お気に入りの内容も更新されます。

URLを入力して接続	情報画面表示中にURLを入力して接続します。

✉（メニュー）➡「URL入力」選択➡◉➡P.15-4、左記「URLを直接入力して接続する」操作1以降

検索	情報画面内の文字列を検索します。

✉（メニュー）➡「便利機能」選択➡◉➡「テキスト検索」選択➡◉➡検索文字列入力➡◉

- 該当する検索結果が複数あるときは、先頭の検索結果が赤色表示されます。このあと◉を押すと、次の検索結果が表示されます。

検索の終了：上記操作のあと✉（キャンセル）

URLをメールで送信	情報画面のURLをメールで送信します。

◎（メニュー）➡「便利機能」選択➡◉➡「URL送信」選択➡◉➡「S!メール」／「SMS」選択➡◉➡メール作成／送信（☞P.14-6操作3以降、P.14-7操作3以降）

- SMSの送信可能文字数より長いURLのときは、自動的にS!メール作成画面になります。

プロパティ	情報の詳細を確認します。

◎（メニュー）➡「便利機能」選択➡◉➡「プロパティ表示」選択➡◉➡「ページ情報」／「サーバー証明書」選択➡◉

■ 情報画面に戻る：上記操作のあと◉

履歴を表示して接続	情報画面表示中に履歴を表示して接続します。

◎（メニュー）➡「アクセス履歴一覧」選択➡◉➡P.15-4、P.15-19「履歴を利用して接続する」操作1以降

文字コード変換	情報画面の文字コードを設定します。

お買い上げ時 自動

◎（メニュー）➡「設定」選択➡◉➡「文字コード変換」選択➡◉➡文字コード選択➡◉

- 通常は「自動」でお使いください。「自動」で正しく表示されないときに、文字コードを変更してください。

画像などのアップロード	データフォルダ内の画像など各種ファイルを、サービスセンターへアップロード（送信）します。

■画像などをアップロードできる情報画面で利用できます。

「参照」選択➡◉➡ファイル選択➡◉➡「送信」選択➡◉

- 上記の操作は、あくまでも一例です。詳しくは、情報画面の操作説明を参照してください。
- コンテンツによっては、アップロードに対応していないものがあります。

Yahoo!ケータイ／PCサイトブラウザ共通設定

文字サイズ	情報画面の文字サイズを設定します。

お買い上げ時 中

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ 文字サイズ

文字サイズ選択➡◉

スクロール単位	情報画面のスクロールする単位を設定します。

お買い上げ時 1行

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ スクロール単位

スクロール単位選択➡◉

テキストブラウズ設定	情報内の画像やサウンドを取得せずに、文字情報だけを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 イメージ：取得する、サウンド：再生する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ テキストブラウズ設定

画像を取得するかどうかを設定する

「イメージ」選択➡◉➡「取得する」／「取得しない」選択➡◉

サウンドを再生するかどうかを設定する

「サウンド」選択➡◉➡「再生する」／「再生しない」選択➡◉

キャッシュ/Cookie/認証情報の消去	キャッシュ/Cookie/認証情報を消去します。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ メモリ操作

「キャッシュ消去」/「Cookie消去」/「認証情報消去」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

- 削除される内容は、次のとおりです。

キャッシュ	キャッシュメモリに一時保存された情報です。
Cookie	サーバー側でお客様を識別するための情報です。
認証情報	以前の認証要求時に入力したユーザーID/パスワードです。

ファイル保存先	ダウンロードファイルの保存先として、本体とメモリカードのどちらを優先するかを設定します。

お買い上げ時 本体メモリ優先

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ ファイル保存先

「本体メモリ優先」/「メモリカード優先」選択➡◉

- 優先設定された保存先のメモリ容量が不足しているときは、保存できません。
- ファイルによっては、メモリカードへの保存が禁止されているものがあります。このときは、ここでの設定にかかわらず本体に保存されます。

ブラウザ初期化	ブラウザの設定やブックマーク、お気に入りなどの保存した情報を初期化します。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ ブラウザ初期化

操作用暗証番号(4ケタ)入力➡◉➡「はい」選択➡◉

設定リセット	設定をリセットします。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ 設定リセット

操作用暗証番号(4ケタ)入力➡◉➡「はい」選択➡◉

PCサイトブラウザ設定

警告画面表示設定	Yahoo!ケータイ/PCサイトブラウザ切替時またはPCサイトブラウザ起動時に警告画面を表示させるかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ PCサイトブラウザ ➡ PCサイトブラウザ設定 ➡ 警告画面表示設定

「PCサイトブラウザ」/「Yahoo!ケータイ」選択➡◉➡「On」/「Off」選択➡◉

拡大縮小表示設定	情報画面の表示サイズを設定します。

お買い上げ時 100%

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ PCサイトブラウザ ➡ PCサイトブラウザ設定 ➡ 拡大縮小表示設定

表示サイズ選択➡◉

セキュリティ設定

- Yahoo!ケータイ/PCサイトブラウザ共通の設定です。

製造番号通知	本機の製造番号(接続認証のための情報)を自動的に送信するかどうかを設定します。

お買い上げ時 Off(送信しない)

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 製造番号通知

「On」(送信する)/「Off」(送信しない)選択➡◉

Referer送出	リンク元をサーバーに通知するかどうかを設定します。

お買い上げ時 送出する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ Referer送出

「送出する」/「送出しない」選択➡◉

Cookie設定	Cookie(☞P.15-21)を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時 許可する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ Cookie設定

「許可する」/「許可しない」/「毎回確認」選択➡◉

スクリプト設定	情報画面のスクリプトを実行するかどうかを設定します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ スクリプト設定

「On」/「ネットワークアクセス時確認」/「毎回確認」/「Off」選択➡◉

セキュリティ確認画面	セキュリティで保護されている情報画面(☞P.15-3)と通常の情報画面の間を移動するとき、確認画面を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 表示する

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ セキュリティ確認画面

「表示する」/「表示しない」選択➡◉

ルート証明書	本機に登録されている、認証機関が発行した電子的な証明書を確認します。

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ セキュリティ設定

「ルート証明書表示」(あらかじめ登録されている証明書)➡◉

- 証明書の詳細:上記操作のあと、証明書選択➡◉
- 確認の終了:上記操作のあと◉

認証情報保持設定	認証要求時に、以前に入力したユーザーID/パスワードで自動的に認証するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ブラウズ中保持

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ 認証情報保持設定

「ブラウズ中保持」/「On」(認証する)/「Off」(認証しない)選択➡◉

- 「ブラウズ中保持」を選ぶと、インターネット終了まで認証情報を保存して、自動的に認証します。インターネットを終了すると、認証情報は消去されます。
- 「On」を選ぶと、インターネット終了または電源を切ったあとも認証情報は消去されません。

補足▶ ここで保存される情報は、HTTP通信のBasic認証、Digest認証で使用される認証情報です。サイトによっては、別の認証方式を採用しているところもあります。

Flash®取得規制	Flash®の取得(表示)規制を設定/解除します。

お買い上げ時 On

メニュー ▶ Yahoo!ケータイ ➡ ブラウザ共通設定 ➡ セキュリティ設定 ➡ Flash®取得規制

「On」(設定)/「Off」(解除)選択➡◉

S!アプリ

S!アプリについて

本機に、ゲームなどいろいろなアプリケーションをインターネットからダウンロードして楽しめます。

- 本機では、ソフトバンク携帯電話専用のS!アプリだけ利用できます。

補足▶
- S!アプリの利用には、別途ご契約が必要です。（お買い上げ時に登録されているS!アプリは、そのまま利用できます。）
- 通信料などについて詳しくは、「**サービスガイド 3G**」を参照してください。
- お買い上げ時に登録されているS!アプリは、削除することができます。（☞P.16-5）
  削除後、お買い上げ時の状態に戻すときは、S!アプリオールリセット（☞P.16-8）を行います。

生活アプリについて

■本機には、S! FeliCa対応のS!アプリ「**生活アプリ**」（☞P.17-2）が登録されています。「**生活アプリ**」も他のS!アプリと同様、各種設定や管理を行えます。

ネットワーク接続型 S!アプリについて

■利用時にネットワーク（インターネット）への接続が必要なS!アプリを「**ネットワーク接続型S!アプリ**」といいます。
- ネットワーク接続型 S!アプリを利用するときは、ネットワーク接続の確認画面が表示されます。この確認画面は表示しないようにすることもできます。（☞P.16-7）

S!アプリライブラリを表示する

本機に保存されているS!アプリは、S!アプリライブラリで確認できます。

メニュー ▶ S!アプリ

1 「S!アプリ」を選び、◉を押す。

本機のS!アプリライブラリが表示されます。

■ 本体／メモリカードの切替：✉（**メニュー**）➡「**本体へ切替**」／「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

■ Java™のライセンスに関する情報を表示：「**インフォメーション**」選択➡◉

補足▶ 一時停止中のS!アプリがあるときは、待受画面で◉を押すと確認画面が表示されます。「**終了**」を選び◉を押し、一時停止中のS!アプリを終了したあと、操作してください。

S!アプリライブラリのメモリ使用状況を確認する

■次の操作を行います。

◉➡「**データフォルダ**」選択➡◉➡「**メモリ確認**」選択➡◉➡「**本体**」／「**メモリカード**」選択➡◉

メモリカード内のS!アプリ情報を更新する（メモリカードシンクロ）

メモリカードを別のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用（データの編集や追加、消去など）したときは、S!アプリライブラリの情報を更新する必要があります。

●あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-20）

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ メモリカードシンクロ

1「はい」を選び、◉を押す。

補足▶ S!アプリライブラリのファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまで時間がかかることがあります。

S!アプリをダウンロードする

●あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-20）
●S!アプリによっては、メモリカードに保存できます。
●電波状態のよい所で操作してください。

メニュー ▶ S!アプリ ➡ S!アプリ ➡ S!アプリダウンロード

1 S!アプリを提供しているインターネットの情報画面を表示する。

2 S!アプリを選び、◉を押す。

データ解析中の確認メッセージが表示されたあと、S!アプリ情報が受信され、情報表示画面が表示されます。

■ S!アプリ一時停止中：「**はい**」選択➡◉

3 ✉（Yes）を押す。

S!アプリ本体のダウンロードが始まります。

●ダウンロードに、多少時間がかかることがあります。

■ ダウンロードの中止：CLEAR/BACK

4 ダウンロードが終われば、自動的に保存され、確認画面が表示される。

●S!アプリ待受（☞P.16-6）に設定しているS!アプリの新しいバージョンをダウンロードしたときは、S!アプリ待受設定が解除されることがあります。

5「はい」を選び、◉を押す。

インターネットの接続が終了し、S!アプリライブラリが表示されます。

■ インターネットの情報画面に戻る：「**いいえ**」選択➡◉

■ S!アプリの起動：☞P.16-4

補足▶ S!アプリによっては、セキュリティレベルの設定など、操作が必要なものもあります。

情報表示画面

S!アプリのダウンロードでは、S!アプリ本体をダウンロードする前に、タイトルやサイズなどのS!アプリ情報が表示されます。（情報表示画面）

この情報表示画面で確認したあと、S!アプリ本体をダウンロードできます。

S!アプリの利用

S!アプリを起動する

メニュー ▶ S!アプリ

1 「S!アプリ」を選び、◉を押す。

S!アプリライブラリ（☞P.16-2）が表示されます。

2 S!アプリを選び、◉を押す。

S!アプリが起動します。

- S! アプリの操作方法については、ダウンロードしたインターネットの情報画面などを参照してください。
- 利用できないS!アプリを選んだときは、S!アプリライブラリに戻ります。

補足▶ S!アプリ起動中に電話などの着信があると、S!アプリが一時停止し、着信画面が表示されます。S!アプリを起動させたまま着信通知を表示させることもできます。（☞P.16-8）

ネットワーク接続型 S!アプリを起動する

■ ネットワーク接続型 S!アプリを起動するときは、操作2のあと、ネットワーク接続の確認画面で次の操作を行います。
「Yes」／「No」選択➡◉➡S!アプリ起動
● 確認画面を表示しないようにも設定できます。（☞P.16-7）

■S!アプリの種類によっては、ネットワーク接続型 S!アプリを起動するとき、セキュリティレベル（☞P.16-7）の設定画面が表示されることがあります。

S!アプリを終了／一時停止／再開する

S!アプリを終了／一時停止する

1 S!アプリ利用中に、☎を押す。

2 *終了する*

1「終了」を選び、◉を押す。

S!アプリライブラリに戻ります。

一時停止する

1「一時停止」を選び、◉を押す。

待受画面に戻ります。

- 再度同じS!アプリを起動すると、一時停止している状態から続きを行うことができます。

一時停止中のS!アプリを再開する

1 S!アプリが一時停止している状態の待受画面で、◉を押す。

2 「再開」を選び、◉を押す。

- S!アプリを終了 :「**終了**」選択➡◉
- 一時停止のままメインメニューを表示 :「**キャンセル**」選択➡◉

S!アプリの管理／設定

S!アプリの詳細情報を確認する（プロパティ）

メニュー ▶ S!アプリ ➡ S!アプリ

1 S!アプリを選び、✉（メニュー）を押す。

2 「プロパティ」を選び、◉を押す。

S!アプリの詳細情報が表示されます。

●表示される情報は、次のとおりです。

名前	S!アプリの名称
ベンダ名	S!アプリの開発元や販売元など、提供者の名称
バージョン	S!アプリのバージョン
説明	S!アプリの説明
アプリケーションサイズ	S!アプリのデータサイズ
レコードサイズ	ゲームのスコアなどを保存できるデータサイズ
S!アプリ待受設定	S!アプリ待受設定の可／不可
プロファイル	VSCL（海外）／JSCL（国内）バージョン
関連リンク	リンク先のインターネット情報
認証	認証の有無
認証サブジェクト	名称、国名、組織
自動接続	自動接続対応の有無
IC対応	生活アプリ対応の可／不可
ブック対応	ブック機能対応の可／不可

■ 情報の続きを確認：上記操作のあと◎

本機内のS!アプリをメモリカードに移動する

●S!アプリ待受に設定しているS!アプリを移動するときは、設定を解除してから操作してください。

メニュー ▶ S!アプリ ➡ S!アプリ

1 S!アプリを選び、✉（メニュー）を押す。

2 「メモリカードへ移動」を選び、◉を押す。

■ メモリカード内に古いバージョンのS!アプリあり：「**はい**」／「**いいえ**」選択➡◉

■「**はい**」を選び、◉を押すと、メモリカード内のS!アプリが新しいバージョンに上書きされます。

注意▶
●メモリカード内に同じS!アプリがあるときや、メモリカード内に十分な空き容量がないときは、移動できません。
●S!アプリによっては、メモリカードに移動できないものがあります。

S!アプリを削除する

●S!アプリ待受に設定しているS!アプリを削除するときは、設定を解除してから操作してください。

メニュー ▶ S!アプリ ➡ S!アプリ

1 S!アプリを選び、✉（メニュー）を押す。

2 「削除」を選び、◉を押す。

3 「はい」を選び、◉を押す。

●削除時に、操作用暗証番号の入力が必要なこともあります。

補足▶ お買い上げ時に登録されているS!アプリも削除できます。削除後は、S!アプリオールリセット（☞P.16-8）を行うと、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

S!アプリを常時起動する（S!アプリ待受）

待受画面で、常にS!アプリを起動させておくことができます。

S!アプリ待受のOn／Offを設定する

●お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ S!アプリ待受設定 ➡ On／Off設定

1 「On」を選び、◉を押す。

S!アプリ待受の解除：「Off」選択➡◉

S!アプリ待受に設定する

●S!アプリ待受に設定できるS!アプリは、1件です。
●S!アプリによっては、S!アプリ待受に設定できないものがあります。
●一時停止中のS!アプリがあるときは、設定できません。
●生活アプリやメモリカード内のS!アプリは、設定できません。

メニュー ▶ S!アプリ ➡ S!アプリ

1 S!アプリ待受に設定できるS!アプリを選び、✉（メニュー）を押す。

2 「S!アプリ待受に設定」を選び、◉を押す。

●「S!アプリ待受に設定」が表示されないS!アプリでは、利用できません。

起動開始時間を設定する

■S!アプリ待受に設定したS!アプリが待受画面に戻ったあと、起動を開始するまでの時間を設定します。

◉➡「S!アプリ」選択➡◉➡「設定」選択➡◉➡「S!アプリ待受設定」選択➡◉➡「起動開始時間」選択➡◉➡時間（01〜10秒）入力➡◉

● お買い上げ時には、「3秒」に設定されています。

注意▶
●イヤホンマイクなどを接続しているときは、S!アプリ待受を設定していても起動しません。
●メモリカードを取り付けた状態で、S!アプリ待受に設定したS!アプリが起動しているとき、イヤホンマイクなどを接続すると、S!アプリが終了します。
●ハンズフリーキットなどの外部機器を接続しているときは、S!アプリが起動しないことがあります。
●着信と連動するタイプのS!アプリをS!アプリ待受に設定しているときは、S!アプリで設定されている着信パターンで動作することがあります。

セキュリティレベルを設定する

S!アプリの各種動作について、確認画面の表示方法や動作の可／不可を設定します。

●設定できる項目は、次のとおりです。

電話発信	音声通話の発信
ネットワークアクセス	ネットワークへの接続
メール送受信	メールの利用
オートラン	オートランファイルの実行
Bluetooth接続	Bluetooth®との接続
外部機器接続	外部機器との接続
ユーザーデータ読込み	アドレス帳やカレンダーなどの読み込み
ユーザーデータ書込み	アドレス帳やカレンダーなどへの書き込み
マルチメディア	メディアプレイヤーの利用
位置情報	位置情報の送出

●メモリカード内のS!アプリにも設定できます。
●S!アプリによっては、セキュリティレベルを設定できないことがあります。

メニュー ▶ S!アプリ ➡ S!アプリ

1 **S!アプリを選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「セキュリティレベル」を選び、◉を押す。**

3 **項目を選び、◉を押す。**

4 **内容を選び、◉を押す。**

●設定の内容は、次のとおりです。（設定項目や状況によっては、表示されない内容もあります。）

初回要求時確認	起動時に確認画面を表示します。
毎回確認	該当動作の前に確認画面を表示します。
すべて許可	確認画面を表示しません。
許可しない	該当動作を許可しません。

セキュリティレベルをお買い上げ時の状態に戻す（設定リセット）

■左記操作3で、次の操作を行います。
「設定リセット」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

S!アプリ関連の設定

音量 S!アプリ起動中の効果音などの音量を設定します。

お買い上げ時 音量3

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ 音量

◈（音量調節）➡◉

●マナーモード設定中は、マナーモードの設定内容が優先されます。

バックライトOn／Off設定 S!アプリ起動中の画面の点灯方法を設定します。

お買い上げ時 通常設定に従う

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ バックライト ➡ On／Off設定

「常にOn」／「常にOff」／「通常設定に従う」選択➡◉

●設定できる点灯方法は、次のとおりです。

常にOn	S!アプリ起動中は、常に点灯します。
常にOff	S!アプリ起動中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定に従う	ディスプレイ設定のバックライト（☞P.9-13）の設定内容に従って動作します。

S!アプリ 16

S!アプリ点滅制御	S!アプリ内のパネル照明点滅設定を、有効にするかどうかを設定します。

お買い上げ時On（有効にする）

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ バックライト ➡ S!アプリ点滅制御

「On」（有効にする）／「Off」（無効にする）選択➡◉

バイブ	S!アプリ内のバイブレータ動作設定を、有効にするかどうかを設定します。

お買い上げ時On（有効にする）

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ バイブ

「On」（有効にする）／「Off」（無効にする）選択➡◉

- マナーモード設定中は、マナーモードの設定内容が優先されます。

着信時優先動作	S!アプリ起動中に着信などがあったときの動作を設定します。

お買い上げ時着信優先動作／アラーム動作／着信優先
メール着信時：着信通知表示

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ 着信時優先動作

「音声着信」～「S!アプリ開始要求」選択➡◉➡動作選択➡◉

- 設定できる動作は、次のとおりです。

着信優先動作／アラーム動作／着信優先	S!アプリは自動的に一時停止し、着信などが受けられるようになります。
着信通知表示／アラーム通知／着信通知	S!アプリは継続し、着信通知（「090392XXXX1」など）が画面に表示されます。☐を押すと、S!アプリは一時停止し、着信などが受けられるようになります。

- S!アプリ待受に設定したS!アプリが起動しているときは、ここでの設定にかかわらず着信通知が表示されます。

S!アプリを初期化する

S!アプリ設定リセット	S!アプリ設定を初期化します。

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ S!アプリ設定リセット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「はい」選択➡◉

S!アプリオールリセット	S!アプリをすべて削除し、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ S!アプリ ➡ 設定 ➡ S!アプリオールリセット

操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉➡「はい」選択➡◉

注意▶
- S!アプリオールリセットを行うと、お買い上げ時の状態に戻ります。お客様がダウンロードされたS!アプリ、生活アプリは削除されますので、あらかじめご了承ください。ただし、ICカード内にデータがあるときは、S!アプリオールリセットは行えません。ICカード内のデータを消去してから操作してください。（☞P.17-2）
- S!アプリオールリセットを行うと、ちかチャットの利用制限機能で設定している暗証番号もリセットされるため、ちかチャットの利用制限は解除されます。
- あらかじめ登録されているS!アプリを削除していたときは、お買い上げ時の状態に戻ります。

S! FeliCa

S! FeliCaについて

「S! FeliCa」とは、S! FeliCa対応端末で利用できる、ICカード機能サービスです。
本機はS! FeliCaに対応しており、店舗などに設置されたリーダー／ライター（読み取り装置）に本機をかざすだけで、電子マネーを使って買い物の支払をしたり、ポイントカードや交通チケットなどとして利用できるようになります。

「FeliCa」とは

■かざすだけでデータの読み書きができる、非接触ICカード技術方式の１つです。

「ICカード」とは

■S! FeliCa対応端末に搭載されているFeliCaチップのことです。
■ICカード内には、S! FeliCaを利用するための情報が保存されます。

「生活アプリ」とは

■S! FeliCaを利用するためのS!アプリです。
- 本機には、あらかじめ電子マネー用生活アプリ「Edy」が登録されています。
  - ■「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

注意▶ ICカード内には、サービスの内容やご利用状況に応じて各種データが保存されます。ICカード内のデータの消去方法は、生活アプリによって異なります。
詳しくは、S! FeliCa対応サービス提供者にお問い合わせください。

S! FeliCa利用の流れ

生活アプリのダウンロード

インターネットの情報画面から、生活アプリをダウンロードします。
- 生活アプリは、生活アプリフォルダに保存されます。

サービスの加入登録／各種設定

生活アプリを起動して、利用するS! FeliCa対応サービス（以下「サービス」と記載）の加入登録や各種設定を行います。
- 生活アプリを利用して、電子マネーの入金（チャージ）をしたり、支払確認／残高照会などを行うこともできます。

サービスの利用

店舗などに設置されたリーダー／ライターに、本機の マーク付近をかざして、サービスを利用します。
- 電子マネーを使って買い物の支払をしたり、ポイントカードや交通チケットなどに利用できます。

注意▶
- 生活アプリのお申し込みやご利用方法は、生活アプリによって異なります。詳しくは、S! FeliCa対応サービス提供者にお問い合わせください。
- 故障または修理の際にICカード内のデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 各サービスの暗証番号やお問い合わせ先などはメモをとるなどして、お忘れにならないようご注意ください。

生活アプリを起動する

S! FeliCaを利用するには、あらかじめ利用するサービスに対応した生活アプリを起動して、サービスの加入登録／各種設定、入金（チャージ）／残高照会などを行う必要があります。

メニュー ▶ 生活アプリ

1 「生活アプリ」を選び、◉を押す。

■生活アプリのダウンロード：「**生活アプリダウンロード**」選択➡◉

2 起動する生活アプリを選び、◉を押す。

生活アプリが起動します。

■生活アプリの終了：☎

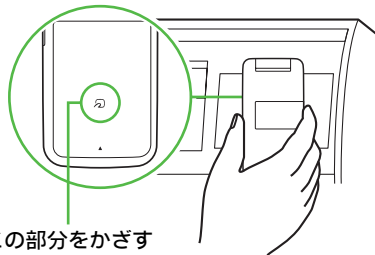
注意▶ 通話中やS!アプリ起動中は、生活アプリを起動できません。

補足▶ 生活アプリは、他のS!アプリと同様、各種設定や管理を行うことができます。（☞P.16-5～P.16-8）
ただし、S!アプリ待受に設定することはできません。

S! FeliCaの利用

ここでは、電子マネーの利用方法を例に、ICカード内のデータをリーダー／ライターで読み取る方法を説明します。

- あらかじめ、サービスの登録／設定、入金（チャージ）を行っておいてください。
- 生活アプリを起動する必要はありません。

1 マーク付近を、リーダー／ライターにかざす。

- 上記の図（リーダー／ライター）は一例です。
- 読み取りが完了したことを、リーダー／ライターのディスプレイなどで確認してください。
- 認識されにくいときは、本機を前後左右にずらしてみてください。

注意▶
- 本機は、リーダー／ライターに対して平行にかざしてください。
- マークのある面に金属などがあると、読み取れないことがあります。

補足▶
- リーダー／ライターにかざしたとき、サービスによってはメッセージが表示されたり、バイブレータが動作することがあります。また、自動的にS!アプリ／メール／インターネットが起動することもあります。動作／起動しないように設定することもできます。（☞P.17-7）
- 通話中やインターネット接続中でも、読み取れます。（ただし、読み取りに時間がかかることがあります。）

電源を切っているとき

■S! FeliCaを利用できます。ただし、生活アプリは起動しません。
- 電池パックを取り外し、取り付け直したときは、必ずいったん電源を入れてください。電池パックを取り付けただけの状態（電源を入れ直していない状態）では、S! FeliCaは利用できません。

電池残量が不足しているとき

■S! FeliCaは利用できません。充電したあとで、利用してください。

S! FeliCaの設定

ICカードの情報を確認する

メニュー ▶ 生活アプリ ➡ ICカード設定

1 「ICカードステータス」を選び、◉を押す。

- ICカードロック時：「はい」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉
- 確認の終了：◉

S! FeliCaを利用禁止にする（ICカードロック）

本機の操作で、S! FeliCaを利用禁止にします。
- お買い上げ時には、「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 生活アプリ ➡ ICカード設定 ➡ ICカードロック

1 「On」を選び、◉を押す。

- ICカードロックの解除：「Off」選択➡◉

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

3 「はい」を選び、◉を押す。

遠隔地からS! FeliCaを利用禁止にする（リモートロック）

あらかじめ指定した件名のメールを送ったり（メールリモートロック）、他の電話機から電話をかける（電話リモートロック）ことで、遠隔地にある本機のICカードロックを設定し、S! FeliCaを利用禁止にすることができます。

リモートロックの準備をする（本機での操作）

■メールを送りICカードロックを設定するとき

リモートロック用のパスワードと、ICカードロック通知用メールアドレスを登録します。

メニュー ▶ 生活アプリ ➡ ICカード設定 ➡ リモートロック

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

2「メールリモートロック」を選び、◉を押す。

3「リモートロックパスワード」を選び、◉を押す。

4 リモートロック用のパスワードを入力し、◉を押す。

●任意の5～16文字の半角英数字を入力してください。

5「ロック通知先指定」を選び、◉を押す。

6「宛先設定」を選び、◉を押す。

7 *送信元に返信する*

1「送信元に返信」を選び、◉を押す。

登録画面に戻る：CLEAR/BACK

指定したアドレスに返信する

1「指定アドレスに返信」を選び、◉を押す。

2「指定アドレス」を選び、◉を押す。

3「アドレス帳」、「電話番号入力」、「メールアドレス入力」のいずれかを選び、◉を押す。

4 ICカードロック通知用のメールアドレスまたはソフトバンク携帯電話番号を選択／入力し、◉を押す。

返信しないようにする

1「返信しない」を選び、◉を押す。

登録画面に戻る：CLEAR/BACK

8 登録だけを行うときは、Y!（保存）を押す。

● メールリモートロックを利用可能にするときは、操作7のあとP.17-6「リモートロックを設定する」操作3以降を行い、メールリモートロックを「On」にしてください。

■他の電話機から電話をかけてICカードロックを設定するとき

リモートロック操作を行う電話機の電話番号と、本機のICカードロックを設定するための着信回数を登録します。

- 公衆電話からのリモートロック操作を許可するかどうかも、設定できます。
- リモートロック操作を行う電話機の電話番号は、2件まで登録できます。

メニュー ▶ 生活アプリ ➡ ICカード設定 ➡ リモートロック

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。**

2 **「電話リモートロック」を選び、◉を押す。**

3 **「ロック用電話番号1」を選び、◉を押す。**

■ 公衆電話からのリモートロック操作を設定：「**公衆電話設定**」選択➡◉➡「On」（許可する）／「Off」（許可しない）選択➡◉

4 **「アドレス帳」または「電話番号入力」を選び、◉を押す。**

5 **リモートロック用として登録する電話機の電話番号を選択／入力し、◉を押す。**

■ 2件目の電話番号を登録：「**ロック用電話番号2**」選択➡◉➡操作4～5をくり返す

6 **「着信回数」を選び、◉を押す。**

- お買い上げ時には、「3回」に設定されています。

7 **ICカードロックが設定されるまでの着信回数（03～10回）を入力し、◉を押す。**

- 電話リモートロックを利用可能にするときは、このあと下記「**リモートロックを設定する**」操作3以降を行い、電話リモートロックを「On」にしてください。

8 **登録だけを行うときは、[Y!]（保存）を押す。**

リモートロックを設定する（本機での操作）

メールリモートロック／電話リモートロックを利用可能にします。

- お買い上げ時には、どちらも「Off」に設定されています。

メニュー ▶ 生活アプリ ➡ ICカード設定 ➡ リモートロック

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。**

2 **「メールリモートロック」または「電話リモートロック」を選び、◉を押す。**

3 **「On／Off設定」を選び、◉を押す。**

4 **「On」を選び、◉を押す。**

■ リモートロックの解除：「Off」選択➡◉

▪ 登録したメールアドレスや電話番号は消去されません。再度「On」にすると、同じ内容でリモートロックが利用できます。

5 **[Y!]（保存）を押す。**

リモートロックを利用してICカードロックを設定する(遠隔地での操作)

■メールを送りICカードロックを設定する

1 リモートロックパスワード(☞P.17-5)を入力したメールを、本機に送信する。

- 件名には、あらかじめ登録したリモートロックパスワードを入力し、その他の項目は何も入力しないでください。
- ICカードロック設定を確認するために、ロック通知アドレス(☞P.17-5)を持った電話機やパソコンなどから、操作することをおすすめします。

本機がメールを受信すると

■本機のICカードロックが設定されます。また、本機からICカードロックを設定した旨の通知メールが、ロック通知アドレスに送られてきます。

注意▶ 本機がメール受信できないときは、メールを送っても、ICカードロックは設定できません。

■他の電話機から電話をかけてICカードロックを設定する

1 ロック用電話番号に設定している電話機から、番号を通知して本機に電話をかける。

2 電話を切る。

本機に不在着信として記憶されます。

- このあと、3分以内に、あらかじめ設定した着信(不在着信)回数になるまで操作1~2をくり返します。
- 公衆電話からの操作を許可しているときは、公衆電話からでも操作できます。
- ロック用電話番号に設定している電話機から番号を通知して電話をかけたとき、または公衆電話からかけたときだけ、ICカードロックを設定できます。

指定した着信回数目(お買い上げ時は3回目)の電話をかけると

■本機が自動的に着信し、ICカードロックが設定されます。ICカードロックを設定した旨のアナウンスが流れます。

注意▶
- あらかじめ設定した着信回数になる前に他の電話機から着信があったときは、それまでの回数はクリアされます。1回目からやり直してください。
- 転送電話サービスを開始しているときは、着信回数としてカウントされないことがあります。

データ読み取り利用時の動作を設定する

本機をリーダー/ライターにかざしたとき、取得したデータからの指示に従って動作(メッセージ表示、バイブ動作、S!アプリ/メール/インターネットの起動)させるかどうかを設定します。

- お買い上げ時には、すべて「On」に設定されています。

メニュー▶ 生活アプリ ➡ ICカード設定 ➡ 外部起動設定

1 操作用暗証番号(4ケタ)を入力し、◉を押す。

2 「S!アプリ」~「ポップアップ」のいずれかを選び、◉を押す。

3 「On」または「Off」を選び、◉を押す。

S! FeliCaの設定を初期化する

S! FeliCaの設定（ICカードロック、リモートロック、外部起動設定）を、お買い上げ時の状態に戻します。

メニュー ▶ 生活アプリ ➡ ICカード設定 ➡ 設定リセット

1 操作用暗証番号（4ケタ）を入力し、◉を押す。

2「はい」を選び、◉を押す。

注意▶
- 上記の設定リセットを行っても、生活アプリは削除されません。
- オールリセット（☞P.9-28）／S!アプリオールリセット（☞P.16-8）を行うと、お客様がダウンロードされた生活アプリは削除されますので、あらかじめご了承ください。ただし、ICカード内にデータがあるときは、オールリセット／S!アプリオールリセットは行えません。

エンタテイメント

S!キャスト

S!キャストについて

S!キャストとは、本機でいろいろな情報を自動的に受信できる、情報配信サービスです。
- S!キャストの利用には、お申し込みおよびサービス登録が必要です。（有料：定額）
- S!キャストのサービス登録を行うと、お天気アイコン（☞P.18-4）が利用できます。
- S!キャストは、日本国内だけのサービスです。
- S!キャストを利用する前に、あらかじめネットワーク自動調整を行ってください。（☞P.1-20）

情報画面

S!キャストの情報画面例は、次のとおりです。

サービス登録を行う

S!キャストを利用するための、サービス登録を行います。
- サービス登録にはインターネットを利用します。電波状態のよい所で操作してください。（通信料がかかります。）

メニュー ▶ エンタテイメント ➡ キャスト

1 「サービス登録・解除」を選び、◉を押す。

インターネットに接続され、S!キャストのサービス登録ページが表示されます。
- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

情報を確認する

最新情報を確認する

1 最新情報を受信すると、受信画面のあとインフォメーションが表示される。

- 本機がクローズポジションのときは、受信中にオープンポジションにすると、受信画面のあと、インフォメーションが表示されます。

2 「新着キャスト」を選び、◉を押す。 インフォメーション

情報が表示されます。
- 以降は、画面の指示に従って操作してください。
- 情報画面での操作方法は、Yahoo!ケータイと同様です。
  - ■カーソル移動：☞P.15-6
  - ■ファイル保存：☞P.15-11
  - ■電話番号／E-mailアドレス／URLの利用：☞P.15-12

3 **確認を終了するときは、[終話]を押す。**

情報の再配信を要求する

■情報が正常に受信できなかったときなどは、次の操作を行うと最新情報の再配信を要求できます。(電波状態のよい所で操作してください。電波の届きにくい所では、再配信を要求しても、受信できないことがあります。)
◉➡「エンタテイメント」選択➡◉➡「キャスト」選択➡◉➡「再配信要求」選択➡◉➡「はい」選択➡◉

新着キャスト通知設定	新着キャスト受信時に、インフォメーションで通知するかどうかを設定します。

お買い上げ時 インフォメーション通知する

メニュー ▶ エンタテイメント ➡ キャスト ➡ 新着キャスト通知設定

「インフォメーション通知する」/「インフォメーション通知しない」選択➡◉

バックナンバーを確認する

メニュー ▶ エンタテイメント ➡ キャスト

1 *最新の情報を確認する*

1「最新情報」を選び、◉を押す。

情報が表示されます。

過去の情報を確認する

1「バックナンバー」を選び、◉を押す。

2 日付を選び、◉を押す。

情報が表示されます。

2 **項目を選び、◉を押す。**

情報の内容が表示されます。

3 **確認を終了するときは、[終話]を押す。**

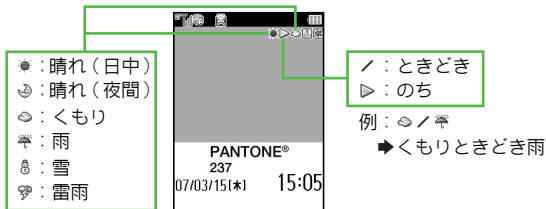
情報を利用する

情報画面では、次の操作が行えます。

項目	操作
サウンド/着うた®の保存	「保存」選択➡◉
文字サイズの設定	[メール](メニュー)➡「文字サイズ」選択➡◉➡文字サイズ選択➡◉
スクロール単位の設定	[メール](メニュー)➡「スクロール単位」選択➡◉➡スクロール単位選択➡◉
文字のコピー	[メール](メニュー)➡「テキストコピー」選択➡◉➡P.3-13「コピー/カット(切り取り)/ペースト(貼り付け)を行う」操作3以降
詳細情報の確認	[メール](メニュー)➡「プロパティ表示」選択➡◉ ■確認の終了:上記操作のあと◉

お天気アイコンを利用する

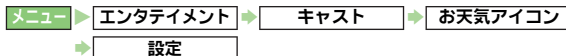
S!キャストのサービス登録（☞P.18-2）を行うと、S!キャストから、お天気アイコンや現在エリアの天気予報の情報が配信されます。（お天気アイコンでは、お客様の位置情報を利用します。）

■**お天気アイコンの見かたと情報の更新**

- 上記のアイコンの他に降水確率「」や季節情報「（紅葉）」など生活に役立つ情報を示すアイコンも表示されます。
- お天気アイコン／天気予報（情報）は次の条件で更新されます。
  - ■天気予報が更新される時刻になったとき
  - ■手動更新を行ったとき

注意▶ 移動先エリアのお天気アイコン／天気予報（情報）を確認するときは、天気予報が更新される時刻まで待つか、手動更新を行ってください。

お天気アイコンの表示／非表示を設定する

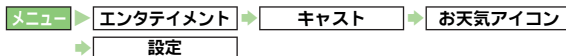
お天気アイコンを待受画面に表示するかどうかを設定します。

- お買い上げ時には、「On」に設定されています。

1 「待受表示設定」を選び、●を押す。

2 「On」または「Off」を選び、●を押す。

お天気アイコンの更新を設定する

お天気アイコンを更新するように設定します。

- お買い上げ時には、「On」に設定されています。

1 「アイコン更新設定」を選び、●を押す。

2 「On」を選び、●を押す。

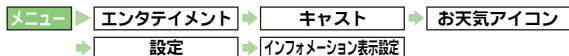
■ 更新しないとき：「Off」選択➡●（操作完了）

3 「はい」を選び、●を押す。

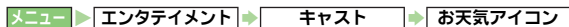
更新時間になると、お天気アイコンが更新されます。

インフォメーション表示設定	お天気アイコンの更新時に、インフォメーションでお知らせするかどうかを設定します。

お買い上げ時 On（表示する）

メニュー ▶ エンタテイメント ➡ キャスト ➡ お天気アイコン ➡ 設定 ➡ インフォメーション表示設定

「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

手動更新	お天気アイコンを手動で更新します。

メニュー ▶ エンタテイメント ➡ キャスト ➡ お天気アイコン

「手動更新」選択➡◉

- インターネットに接続し、お天気アイコンが更新されます。

注意▶ あらかじめ、「**アイコン更新設定**」（☞P.18-4）を「On」にしておいてください。

天気予報を確認する

メニュー ▶ エンタテイメント ➡ キャスト ➡ お天気アイコン

1 「天気予報」を選び、◉を押す。

天気予報の情報画面が表示されます。

電子ブック

本機では、ブックフォルダに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧できます。

- 電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。
- 書籍データによっては、文字コードを変更することで、多国語で表示できるデータがあります。（☞P.18-7）
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがあります。ただし、データによっては、本機では利用できないことがあります。
- メモリカードシンクロ中は、電子ブックを起動できません。

電子ブックの入手方法について

■次の操作を行うと、電子ブックを入手できます。

◉➡「Yahoo!ケータイ」選択➡◉➡「Yahoo!ケータイ」選択➡◉➡「メニューリスト」選択➡◉➡「書籍・コミック・写真集」選択➡◉

- 電子ブックにご利用いただける書籍データや辞書データの入手方法などについては、ブックマークにあらかじめ登録されているシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」（☞P.15-9）でもご案内しています。

サポートブックについて

■本機の使い方のヒントを記載した、電子ブック形式のコンテンツ（サポートブック）を、ブックマークにあらかじめ登録されているSH専用ホームページ「Sharp Space Town」から、本機に直接ダウンロードできます。

書籍データを読む

メニュー ▶ エンタテイメント

1 「電子ブック」を選び、◉を押す。

電子ブックフォルダ内の書籍データのリスト画面が表示されます。（前回☎を押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。）

■ 電子ブックフォルダ1以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧：✉（**メニュー**）➡「**表示フォルダ切替**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉

- ■ 次回からもここで選択したフォルダが表示されます。
- ■「**ブック（本体）**」、「**ブック（SD）**」内の書籍データは、データフォルダのブックフォルダからでも閲覧できます。

2 データを選び、◉を押す。

- ●画面上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。

■ パスワードが必要なデータ選択時：パスワード入力➡◉➡閲覧画面へ

■ タイトルや著者などの情報表示：データ選択➡✉（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡◉

- ■ 確認の終了：上記操作のあと◉

3 閲覧を終了するときは、☎を押す。

- ●次回電子ブックを起動すると、終了時に閲覧していたページから表示されます。

注意▶
- ●次のときは、電子ブックは自動的に終了します。
  - ■ 閲覧中に約5分間操作しなかったとき
  - ■ メモリカード上のデータ閲覧中にメモリカードを取り外したとき
- ●リスト表示画面では、拡張子が「zbf」、「zbs」、「zbk」、「txt」、「text」のファイルだけが表示されます。
- ●改訂データには対応していません。

閲覧画面での基本操作

■横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
◉(上)	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
◉(下)	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
◉(左)	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
◉(右)	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

※書籍によっては✱でページ戻し、#でページ送りが行えます。

閲覧画面でできること

■データの先頭や最後に移動するときは、次の操作を行います。
✉（**メニュー**）➡「**先頭へ**」／「**最後へ**」選択➡◉

■先頭からおおよその位置を%で指定して移動するときは、次の操作を行います。
✉（**メニュー**）➡「**%指定移動**」選択➡◉➡**位置（00〜99%）入力**➡◉

■目次を利用し、読む章を表示するときは、次の操作を行います。（目次に対応した書籍データで利用可能）
✉（**メニュー**）➡「**目次**」選択➡◉➡**章選択**➡◉

■リンクを戻る／リンクを進むときは、次の操作を行います。
✉（**メニュー**）➡「**リンクを戻る**」／「**リンクを進む**」選択➡◉

■リスト画面に移動するときは、次の操作を行います。
✉（**メニュー**）➡「**リストへ**」選択➡◉

■しおりを利用するときは、P.18-8を参照してください。

情報の利用／文字列をコピーする

■書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用できます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）
情報選択➡◉➡「**はい**」選択➡◉

- ●データの内容によっては、利用できないことがあります。

■書籍データ内の文字列（最大20文字まで）を、コピーできます。

閲覧画面で✉（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡P.3-14操作３以降

■ 辞書データ内の辞書見出し画面や検索結果リスト表示画面などはコピーできません。
■ ルビ文字や画像などはコピーできません。

閲覧画面の設定をする

■文字サイズや縦書き／横書きの切替など、閲覧画面の設定ができます。

✉（メニュー）➡「設定」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容選択➡◉

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ	文字サイズを「**最小**」、「**小**」、「**中**」、「**大**」、「**最大**」のいずれかに設定します。	中
縦横設定	「**縦書き**」と「**横書き**」を切り替えて表示します。	縦書き※
ルビ表示	ルビの表示（On）／非表示（Off）を設定します。	Off
テキスト文字コード	文字コードを「**Shift-JIS**」、「**Latin-1**」、「**Latin-9**」のいずれかに設定します。	Shift-JIS
ビュー表示設定	表示方法を「**コマビュー表示**」、「**ページビュー表示**」のいずれかに設定します。	コマビュー表示
バイブ	バイブのOn／Offを設定します。	On
解像度	画像サイズを「**低**」／「**中**」／「**高**」のいずれかに設定します。	低

※書籍データによって異なることがあります。

● 書籍データによっては、上記の設定が利用できないことがあります。

マスク情報／ジャンプ情報について

■書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

● マスク情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、文字列や画像が反転します。再度◉を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。
● ジャンプ情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページでCLEAR/BACKを押すと、元のページに戻ります。

フォルダ／ファイルを利用する（電子ブックフォルダだけ）

■書籍データのリスト画面で、次の操作を行います。

● **フォルダ作成**
✉（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
● **フォルダ／ファイル名変更**
フォルダ／ファイル選択➡✉（メニュー）➡「名前変更」選択➡◉➡フォルダ／ファイル名入力➡◉
● **フォルダ／ファイル削除**
フォルダ／ファイル選択➡✉（メニュー）➡「削除」選択➡◉➡「はい」選択➡◉
● **ファイル移動**
ファイル選択➡✉（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡移動先選択➡◉➡◉

補足▶ データフォルダ（本体／メモリカード）内の書籍データを利用しているときは、上記の操作は行えません。本機内のフォルダ／ファイルを操作するときは、「**フォルダ／ファイルの管理**」（☞P.8-8）を参照してください。

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登録しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧できます。

- しおりは1書籍につき最大2個(最大5書籍)まで登録できます。

1 しおりを登録するページで、◉を押す。

■画面下部中央に「**しおり**」が表示されていないとき:✉(**メニュー**)➡「**しおりをはさむ**」選択➡◉

2「しおり1」または「しおり2」を選び、◉を押す。

しおりが登録されます。

自動しおりについて

■書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登録されます。(自動しおり1)
次に同じ書籍データを閲覧し終了すると、最後に表示していたページが自動しおり1に登録され、前回の自動しおり1は自動しおり2に登録されます。

- 自動しおりは1書籍につき最大2個まで登録され、古いものから順に自動的に消去されます。

しおりを登録したページを表示する

■閲覧画面で、次の操作を行います。
✉(**メニュー**)➡「**しおりへ**」選択➡◉➡「**しおり1**」/「**しおり2**」/「**自動しおり1**」/「**自動しおり2**」選択➡◉

書籍データ内の画像を利用する

画像内情報の利用	画像に埋め込まれた情報を利用したり、壁紙に設定します。

メニュー ▶ **エンタテイメント** ➡ **電子ブック** ➡ **書籍データを閲覧する**

画像選択➡◉

- 画像の内容によって、次の操作が行えます。(画面下部のソフトキー部分に「**登録**」などが表示されます。)

登録	壁紙に設定します。 ディスプレイサイズ以外の画像選択時:「**センタリング**」/「**全画面表示**」/「**画像全体表示**」選択➡◉ (ディスプレイサイズの画像選択時/「**センタリング**」選択時は、画像を◎で拡大/縮小、✉で回転できます。)
リンクへ	ジャンプ情報では、書籍内の他のページへジャンプします。インターネットへの接続やメール送信など、リンク情報を実行するときは、電子ブックの終了確認が表示されます。 (情報の利用/文字列のコピー:☞P.18-6)
切替	隠された特定の文字列または画像の表示/非表示を切り替えます。
再生	指定のアニメーションが再生されます。

辞書データを利用する

文字列の検索	辞書データを利用して言葉の意味などが検索できます。

メニュー ▶ **エンタテイメント** ➡ **電子ブック**

辞書選択➡◉➡検索文字列の入力欄選択➡◉➡文字列入力➡◉

- 検索結果画面から情報を選び、◉を押すと、辞書データの項目が表示されます。
- 項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作(☞P.18-6)を参考にしてください。

ブックサーフィン®

ブックサーフィン®を利用すると、ブックフォルダに保存されている電子コミックや電子写真集など（CCFファイル）を閲覧することができます。
- コンテンツキーをダウンロードしたCCFファイルを閲覧することができます。
- ブックサーフィン®は、S!アプリです。

メニュー ▶ エンタテイメント

1 「ブックサーフィン」を選び、◉を押す。

ブックサーフィン®が起動します。
- 以降の操作方法については、ブックサーフィン®のヘルプを参照してください。
- 一時停止中のS!アプリがあるときは、S!アプリを終了するかどうかの確認画面が表示されます。「**はい**」を選び◉を押すと、一時停止中のS!アプリは終了し、ブックサーフィン®が起動します。

注意▶ 機種変更をしたときなどは、メモリカードを経由してCCFファイルを移動することができます。このときは、コンテンツキーを再ダウンロードすれば、閲覧できるようになります。ただし、コンテンツによってはCCFファイルの再ダウンロードが必要になることもあります。

補足▶ ブックフォルダは、本機（本体）とメモリカードの両方にあります。

コミュニケーション

S!タウン

S!タウンは、オンライン・コミュニケーション・アプリです。お客様の分身となるキャラクターを選んで操作できます。3D空間の街を歩きながら、街中で起こるさまざまなイベントを楽しんだり、他の気の合う仲間とコミュニケーションが行えます。

- S!タウンの利用には、S!タウン専用のS!アプリが必要です。本機には、あらかじめS!アプリ「**S!タウン**」が登録されています。
- あらかじめ登録されているS!アプリ「**S!タウン**」は削除できません。
- S!タウンの利用には、パケット通信料が発生します。パケット通信料が高額となることがありますのでご注意ください。
- ウェブ利用制限を申し込まれたときは、S!タウンを利用できません。

S!タウンを利用する

- S!タウンをはじめて利用するときは、必ず利用規約に同意いただいたうえで、ユーザー登録（無料）およびプロフィール登録が必要です。

メニュー ▶ コミュニケーション

1 **「S!タウン」を選び、●を押す。**

S!アプリ「**S!タウン**」が起動します。

- S!タウンの利用方法について詳しくは、S!アプリ「**S!タウン**」のヘルプを参照してください。

補足▶
- S!タウンの登録状態確認や登録解除はYahoo!ケータイから行えます。詳しくは、S!アプリ「**S!タウン**」のヘルプを参照してください。
- S!タウン起動時にバージョンアップ通知が表示されることがあります。このときは画面の指示に従ってバージョンアップしたあと、引き続きS!タウンを利用してください。

ライブラリを利用する

S!タウン専用のライブラリに、S!タウンの機能などを拡張するS!アプリを保存できます。

- ライブラリに保存されたS!アプリを直接起動できます。このとき、S!アプリの種類によっては、S!アプリ「**S!タウン**」が起動することがあります。
- お買い上げ時には、ライブラリにS!アプリは保存されていません。

メニュー ▶ コミュニケーション

1 「S!タウン」を選び、✉（ライブラリ）を押す。

ライブラリが表示されます。

補足▶ S!タウンに対応するS!アプリをダウンロードしたときは、自動的にライブラリに保存されます。

S!ループ

S!ループはコミュニケーションサービスです。

メニュー ▶ コミュニケーション

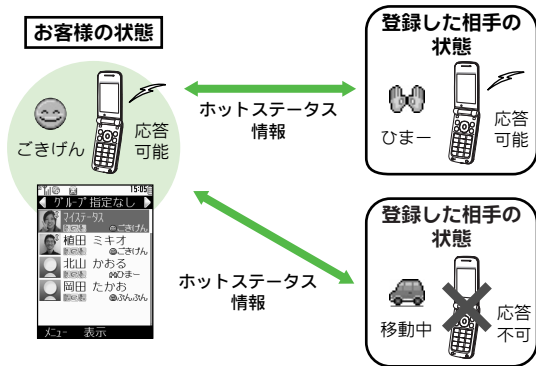
1 「S!ループ」を選び、◉を押す。

インターネットに接続し、S!ループのトップメニュー画面を表示します。

- S!ループの利用方法について詳しくは、「**S!ループ**」のヘルプを参照してください。

ホットステータス

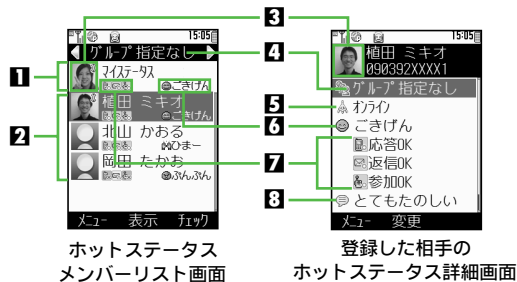
ホットステータスとは、今の気分や、電話やメール、サークルトークに応答できるかどうかなど、現在の状況（ホットステータス情報）をホットステータスメンバーリストに登録した相手（ホットステータスメンバー）とお互いに確認し合える機能です。

●ホットステータスの利用には、別途お申し込みが必要です。

●ホットステータスメンバーリストに相手を登録すると、ホットステータスの情報をお互いに確認し合えるようになります。以降は、お互いのホットステータス情報の変更も自動的に更新されます。

注意▶ ●ご利用の際にはIPサービス設定（☞P.9-26）が「On」であることを確認してください。
●ホットステータスの対応機種どうしだけでご利用いただけます。

ホットステータス画面

ホットステータスメンバーリスト画面

登録した相手のホットステータス詳細画面

1 お客様の情報（マイステータス：☞P.19-8）

2 登録した相手の情報

3 画像

●オーナー情報またはアドレス帳の「**フォト：**」の画像が表示されます。

4 グループ名

5 ネットワーク接続状況

●お客様や登録したホットステータスメンバーのホットステータスへの接続状況が表示されます。

6 状態アイコン、状態ラベル

●絵文字（状態アイコン）や短い文章（状態ラベル）で、お客様や登録したホットステータスメンバーの状態が表示されます。

7 応答ステータス

●電話やメール、サークルトークの応答状況が表示されます。

8 コメント

ホットステータス通知

ホットステータス通知とは、ホットステータスメンバーリストに登録するときの登録要求などをお知らせする情報通知（インフォメーション）です。

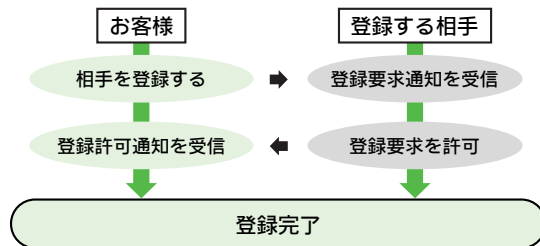
- ホットステータス通知は、相手をホットステータスメンバーリストに登録したり、登録を解除するときなどに送信されます。また、相手がお客様をホットステータスメンバーリストに登録するときなどに受信します。
- ホットステータス通知の種類は、次のとおりです。

登録要求通知	相手がお客様をホットステータスメンバーリストに登録したときに受信します。
登録許可通知	ホットステータスメンバーリストへの登録が相手に許可されたときに受信します。
登録不可通知	ホットステータスメンバーリストへの登録が相手に拒否されたときや、相手が2時間以内に応答を返さなかったときに受信します。
登録解除通知	相手がホットステータスメンバーリストの登録を解除したときに受信します。
オフライン通知	ネットワーク障害などで、ホットステータスが利用できなくなったときに受信します。

ホットステータスメンバーリストに登録する

お客様のホットステータスの情報を知らせたり、ホットステータスの情報を知りたい相手を、ホットステータスメンバーリストに登録します。

- ホットステータスメンバーは、最大30件まで登録できます。

登録の流れ

- 登録が完了すると、お客様のホットステータス情報（マイステータス）が登録相手に送信され、お互いの情報を確認できるようになります。

注意▶ マイステータスのネットワーク接続状況が「**オフライン**」のときには、ホットステータスメンバーリストに登録できません。登録するときには、ネットワーク接続状況を「**オンライン**」にしてください。
（ネットワーク接続状況：☞P.19-9）

アドレス帳または電話番号から登録する

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 ◎で登録するグループを選び、✉（メニュー）を押す。

■ ホットステータスメンバーリストに1件も登録していないとき：「**はい**」選択➡◉➡操作3へ

2 「メンバー追加登録」を選び、◉を押す。

3 *アドレス帳から登録する*

1「アドレス帳から登録」を選び、◉を押す。

2 登録する相手を選び、◉を押す。

■ 電話番号が複数登録されているアドレス帳選択時：電話番号選択➡◉

電話番号を入力して登録する

1「新規登録」を選び、◉を押す。

2 電話番号を入力し、◉を押す。

4 「はい」を選び、◉を押す。

選択した相手に登録要求通知が送信されます。

- 登録要求が相手に許可され、登録許可通知を受信すると登録完了です。
- 登録許可通知を受信するまで、登録する相手のホットステータス情報は、応答ステータスは「**待機中**」、状態は「**不明**」と表示されます。

注意▶

- ホットステータスメンバーリストにホットステータスメンバーを30件登録しているときは、追加登録できません。追加登録を行いたいときは、登録しているホットステータスメンバーを削除してください。
（ホットステータス登録解除：☞P.19-10）
- ホットステータスに対応していない機種を登録したときは、登録不可通知が返信されます。
- 登録要求通知の送信後、相手からの登録許可通知、または登録不可通知を受信するまでの間は、Bluetooth®や赤外線を利用したデータ送受信は行えません。

補足▶

お買い上げ時のマイステータスについては、P.19-8を参照してください。登録するときに、お買い上げ時のマイステータス情報を相手に送信したくない場合は、先にマイステータスを変更（☞P.19-8）してから登録してください。

受信した登録要求通知から登録する

受信した登録要求通知を利用して、登録要求通知を送信してきた相手をホットステータスメンバーリストに登録します。

- 登録要求通知を受信すると、送信してきた相手の情報と、相手をホットステータスメンバーリストに登録するかどうかを確認する画面が表示されます。次の操作を行うと、相手をホットステータスメンバーリストに登録できます。

1 *登録する*

1「はい」を選び、◉を押す

登録許可通知が返信され、相手がホットステータスメンバーリストに登録されます。

登録しない

1「いいえ」を選び、◉を押す。

登録不可通知が返信されます。（相手はホットステータスメンバーリストに登録されません。）

登録不可通知の自動送信について

■以下の状態のときに登録要求通知を受信すると、登録不可通知が自動的に送信されます。

- ２時間以上応答できないとき
- ホットステータスメンバーを30件登録しているとき

注意▶

- 「**いいえ**」を選び、登録不可通知を送信すると、送信後24時間は、送信した相手をホットステータスメンバーリストに登録できません。
- 相手が24時間以上登録不可通知を受信できなかったときは、再度同じ相手から登録要求通知が送信されます。

ホットステータスの詳細情報を確認する

登録した相手のホットステータスの詳細情報を確認することができます。

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 ◎でグループを選び、◎で確認するメンバーを選ぶ。

2 ◉を押す。

ホットステータス詳細画面が表示されます。

■ ホットステータス詳細画面：☞P.19-4

マイステータスを設定する

お客様のホットステータスの情報（マイステータス）を設定できます。

マイステータス詳細画面

待受画面で次の操作を行うと、マイステータスの詳細画面を表示できます。

1 [*]を長く（１秒以上）押す。

1 画像／名前
- オーナー情報のフォトや名前に登録している内容が表示されます。

2 ネットワーク接続状況（☞P.19-9）

3 状態
- 状態アイコンと状態ラベルを変更できます。状態アイコンと状態ラベルの組み合わせや内容は、状態設定で変更することもできます。（☞P.19-12）

4 応答ステータス一括変更
- ３つの応答ステータスをまとめて変更できます。

5 応答ステータス（電話／メール／サークルトーク）
- ３つの応答ステータスを個別に変更できます。

6 コメント
- 最大15文字までの短いメッセージを編集することができます。

7 待受ウィンドウ設定（☞P.19-9）

■各項目のお買い上げ時の設定

項目	お買い上げ時
状態	：ごきげん
応答ステータス一括変更	すべてOK
応答ステータス（電話）	応答OK
応答ステータス（メール）	返信OK
応答ステータス（サークルトーク）	参加OK
コメント	―

マイステータスの情報を変更する

ここでは、状態、応答ステータス、コメントの変更を説明します。その他の項目を変更するときは、P.19-9を参照してください。
- 以下の操作は、左記操作１のあとのマイステータス詳細画面で行います。

1 ネットワーク接続状況、待受ウィンドウ設定以外の項目を選び、●を押す。

2 設定内容を選び、●を押す。
- 複数の項目を変更するときは、操作２～３をくり返します。

コメント選択時：文字入力➡●

3 [Y!]（更新）を押す。

変更したマイステータスが、登録しているホットステータスメンバーに送信されます。

更新せずに終了する：[CLEAR/BACK]➡「いいえ」選択➡●
- ■変更したマイステータスは反映されません。

●変更できる項目と設定内容は、次のとおりです。

項目	設定内容	
状態	状態アイコンと状態ラベルの16の組み合わせ	
応答ステータス一括変更	すべてOK	電話：応答OK メール：返信OK サークルトーク：参加OK
	メールのみOK	電話：応答NG メール：返信OK サークルトーク：参加NG
	すべてNG	電話：応答NG メール：後で確認 サークルトーク：参加NG
	ユーザー設定	－［ホットステータス設定で組み合わせを変更できます。（☞P.19-11）］
電話	応答OK、急用のみ、応答NG	
メール	返信OK、後で確認	
サークルトーク	参加OK、自動参加※1、参加NG※2	
コメント	最大15文字	

※1 サークルトーク着信時、自動的にサークルトークを開始します。

※2 サークルトーク着信時、自動的に着信を拒否します。

■その他の項目を変更する

● 以下の操作は、P.19-8操作 1 のあとのマイステータス詳細画面で行います。

ネットワーク接続状況	ホットステータスの接続を設定します。

ネットワーク接続状況選択➡◉➡「オンライン」／「オフライン」選択➡◉

●「**オフライン**」に設定すると、マイステータスの他の項目の編集や更新、サークルトークは利用できません。

待受ウィンドウ設定	マイステータスを待受ウィンドウで表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時On（表示する）

待受ウィンドウ設定選択➡◉➡「On」（表示する）／「Off」（表示しない）選択➡◉

接続状況の自動更新について

■ホットステータス利用中に、一定時間電波の届かないときは、お客様のネットワーク接続状況が「**不明**」または「**オフライン**」として表示されます。（登録しているホットステータスメンバーにも自動的に伝わります。）

● 電波が届く状態になったときは、「**オンライン**」として表示されます。

ホットステータスメンバーリストを編集する

ホットステータスメンバーリストのグループ名を変更したり、ホットステータスメンバーのグループを変更することができます。

ホットステータスグループ名を変更する

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 ◎でグループ名を変更するホットステータスグループを選び、✉（メニュー）を押す。

2「グループ名変更」を選び、◉を押す。

3 グループ名を入力し、◉を押す。

ホットステータスメンバーのグループを変更する

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 グループを変更するホットステータスメンバーを選び、✉（メニュー）を押す。

2「グループ移動」を選び、◉を押す。

3 移動先のグループを選び、◉を押す。

ホットステータスメンバーが、選択したグループに移動します。

補足▶ 待受ウィンドウのコミュニケーションモードで、ホットステータスメンバーの情報を表示させることもできます。（☞P.9-8）

ホットステータスメンバーの登録を解除する

- 登録を解除すると、相手の情報がホットステータスメンバーリストから削除されます。また、相手のホットステータスメンバーリストから、お客様の情報が削除されます。

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 解除するホットステータスメンバーを選び、◉を押す。

2 ✉（メニュー）を押す。

3「登録解除」を選び、◉を押す。

4「はい」を選び、◉を押す。

5「はい」を選び、◉を押す。

選択したホットステータスメンバーに登録解除通知が送信され、ホットステータスメンバーリストから削除されます。

注意▶
- 解除してから24時間は、解除した相手をホットステータスメンバーリストに登録できません。
- 相手が24時間以上登録解除通知を受信できなかったときは、相手から登録要求通知が送信されます。

登録不可通知または登録解除通知を受信したとき

■登録不可通知または登録解除通知を受信すると、送信してきた相手のホットステータス情報が、ホットステータスメンバーリストから削除されます。
- 圏外やオフラインなどで、相手が送信した登録不可通知または登録解除通知を24時間以上受信できなかったときは、送信してきた相手に登録要求通知が自動的に送信されます。

ホットステータスの情報を利用する

ホットステータスを利用して、電話やTVコール、メール、サークルトークを発信したり、アドレス帳に登録することができます。

電話／TVコール／メール／サークルトークを発信する

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 発信するホットステータスメンバーを選び、✉（メニュー）を押す。

2 発信方法を選び、◉を押す。

電話／TVコールのときは、選択したホットステータスメンバーに発信します。

■ メールを作成する：☞P.14-6
■ サークルトーク発信：☞P.19-14、P.19-15

アドレス帳に登録する

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 登録するホットステータスメンバーを選び、✉（メニュー）を押す。

2「アドレス帳登録」を選び、◉を押す。

3「新規登録」または追加登録するアドレス帳を選び、◉を押す。

ホットステータスメンバーの電話番号がアドレス帳に入力されます。他の項目を入力し、アドレス帳の登録を完了してください。（☞P.4-4）

ホットステータス設定

メンバー登録応答設定	登録要求通知受信時に、登録するかどうかを確認する方法を設定できます。

お買い上げ時 常に確認

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

✉（メニュー）➡「ホットステータス設定」選択➡◉➡「メンバー登録応答設定」選択➡◉➡応答方法選択➡◉

● 選択できる応答方法は、次のとおりです。

常に確認	登録するかどうかの選択を常に確認します。
アドレス帳未登録者のみ無視	アドレス帳に登録している番号からの登録要求通知受信時だけ、登録するかどうかの選択を常に確認します。知らない番号の相手を登録したくないときなどに設定すると便利です。
常に無視	登録要求通知受信時は、必ず登録不可通知を返信します。相手からの要求で登録したくないときなどに設定すると便利です。

応答ステータス一括設定	応答ステータス一括変更（☞P.19-9）で選択できるユーザー設定の、応答ステータスの組み合わせを設定できます。

お買い上げ時 電話：応答OK、メール：返信OK、サークルトーク：参加OK

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

✉（メニュー）➡「ホットステータス設定」選択➡◉➡「応答ステータス一括設定」選択➡◉➡「ユーザー設定」選択➡◉➡応答ステータス選択➡◉➡応答ステータスアイコン選択➡◉

■ 操作の終了：上記操作のあと✉（保存）

状態設定	マイステータスで表示する状態アイコンや状態ラベルの組み合わせや内容を変更できます。

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

✉（メニュー）➡「ホットステータス設定」選択➡◉➡「状態設定」選択➡◉➡状態アイコン選択➡◉➡「状態アイコン」選択➡◉➡アイコン選択➡◉➡「状態ラベル」選択➡◉➡文字入力➡◉

■操作の終了：上記操作のあと✉（保存）

●「状態アイコン」で選択できるアイコンは、絵文字と同じです。（絵文字一覧：☞P.21-16）

●「状態ラベル」は最大4文字まで入力できます。

その他の操作

ホットステータス通知リストを確認する

ホットステータス通知の一覧を確認できます。

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 ✉（メニュー）を押す。

2「ホットステータス通知リスト」を選び、◉を押す。

ホットステータス通知リストが表示されます。

■ホットステータス通知の詳細を確認する：ホットステータス通知選択➡◉

■登録要求通知を選んだとき：☞P.19-7

ホットステータスの情報を手動で更新する

● 基本的に、ホットステータスの情報は自動で更新されます。次の操作を行うと、手動で更新することもできます。

メニュー ▶ コミュニケーション ➡ ホットステータス

1 ✉（メニュー）を押す。

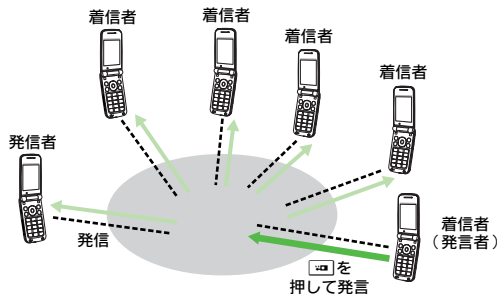
2「ホットステータス設定」を選び、◉を押す。

3「最新情報更新」を選び、◉を押す。

ホットステータスの情報が更新されます。

サークルトーク

サークルトークは、簡単な操作で複数の人（お客様も含めて最大11人）と通話できるサービスです。
グループ内での連絡や、短い用件を伝えるときなどに便利にご利用いただけます。

- サークルトーク中は、[キー]を押して発言権を得たときに発言できます。このとき、発言者以外のメンバーは聞くだけになります。（発言できるのは常に一人です。）
- サークルトークの利用には、ホットステータスのお申し込みが必要です。
- サークルトーク中は、通信料がかかります。

注意▶
- ご利用前にIPサービス設定（☞P.9-26）を「On」にしてください。また、マイステータスのネットワーク接続状況（☞P.19-9）を「**オンライン**」に設定してください。「**オフライン**」のときには、サークルトークは利用できません。
- 音声／TVコール通話中、または他のサークルトーク中は、サークルトークを発信できません。
- サークルトークの対応機種どうしだけでご利用いただけます。

サークルトーク画面

1 **サークルトーク参加メンバー総数**
2 **サークルトーク参加メンバーの名前**
アドレス帳に登録している名前が表示されます。またアドレス帳に登録していないときは、電話番号が表示されます。
3 **サークルトーク参加メンバー接続状況**
4 **発信状況／発言状況欄**

サークルトークを発信する

サークルトークを発信する方法を説明します。

- サークルトークをはじめて利用するときは、サークルトークメンバーリストの登録確認画面が表示されます。メンバーやグループを登録し、サークルトークメンバーリストを作成すると、サークルトークを簡単に利用できます。（☞P.19-17）

1 電話番号を入力する。

2 ［ボタン］（サークルトーク）を押す。

■サークルトーク参加メンバーを追加／削除する：☞P.19-16

3 ◉（発信）を押す。

- サークルトーク参加メンバーの誰か1人が接続すると、サークルトークが開始されます。

4 発言する。

サークルトークの開始直後は、発信者が発言できる状態になります。

- 発言内容は、発言者以外のメンバー全員に伝わります。
- 1回あたり最大30秒間発言できます。
- 発言時間が残り5秒になると、警告音が鳴ります。

5 発言を終了するときは、［ボタン］を押す。

- 発言時間を過ぎたときは、自動的に発言が終了します。

6 もう一度発言するときは、画面の発言状況欄に「［アイコン］ボタンで話せます」と表示されているときに［ボタン］を押す。

発言できるときは、画面の発言状況欄に「**話し終わったら［アイコン］**」と表示されます。

- 他のメンバーが発言中のときなど、発言できない場合は、画面の発言状況欄に「**今は話せません**」と表示され、発言できません。このときは、再度操作6を行います。

7 サークルトークを終了するときは、［終話］を押す。

- お客様を含めた参加メンバーが残り1人になると、サークルトークは終了します。

サークルトークの再参加

■サークルトークを終了したあとに、待受画面で次の操作を行うと、直前に終了したサークルトークに再参加できます。

◎（発信履歴一覧表示）／◎（着信履歴一覧表示）➡直前のサークルトークの発信履歴／着信履歴選択➡✉（メニュー）➡「サークルトーク再参加」選択➡◉

- 再参加する場合に、サークルトークに参加していたメンバーすべてがサークルトークを終了していたり、11人でサークルトークを行っているときは、再参加できません。

スピーカーホンOn／Offを切り替える

■サークルトーク中に次の操作を行うと、スピーカーホンOn／Offを切り替えることができます。

◉（押すたびにOn／Off切替）

- サークルトーク開始時のスピーカーホンOn／Offを設定することもできます。（☞P.19-18）

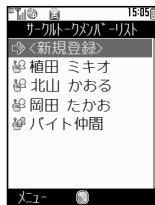
注意▶ サークルトーク中に電話着信やアラーム動作があると
- 音声／TVコール着信時は「**着信時優先動作**」の設定に従って動作します。（☞P.19-18）
- サークルトーク中にアラーム設定時刻を過ぎると、サークルトーク終了後にアラームが鳴ります。

サークルトークメンバーリストから発信する

- あらかじめ、サークルトークメンバーリストにメンバーまたはグループを登録しておいてください。（☞P.19-17）

1 （サークルトーク）を押す。

2 サークルトークメンバーリストからメンバーまたはグループを選び、◉を押す。

■ サークルトーク参加メンバーを追加／削除する：☞P.19-16

3 ◉（発信）を押す。

ホットステータスメンバーリストから発信する

メニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 ◎で発信先を選び、（サークルトーク）を押す。

■ サークルトーク参加メンバーを追加／削除する：☞P.19-16

2 ◉（発信）を押す。

アドレス帳や発信履歴／着信履歴から発信する

1 *アドレス帳から発信する*

1 ◎を押す

2 発信する相手を選び、◉を押す。

発信履歴／着信履歴から発信する

1 ◎で発信履歴または着信履歴を表示する。

2 電話番号を選び、（サークルトーク）を押す。

■ サークルトーク参加メンバーを追加／削除する：☞P.19-16

3 ◉（発信）を押す。

サークルトーク着信を受ける

サークルトーク着信を受ける方法を説明します。

1 **サークルトーク着信中に［ ］（サークルトーク）、［ ］、［ ］のいずれかを押す。**

サークルトークが開始されます。

■サークルトーク中に発言する：
☞P.19-14

2 **サークルトークを終了するときは、［ ］を押す。**

注意▶ マイステータスの応答ステータス（サークルトーク）が「**自動参加**」のときは、自動的にサークルトークが開始されます。また、応答ステータス（サークルトーク）が「**参加NG**」のときは、自動的にサークルトークの着信を拒否します。（☞P.19-8）

サークルトーク参加メンバーを追加／削除する

サークルトーク参加メンバーを追加する

サークルトーク発信前、またはサークルトーク中に次の操作を行うと、サークルトーク参加メンバーを追加できます。

1 **［ ］（メニュー）を押す。**

2 **「メンバー追加」を選び、◉を押す。**

3 *ホットステータスメンバーリストから追加する*

1「ホットステータスメンバーリスト」を選び、◉を押す。

2 ◎でグループを選び、追加するメンバーを選ぶ。

サークルトークメンバーリストから追加する

1「サークルトークメンバーリスト」を選び、◉を押す。

2 追加するメンバーまたはグループを選ぶ。

アドレス帳から追加する

1「アドレス帳」を選び、◉を押す。

2 追加するアドレス帳を選ぶ。

■電話番号が複数登録されているアドレス帳選択時：
◉➡電話番号選択

電話番号を入力して追加する

1「電話番号入力」を選び、◉を押す。

2 電話番号を入力する。

4 **◉を押す。**

選択した相手や、入力した電話番号が追加されます。

- 複数のメンバーやグループを追加するときは、操作1～4をくり返します。

コミュニケーション 19

サークルトーク参加メンバーを削除する

サークルトーク発信前に次の操作を行うと、サークルトーク参加メンバーを発信するリストから削除できます。

- サークルトーク中は、サークルトーク参加メンバーを削除できません。

1 **削除する参加メンバーを選び、✉（メニュー）を押す。**

2 **「メンバー削除」を選び、◉を押す。**

3 **「はい」を選び、◉を押す。**

選択した参加メンバーが、発信するリストから削除されます。

サークルトークメンバーリストを作成する

ホットステータスメンバーリストやアドレス帳から、サークルトークメンバーリストに電話番号を登録しておくと、サークルトークを簡単に利用できます。

- サークルトークメンバーリストには、個人とグループが登録できます。同じ複数の相手によくサークルトーク発信するときは、グループに登録すると便利です。
- サークルトークメンバーリストには、メンバーとグループ合わせて最大30件まで登録できます。また、1つのグループには、最大10件までメンバーを登録することができます。

1 **（サークルトーク）を押す。**

2 **「新規登録」を選び、◉を押す。**

■はじめてサークルトークを利用するとき：「**はい**」選択➡◉

3 ***メンバー（個人）として登録する***

1「個人」を選び、◉を押す。

2「ホットステータスメンバーリスト」または「アドレス帳」を選び、◉を押す。

3 登録する相手を選び、◉を押す。

選択した相手が、サークルトークメンバーリストに登録されます。

■電話番号が複数登録されているアドレス帳選択時：電話番号選択➡◉

グループとして登録する

1「グループ」を選び、◉を押す。

2 ◉を押す。

3 グループ名を入力し、◉を押す。

4「メンバー1：」～「メンバー10：」のいずれかを選び、◉を押す。

5「ホットステータスメンバーリスト」または「アドレス帳」を選び、◉を押す。

6 登録する相手を選び、◉を押す。

■電話番号が複数登録されているアドレス帳選択時：電話番号選択➡◉

7 操作4～6をくり返し、グループにメンバーを登録する。

8 Y!（保存）を押す。

入力したグループ名で、グループが登録されます。

補足▶ グループ名やグループに登録したメンバーは、登録後に変更することもできます。

サークルトークメンバーリストを編集する

サークルトークメンバーリストに登録したメンバーやグループを変更／削除できます。

メンバーやグループを変更する

1 ［サークルトークキー］（サークルトーク）を押す。

2 *メンバー（個人）を変更する*

❶変更するメンバー（個人）を選び、［メールキー］（メニュー）を押す。
❷「編集」を選び、◉を押す。
❸◉を押す。
❹P.19-17「メンバー（個人）として登録する」操作❷～❸を行い、メンバーを登録する。

グループを変更する

❶変更するグループを選び、［メールキー］（メニュー）を押す。
❷「編集」を選び、◉を押す。
❸P.19-17「グループとして登録する」操作❷～❽を行い、グループを保存する。

メンバーやグループを削除する

1 ［サークルトークキー］（サークルトーク）を押す。

2 削除するメンバーまたはグループを選び、［メールキー］（メニュー）を押す。

3「削除」を選び、◉を押す。

4「はい」を選び、◉を押す。

選択したメンバーまたはグループが削除されます。

サークルトーク設定

スピーカーホンOn／Off	サークルトーク中のスピーカーホンのOn／Offを設定します。

お買い上げ時On

［サークルトークキー］（サークルトーク）➡［メールキー］（メニュー）➡「スピーカーホン」選択➡◉➡「On」／「Off」選択➡◉

着信時優先動作	サークルトーク中の音声着信、TVコール着信の動作を設定します。

お買い上げ時音声着信／TVコール着信：着信拒否動作

［サークルトークキー］（サークルトーク）➡［メールキー］（メニュー）➡「着信時優先動作」選択➡◉➡「音声着信」／「TVコール着信」選択➡◉➡動作選択➡◉

● 設定できる動作は、次のとおりです。

着信優先動作	音声／TVコール着信時、サークルトークは終了し、着信が受けられるようになります。
着信拒否動作	音声／TVコールは着信せず、サークルトークは継続します。（相手には話し中となります。）

ちかチャット

- 本アプリには、18歳未満のお子さまによる本アプリの利用を保護者の方が制限することができる「**利用制限機能**」を搭載しております。
  なお、「**操作用暗証番号**」を用いて「**S!アプリオールリセット**」（☞P.16-8）を行うと、利用制限機能で設定している暗証番号もリセットされ、利用制限機能が解除されますので、「**操作用暗証番号**」の管理はくれぐれもご注意ください。
- 利用制限機能について詳しくは、S!アプリ「**ちかチャット**」の「**使い方**」を参照してください。
- 本アプリは、Bluetooth®の特性上、意図しない相手から接続を要求されることがありますが、拒否することもできます。
  [P.19-20「**相手からの開始要求でちかチャットを開始する**」操作２で「**いいえ**」を選び、◉を押します。]

ちかチャットについて

近く（半径10m程度の範囲）にあるちかチャット対応端末どうしで、リアルタイムに文字メッセージをやりとりできます。

- ちかチャットはBluetooth®を利用します。このため、通信料はかかりません。
- ちかチャットの利用には、ちかチャット専用S!アプリが必要です。本機には、あらかじめS!アプリ「**ちかチャット**」が登録されています。

注意▶
- 通信可能範囲は、周囲の環境により変動することがあります。
- あらかじめ登録されているS!アプリ「**ちかチャット**」は削除できません。

ちかチャットを利用する

ちかチャットの準備をする

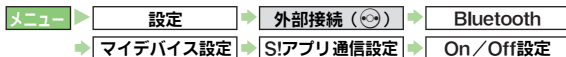
ちかチャットを利用するには、あらかじめ次の各機能を「On」にしておく必要があります。

Bluetooth® On／Off設定	☞P.10-2（お買い上げ時「Off」）
Bluetooth®デバイスの公開	☞P.10-4（お買い上げ時「On」）
S!アプリ通信設定	☞P.19-20（お買い上げ時「On」）

注意▶
- Bluetooth® On／Off設定を「**Off**」にすると、S!アプリ「**ちかチャット**」は利用できません。
- Bluetooth® On／Off設定およびBluetooth®デバイスの公開を「**On**」にすると、周りのBluetooth®対応機器に本機のデバイス名称を公開します。他の機器から接続要求されることがありますので、ご注意ください。
- Bluetooth®デバイスの公開およびS!アプリ通信設定を「**Off**」にすると、相手からの開始要求でちかチャットを開始することはできません。

補足▶ ちかチャットを起動すると、Bluetooth®設定は「**On**」に、Bluetooth®デバイスの公開設定は常時「**On**」になります。ちかチャットを終了しても、Bluetooth®設定は「**On**」のままですが、Bluetooth®デバイスの公開設定は、ちかチャットを起動する前の設定に戻ります。

■S!アプリ通信設定

● お買い上げ時には、「On」に設定されています。

1 「On」または「Off」を選び、◉を押す。

■「On」選択時（Bluetooth®機能Off時）：「**はい**」選択➡◉

本機の操作でちかチャットを開始する

メニュー ▶ コミュニケーション

1 「ちかチャット」を選び、◉を押す。

■ Bluetooth®機能Off時：「**はい**」選択➡◉

2 S!アプリの操作でちかチャットを開始する。

● 相手がちかチャットの接続要求に応じれば、ちかチャットが利用できる状態になります。

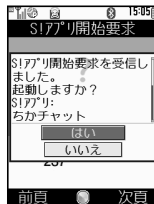
3 ちかチャットを終了するときは、S!アプリを終了させる。（☞P.16-4）

相手からの開始要求でちかチャットを開始する

1 相手から、ちかチャットの開始要求があると、S!アプリ開始要求の受信音が鳴り、確認画面が表示される。

S!アプリ開始要求
S!アプリ開始要求を受信しました。
起動しますか？
S!アプリ:
ちかチャット
はい
いいえ
前頁　次頁

● 受信音停止後、約30秒間何も操作しないでおくと、再びS!アプリ開始要求の受信音が鳴り、確認画面のあと、インフォメーションが表示されます。

● 最新の開始要求受信の履歴は、「**最新受信情報**」（☞下記）で確認することができます。

2 「はい」を選び、◉を押す。

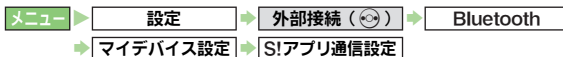
S!アプリ「**ちかチャット**」が起動し、ちかチャットが利用できる状態になります。

● ちかチャットの操作方法について詳しくは、S!アプリ「**ちかチャット**」の「**使い方**」を参照してください。

■ 開始しない：「**いいえ**」選択➡◉

3 ちかチャットを終了するときは、S!アプリを終了させる。（☞P.16-4）

最新受信情報 最新のちかチャットの通信状況を確認します。

メニュー ▶ 設定 ➡ 外部接続（◎） ➡ Bluetooth ➡ マイデバイス設定 ➡ S!アプリ通信設定

「最新受信情報」選択➡◉

■ 確認の終了：上記操作のあと◉

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the SOFTBANK MOBILE Corp. Website (http://www.softbank.jp) for the full manual* or dial 157 from a SoftBank handset for Customer Service.

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check SoftBank Website again at a later date.

In this manual, most operations are described with handset open in Standby. Sample screen shots, etc. are provided for reference only. Actual handset windows, menus, etc. may differ in appearance.

To SoftBank 813SH users:
SoftBank 813SH is not equipped with mobile camera; see **SoftBank 813SH Supplementary Guide** for operational/functional differences with SoftBank 812SH.

Tip ▶ Illustrations in this manual are based on SoftBank 812SH.

812SH-813SH Comparison

■ Functions

These functions are not available on SoftBank 813SH:

- Video Call
- Camera
- Face Recognition
- Scan Barcode
- Create QR Code
- Text Scanner

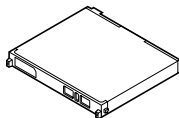
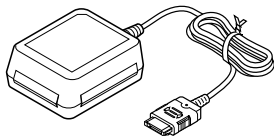
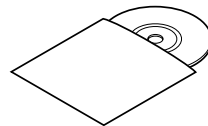
■ Main Menu

SoftBank 812SH
Communication
Yahoo! Keitai
Media Player
Messaging
Camera
Data Folder
Tools
Entertainment
S! Appli
Lifestyle-appli
Phone
Settings

↔

SoftBank 813SH
Communication
Yahoo! Keitai
Media Player
Messaging
Data Folder
PIM
Tools
Entertainment
S! Appli
Lifestyle-appli
Phone
Settings

Accessories

■ **Lithium-ion Battery (Type 1) (SHBAY1)**

■ **AC Charger (SHCAA1)**

■ **Utility Software (CD-ROM)*★**

*Utility Software updates/upgrades may become available on the SoftBank Website (http://www.softbank.jp) without prior notification. Please check for the newest versions of Utility Software and download as required.
★Complimentary sample not available for purchase

Note ▶ Supplied Utility Software is designed exclusively for 812SH and 813SH.

Tip ▶
- For accessory-related information, please contact SoftBank Customer Centre, General Information (see P.20-50).
- Handset is compatible with microSD™ Memory Card; microSD™ Memory Card is not included in this package. Purchase microSD™ Memory Card to use Memory Card-related handset functions.
- In this manual, microSD™ Memory Card is referred to as "Memory Card".

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

	Prohibited Actions
	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

Handset, Battery & Charger

Use specified battery, Charger and Desktop Holder only.

Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger terminals.

Keep metal objects away from Charger terminals. Keep handset away from jewellery. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry battery.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire. Do not:

- Heat or dispose of battery in fire
- Open/modify/disassemble battery
- Damage or solder battery
- Use a damaged or deformed battery
- Use non-specified charger
- Force battery into handset
- Charge battery near fire or sources of heat; or expose it to extreme heat
- Use battery for other equipment

If battery fluid contacts eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.

Eyes may be severely damaged.

Abridged English Manual

WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into the handset, Charger or Desktop Holder.

Do not insert metal or flammable objects into handset, Charger or Desktop Holder; may cause fire or electric shock. Keep out of children's reach.

Keep handset out of rain or extreme humidity.

Fire or electric shock may result.

Keep handset away from liquid-filled containers.

Keep the handset, Charger and Desktop Holder away from chemicals or liquids; fire or electric shock may result.

Keep battery, handset, Charger or Desktop Holder away from microwave ovens.

Battery, handset, Charger or Desktop Holder may leak, burst, overheat or ignite, leading to accidents or injury.

Do not disassemble or modify handset or related hardware.

- Do not open handset, Charger or Desktop Holder; may cause electric shock or injury. Contact SoftBank Customer Centre, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, Charger or Desktop Holder; fire or electric shock may result.

If water or foreign matter is inside handset:

Discontinue handset use to prevent fire/electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug Charger, then contact SoftBank Customer Centre, Customer Assistance.

Keep handset off and Charger disconnected near filling stations or places with fire/explosion risk.

Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion; turn handset off before using S! FeliCa at filling stations (cancel IC Card Lock beforehand).

Do not subject handset to strong shocks or impacts.

Strong shocks or impacts to handset, Charger or Desktop Holder may cause malfunction or injury. Should handset be damaged, remove battery then contact SoftBank Customer Centre, Customer Assistance. Discontinue handset use; fire or electric shock may occur.

If an abnormality occurs:

If a handset emits an unusual sound, smoke or odour, discontinue use; may cause fire or electric shock. Turn off handset, remove battery and unplug Charger; contact SoftBank Customer Centre, Customer Assistance.

Handset

Take measures to prevent accidents.

- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (effective 1 November 2004).
- Do not use Headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially near rail crossings/intersections, etc. to avoid accidents.

Do not swing handset by strap.

May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft.

Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and ringtone settings:

Users with a heart condition/pacemaker/defibrillator should adjust handset settings accordingly.

During thunderstorms, turn power off; find cover.

There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- **AC Charger: AC 100V-240V Input**
  - ■ SoftBank is not liable for problems caused by charging battery abroad.
- **In-Car Charger: DC 12V-24V Input**

Do not use power adapters.

Using AC Charger with step-up/step-down transformer may cause fire, electric shock or damage.

Do not use In-Car Charger in positive earth vehicles.

Fire may result. Use In-Car Charger in negative earth vehicles only.

Charger care

- Do not touch with wet hands. Electric shock may occur.
- Do not use multiple cords in one outlet; may cause excess heat/fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit Charger terminals.

May cause overheating, fire or electric shock. Keep metal away from terminals.

Do not use Desktop Holder inside vehicles.
Extreme temperature or vibration may cause fire or damage handset, etc.

Take measures to prevent accidents.
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

Damaged AC Charger/In-Car Charger cord:
May cause fire or electric shock; discontinue use and purchase a new Charger.

During thunderstorms:
Unplug Charger to avoid damage, fire or electric shock.

Charger/Desktop Holder use and children:
May cause electric shock/injury; keep out of reach.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or ignite.
- If there is leakage or abnormal odour, avoid fire sources. Battery may catch fire or burst.

If there is abnormal odour, excessive heat, discolouration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.
Radio waves can interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near.
Radio waves can interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.

Observe these rules inside medical facilities:
- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals, including lobbies.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.

Consult electronic medical equipment vendor on radio wave effects.

CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset care

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discolouration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, telephone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Handset temperature

Handset may become hot while in use. Avoid prolonged contact with skin especially at high temperature. May cause burn injuries.

Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).

Handset may become hot to the touch, leading to burn injuries.

Volume settings

Moderate handset volume; excessive volume may damage ears or hearing.

Inside vehicles

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.

Some materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Charger

Charger & In-Car Charger

- Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.

- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use.
May cause burn injuries.

Use only the specified fuse.
1 A fuse for In-Car Charger. Or may cause damage/fire.

Always charge battery in a well-ventilated area.
Avoid covering/wrapping Charger and Desktop Holder; may cause damage/fire.

Do not use In-Car Charger when engine is off.
To avoid weakening the car battery, always start engine before charging the handset using In-Car Charger.

During periods of disuse
Always unplug AC Charger or In-Car Charger after use.

Handset maintenance
Always disconnect AC Charger or In-Car Charger when cleaning handset.

In-Car Charger installation
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or ignite.

Do not leave battery in direct sunlight or inside a closed vehicle; may reduce battery performance or overheat. An overheated battery may cause fire.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid contacts skin or clothes, rinse with clean water immediately.

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take exhausted battery to a SoftBank shop, or follow the local disposal regulations.

Keep battery out of children's reach.

- Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odour or excessive heat, stop using battery and call SoftBank Customer Centre, Customer Assistance.
- Charge battery at least once every six months; an uncharged battery may become unusable.

General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or Memory Card data. Keep a copy of Phone Book entries, etc. in a separate place.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off). Handset use may impair aircraft operation.

Electromagnetic Waves

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damages.
- Use handset within 5°C to 35°C and 35% to 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage colour filter and affect image colour.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the Display.
- When using Headphones, moderate volume to avoid sound bleed.
- **Function Usage Limits**
  These functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation: Camera; Media Player; S! Applications. After a period of disuse, these functions may be unusable; retrieve Network Information (see P.20-34) to restore usability.

- **Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.**
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in damp places (toilet, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may seep inside handset causing malfunction.
- **Avoid heavy objects or excessive pressure. May cause malfunction or injury.**
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only the specified products to Headphone Port. Non-specified devices may malfunction or cause damage.
- Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
Highest SAR value:

Model	FCC ID	At the Ear	On the Body
812SH	APYHRO00054	1.27 W/kg	0.77 W/kg
813SH	APYHRO00055	1.45 W/kg	1.10 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on the corresponding FCC ID (see table on P.20-11).
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide*.
Highest SAR value:

Model	At the Ear**	On the Body
812SH	1.647 W/kg	1.258 W/kg
813SH	1.619 W/kg	0.903 W/kg

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the Network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*Please see General Notes (Electromagnetic Waves) on P.20-10 for important notes regarding body-worn operation.
**Values are measured in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 812SH and 813SH are in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theatres, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, and elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

Manner-Related Features

■ Manner Mode
Press Manner Key to automatically mute all sounds and activate vibration for incoming transmissions.

■ Vibration Mode
Activate vibration for incoming transmission alerts.

■ Volume Settings
When carrying handset in public, decrease or mute incoming transmission alerts or S! Application tones.

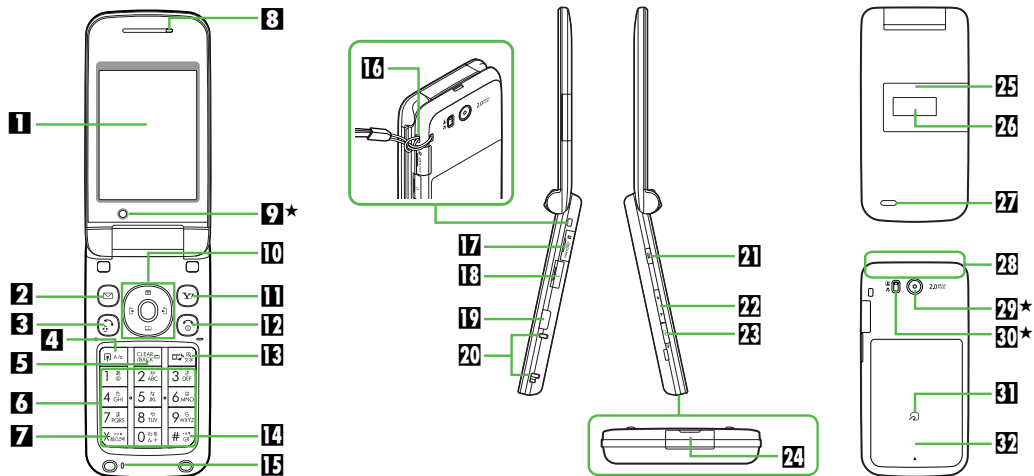
■ Offline Mode
Temporarily suspend all handset transmissions without turning off handset power.

■ Answer Phone
Handle incoming calls inappropriate/unsafe to answer.

■ Drive Mode
Small Light flashes for incoming calls; if unanswered driving message plays and Answer Phone activates.

Handset Parts & Functions

★813SH is not equipped with these parts (9, 29 and 30).

Handset

1 Display

2 Mail Key

Open Messaging menu or execute Soft Key functions.

3 Start Key

Initiate/answer calls. Open records of All Calls.

4 Shortcuts & A/a Key

Open Shortcuts menu. In text entry windows, toggle upper/lower case roman letters or standard/small hiragana/katakana.

5 Clear/Back Key

Delete entries, escape/return to previous window.

6 Keypad

7 ⚹ Key

In text entry windows, open Symbol/Pictogram Lists.

8 Earpiece

9 Internal Camera

Use during Video Call.

10 Multi Selector & Keypad Lock Key
Select menu items, move cursor, scroll, etc. In Standby, press for 1+ seconds to activate/cancel Keypad Lock.
11 Yahoo! Keitai Key
Open Yahoo! Keitai Main Menu or execute Soft Key functions.
12 Power On/Off Key
Press and hold to turn handset power on/off.
13 Multimedia/Text Key
Start Media Player or change character entry mode. In Standby, press for 1+ seconds to activate/cancel Simple Menu.
14 # Key
15 Microphone
16 Strap Eyelet
Attach straps as shown; avoid metallic straps.
17 Memory Card Slot
Insert Memory Card here.
18 Headphone Port
Connect optional Headphones, etc.
19 Infrared Port
Use for infrared data transmissions.
20 Charger Terminal
21 Circle Talk Key
Press to speak during Circle Talk.
22 Volume/Zoom Key
Adjust Earpiece Volume or zoom mobile camera.
23 Multi Job/Manner Key
Toggle multiple active function windows. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner mode.
24 External Device Port
Connect Charger here.
25 Small Light
Flashes for calls/new mail; illuminates red while charging.
26 External Display
27 Speaker
28 Internal Antenna Location
29 External Camera (lens cover)
30 Portrait ( )/Macro ( ) Selector
31 Logo
S! FeliCa contactless IC Card embedded. Place logo over reader/writer to use IC Card.
32 Battery Cover

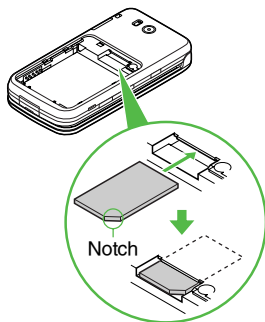
Note ▶ Internal Antenna
- Handset has no external antenna. Handset transmits/receives signals via Internal Antenna.
- Do not cover or place stickers, etc. over the area containing Internal Antenna.
- Voice quality varies with handset usage/location.
- For better reception in Standby, close handset .

USIM Card

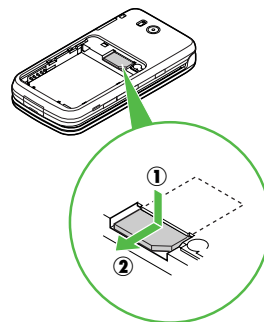
Universal Subscriber Identity Module (USIM) Card is an IC card containing customer and authentication information, including the handset number, and limited storage for Phone Book entries and SMS messages. USIM Card must be inserted to use this handset. Turn handset off before inserting/removing USIM Card.

- Do not force USIM Card into or out of handset; damage may result.
- Avoid contact with USIM Card IC chip and Battery terminals; may hinder performance or result in lost data.
- Some downloaded files may be inaccessible after repairs, USIM Card replacement or handset upgrade/replacement.
- S! Applications, Comic Surfing®, S! Town and Near Chat may be disabled after USIM Card replacement.

Inserting

1. Slide in USIM Card with IC chip facing down
2. Insert battery

Removing

Take care not to lose removed USIM Card.

1. Gently slide out USIM Card as shown
2. Insert battery

Charging Battery

Battery & Charger

Charge battery before first use/after period of disuse.

Battery Life

- Do not use/store battery at extreme temperatures; this may shorten battery life. Ideally, use/store between 5°C - 35°C.
- Use specified Charger only; others may damage handset/battery or overheat or ignite battery.
- Replace battery if operating time shortens noticeably.

Charging

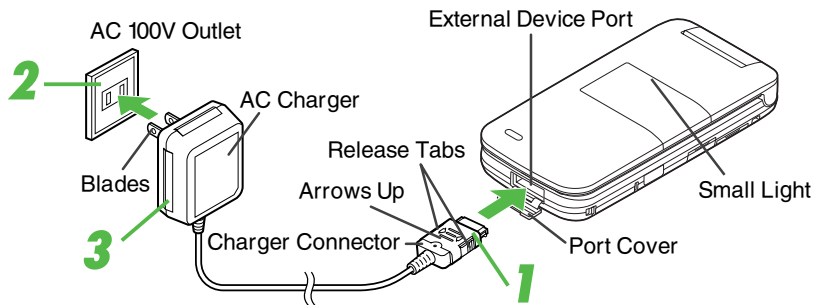
- Do not use Charger for other purposes.
- Contact with metal may short, overheat or burst battery.
- Small Light illuminates red while charging. (It may take longer for the light to illuminate when handset is off.)
- Handset and Charger may warm during charging.
- Separate Charger from TV/radio if interference occurs.

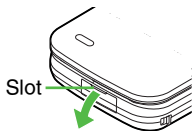
Precautions

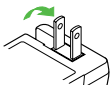
- Clean device charging terminals with a dry cotton swab.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Charge battery at least once every six months; an uncharged battery may become unusable.
- Use a case when carrying battery separately.

Battery Disposal

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take exhausted battery to a SoftBank shop, or follow the local disposal regulations.

Charging (Use Specified Charger Only)

1 Open Port Cover to connect Charger

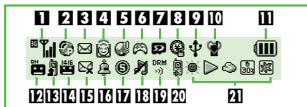
- Insert connector until it clicks.
- Use slot to gently pull Port Cover down and out as shown.

2 Plug Charger into AC outlet

- Charging starts and Small Light illuminates red. (Charging takes approximately 150 minutes.)
- Charging is complete when Small Light goes out.
- Extend Charger blades. (Fold back when not in use.)

3 Unplug Charger from AC outlet, then handset

- Squeeze release tabs to remove connector.
- Replace Port Cover to protect External Device Port.

Note ▶
- Do not pull, bend or twist AC Charger cord.
- AC Charger is compatible with household currents between AC 100V and 240V.
- SoftBank is not liable for problems resulting from charging battery abroad.

Display Indicators

The following indicators appear at the top of Display.

1 Network Service/Signal Strength
: Within 3G range, : Within GSM range
: Strong, : Moderate, : Low, : Weak
out: Out-of-Range
2 : Incoming Voice Call, : Voice Call in Progress
[1] : Incoming Video Call, [1] : Video Call in Progress
: Incoming Circle Talk Request
: Offline Mode, : SSL
: Packet Transmission Protocol Ready
: Waiting[2]/Packet Transmission in Progress
: Packet Transmission Available
[1]Undisplayable on 813SH.
[2]Appears constantly if IP Service Setting is ***On*** and Hot Status Connection Setting is ***Online***.
3 Mail
: Unread Mail, : Unread Delivery Report
(red): Memory Low
: Receiving Mail, : Sending Mail
4 Hot Status*
: Hot Status Online, : Unread Hot Status Notification
: Sending Hot Status Request
*Appears constantly if IP Service Setting is ***On*** and Hot Status Connection Setting is ***Online***.
5 : Auto Delivery Info, : Cast Info
: Software Update, : Software Update Result
: Live Monitor Info
6 : Active S! Application, : Paused S! Application
: Music Player Active
7 Memory Card Status
: Inserted, : In Use, : Formatting
: Unusable/Poor Connection

: Loudspeaker Active, : Microphone Muted
: Loudspeaker Active & Microphone Muted
8 : Multiple Functions (Multi Job) Active
: IC Card Lock Active
9 : USB Transmission Ready
: USB Transmission in Progress
: Infrared Connection in Progress
: Infrared Transmission in Progress
: Bluetooth® Transmission Ready
Appears in grey when Visibility is set to ***Hide My Phone***.
: Bluetooth® Transmission in Progress
: Bluetooth® Talk in Progress
: PC Site Browser in Use
10 Mode
: Manner, : Drive, : Original
11 Battery Strength
: Strong, : Moderate, : Low, : Empty
Indicator may appear vertically (e.g.).
12 : Answer Phone Active
: Answer Phone Active & Message Recorded
: Answer Phone Cancelled & Message Recorded
13 Call Forwarding or Voicemail Active
Appears when ***Always*** (forwarding condition) is set for Voice Calls.
14 New Voicemail
15 Message Delivery Failure
16 Alarm/Schedule
: Alarm Set, : Reminder Set, : Reminder Unset
17 : Secret Mode Active, : Password Lock Active
: Keypad Lock Active
18 Ringtone/Vibration
: Silent, : Increasing Volume, : Vibration Active
: Silent & Vibration Active
19 Copyright Information
: Content Key Received
When Content Key memory is low, (below 10 %) or (below 5 %) appears.
(grey): Infrared Transmission Ready
20 Auto Answer or Remote Monitor Active
21 Weather Indicator

External Display Indicators

Press , ◄ or ► with handset closed to turn External Display Backlight on. When new mail arrives, press to read the message.
See major External Display indicators below.

1 Signal Strength
2 Battery Strength
3 Date
4 Time

Additional Indicators

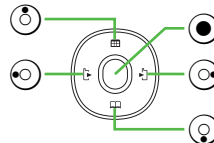
Indicator and number of calls/messages, etc. appear for missed calls, new mail/information, etc.

Missed Calls		New Delivery Report	
Answer Phone Message		Message Delivery Failure	
Missed Call Notification		Content Key	
New Voicemail		Bluetooth® Notification	
Alarm		New Cast Info	
Schedule Reminder		Cast Reception Failure	
Task Reminder		Hot Status Notification	
New Messages		Weather Indicator Update	

Up to two indicators appear at the same time. Press ◄ or ► to view more.

Symbols

Multi Selector

Select menu items, move cursor and scroll, etc. In this manual, Multi Selector operations are indicated as follows.

Basic Multi Selector Operations

- : Press or
- : Press or
- : Press , , or

Menu Items

Use to select menu items.
Example: Select *Settings* and press .

USIM PINs

PIN1 & PIN2

PIN1	Prevent unauthorised use of handset
PIN2	Required to clear Call Costs and to set Max Cost

- PIN1 and PIN2 are ***9999*** by default; change as needed.
- Activate PIN Entry to require PIN1 (4 - 8 digits) entry each time handset (USIM Card inserted) is turned on.

PIN Lock & Cancellation (PUK Code*)

PIN1 Lock or PIN2 Lock is activated if PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times consecutively. PUK Code is required to cancel PIN Lock. For details, contact SoftBank Customer Centre, General Information (see P.20-50).

*USIM Personal Unblocking Key (PUK Code) unblocks a USIM Card blocked after the wrong PIN has been entered three consecutive times. Each USIM Card has a unique PUK Code. Do not disclose it to unauthorised persons.

Note ▶
- If PUK Code is incorrectly entered ten times consecutively, USIM Card is locked and handset is disabled. Write down PUK Code.
- For USIM Card unlocking procedures, call SoftBank Customer Centre, General Information (see P.20-50).

Security Codes

Handset Code, Centre Access Code and Network Password are needed for handset use.
For details, contact SoftBank Customer Centre, General Information (see P.20-50).

Handset Code

4-digit number (***9999*** by default) required to use or change some handset functions. * appears as digits are entered. If ***Handset code is incorrect!*** appears, enter again.

Centre Access Code

4-digit number selected at initial subscription; required to access Voicemail via landlines or subscribe to fee-based information.

Network Password

4-digit number selected at initial subscription; required to restrict handset services. If Network Password is incorrectly entered three times consecutively, Call Barring settings are locked. To resolve, Network Password and Centre Access Code must be changed. For details, contact SoftBank Customer Centre, General Information (see P.20-50).

Note ▶
- Write down Handset Code, Centre Access Code and Network Password.
- Do not reveal Handset Code, Centre Access Code and Network Password. SoftBank is not liable for misuse or damages.

Tip ▶ Handset Code/Network Password are changeable.

Basic Handset Operations

Handset Power On/Off

Turning On

1. Open handset
2. Press and hold [power]

Turning Off

1. Open handset
2. Press [power] for 2+ seconds

English Display

1. Press ◉, select **設定** and press ◉
2. Select ***Language*** and press ◉
3. Select ***English*** and press ◉

My Phone Number

1. Press ◉[0]
2. Press [power] to exit

Setting Clock

1. Press ◉, select ***Settings*** and press ◉
2. Select ***Date & Time*** and press ◉
3. Select ***Set Date/Time*** and press ◉
4. Enter date and time (24-hour format) and press ◉

Network Services

1. Press ◉, select ***Settings*** and press ◉
2. Use ◎ to select ***Network Settings***
3. Select ***Select Service*** and press ◉
4. Select ***Auto***, ***3G/GSM***, ***3G*** or ***GSM*** and press ◉

Tip ▶ For details, please see the full English manual.

Initiating a Voice Call

Calling within Japan

1. Enter a phone number
2. Press ☎

Placing an International Call

Service requires an additional contract, but no basic monthly charges or application fees.

1. Enter a phone number
2. Press ✉ Options
3. Select ***Int'l Call*** and press ◉
4. Select a country and press ◉
5. Press ☎

Calling from Outside Japan

1. Enter a phone number
   When calling landlines or mobile phones within the country, skip ahead to Step 5.
2. Press ✉ Options
3. Select ***Int'l Call*** and press ◉
4. Select a country and press ◉
   When calling SoftBank handsets, always select ***日本 (JPN)***.
5. Press ☎

Note ▶
- Omit the first ***0*** of the dialling code except when calling Italy.
- For details, contact SoftBank Customer Centre, General Information (see P.20-50).

Answering a Voice Call

1. When a call arrives, open handset
2. Press [call key]

Redial

1. Press ⦾ (▷)
2. Select a record and press ●
3. Press [call key]

Calling from Received Calls

1. Press ⦾ (◁)
2. Select a record and press ●
3. Press [call key]

Initiating a Video Call

1. Enter a phone number
2. Press ✉ **Options**
3. Select *Video Call* and press ●

Tip ▶ Alternatively, enter a phone number and press [call key] for 1+ seconds to initiate a Video Call.

Answering a Video Call

1. When a call arrives, open handset
2. Press ● **Answer**
3. Choose *Yes* and press ●
   - To answer with voice only, choose *No*.

Total Charges & Call Time

Total Charges

1. Select *Call Costs* and press ●
2. Select *All Calls* and press ●

Total Call Time

1. Select *Call Timers* and press ●
2. Select *Dialled Calls* or *Received Calls* and press ●

Muting Microphone

Even when handset microphone is muted, other party's voice can be heard through Earpiece.

1. During a call, press [Y!] **Mute**
2. Press [Y!] **Unmute** to cancel

Answer Phone & Voicemail

Activate Answer Phone or transfer incoming calls to Voicemail Centre to record caller messages.

	Answer Phone	Voicemail
Message Recorded	Handset	Voicemail Centre
Setup	Press ● ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ● ➡ Use ◎ to select ***Call/Video Call*** ➡ Select ***Answer Phone*** ➡ Press ● ➡ Select ***Switch On/Off*** ➡ Press ● ➡ Choose ***On*** ➡ Press ●	Press ● ➡ Select ***Settings*** ➡ Press ● ➡ Use ◎ to select ***Call/Video Call*** ➡ Select ***Voicemail/Divert*** ➡ Press ● ➡ Select ***Voicemail*** ➡ Press ● ➡ Select ***Activate*** ➡ Press ● ➡ Select ***Always*** or ***No Answer*** ➡ Press ● ➡ Select ring time (for ***No Answer***) ➡ Press ●
Additional Contract	Not Required	Not Required
Message Indicator	[icon]/[icon]	[icon]
Play	Press ● ➡ Select ***Phone*** ➡ Press ● ➡ Select ***Play Messages*** ➡ Press ●	Press ● ➡ Select ***Phone*** ➡ Press ● ➡ Select ***Call Voicemail*** ➡ Press ● ➡ Follow the voice guidance after handset connects to Voicemail Centre
Delete	During playback, press ✉ Delete ➡ Choose ***Yes*** ➡ Press ●	After playback, press 7
When Handset is Off	Not Available	Available
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available

Tip ▶ Activating Voicemail cancels Call Forwarding for Voice Calls.

Forwarding a Call

Transfer incoming calls to a specified phone number.

Activating Call Forwarding

1. Press ◉, select ***Settings*** and press ◉
2. Use ◎ to select ***Call/Video Call***
3. Select ***Voicemail/Divert*** and press ◉
4. Select ***Diverts*** and press ◉
5. Select call type and press ◉
6. Select ***Always*** or ***No Answer*** and press ◉
7. Select ***Phone Book*** or ***Enter Number*** and press ◉
8. Select an entry/enter a phone number and press ◉
9. Select ring time and press ◉ (for ***No Answer***)

Note ▶ Activating Call Forwarding for Voice Calls cancels Voicemail.

Manner Mode

Activate Manner mode for proper handset etiquette.

1. Press [key] for 1+ seconds
   Manner Mode Settings:
   ① Mutes Keypad Tones, Power On/Off sounds and error tones.
   ② Simultaneously silences incoming and general volumes and activates vibration (default).

Tip ▶ Cancelling Manner Mode
Press [key] for 1+ seconds.

Text Entry

Entry Modes

Follow these steps to change character entry mode.

1. Press [key]
2. Use ◎ to select a mode and press ◉
   - For ***Pictogram*** or ***Symbols***, corresponding list appears. (Entry mode remains unchanged.)
   - Available Modes:

Menu Item	Indicator	Mode
Kanji	漢	Kanji (hiragana)
アイウ	ア	Double-byte katakana
ｱｲｳ	ｱ	Single-byte katakana
Ａｂｃ	A*	Double-byte alphanumerics (upper/lower case)
	a	Double-byte alphanumerics (lower case)
Abc	A*	Single-byte alphanumerics (upper/lower case)
	a	Single-byte alphanumerics (lower case)
123	1	Single-byte number
Character Code	区	Character Code

*A and A appear in upper/lower case mode. In double or single-byte alphanumerics mode, press [key] to toggle between upper/lower case and lower case modes.

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics		Single-byte Numbers
	Upper/Lower Case	Lower Case	
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1
2 ABC	ABCabc2	abc2	2
3 DEF	DEFdef3	def3	3
4 GHI	GHIghi4	ghi4	4
5 JKL	JKLjkl5	jkl5	5
6 MNO	MNOmno6	mno6	6
7 PQRS	PQRSpqrs7	pqrs7	7
8 TUV	TUVtuv8	tuv8	8
9 WXYZ	WXYZwxyz9	wxyz9	9
0	0	0	0 +[1]
*	Symbol List, Log/History, Pictogram List		* P (Pause) ? -[2] Symbol List, Log/History, Pictogram List
#	, . ↲ (Line Break) ? ! (Space)		#
(Up)	Cursor Up		
(Down)	Cursor Down ↲ (Line Break)		
(Left)	Cursor Left		
(Right)	Cursor Right		
(Mode key)	Change Entry Mode		
A/a	Toggle Case + Toggle Mode (upper/lower and lower case)		
CLEAR/BACK (Press)	Delete One Character		
CLEAR/BACK (Long Press)	Delete before or after cursor		
(Recover key)	Recover up to 64 deleted characters[3]		
(Center key)	OK		

[1]Press 0 for 1+ seconds to enter **+** (available for phone number entry).
[2]***, P** (Pause), **?** and **-** are for phone number entry.
[3]Press (Recover key) once for each character to recover immediately after deleting. (Not available after deleting text with CLEAR/BACK (Long Press).)

Tip ▶ **Entering Characters Assigned to the Same Key**
Press ◎ to advance cursor; enter next character.
Editing Characters
Use ◎ to select a character. Press [CLEAR/BACK] to delete it and then enter another.

Symbols, Pictograms & Emoticons

Symbols & Pictograms

1 In a text entry window, press [*] to open Symbol List

- To see Pictograms, press [✉]; toggles as follows:
  Pictogram Lists → Log/History.
  Press [Y!] to return to Symbol List.

2 Use ◎ to select one and press ◉

3 Press a key ([0] - [9]) to exit list and enter the assigned character

- Alternatively, press [CLEAR/BACK] to exit list.

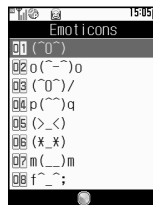
Tip ▶
- Single-byte Symbols do not appear in Log/History List.
- Double-byte Symbols appear only in double-byte entry modes. (All Pictograms are double-byte.)

Emoticons

1 In a text entry window, press [✉] Options

2 Select *Emoticons* and press ◉

- Enter two digits (01 - 50) to jump to the emoticon assigned to the number.

3 Select an emoticon and press ◉

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, mail addresses, etc. to Phone Book.

Phone Book Entry Items

Item	Description
Last Name:	Enter up to 32 characters. (Select ***Name:*** when saving to USIM Card.)
First Name:	
Reading:	Enter up to 64 characters
Add Phone Number:	Enter up to three numbers on handset/two on USIM Card (32 digits each)
Add Email Address:	Enter up to three addresses on handset/one on USIM Card (128 single-byte alphanumerics each)
Category:	Sort entries into 16 Categories (11 on some USIM Cards). Category names can be changed. Set ringtone/ringvideo and Vibration by Category (handset only).
Address:[1]	Enter postal code (20 characters), country name (32 characters), state/province (64 characters), city name (64 characters) and street name/number (64 characters)

Item	Description
Homepage:[1]	Save URLs. Enter up to 1,024 bytes.
Note:[1]	Add personal details. Enter up to 256 characters.
Birthday:[1]	Enter birth date
Picture:[1, 2]	Set an image to appear for incoming calls/mail
Tone/Video for Voice Call:[1]	Set ringtone/ringvideo or Vibration by caller/sender
Tone/Video for Video Call:[1]	
Tone/Video for New Message:[1]	
Vibration for Incoming Call:[1]	
Vibration for New Message:[1]	
Secret:[1]	Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret entries

[1]Not supported on USIM Card.
[2]Image may not appear while an S! Application is active, etc.

■Save up to 750 entries in handset Phone Book; USIM Card Phone Book entry limit varies according to card specifications. Depending on the USIM Card in use, some items may not be supported, and character entry limits or number of Categories may be lower. Also, the number of phone numbers or mail addresses per entry may be lower.

Note ▶ Back-up Important Information
When battery is exhausted/removed for long periods, Phone Book entries may be lost; handset damage may also affect handset information recovery. SoftBank is not liable for damages from lost/altered data.

Creating Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number or mail address.

1 Press ◉, select ***Phone*** and press ◉

2 Select ***Add New Entry*** and press ◉

3 Select ***Last Name:*** and press ◉

4 Enter last name and press ◉

5 Select ***First Name:*** and press ◉

6 Enter first name and press ◉
Characters entered for names appear under ***Reading:***.

Tip ▶ Correcting Reading
Select ***Reading:*** and press ◉.
Make corrections and press ◉.

7 Select ***Add Phone Number:*** and press ◉

8 Enter a phone number and press ◉

9 Select an icon and press ◉

10 Select ***Add Email Address:*** and press ◉

11 Enter a mail address and press ◉

12 Press ◉

13 Select an icon and press ◉

14 Press ✉ Save

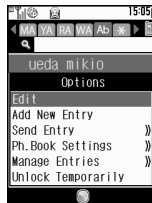
Note ▶ To save an entry, enter at least one of the following: a) last name; b) first name; c) phone number; or d) mail address.

Tip ▶ Setting Default Storage Media
Press ◉ ➡ Select ***Phone*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Ph.Book Settings*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Save New Entry*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Phone***, ***USIM Memory*** or ***Ask Each Time*** ➡ Press ◉
- For ***Ask Each Time***, select storage media for each new entry.

Editing Phone Book Entries

1 Press ◎ and select an entry

2 Press ✉ Options

3 Select ***Edit*** and press ◉

4 Select an item and press ◉

5 Edit contents and press ◉
After numbers/mail addresses, select an icon and press ◉.

6 Press ✉ Save

Saving from Received Calls

1. Select a record (see P.20-24 "Calling from Received Calls")
2. Press ✉ Options, select ***Save Number*** and press ◉
3. *New Entry*
   1. Select ***As New Entry*** and press ◉
   2. Perform Steps 3 - 14 on P.20-30

   Add to Existing Entry
   1. Select a Phone Book entry and press ◉
   2. Press Y! Save

Dialling from Phone Book

Changing Search Method

By Reading	Shows entries that start with specified Reading
By Category	Opens entries in the specified Category
By a-ka-sa-ta-na	Shows entries with Readings that start with katakana in the specified row

1. Press ◉, select ***Phone*** and press ◉
2. Select ***Ph.Book Settings*** and press ◉
3. Select ***Sort Entries*** and press ◉
4. Select ***By Reading***, ***By Category*** or ***By a-ka-sa-ta-na*** and press ◉

Tip ▶ Switching Between Handset & USIM Card
Press ⍜ ➡ Press ✉ Options ➡ Select ***Ph.Book Settings*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Select Phone Book*** ➡ Press ◉ ➡ Select ***Phone***, ***USIM Memory*** or ***Both*** ➡ Press ◉
- For ***Both***, entries in both storage media appear.

Search by Reading

1. Set search method to ***By Reading***
2. In Standby, press ⍜
3. Enter reading
4. Select a name and press ◉

Tip ▶ Multiple Numbers
Use ⍜ to select other numbers.

5. Press ⍐

S! Address Book (SAB)

Back up Phone Book via server; refresh SAB or Phone Book to reflect changes; add to/update SAB online via PC; restore lost/altered Phone Book entries via SAB. SAB requires a separate contract.
For details, contact SoftBank Customer Centre, General Information (see P.20-50) or access the SoftBank Website via PC:
http://mb.softbank.jp/mb/en/support/useful/sab/

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from two different shooting modes. Use Photo Camera for still images and Video Camera for video.

■Photo Camera

Image Size	W 1200 × H 1600 dots (UXGA) W 960 × H 1280 dots (Quad-VGA) W 480 × H 640 dots (VGA) W 240 × H 320 dots (QVGA) W 120 × H 160 dots (QQVGA)
File Format	JPEG (.jpg)
Save Location	Handset Data Folder (Pictures) or Memory Card Data Folder (Pictures/DCIM*)

*Save W 480 × H 640 dots or larger images.

■Video Camera

Image Size	W 176 × H 144 dots W 128 × H 96 dots	W 320 × H 240 dots W 240 × H 176 dots*	
File Format	MPEG-4 or H.263 (.3gp)	MPEG-4 (.3gp)	MPEG-4 (.ASF)
Save Location	Handset or Memory Card Data Folder (Videos)	Memory Card Data Folder (Videos)	Memory Card (SD VIDEO)

*MPEG-4 (.3gp) only.

Camera Shake

Handset movement may blur images; hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self-timer.

Note ▶ Lens Cover

Clean dust/smudges from lens cover (see P.20-15 32) with a soft cloth before use.

Mobile Camera

- Mobile camera is a precision instrument, however, some pixels may appear brighter/darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's colour filter.

Capturing Still Images

1 Press ●, select ***Camera*** and press ●

2 Frame image on Display

- In Video Camera mode, press Y! (→ 📷) to switch to Photo Camera.

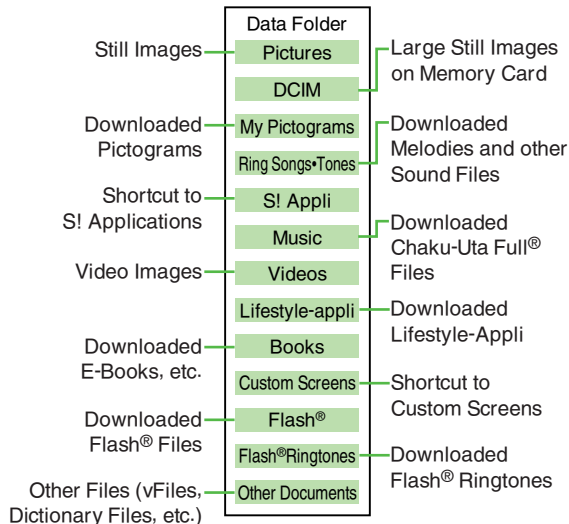
3 Press ●

4 Press ● to save

5 Press ☎ to exit

Data Folder

Contents

Handset files are organised in folders by file format.

Opening Data Folder

1. Press ◉, select ***Data Folder*** and press ◉
2. Select a folder and press ◉
   - To switch between handset and Memory Card, press ✉ Options, select ***Change to Phone*** or ***Change to Memory Card***, then press ◉.
3. Select a file and press ◉
4. Press CLEAR/BACK to return to file list

S! Mail Attachments

Example: Attaching an image from Pictures folder to S! Mail

1. Press ◉, select ***Data Folder*** and press ◉
2. Select ***Pictures*** and press ◉
3. Select a file and press ✉ Options
4. Select ***Send*** and press ◉
5. Select ***As Message*** and press ◉
6. Complete other fields and send S! Mail (perform from Step 3 on P.20-37)

Network Information

Retrieving Network Information

To use Messaging, Internet and other Network-related services, first retrieve Network information. Handset initiates information retrieval when ✉, Y! or ◉ is pressed for the first time. If handset is in Japanese mode, select いいえ and press ◉, then change to English mode (see P.20-22).

1. Press ✉, Y! or ◉
2. Choose *Yes* and press ◉
   Handset connects to the Internet and retrieves required information.

Yahoo! Keitai

Access Yahoo! Keitai Mobile Internet and PC sites.

Yahoo! Keitai

Access compatible Mobile Internet sites via Yahoo! Keitai Main Menu; download news/info as well as files for use on handset.

PC Sites

Activate PC Site Browser to view websites designed for PCs; only document files are downloadable and browsing PC sites may incur higher charges.

Opening Yahoo! Keitai Menu

1. Press ◉, select ***Yahoo! Keitai*** and press ◉
2. Select ***Yahoo! Keitai*** and press ◉
3. Select ﾒﾆｭｰﾘｽﾄ and press ◉
4. Select ***English*** and press ◉
5. Highlight a menu item and press ◉
6. Repeat Step 5 to open additional links
7. To exit, press ☎, choose ***Yes*** and press ◉

Note ▶ Yahoo! Keitai Main Menu is subject to change.

Yahoo! Keitai Options Menu

Open a page and press ✉ Options to use the following functions.

Item	Description
Bookmark	Save new site links, access saved links (requires Internet connection) or edit list
Saved Pages	Save page content; handset opens saved pages without connecting to the Internet
Copy Text	Copy text
Reload	Update page content
Enter URL	Enter URL directly to access sites
Save Items	Save images, sounds, etc. to Data Folder
Convenient Functions	Send URL via SMS/S! Mail, open properties, search within site, etc.
Change to PC Browser	Activate PC Site Browser
History	Previously visited site links
Yahoo! Keitai	Return to Yahoo! Keitai Main Menu
Settings	Set font size, scroll unit, download parameters; select cookie acceptance; customise pointer settings, etc.
Open in New Tab/ Tab Menu	Open link in new tab; switch/close tabs or open another via Tab Menu
Help	View a summary of key assignments
Exit	Exit Yahoo! Keitai

Messaging

Use SoftBank text communication services in Japan and overseas. Exchange text/multimedia messages with compatible handsets, PCs and other devices.

SMS

Use this basic messaging service to exchange short text messages of up to 160 alphanumerics with SoftBank handsets. This service is the ideal solution for fast and short text messaging!

S! Mail

Exchange text messages of up to 30,000 characters with e-mail compatible SoftBank handsets, other mobiles and PCs, etc. Attach image/sound files.

Note ▶ 812SH and 813SH are incompatible with Greeting, Coordinator, Relay Mail, Hotline and Polling service messages.

Tip ▶
- An additional contract is required to use S! Mail and receive e-mail from PCs, etc.
- The Centre resends undeliverable messages at regular intervals until delivered. Messages not received by specified expiry are deleted.

Opening Messages

1. Press ◉, select ***Messaging*** and press ◉
2. Select ***Received Msg.***, ***Drafts***, ***Templates***, ***Sent Messages*** or ***Unsent Messages*** and press ◉
3. Select a message and press ◉

Editing Messages

1. Select a draft, sent or unsent message and press ✉ Options
2. Select ***Edit & Send*** or ***Edit*** and press ◉
3. Edit the message

Customising Handset Address

Change alphanumerics before @ of the default handset mail address. Customising handset mail address helps reduce spam.

1. Press ◉, select ***Messaging*** and press ◉
2. Select ***Settings*** and press ◉
3. Select ***Address Setting*** and press ◉
   Handset connects to the Internet.
4. Select ***English*** and press ◉
   Follow onscreen instructions.

Note ▶ This procedure may change without prior notice. For further information, contact SoftBank Customer Centre, General Information (see P.20-50).

Messaging Menu

Press ◉, select ***Messaging*** and press ◉ to open Messaging menu.

Item	Description
Received Msg.	List of received messages
Create Message	Create and send new message
Retrieve New Msg.	Retrieve Server Mail Box messages manually
Drafts	List of incomplete/unsent messages
Templates	Arrange Mail created/downloaded as templates
Sent Messages	List of sent messages
Unsent Messages	Undelivered, cancelled, failed or Send Reservation messages
Server Mail Box	Request Centre message list and then select messages to retrieve
Create New SMS	Compose SMS messages
Settings	Customise SMS/S! Mail settings, set folders to appear in Received Msg. and Sent Messages folders or save frequently used numbers/addresses to Speed Mail List to send from Standby
Memory Status	Memory usage of Messaging Folders (except Templates)

Sending Text Messages

1 Press ◉, select *Messaging* and press ◉

2 Select *Create Message* (S! Mail) or *Create New SMS* and press ◉

Mail Composition Window (S! Mail)

3 Select recipient field and press ◉

4 Enter a recipient

Phone Book

1 Select *Phone Book* and press ◉

2 Select a recipient and press ◉
- When multiple items are saved, select one and press ◉.

Contact Groups

1 Select *Select Group* and press ◉

2 Select a Group and press ◉

Sent Mail Records

1 Select a recipient and press ◉

Speed Mail List

1 Select *Speed Mail List* and press ◉

2 Select a recipient and press ◉

Direct Entry

1 Select *Enter Number* or *Enter Address* and press ◉
- *Enter Address* is not available for SMS.

2 Enter recipient's SoftBank handset number or mail address and press ◉

5 Enter subject and press ◉ (S! Mail only)

6 Select (Text) and press ◉ then enter a message
- For SMS, select message text field and press ◉ or a key then enter a message.

7 Press ◉

8 Attach files (S! Mail only)
Use to select (Attach) and press ◉

Image Files

1 Select *Picture* and press ◉

2 Select a folder and press ◉

3 Select a file and press ◉

Melody Files

1 Select *Sound* and press ◉

2 Select a folder and press ◉

3 Select a file and press ◉

Video Files

1 Select *Video* and press ◉

2 Select *Saved Videos* and press ◉

3 Select a file and press ◉

9 When finished, press Send to send

Incoming Text Messages

Receiving Messages

Delivery Notice appears and Information window opens (✉ appears) for new mail. Press ◉ to open Received Msg. folder.

Opening Received Text Messages

1. Press ◉, select ***Messaging*** and press ◉
2. Select ***Received Msg.*** and press ◉
3. Select a message and press ◉

Retrieving Complete S! Mail Messages

Centre sends initial portion of S! Mail message when:

- The message was sent to multiple recipients
- Files are attached to the message

1. Perform Steps 1 - 2 above
2. Select a message with ✉ and press ◉
3. Press Y! More

Replying & Forwarding

Replying to Messages

1. Open a received message (see left)
2. Press ✉ Options
3. Select ***Reply*** or ***Reply All*** and press ◉
4. *Replying to SoftBank Handset*
   1. To send as SMS, select ***SMS*** or ***SMS (History)*** and press ◉
   2. To send as S! Mail, select ***S! Mail*** or ***S! Mail (History)*** and press ◉

   Replying to E-mail
   1. Select ***S! Mail*** or ***S! Mail (History)*** and press ◉
      - Select ***SMS (History)*** or ***S! Mail (History)*** to quote the original message text.
5. Complete and send message (perform from Step 5 or 6 on P.20-37)

Forwarding Messages

1. Open a received message (see left)
2. Press ✉ Options
3. Select ***Forward*** and press ◉
   - To forward SMS, then select ***S! Mail*** or ***SMS*** and press ◉.
4. Enter a recipient (see P.20-37) and press ◉
5. Press Y! Send

S! Appli

Enjoy a variety of compatible S! Applications.

- Download S! Applications via Yahoo! Keitai.
- Enjoy network gaming or access real-time news/info.
- Set an S! Application that activates in Standby.

S! Appli Menu

Press ◉, select ***S! Appli*** and press ◉ to open S! Appli menu.

Item	Description
S! Appli	Download, start or delete S! Applications
Settings	Adjust S! Application settings
Information	Open Java™ and JBlend™ licence information

Downloading S! Applications

1. Press ◉, select ***S! Appli*** and press ◉
2. Select ***S! Appli*** and press ◉
3. Select ***Download*** and press ◉
4. Open a Mobile Internet site offering S! Applications
5. Select an S! Application and press ◉
6. Press ✉ Yes
   Downloaded S! Application is automatically saved and a confirmation appears.
7. Choose ***Yes*** and press ◉

S! FeliCa (Japanese Only)

Basics

S! FeliCa encompasses a range of IC Card-based services available via FeliCa-compatible SoftBank handsets. 812SH and 813SH support S! FeliCa. To use services such as e-money, e-ticketing and reward point systems, simply hold handset over a compatible reader/writer at a shop or restaurant, etc.

FeliCa

■A contactless IC card technology enabling wireless data transmissions with compatible reader/writer terminals

IC Card

■The FeliCa chip embedded in FeliCa-compatible handsets
■Holds information required to use S! FeliCa

Lifestyle-Appli

■S! Applications required to use S! FeliCa
- Edy e-money Lifestyle-Appli is preloaded on handset.
  - Edy is a prepaid e-money service run by bitWallet Inc.

Note ▶ IC Card data content varies by service and usage history. Procedures to delete IC Card data vary by Lifestyle-Appli; contact service providers for details.

Service Usage Outline

Download Lifestyle-Appli

Download Lifestyle-Appli via Internet site.

- Lifestyle-Appli is saved to Lifestyle-appli folder.

Complete Registration/Set Up

Activate Lifestyle-Appli, complete registration/customise settings.

- Charge accounts, check balance or payment records, etc.

Use Service

To use S! FeliCa at shops, restaurants, and locations, place logo over reader/writer.

- Use e-money/e-tickets to shop/travel; earn reward points.

Note ▶
- Lifestyle-Appli registration and usage vary; contact the service provider for details.
- SoftBank is not liable for damages resulting from accidental loss/alteration of IC Card data/settings.
- Keep service passwords/customer service contact information, etc. in a separate place.

Starting Lifestyle-Appli

To use S! FeliCa, activate a service Lifestyle-Appli and complete service registration, setup, charge, balance check, etc.

Main Menu ▶ Lifestyle-appli

1 Select ***Lifestyle-appli*** and press ◉

- To download a Lifestyle-Appli, select ***Download*** ➡ Press ◉

2 Select an application and press ◉

Lifestyle-Appli starts.

- To end the Lifestyle-Appli, press ⏻.

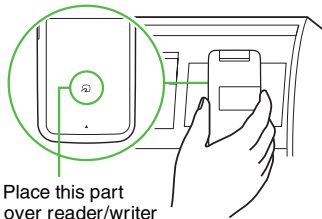
Note ▶ Lifestyle-Appli cannot be started during calls or when another S! Application is active.

Tip ▶ Lifestyle-Appli settings and usage patterns resemble those of other S! Applications (see P.20-39). However, Lifestyle-Appli cannot be set as Screensaver.

Using S! FeliCa

Follow these steps to conduct a transaction.
Example: making an electronic payment:

- Complete registration, setup and charge in advance.
- Complete transactions without activating a Lifestyle-Appli.

1 Place logo over reader/writer

- The illustration above is for reference only.
- Confirm scan results on reader/writer display.
- If recognition is slow, move handset around slightly.

Note ▶
- Align handset parallel to reader/writer.
- Foreign articles can block/hamper recognition.

Tip ▶
- When placed over sensor, handset may display a message, vibrate or activate mail, Internet or an S! Application for some services.
- Reader/writer will scan FeliCa IC Card even during calls or Internet transmissions. (It may take some time.)

When Handset Power is Off

■Transactions possible; Lifestyle-Appli does not start automatically.

- After installing/reinstalling battery, always turn on handset power to use S! FeliCa.

When Battery is Low

■S! FeliCa is not available. Charge it beforehand.

IC Card Lock

Use this function to restrict access to/prevent unauthorised use of S! FeliCa on handset.
IC Card Lock is *Off* by default.

Main Menu ▶ Lifestyle-appli ➡ IC Card Settings ➡ IC Card Lock

1 Choose *On* and press ◉

To cancel, choose *Off* ➡ Press ◉

2 Enter Handset Code and press ◉

3 Choose *Yes* and press ◉

Tip ▶ For more information on S! FeliCa settings, please see the full English manual.

S! Cast (Japanese Only)

Subscribe to Japanese mobile periodicals that download to handset automatically overnight.

- A separate subscription and registration are required.
- Retrieve Network information (see P.20-34) beforehand.

Service Registration & Content Subscription

1. Press ◉, select *Entertainment* and press ◉
2. Select *CAST* and press ◉
3. Select *Join/CancelService* and press ◉
   Handset connects to the Internet and service registration page opens. Follow onscreen instructions.

Note ▶ Registration and subscription require Internet use (connection fees apply). Confirm signal strength beforehand.

Newly Arrived Information

1. Delivery Notice appears and Information window opens (icon appears) for new information
2. Select *CAST* and press ◉
   Follow onscreen instructions.
3. Press [end key] to exit

S! Town (Japanese Only)

S! Town is an online communication application. Select an avatar to enter this 3D virtual town, where you can participate in events and meet other users.

- Usage requires the pre-installed S! Town S! Application.
- S! Town S! Application cannot be deleted.
- Internet connection is required; may incur high charges.

Using S! Town

When using S! Town for the first time, agree to the terms of service then complete free user registration.

1. Press ◉, select *Communication* and press ◉
2. Select *S! Town* and press ◉
   S! Town starts.
   - Refer to the S! Town S! Application's help menu for operational instructions.

S! Loop (Japanese Only)

S! Loop is a communication service.

1. Press ◉, select *Communication* and press ◉
2. Select *S! Loop* and press ◉
   Handset connects to the Internet and S! Loop Main Menu opens.
   - Refer to the S! Loop help menu for operational instructions.

Near Chat (Japanese Only)

Exchange real-time text messages wirelessly with compatible Bluetooth® devices within ten metres.

- Because this application employs Bluetooth® wireless technology transmission/connection fees do not apply.
- Usage requires the pre-installed Near Chat S! Application.

Note ▶
- Near Chat range may vary by ambient conditions.
- Near Chat S! Application cannot be deleted.

Hot Status

Exchange current usage status, mood, etc. with compatible handsets.

- A separate subscription is required.
- Only available on compatible 3G handsets.

Circle Talk

Circle Talk is a Walkie-Talkie type communication service. Press one key to speak to up to ten parties simultaneously.

- Press [key] to take the floor and speak; other participants may only listen until the floor is released.
- A subscription to Hot Status is required.
- Transmission/connection fees apply during Circle Talk.

Note ▶
- A new Circle Talk session cannot begin during a call.
- Only available on compatible 3G handsets.

Software Update

Check for firmware updates and download as required.

Precautions

Before updating software, turn power off to end all active functions/applications, then restart handset.

- Choose to begin update or schedule update.
- Handset is disabled until update is complete. Update may take up to approximately 30 minutes.
- Connection fees do not apply to updates (including checking for updates, downloading and rewriting).
- Keep handset in a place where signal is strong and stable.
- Charge battery (▮ appears) beforehand; a low battery may cause update to fail.
- Do not remove battery during update; update may fail.
- To reduce risk of failure, disconnect USB Cable from handset beforehand.

Updating Software

Read Software Update Precautions (left) beforehand.

Main Menu ▶ Settings ➡ Phone Settings (◉) ➡ Software Update

1 Select ***Software Update*** and press ◉

Confirmation appears.

- Follow onscreen instructions. (appears during update.)
- Update may take up to approximately 30 minutes.
- Confirmation appears for successful update then handset restarts. Completion message appears and Information window opens (appears).

While completion message appears, press ◉ to acknowledge update completion and cancel Information window.

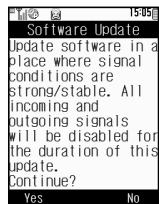
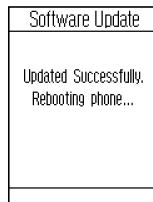
Software Update
Update software in a place where signal conditions are strong/stable. All incoming and outgoing signals will be disabled for the duration of this update.
Continue?
Yes No

Confirmation

Software Update
Updated Successfully.
Rebooting phone...

Update Complete

Abridged English Manual

20

Note ▶ Update failure may disable handset. Contact SoftBank Customer Centre, Customer Assistance (see P.20-50).

Software Update

Please turn off your phone manually and contact the SoftBank customer service to solve your trouble promptly.

Update Failure

Update Result

■While Information window appears, select *Update Result* ➡ Press ◉

- ■ Press ◉ again to exit.

■In Standby, press ◉ ➡ Select *Settings* ➡ Press ◉ ➡ Use ◎ to select *Phone Settings* ➡ Select *Software Update* ➡ Press ◉ ➡ Select *Update Result* ➡ Press ◉

- ■ Press ◉ again to return.

Update Result

Scheduled Update

■Confirmation appears at scheduled update time. Press ◉ or wait about ten seconds for update to start.

- Update will not start while handset is in use. When the current operation ends, confirmation appears. After ten minutes, scheduled update is automatically cancelled.
- Update automatically cancels Keypad Lock.

Confirmation

Note ▶
- Handset Phone Book entries, media files, and other content are not affected by firmware updates, but users should always back up important information (note that some files cannot be copied). SoftBank is not liable for damages from lost information, etc.
- If handset does not return to Standby after update, turn power off, reinsert battery, then restart it.

Function List

For SoftBank 813SH Function List, see **SoftBank 813SH Supplementary Guide**.

Main Menu	Sub Menu
Communication	S! Town
	S! Loop
	Hot Status
	Circle Talk
	Near chat
Yahoo! Keitai	Yahoo! Keitai
	Bookmarks
	Saved Pages
	Enter URL
	History
	Live Monitor
	PC Site Browser
	Common Settings
Media Player	Music
	Videos
	Streaming
Messaging	Received Msg.
	Create Message
	Retrieve New Msg.
	Drafts
	Templates
	Sent Messages
	Unsent Messages
	Server Mail Box
	Create New SMS
	Settings
	Memory Status

Main Menu		Sub Menu
Camera		—
Data Folder		Pictures
		DCIM
		My Pictograms
		Ring Songs•Tones
		S! Appli
		Music
		Videos
		Lifestyle-appli
		Books
		Custom Screens
		Flash®
		Flash®Ringtones
		Other Documents
		Memory Status
Tools	Tools 1	Calendar
		Alarms
		Calculator
		Tasks
		World Clock
	Tools 2	Voice Recorder
		Document Viewer
		Stopwatch
		Countdown Timer
	Tools 3	Expenses Memo
		Text Templates
		Barcode
		Phone Help

Main Menu		Sub Menu
Entertainment		BookSurfing
		E-Book
		CAST
S! Appli		S! Appli
		Settings
		Information
Lifestyle-appli		Lifestyle-appli
		IC Card Settings
Phone		Phone Book List
		Add New Entry
		Information
		Call Log
		Play Messages
		Call Voicemail
		Category Control
		My Details
		Speed Dial List
		Contact Groups
		S! Address Book
		Ph.Book Settings
		Manage Entries
Settings	Phone Settings	Mode Settings
		Display
		Custom Screens
		Sounds & Alerts
		Date & Time
		言語選択 (Language)
		User Dictionary
		Ringer Output
		Earpiece Volume
		Simple Menu
		Locks
		Software Update
		Master Reset

Main Menu		Sub Menu
Settings	Connectivity	Bluetooth
		Infrared
		Mass Storage
		Memory Card
	Call/Video Call	Call Time & Cost
		Answer Phone
		Voicemail/Divert
		Video Call
		Show My Number
		out Missed Calls
		Int'l Calling
		Disp. Time/Call
		Call Barring
		Minute Minder
		Auto Answer
		Call Waiting
	Network Settings	Select Network
		Select Service
		Offline Mode
		Retrieve NW Info
		Location Info
		Network Info

Specifications

■ SoftBank 812SH

Weight	Approximately 105 g
Continuous Talk Time	Approximately 150 minutes (3G) Approximately 240 minutes (GSM)
Continuous Standby Time (handset closed)	Approximately 330 hours (3G) Approximately 320 hours (GSM)
Continuous Video Call Talk Time	Approximately 80 minutes (with Internal Camera in use)
Charging Time (power off)	AC Charger: Approximately 150 minutes In-Car Charger: Approximately 150 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 49 × 97 × 17.6 mm (handset closed, without protruding parts)
Maximum Output	0.25 W (3G) 2.0 W (GSM)

- Values above were calculated with battery installed.
- Continuous Talk Time is an average measured with a new, fully charged battery, with stable signals. Continuous Talk Time may be less than half this value if signal is weak.

■ SoftBank 813SH

Weight	Approximately 104 g
Continuous Talk Time	Approximately 150 minutes (3G) Approximately 240 minutes (GSM)
Continuous Standby Time (handset closed)	Approximately 330 hours (3G) Approximately 320 hours (GSM)
Continuous Video Call Talk Time	—
Charging Time (power off)	AC Charger: Approximately 150 minutes In-Car Charger: Approximately 150 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 49 × 97 × 17.6 mm (handset closed, without protruding parts)
Maximum Output	0.25 W (3G) 2.0 W (GSM)

- Values above were calculated with battery installed.
- Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with stable signals. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range/signal is weak. Standby Time may vary by environment: battery status, ambient temperature, etc.

- Talk Time/Standby Time decrease with frequent use of Display/Keypad backlights.
- Talk Time/Standby Time may decrease when an S! Application is active.
- Talk Time/Standby Time decrease with handset use in poor signal conditions.
- Display employs precision technology, however, some pixels may appear brighter/darker.

■ AC Charger

Power Source	AC 100V-240V, 50/60 Hz
Power Consumption	12VA
Output Voltage/Current	DC 5.2V/650 mA
Charging Temperature	5°C to 35°C
Dimensions (W × H × D)	Approximately 55 × 45 × 22 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

■ Battery

Voltage	3.7V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	820 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 44.5 × 4.5 × 37.7 mm (without protruding parts)

Customer Service

If you have questions about SoftBank handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

SoftBank Customer Centres

From a SoftBank handset, dial toll free at **157** for General Information or **113** for Customer Assistance

SoftBank International Call Centre

From outside Japan, dial **+81-3-5351-3491** (International charges will apply to this call.)

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Centre	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	Free Call 0088-240-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	Free Call 0088-241-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	Free Call 0088-242-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	Free Call 0088-250-157
	Customer Assistance	Free Call 0088-250-113

付録

機能一覧

- SoftBank 813SHの機能一覧については、「**SoftBank 813SH 補足説明書**」をご覧ください。

メインメニュー	サブメニュー	参照先
コミュニケーション	S!タウン	☞P.19-2
	S!ループ	☞P.19-3
	ホットステータス	☞P.19-4
	サークルトーク	☞P.19-13
	ちかチャット	☞P.19-19
Yahoo!ケータイ	Yahoo!ケータイ	☞P.15-3
	ブックマーク	☞P.15-9
	お気に入り	☞P.15-9
	URL入力	☞P.15-4
	アクセス履歴一覧	☞P.15-4
	ライブモニター	☞P.15-14
	PCサイトブラウザ	☞P.15-18
	ブラウザ共通設定	☞P.15-20
メディアプレイヤー	ミュージック	☞P.7-6
	ムービー	☞P.7-8
	ストリーミング	☞P.15-12
メール	受信ボックス	☞P.14-23
	新規作成	☞P.14-7
	新着メール受信	☞P.14-19
	下書き	☞P.14-18
	テンプレート	☞P.14-14
	送信済みボックス	☞P.14-23
	未送信ボックス	☞P.14-23
	サーバーメール操作	☞P.14-22
	SMS新規作成	☞P.14-6
	設定	☞P.14-33
	メモリ容量確認	☞P.14-3

メインメニュー		サブメニュー	参照先
カメラ		—	☞P.6-2
データフォルダ		ピクチャー	☞P.8-2
		デジタルカメラ	☞P.8-2
		マイ絵文字	☞P.8-2
		着うた・メロディ	☞P.8-2
		S!アプリ	☞P.16-2
		ミュージック	☞P.8-2
		ムービー	☞P.8-2
		生活アプリ	☞P.17-2
		ブック	☞P.8-2
		カスタムスクリーン	☞P.9-9
		Flash®	☞P.8-2
		着信音Flash®	☞P.8-2
		その他ファイル	☞P.8-2
		メモリ確認	☞P.8-2
ツール	ツール1	カレンダー	☞P.12-2
		アラーム	☞P.12-11
		電卓	☞P.12-15
		予定リスト	☞P.12-8
		世界時計	☞P.12-14
	ツール2	ボイスレコーダー	☞P.12-16
		ドキュメントビューア	☞P.12-18
		ストップウォッチ	☞P.12-24
		キッチンタイマー	☞P.12-25
	ツール3	マネー積算メモ	☞P.12-25
		テキストメモ	☞P.12-26
		バーコード/OCR	☞P.12-19
		ガイド機能	☞P.12-27

メインメニュー		サブメニュー	参照先
エンタテイメント		ブックサーフィン	☞P.18-9
		電子ブック	☞P.18-5
		キャスト	☞P.18-2
S!アプリ		S!アプリ	☞P.16-2
		設定	☞P.16-7
		インフォメーション	☞P.16-2
生活アプリ		生活アプリ	☞P.17-2
		ICカード設定	☞P.17-4
電話機能		アドレス帳	☞P.4-2
		アドレス帳新規登録	☞P.4-4
		インフォメーション	☞P.2-7
		通話履歴	☞P.2-13
		簡易留守録再生	☞P.2-10
		留守電サービス再生	☞P.13-4
		グループ設定	☞P.4-11
		オーナー情報	☞P.4-19
		スピードダイヤル設定	☞P.4-13
		メールグループ登録	☞P.4-12
		S!アドレスブック	☞P.4-15
		アドレス帳設定	☞P.4-9
		アドレス帳管理	☞P.4-8
設定	本体設定	モード設定	☞P.9-2
		ディスプレイ設定	☞P.9-3
		カスタムスクリーン	☞P.9-9
		音・バイブ・ライト	☞P.9-14
		日時設定	☞P.9-18
		Language	☞P.9-9
		ユーザー辞書	☞P.9-19
		着信音出力切替	☞P.9-17
		受話音量調節	☞P.9-17
		シンプルメニュー切替	☞P.2-21
		セキュリティ設定	☞P.9-20
		ソフトウェア更新	☞P.21-8
		初期化	☞P.9-28

メインメニュー		サブメニュー	参照先
設定	外部接続	Bluetooth	☞P.10-2
		赤外線通信	☞P.10-10
		カードリーダモード	☞P.11-9
		メモリカード	☞P.11-2
	通話／TVコール設定	通信時間・料金	☞P.2-14
		簡易留守設定	☞P.2-9
		留守番・転送電話	☞P.13-2
		TVコール設定	☞P.5-6
		発番号通知・表示	☞P.13-10
		着信お知らせ機能	☞P.13-5
		国際発信設定	☞P.9-29
		通話明細表示	☞P.9-30
		発着信規制	☞P.13-7
		通話時間お知らせ	☞P.9-30
		自動応答（イヤホン）	☞P.9-30
		割込通話	☞P.13-5
	ネットワーク設定	ネットワーク選択	☞P.10-14
		3G／GSM設定	☞P.2-16
		オフラインモード	☞P.2-20
		ネットワーク自動調整	☞P.10-15
		位置情報設定	☞P.10-15
		ネットワーク状態表示	☞P.10-15

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処　置
電源が入らない	●[電源]を長く（「**しばらくお待ちください**」と表示されるまで）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックが本機に装着されていますか？	●[電源]を長く（「**しばらくお待ちください**」と表示されるまで）押してください。 ●電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。 ●正しく装着してください。
電源を入れたのに操作できない	●PIN On／Off設定を「**On**」にしていませんか？	●PIN On／Off設定を「**On**」にしているときは、PIN1コードの入力が必要です。（☞**P.9-24**） 画面の指示に従って入力してください。
電源を入れたときや機能の操作時にUSIMカード未挿入の旨が表示される	●USIMカードを正しく取り付けていますか？ ●違ったUSIMカードをお使いではありませんか？ ●USIMカードのIC部に指紋などの汚れがついていませんか？	●USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていてもUSIMカード未挿入の旨が表示されるときは、USIMカードが破損している可能性があります。 ●正しいUSIMカードであることを確認してください。使用できないカードが取り付けられている可能性があります。 ●乾いたきれいな布で汚れを落として、正しく取り付けてください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止（☞**P.1-22**）が設定されていませんか？ ●キー操作ロック（☞**P.9-25**）が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞**P.1-22**） ●キー操作ロックを解除してください。（☞**P.9-25**）
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止（☞**P.1-22**）が設定されていませんか？ ●キー操作ロック（☞**P.9-25**）が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞**P.1-22**） ●キー操作ロックを解除してください。（☞**P.9-25**）
アドレス帳を使って電話がかけられない	●かけたいアドレス帳をシークレットデータに登録していませんか？ ●アドレス帳使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードに設定してください。（☞**P.9-27**） ●アドレス帳使用禁止を解除してください。（☞**P.9-26**）
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所ではありませんか？ ●3G／GSM設定（☞**P.2-16**）で「**GSM**」に設定されていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●お使いになる地域に適したモードを選択してください。

症状	確認すること	処　置
ダイヤルしても通話終了音（プープー…）が出る	●市外局番など「0」から始まる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモード（☞P.2-20）が設定されていませんか？	●市外局番など「0」から始まる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.2-20）
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターが本機または卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックが本機に装着されていますか？ ●本機が卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●本機、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、本機の外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度5℃～35℃以外になると、充電できないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●周囲温度5℃～35℃の場所でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。
充電時間が短い	●電池残量がある状態で充電すると、充電時間が短くなります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常の場合は充電時間が短くなることがあります。	— ●新しい電池パックと交換してください。
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。また、長時間利用すると、本機が熱くなることがあります。	●手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、本機を長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。（☞P.xx）

症状	確認すること	処 置
電池パックの消耗が早い	●使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●「完全に充電したときの利用可能時間」、「電池パックの持ちについて」、「電池パックの消耗を軽減するには」を参照してください。（☞P.1-13～P.1-14）
画面の表示がちらつく	●蛍光灯の下では、画面の表示がちらつくことがあります。	—
バックライトを消灯したとき画面の表示が暗い	●画面の特性によるもので、故障ではありません。	—

補足▶ 故障の際の連絡先やアフターサービスについては、お問い合わせ先（☞P.21-28）までご連絡ください。

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。
「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが1本以上表示される場所へ移動してください。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-15）
電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「 」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-22）
設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

■「 」表示が出ているとき

キー操作ロックが設定されています。（☞P.9-25）
キー操作ロックを解除しないと電話はかけられません。
ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）を押して電話に出ることができます。

S!アプリに関する画面表示

画面表示	原因／処置
「一時停止中のS!アプリがあります。終了しますか？」 「一時停止中のS!アプリがあります。再開しますか？」	●一時停止中のS!アプリがあります。 ⬇ ●一時停止中のS!アプリを終了したあと、やり直してください。
「○○を本体にダウンロードします。ダウンロードサイズ：XXKB 保存サイズ：XXKB ダウンロードしますか？電池残量が足りないため正常終了しない可能性があります。」	●電池残量が少ないので、ダウンロードが正常に終了しない可能性があります。 ⬇ ●電池パックを充電してから、ダウンロードすることをおすすめします。
「○○をメモリカードにダウンロードします。本体の空き容量が不足しているためです。ダウンロードサイズ：XXKB 保存サイズ：XXKB ダウンロードしますか？」	●メモリが一杯です。 ⬇ ●◉を押すと、ダウンロードを継続します。 CLEAR/BACKを押すと、ダウンロードを中止します。

付録 21

画面表示	原因／処置
「本体の登録可能件数を超えているため保存できません」	●すでに本機にS!アプリが100件登録されています。（左記のメッセージは、表示後自動的に消えます。） ↓ ●不要なS!アプリを削除してから、やり直してください。（☞P.16-5）
「すでに登録されているアプリケーションと同じバージョンです。ダウンロードを続けますか？」	●ダウンロードしようとしているS!アプリと同じバージョンが、本機に登録されています。 ↓ ●「**はい**」／「**いいえ**」を選び、◉を押して、ダウンロードしてください。
「すでに登録されているアプリケーションより新しいバージョンです。ダウンロードを続けますか？」	●ダウンロードしようとしているS!アプリの古いバージョンが、本機に登録されています。 ↓ ●「**はい**」を選び、◉を押すと、ダウンロードを継続します。 「**いいえ**」を選び、◉を押すと、ダウンロードを中止します。

補足▶ 次のような内容が表示されたときはダウンロードできません。
●「無効なデータのためダウンロードできません」
●「サイズが大きいため受信できません」

こんなときは（メール）

■写メールがうまく送信できないとき

次のような原因が考えられます。詳しくは、「**サービスガイド 3G**」を参照してください。

- **相手がS!メール／スーパーメール／ロングメールなどの契約をしていないとき**
- **相手がS!メールに対応していないとき**
  - ■相手がスーパーメール対応機やロングメール対応機などのときは、受信できるデータ容量が異なります。
- **相手がJPEG形式に対応していないとき**
  - ■相手がPNG形式に対応しているときは、JPEG形式の画像をPNG形式に変換して送信できます。（☞P.8-16）

■受信メールを保存する容量がないとき

新しいメールを受信することはできません。このときは「✉」が赤色で表示されます。受信できなかったメールは、サーバーメールボックスに蓄積されます。

- 不要な受信メールを削除してください。（☞P.14-29）
  新しいメールを保存するメモリができると、自動的にサーバーメールボックスに蓄積されたメールを受信します。
- 受信メールを保存するメモリがない場合に新しいメールが送られてきたときは、保護されていないメールを自動削除することができます。（☞P.14-36）
- 各サービスの使用メモリの合計が100％未満のときでも、新しいメールを受信できないことがあります。このときも不要な受信メールを削除してください。（☞P.14-29）

ソフトウェアの更新

ネットワークを利用して、本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

ソフトウェアを更新する前に

ソフトウェア更新を行う前にすべての動作を終了させるため、必ず電源をいったん切り、再度電源を入れてから、ソフトウェア更新を実行してください。

- ソフトウェアの更新方法には、すぐに更新する方法「**今すぐ更新**」と、予約して更新する方法「**予約更新**」があります。
- ソフトウェアの更新には、約30分程度かかることがあります。更新が完了するまで、本機は使用できません。
- 確認／更新には、通信料はかかりません。
- 電波状態のよい所で、移動せずに操作してください。
- 本機が十分充電されている状態（「」表示）で操作してください。更新中に電池残量が不足すると、更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを取り外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しているときは、ソフトウェア更新前にUSBケーブルを取り外してください。USBケーブルを取り付けたままソフトウェア更新を実行すると、正しく完了できないことがあります。

ソフトウェアを更新する

操作の前に、左記「**ソフトウェアを更新する前に**」をお読みください。

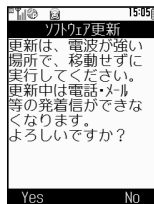
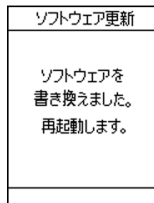
メニュー ▶ 設定 ➡ 本体設定（）➡ ソフトウェア更新

1 「ソフトウェア更新」を選び、◉を押す。

ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。
  （ソフトウェア更新中は「」が表示されます。）
- 更新完了までには時間がかかることがあります。
- 更新完了後は、更新完了の画面が表示されたあと、再起動されます。再起動後に、完了メッセージが表示され、インフォメーションが表示されます。（「」表示）
  - ■完了メッセージ表示時に◉を押したときは、インフォメーションは表示されません。

ソフトウェア更新
更新は、電波が強い場所で、移動せずに実行してください。更新中は電話・メール等の発着信ができなくなります。よろしいですか？
Yes No

ソフトウェア更新の確認画面

ソフトウェア更新
ソフトウェアを書き換えました。再起動します。

更新完了の画面

注意▶ ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。このときは、ご契約いただいたソフトバンクの故障受付（☞P.21-28）にご相談ください。

ソフトウェア更新
ソフトウェア更新
できません。
電源を切ってください。
ご契約いただいた
ソフトバンクの
故障受付に
ご相談ください。

ソフトウェア更新失敗画面

更新結果を確認する

■インフォメーションが表示されているときは、次の操作を行うと、更新結果が表示されます。

「ソフトウェア更新結果」選択➡◉

■ 確認の終了：上記操作のあと◉

■待受画面からは、次の操作で表示できます。

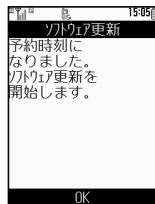
◉➡「設定」選択➡◉➡◎（「本体設定」選択）➡「ソフトウェア更新」選択➡◉➡「更新結果表示」選択➡◉

■ 確認の終了：上記操作のあと◉

ソフトウェア更新結果画面

予約更新を利用すると

■予約時刻になると、ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。このあと、◉を押すか、約10秒間そのままにしておくと、自動的にソフトウェア更新が実行されます。

- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は実行されません。他の機能を終了すると、ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。（10分以上他の機能を使用していると、ソフトウェア更新の予約が解除されます。）
- 予約更新前に誤動作防止が設定されていたときは、ソフトウェア更新後、誤動作防止は解除されます。

ソフトウェア更新の確認画面（予約時）

注意▶

- ソフトウェアの更新は、本機に登録されたデータ（アドレス帳／画像／サウンドなど）を残したまま行うことができますが、本機の状況（故障・破損・水濡れなど）によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップを取っておかれることをおすすめします。（ダウンロードしたデータなど、バックアップが取れないデータがあります。）
  なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア書き換え後に再起動しなかったときは、電池を外し、再度電池を装着してから電源を入れ直してください。

補足▶ ソフトウェアの更新については、ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」でもご案内しています。

区点コード一覧

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
					あ					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					い					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					う					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					え					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
					お					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
					か					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
					き					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
						く				
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
						け				
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
						こ				
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
						さ				
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
						し				
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
						す				
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
						せ				
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
						そ				
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
						た				
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
						ち				
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ〜の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									

区点1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る〜れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										

区点1～3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚅	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

区点1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

絵文字一覧

注意▶ 絵文字非対応のソフトバンク携帯電話や、E-mailでは表示されません。

補足▶ □部の絵文字は動画です。

付録

21

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なることがあります。

■SoftBank 812SH

質量	約105g
連続通話時間	約150分(3Gモード) 約240分(GSMモード)
連続待受時間 (クローズポジション時)	約330時間(3Gモード) 約320時間(GSMモード)
TVコール連続通話時間	約80分(インカメラ使用時)
充電時間 (本機の電源を切って充電した場合)	急速充電器　:約150分 シガーライター充電器:約150分
サイズ (幅×高さ×奥行)	約49×97×17.6mm (クローズポジション時、突起部除く)
最大出力	0.25W(3Gモード) 2.0W(GSMモード)

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

■SoftBank 813SH

質量	約104g
連続通話時間	約150分(3Gモード) 約240分(GSMモード)
連続待受時間 (クローズポジション時)	約330時間(3Gモード) 約320時間(GSMモード)
TVコール連続通話時間	—
充電時間 (本機の電源を切って充電した場合)	急速充電器　:約150分 シガーライター充電器:約150分
サイズ (幅×高さ×奥行)	約49×97×17.6mm (クローズポジション時、突起部除く)
最大出力	0.25W(3Gモード) 2.0W(GSMモード)

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、本機をクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所(ビル内、車内、カバンの中など)や、圏外表示状態の待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境(充電状態、気温など)によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。

- 電池パックの利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池パックの消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明が点灯している状態での利用（インターネットご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- S!アプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。（☞P.1-13）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

■急速充電器

電源	AC 100V-240V、50／60Hz共用
消費電力	12VA
出力電圧／出力電流	DC 5.2V／650mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約55×45×22mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5m

■電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	820mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約44.5×4.5×37.7mm（突起部 除く）

メモリ容量一覧

メール	
受信ボックス	最大５Mバイト、最大1000件
下書き	最大３Mバイト※1
送信済みボックス	最大３Mバイト、最大500件※1
未送信ボックス	最大３Mバイト※1
テンプレート	最大64Mバイト※2

※1 メールの下書き、送信済みボックス、未送信ボックスはメモリを共有しています。
※2 S!アプリ、データフォルダとメモリを共有しています。

S!アプリ	
S!アプリ	最大64Mバイト、100件（本体）※

※メールのテンプレート、データフォルダとメモリを共有しています。

データフォルダ	
データフォルダ	最大64Mバイト※

※メールのテンプレート、S!アプリとメモリを共有しています。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

索引

21

保証書とアフターサービス

■保証書

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- **お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。**
- **内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。**
- **保証期間は、保証書に記載しております。**

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「**故障かな？と思ったら**」に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。（☞P.21-4）

該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたソフトバンクの故障受付（☞P.21-28）にご相談ください。

その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細については、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞P.21-28）までご連絡ください。

なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後6年です。

注意▶

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切なアドレス帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。

  なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（アドレス帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター

総合案内　　　：ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付：ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問合せおよび盗難・紛失のご連絡
+81-3-5351-3491（有料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）